次世代育成支援に関する

調査結果報告書

平成21年3月

川　越　市

－ 目　　次 －

人口推計

１．人口推計の方法 …… 1
1-1. 人口推計の手法 …… 1
1-2. 人口推計基礎人口データ …… 1
1-3. 推計作業の概要 …… 2
２．人口推計の結果 …… 3
2-1. 川越市の総人口と 17 歳以下児童数の将来予測（人口推計） …… 3
2-2. 年齢別（３歳区分）児童数の将来予測 …… 4

アンケート調査等の結果

調査の概要

１．調査の目的 …… 5
２．調査の設計 …… 5
３．アンケート調査の回収結果 …… 6
４．ヒアリング調査の回答結果 …… 6
５．調査の項目 …… 7
６．報告書を読むにあたって …… 14

就学前児童のいる世帯　調査結果

１．子どもと家族の状況について …… 15
1-1. 子どもの年齢 …… 15
1-2. 子どもの人数と末子の年齢 …… 15
1-3. 同居・近居の状況 …… 16
1-4. 日頃子どもを預かってくれる人 …… 16
1-5. 子どもの身の回りの世話を主にしている人 …… 18
1-6. 居住地区 …… 18
２．保護者の就労状況について …… 19
2-1. 父親の就労状況 …… 19
2-2. 母親の就労状況 …… 20
2-3. 現在就労していない母親の就労希望 …… 21
2-4. 出産前後の離職の状況 …… 24
３．保育サービスの利用について …… 26
3-1. 利用状況等について …… 26
3-2. 利用希望 …… 30
3-3. 土曜日・休日の保育の希望 …… 35
４．病児・病後児保育について …… 36
4-1. 過去１年間に保育サービスを利用できなかったこと …… 36
５．一時預かりについて …… 38
5-1. 過去１年間に家族以外に一時的に預けたこと …… 38
5-2. 今後利用したい、増やしたいと思う日数 …… 40
６．宿泊を伴う一時預かりについて …… 41
6-1. 過去１年間に泊まりがけで家族以外に預けなければならなかったこと …… 41
７．学童保育室の利用希望について …… 43
7-1. 小学校入学以降の学童保育室の利用希望 …… 43
８．ベビーシッターの利用について …… 44
8-1. ベビーシッターの利用目的と利用頻度 …… 44

9．ファミリーサポートセンターの利用について ……45
9-1. ファミリーサポートセンターの利用について……45
10．地域子育て支援拠点事業について ……47
10-1. 利用状況……47
10-2. 今後の利用希望と利用していない理由……49
11．育児休業制度の利用について ……51
11-1. 育児休業制度の利用について……51
12．子育て支援サービスの認知度、利用度及び満足度について ……54
12-1. 子育て支援サービスの認知度、利用度及び満足度……54
12-2. 『くるみん』の認知度……57
12-3. マタニティマークの認知度……57
13．家事・育児について ……58
13-1. 自分の家事・育児に関する満足度……58
13-2. 配偶者の家事・育児に対する満足度……59
13-3. 父親が子育てに関わりづらい理由……61
14．地域社会への関わりについて ……62
14-1. 参加状況と参加意向……62
15．地域医療について ……63
15-1. かかりつけ医……63
16．子どもの数について ……64
16-1. 希望する子どもの人数……64
17．育児の状況などについて ……65
17-1. 妊娠中や出産後で孤独感を感じた時期……65
17-2. 出産後のサポートとして重要だと思うサービス……65
17-3. 日ごろの子育てについて感じること……66
17-4. 子育てを楽しく安心して行うために必要なサービス……67
17-5. 子育てをしている中で悩んでいることや気になること……69
17-6. 子育てで困ったときや悩んだときの対処方法……71
17-7. 川越市で子育てをしている中で感じていること……72
17-8. 子育てに関する情報入手先……74
18．自由意見 ……76
18-1. 安心して子どもを育てていくための施策等に関する要望・意見……76

小学生児童のいる世帯　調査結果

1．子どもと家族の状況について ……81
1-1. 子どもの学年……81
1-2. 子どもの人数と末子の年齢……81
1-3. 同居・近居の状況……82
1-4. 日頃子どもを預かってくれる人……82
1-5. 子どもの身の回りの世話を主にしている人……84
1-6. 居住地区……84
2．保護者の就労状況について ……85
2-1. 父親の就労状況……85
2-2. 母親の就労状況……86
2-3. 現在就労していない母親の就労希望……87
3．学童保育室の利用について ……90
3-1. 学童保育室の利用について……90
3-2. 放課後子ども教室の利用希望……95

3-3. 小学４年生以降の放課後の過ごし方 96
4．病児・病後児保育について 97
4-1. 過去１年間に学校を休まなければならなかったこと 97
5．一時預かりについて 99
5-1. 過去１年間に家族以外に一時的に預けたこと 99
5-2. 今後利用したい、増やしたいと思う日数 101
6．宿泊を伴う一時預かりについて 102
6-1. 過去１年間に泊まりがけで家族以外に預けなければならなかったこと 102
7．ベビーシッターの利用について 104
7-1. ベビーシッターの利用目的と利用頻度 104
8．ファミリーサポートセンターの利用について 105
8-1. ファミリーサポートセンターの利用について 105
9．子育て支援サービスの認知度、利用度及び満足度について 107
9-1. 子育て支援サービスの認知度、利用度及び満足度 107
9-2. 『くるみん』の認知度 109
9-3. マタニティマークの認知度 109
10．家事・育児について 110
10-1. 自分の家事・育児に関する満足度 110
10-2. 配偶者の家事・育児に対する満足度 110
10-3. 父親が子育てに関わりづらい理由 111
11．地域社会への関わりについて 112
11-1. 参加状況と参加意向 112
12．地域医療について 113
12-1. かかりつけ医 113
13．子どもの数について 114
13-1. 希望する子どもの人数 114
14．子どもの家庭での生活について 115
14-1. 子どもの遊びについて 115
14-2. 子どもと話したり遊んだりする時間 116
14-3. 家事の手伝い 117
14-4. 日ごろの子育てで感じること 118
15．子どもの学校での生活について 119
15-1. 友人の有無 119
15-2. 学校に行くこと 120
15-3. 学校へ行きたくないと困らせたこと 121
15-4. 友達や先生の話をすること 122
16．子どもの放課後や休日の過ごし方について 123
16-1. 平日の放課後の過ごし方 123
16-2. 土曜日や休日の過ごし方 124
17．地域活動について 125
17-1. 参加状況 125
17-2. 公共施設の利用状況 126
18．子育ての悩み、子育て支援のサービスなどについて 127
18-1. 子育てをしている中で悩んでいることや気になること 127
18-2. 子育てで困ったときや悩んだときの対処方法 129
18-3. 子どもの健やかな成長のために必要なサービス 130

19. 子育て支援のあり方について ····· 131
19-1. 川越市で子育てをしている中で感じていること ····· 131
19-2. 子どもの安全確保のために必要だと思うこと ····· 133
19-3. 子育てに関する情報入手先 ····· 135
20. 自由意見 ····· 137
20-1. 安心して子どもを育てていくための施策等に関する要望・意見 ····· 137

中学生　調査結果
1．回答者のプロフィール ····· 141
1-1. 性別 ····· 141
1-2. 学年 ····· 141
1-3. 一緒に住んでいる人 ····· 142
2．放課後や休日の過ごし方について ····· 143
2-1. 平日の放課後の過ごし方 ····· 143
2-2. 休日の過ごし方 ····· 144
2-3. 公共施設の利用について ····· 145
2-4. 近くにあったらいいなと思う場所 ····· 146
3．地域活動について ····· 147
3-1. ボランティア活動について ····· 147
3-2. 地域の団体が行う行事への参加について ····· 149
4．乳幼児とのふれあい体験について ····· 150
4-1. 乳幼児と遊んだこと ····· 150
4-2. 乳幼児とふれあう機会 ····· 151
5．悩みや不安、友だち関係、将来のことについて ····· 152
5-1. 現在の心配ごとや悩み ····· 152
5-2. 心配ごとや悩みの相談相手 ····· 153
5-3. 20 年後の自分 ····· 154
5-4. 将来作りたい家庭 ····· 155
6．携帯電話や PHS について ····· 156
6-1. 携帯電話やＰＨＳの所持 ····· 156
6-2. フィルタリング機能の利用 ····· 156
7．自由意見 ····· 157
7-1. 川越市や大人に対する意見・要望 ····· 157

ヒアリング　調査結果
1．育児サークル活動の概要 ····· 159
2．地域の子育て環境について ····· 161
3．市への要望など ····· 162

資料：アンケート調査票
就学前児童のいる世帯調査票 ····· 163
小学生児童のいる世帯調査票 ····· 181
中学生調査票 ····· 197

人口推計

１．人口推計の方法

1-1. 人口推計の手法

将来人口の推計方法は、コーホート要因法による推計を行った。コーホート要因法とは、基準年の性・年齢別人口（コーホート）をもとに、変化の要因（出生率、生残率、移動率等）を考慮して、次の年の性・年齢別人口を推計し、その繰り返しによって将来人口を推計していく方法である。

1-2. 人口推計基礎人口データ

将来人口の推計に際しては、基本的に以下のデータに基づいて推計を行った。

○人口データ（住民基本台帳 2005 年～2009 年 3 月 1 日）

・性・年齢（１歳階級）別

○出生数（埼玉県衛生統計 2005 年～2007 年）

・過去数年分の母親年齢別出生数

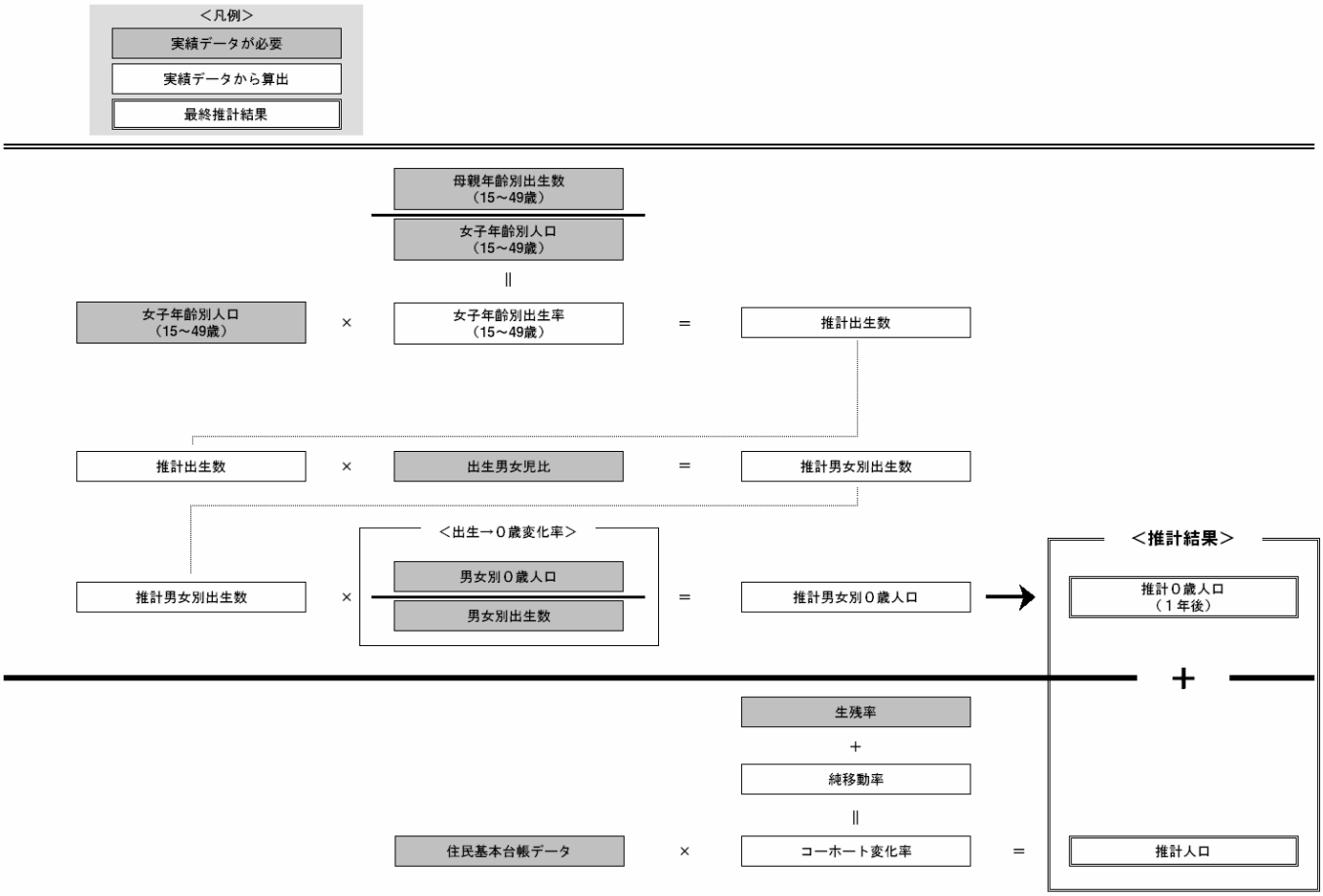
・男女別出生数

○簡易生命表（全国値 2005 年～2007 年）

1-3. 推計作業の概要

人口推計については、以下の手順で推計を行った。

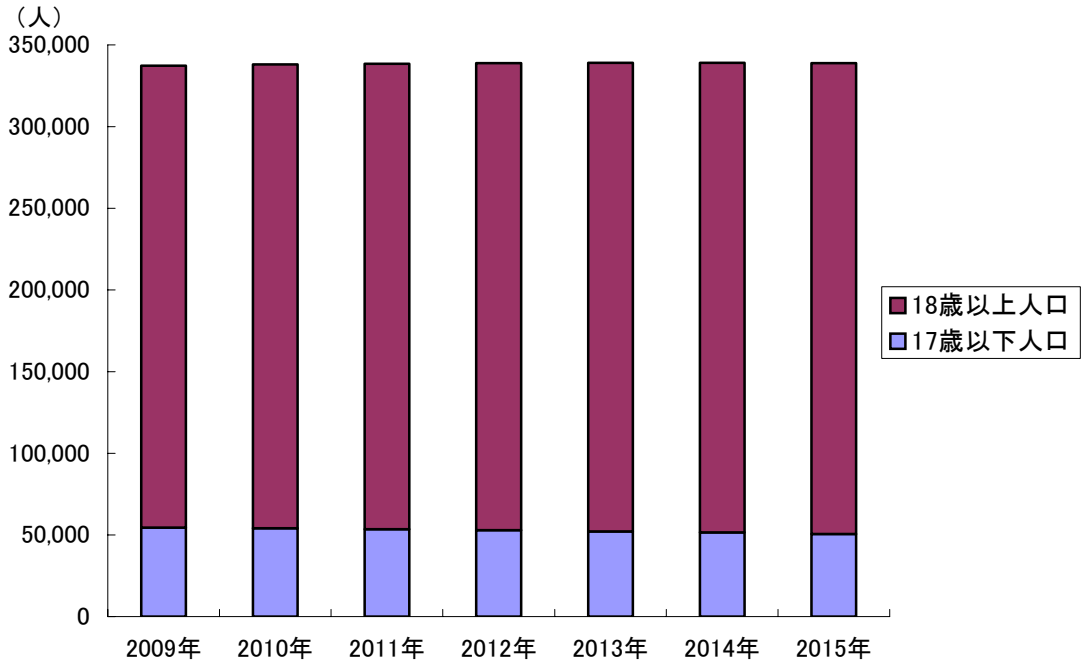
０歳人口については母親となる年齢の女子人口に出生率を乗じることで、０歳人口以外についてはコーホート変化率を乗じることで推計を行う。



２．人口推計の結果

2-1．川越市の総人口と17歳以下児童数の将来予測（人口推計）

総人口は各年の３月１日段階での年齢で、2010 年（平成 22 年）から 2013 年（平成 25 年）まで微増傾向が続くと推計される。しかし、17 歳以下人口は減少傾向になると推計され、2009 年の 54,398 人から 2015 年は 50,631 人に減少すると推計される。



注）各年３月１日での数値、2009 年は実績

■年齢別人口推計結果

	2009 年	2010 年	2011 年	2012 年	2013 年	2014 年	2015 年
総人口	337,318	338,024	338,557	338,907	339,091	339,087	338,943
18 歳以上	282,920	283,999	285,033	285,979	286,917	287,607	288,312
0～17 歳	54,398	54,025	53,524	52,928	52,174	51,480	50,631

注）各年３月１日での数値

2-2. 年齢別（３歳区分）児童数の将来予測

17 歳以下の 2010 年から 2015 年までの児童数の変化を保育園、幼稚園、小・中・高等学校の対象年齢にあわせた３歳区分の年齢別に分析すると、以下のようになる。

0～2 歳（保育園に相当）では、8,192 人（100%）から 6,918 人（84.4%）へ 1,274 人（15.6%）減少する。3～5 歳（保育園・幼稚園に相当）では、8,731 人（100%）から 2011 年には 8,693 人（99.6%）へ 38 人（0.4%）減少するが、2012 年には 8,765 人（100.4%）へ持ち直すが、その後減少傾向になり 2015 年には 7,670 人（87.8%）へ減少する。

6～8 歳（小学校低学年に相当）では、8,999 人（100%）から増減を繰り返し、2015 年には 8,836 人（98.2%）とやや減少する。9～11 歳（小学校高学年に相当）では、9,082 人（100%）から 8,767 人（96.5%）へ 315 人（3.5%）減少する。

12～14 歳（中学校に相当）では、9,443 人（100%）から 9,102 人（96.4%）へ 341 人（3.6%）減少する。

15～17 歳（高等学校に相当）では、9,578 人（100%）から 9,338 人（97.5%）へ 240 人（2.5%）減少する。

■年齢別人口推計結果（実数）　（単位：人）

	2009 年	2010 年	2011 年	2012 年	2013 年	2014 年	2015 年
0～2 歳	8,533	8,192	7,831	7,467	7,271	7,085	6,918
3～5 歳	8,644	8,731	8,693	8,765	8,410	8,041	7,670
6～8 歳	9,018	8,999	8,985	8,713	8,800	8,760	8,836
9～11 歳	9,231	9,082	9,072	9,074	9,057	9,042	8,767
12～14 歳	9,569	9,443	9,375	9,256	9,107	9,096	9,102
15～17 歳	9,403	9,578	9,568	9,653	9,529	9,456	9,338
17 歳以下計	54,398	54,025	53,524	52,928	52,174	51,480	50,631
市の総人口	337,318	338,024	338,557	338,907	339,091	339,087	338,943

注）各年３月１日での数値、2009 年は実績

■年齢別人口推計結果（比率）　（単位：%）

	2009 年	2010 年	2011 年	2012 年	2013 年	2014 年	2015 年
0～2 歳	104.2	100.0	95.6	91.1	88.8	86.5	84.4
3～5 歳	99.0	100.0	99.6	100.4	96.3	92.1	87.8
6～8 歳	100.2	100.0	99.8	96.8	97.8	97.3	98.2
9～11 歳	101.6	100.0	99.9	99.9	99.7	99.6	96.5
12～14 歳	101.3	100.0	99.3	98.0	96.4	96.3	96.4
15～17 歳	98.2	100.0	99.9	100.8	99.5	98.7	97.5
17 歳以下計	100.7	100.0	99.1	98.0	96.6	95.3	93.7
市の総人口	99.8	100.0	100.2	100.3	100.3	100.3	100.3

アンケート調査等の結果

調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、「次世代育成支援対策行動計画（前期計画）が平成21年度をもって終了するため、新たに「後期計画」（計画期間：平成 22～26 年度）を策定するにあたり、市民ニーズを反映した計画とするための基礎資料を得ることを目的に実施した。

2. 調査の設計

（1）アンケート調査

調査対象	就学前児童のいる世帯、小学生児童のいる世帯、中学生
対象者数	2，940人
抽出方法	川越市住民基本台帳より該当する年齢層から無作為抽出
調査方法	郵送調査法
調査時期	平成20年12月

（2）ヒアリング調査

調査対象	川越市内の育児サークル等に参加している市民
対象者数	60人
調査方法	育児サークル等の活動場所でのヒアリング調査
調査期間	平成21年2月23日（月）～平成21年2月27日（金）

3. アンケート調査の回収結果

（1）市全体

	就学前児童のいる世帯	小学生児童のいる世帯	中学生	計
サンプル数	1,440	1,380	120	2,940
有効回収数	869	833	77	1,779
有効回収率（%）	60.3	60.4	64.2	60.5

（2）地区別回収結果

	就学前児童のいる世帯	小学生児童のいる世帯
本庁	244	254
芳野	10	15
古谷	18	25
南古谷	98	64
高階	130	118
福原	44	46
大東	99	94
霞ヶ関	79	85
霞ヶ関北	19	29
名細	50	49
山田	34	28
地区不明（無回答）	44	26

4. ヒアリング調査の回答結果

回答者数	56人(5団体)
回答率(%)	93.3

5. 調査の項目

（1）就学前児童調査

調査の項目	設問の意図
1　子どもと家族の状況	
問1　子どもの年齢	該当の子どもの年齢→年齢別クロス集計に活用
問2　子どもの人数と末子年齢	兄弟の有無と末子の年齢
問3　同居・近居の状況	核家族、三世代家族、一人親家庭か等を把握
問4　子どもを預かってもらえる人	子育てを支援できる可能性の有無
問 4-1　祖父母に預かってもらっている状況	祖父母に預かってもらっている状況
問 4-2　友人・知人に預かってもらっている状況	友人・知人に預かってもらっている状況
問5　世話する人	保育ニーズ発生に最も影響が大きい保護者は誰か
問6　居住地区	地区別クロス集計に活用
2　保護者の就労状況	
問7（1）　父親の就労状況	父親の就労状況の把握
問7（2）　母親の就労状況	就労状況→日常的な保育ニーズ発生の根拠
問8　就労していない母親の就労希望	就労していない母親の就労希望の把握
問 8-1　就労希望形態	就労を希望する母親の就労希望形態
問 8-2　就労希望がありながら働いていない理由	就労希望がありながら働いていない理由
問 8-3　就労したい時の子どもの年齢	就労したい時の一番小さな子どもの年齢
問9　離職状況	出産前後（それぞれ１年以内）の離職状況
問 9-1　サービスや環境が整っていた場合の就労継続希望	サービスや環境が整っていた場合の就労継続希望
3　保育サービスの利用について	
問 10　利用状況	保育サービスの利用の有無
問 10-1　利用しているサービス	現在利用している保育サービスの種類
問 10-2　利用日数と利用時間	サービスの利用日数、利用時間、利用時間帯
問 10-3　利用している理由	保育サービスを利用している理由
問 10-4　利用していない理由	保育サービスを利用していない理由
問 11　今後の利用希望	今後利用したい、または不足しているサービス
問 11-1　希望日数、時間等	今後利用したいサービスの利用日数、時間、時間帯
問 11-2　サービスを利用したい理由	今後サービスを利用したい理由
問 12　休日保育の希望	土曜日・休日の保育サービスの利用希望

4　病児・病後児保育について	
問 13　保育サービスを利用できなかったこと	子どもの病気やケガでサービスが利用できなかった経験の有無
問 13-1　対処方法	サービスが利用できなかった際の対処方法
問 13-2　施設等に預けたいと思った日数	利用できなかった際に施設等に預けたい日数
5　一時預かりについて	
問 14　一時的に預けた経験と日数	私用やリフレッシュ目的等で家族以外に預けた経験の有無と年間日数、預けた理由と日数
問 15　利用したい、増やしたいと思う日数	今後利用したい、増やしたいと思う日数
6　宿泊を伴う一時預かりについて	
問 16　泊まりがけで預けた経験の有無	保護者の用事等で泊まりがけで預けた経験の有無
問 16-1　対処方法と日数、困難度	対処方法と年間日数、親族・知人に預ける困難度
7　学童保育室の利用希望について	
問 17　利用希望	小学校入学以降の利用希望と利用希望日数
8　ベビーシッターの利用について	
問 18　利用目的	ベビーシッターの利用目的
問 18-1　利用頻度	利用日数と利用時間
9　ファミリーサポートセンターの利用について	
問 19　利用状況	ファミリーサポートセンターの利用の有無
問 19-1　利用目的	利用目的
問 19-2　利用頻度	利用日数と利用時間
問 19-3　利用時間を増やしたい希望	利用している人で利用時間を増やしたい時間
問 19-4　利用希望	利用していない人の今後の利用希望
10　地域子育て支援拠点事業について	
問 20　利用状況	地域子育て支援拠点事業の利用の有無と利用回数
問 21　今後の利用希望	利用希望と利用希望回数
問 21-1　利用していない理由	現在利用していない理由
11　育児休業制度の利用について	
問 22　利用状況	育児休業制度の利用状況
問 22-1　復帰した時の子どもの月齢	育児休業制度から復帰した時の子どもの月齢
問 22-2　保育サービスの利用	育児休業制度明けの保育サービスの利用
問 22-3　サービスが確実に利用できた場合の取得期間	育児休業明けにサービスが確実に利用できた場合の取得期間
問 22-4　サービスが利用できなかった人の対処方法	育児休業明けにサービスが利用できなかった人の対処方法

12　子育て支援サービス等の認知度、利用度及び満足度について	
問 23　認知度と利用経験	サービスの認知度と利用経験
問 23-1　利用した人の満足度	利用経験のある人の満足度
問 24　「くるみん」の認知度	認定マーク「くるみん」の認知度
問 25　マタニティマークの認知度	マタニティマークの認知度
13　家事・育児について	
問 26　自分の家事・育児の満足度	父親、母親の自分自身の満足度
問 27　配偶者の家事・育児の満足度	配偶者の家事・育児に対する満足度
問 28　父親が子育てに関わりづらい理由	父親が子育てに関わりづらい理由
14　地域社会への関わりについて	
問 29　行事や組織への参加状況と参加意向	父親、母親それぞれの参加状況と参加意向
15　地域医療について	
問 30　かかりつけ医の有無	子どものかかりつけ医の有無
問 30-1　かかりつけ医がいない理由	かかりつけ医がいない理由
16　子どもの数について	
問 31　希望する子どもの人数	希望する子どもの人数
17　育児の状況などについて	
問 32　孤独感を感じた時期	妊娠中や出産後に孤独感を感じた時期
問 33　出産後のサポートサービス	出産後のサポートとして重要だと思うサービス
問 34　子育てについて感じること	日頃子育てについて感じること
問 35　楽しく安心して行うためのサービス	子育てを楽しく安心して行うために必要なサービス
問 36　悩みや気になること	子育てで悩んでいることや気になることは何か
問 37　対処方法	困ったときや悩んだときの対処方法
問 38　子育て環境	本市の子育て環境を市民がどう感じているか
問 39　子育てに関する情報入手	子育てに関する情報の入手先
問 40　要望、意見	自由回答

（2）小学生児童調査

調査の項目	設問の意図
1　子どもと家族の状況	
問1　子どもの学年	該当の子どもの学年→学年別クロス集計に活用
問2　子どもの人数と末子年齢	兄弟の有無と末子の年齢
問3　同居・近居の状況	核家族、三世代家族、一人親家庭か等を把握
問4　子どもを預かってもらえる人	子育てを支援できる可能性の有無
問 4-1　祖父母に預かってもらっている状況	祖父母に預かってもらっている状況
問 4-2　友人・知人に預かってもらっている状況	友人・知人に預かってもらっている状況
問5　世話する人	保育ニーズ発生に最も影響が大きい保護者は誰か
問6　居住地区	地区別クロス集計に活用
2　保護者の就労状況	
問7（1）　父親の就労状況	父親の就労状況の把握
問7（2）　母親の就労状況	就労状況→日常的な保育ニーズ発生の根拠
問8　就労していない母親の就労希望	就労していない母親の就労希望の把握
問 8-1　就労希望形態	就労を希望する母親の就労希望形態
問 8-2　就労希望がありながら働いていない理由	就労希望がありながら働いていない理由
問 8-3　就労したい時の子どもの年齢	就労したい時の一番小さな子どもの年齢
3　学童保育室の利用について	
問9　利用状況	1～3年生の利用状況を把握
問 9-1　利用日数と土曜日の利用	利用日数と土曜日の利用の有無
問 9-2　利用している理由	利用している人の理由を把握
問 9-3　利用していない理由	利用していない人の理由を把握
問 9-4　利用希望	利用していない人の利用希望の有無と利用希望日数、土曜日の利用希望の有無
問 9-5　利用したい理由	今後利用したい人の理由を把握
問 9-6　放課後子ども教室の利用希望	利用希望の有無と利用希望日数
問 10　小学 4 年生以降の放課後の過ごし方	希望と学童保育室を利用したい人の利用希望学年
4　病児・病後児保育について	
問 11　学校を休まなければならなかったこと	子どもの病気やケガで学校を休んだ経験の有無
問 11-1　対処方法	学校を休んだ際の対処方法
問 11-2　施設等に預けたいと思った日数	学校を休んだ際に施設等に預けたい日数

5　一時預かりについて	
問 12　一時的に預けた経験と日数	私用やリフレッシュ目的等で家族以外に預けた経験の有無と年間日数、預けた理由と日数
問 13　利用したい、増やしたいと思う日数	今後利用したい、増やしたいと思う日数
6　宿泊を伴う一時預かりについて	
問 14　泊まりがけで預けた経験の有無	保護者の用事等で泊まりがけで預けた経験の有無
問 14-1　対処方法と日数、困難度	対処方法と年間日数、親族・知人に預ける困難度
7　ベビーシッターの利用について	
問 15　利用目的	ベビーシッターの利用目的
問 15-1　利用頻度	利用日数と利用時間
8　ファミリーサポートセンターの利用について	
問 16　利用状況	ファミリーサポートセンターの利用の有無
問 16-1　利用目的	利用目的
問 16-2　利用頻度	利用日数と利用時間
問 16-3　利用時間を増やしたい希望	利用している人で利用時間を増やしたい時間
問 16-4　利用希望	利用していない人の今後の利用希望
9　子育て支援サービス等の認知度、利用度及び満足度について	
問 17　認知度と利用経験	サービスの認知度と利用経験
問 17-1　利用した人の満足度	利用経験のある人の満足度
問 18　「くるみん」の認知度	認定マーク「くるみん」の認知度
問 19　マタニティマークの認知度	マタニティマークの認知度
10　家事・育児について	
問 20　自分の家事・育児の満足度	父親、母親の自分自身の満足度
問 21　配偶者の家事・育児の満足度	配偶者の家事・育児に対する満足度
問 22　父親が子育てに関わりづらい理由	父親が子育てに関わりづらい理由
11　地域社会への関わりについて	
問 23　行事や組織への参加状況と参加意向	父親、母親それぞれの参加状況と参加意向
12　地域医療について	
問 24　かかりつけ医の有無	子どものかかりつけ医の有無
問 24-1　かかりつけ医がいない理由	かかりつけ医がいない理由
13　子どもの数について	
問 25　希望する子どもの人数	希望する子どもの人数

14　子どもの家庭での生活について	
問 26　子どもの遊び時間	子どもの遊ぶ時間
問 27　子どもと話したり遊ぶ時間	平日と休日の子どもと話したり、遊んだりする時間
問 28　家事の手伝い	子どもの家事の手伝いをする頻度
問 29　子育てについて感じること	日頃子育てについて感じること
15　子どもの学校での生活について	
問 30　友人の有無	友人の有無と人数
問 31　学校への思い	学校に行くことをどう感じているか
問 32　不登校の予兆	学校へ行きたくないとの思いの頻度を把握
問 33　友達や先生の話	友達や先生についての話をする頻度
16　子どもの放課後や休日の過ごし方について	
問 34　放課後の居場所	平日、放課後の居場所（活動）を時間帯で把握
問 35　土曜日、休日の居場所	土曜日、休日の居場所（活動）を時間帯で把握
17　地域活動について	
問 36　地域活動の参加状況	児童の地域活動への参加の有無
問 37　公共施設の利用状況	児童の公共施設利用の頻度
18　子育ての悩み、子育て支援のサービスなどについて	
問 38　悩みや気になること	子育てで悩んでいることや気になることは何か
問 39　対処方法	困ったときや悩んだときの対処方法
問 40　必要なサービス	健やかな成長のために必要なサービスは何か
問 41　子育て環境	本市の子育て環境を市民がどう感じているか
問 42　安全確保	子どもの安全確保のために必要なことは何か
問 43　子育てに関する情報入手	子育てに関する情報の入手先
問 44　要望、意見	自由回答

（3）中学生調査

調査の項目	設問の意図
1　回答者のプロフィールについて	
問1　性別	性別をクロス集計に活用
問2　学年	中学1年、2年、3年
問3　同居の家族	同居の家族
2　放課後や休日の過ごし方について	
問4　放課後の居場所	平日の放課後の居場所を時間帯で把握
問5　土曜日・休日の居場所	土曜日・休日の居場所を時間帯で把握
問6　公共施設の利用状況	公共施設の利用頻度
問7　近くにほしい施設	近くにあったらいいなと思う場所
3　地域活動について	
問8　ボランティア活動	ボランティア活動の経験の有無
問9　ボランティア活動の内容	ボランティア活動の内容
問 10　地域団体の行事	地域団体の行事などへの参加経験
問 11　参加した行事	参加した行事などの種類
4　乳幼児とのふれあい体験について	
問 12　乳幼児と遊んだ経験	乳幼児と遊んだ経験は将来の子育てにも重要
問 13　ふれあう機会の必要性	乳幼児とふれあう機会が必要だと思うか
5　悩みや不安、友だち関係、将来のことについて	
問 14　心配、悩み	心配や悩みの有無とその内容
問 15　悩みの相談相手	心配や悩みの相談相手の有無と相手
問 16　20 年後の自分	20 年後の自分
問 17　将来の家庭	家庭における男女共同参画のあり方
6　携帯電話やＰＨＳについて	
問 18　携帯電話の所持	携帯電話やＰＨＳの所持
問 19　フィルタリング機能の利用	フィルタリング機能の利用の有無
問 20　意見、要望	自由回答

（4）ヒアリング調査

調査の項目	把握したいポイント
1　育児サークル活動の概要	
（1）参加している人のプロフィール	子どもの年齢、母親の就労状況、参加した理由、参加してよかったこと、サークルを知ったきっかけ、川越市の居住年数など
（2）活動の内容	活動の内容、会員数、会費、参加者数、グループができたきっかけ、問題点など
（3）活動の場所や頻度	活動の場所（公民館、公園、子育て支援センターなど）、活動の頻度、活動ＰＲ
2　地域の子育て環境について	
（1）公園等の遊び場など	公園の有無、使いやすさ（遊具、トイレなど）、児童館など
3　市への要望など	
（1）施設の整備	
（2）保健医療の充実	
（3）その他	

6. 報告書を読むにあたって

（1）調査結果の%表記については、小数第2位を四捨五入した値であるため、単数回答でも合計が必ずしも100%になるとは限らない。

（2）複数回答の質問は、回答数を100%として各選択肢の%を算出しているため、合計は100%を超えている。

（3）図表中のｎは回答数を示している。

（4）図表中の記号の意味は、以下のとおりである。

全体値より		
	☆：＋15%以上高い	★：－15%以上低い
	○：＋10～15%高い	●：－10～15%低い
	△：＋5～10%高い	▲：－5～10%低い

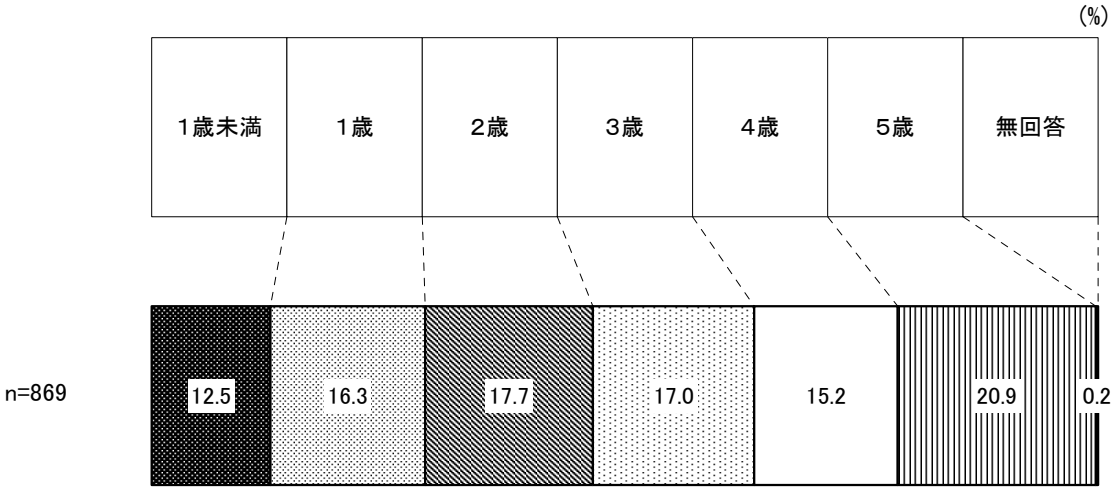
就学前児童のいる世帯　調査結果

１．子どもと家族の状況について

1-1. 子どもの年齢

調査対象の子どもの年齢は、「５歳」が 20.9%とやや多く、「１歳未満」が 12.5%とやや少なくなっているが、「１歳」から「４歳」までは 15%前後となっている。

問１　封筒のあて名のお子さんの年齢（平成 20 年４月１日現在の年齢）をお伺いします。（１つに○）

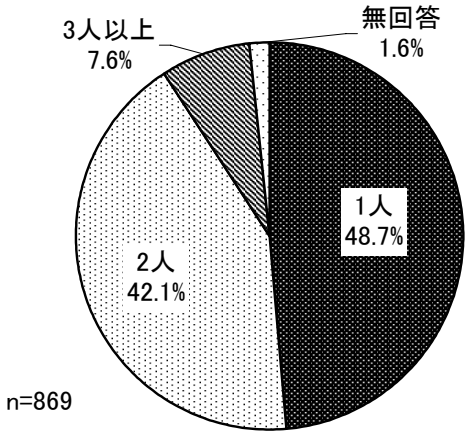


1-2. 子どもの人数と末子の年齢

子どもの人数は「１人」(48.7%)、「２人」(42.1%) が４割台と多く、平均人数は 1.6 人となっている。末子の年齢は「０歳」(19.0%)、「１歳」(21.2%)、「２歳」(19.2%) が２割前後とやや多く、平均年齢は 2.1 歳となっている。

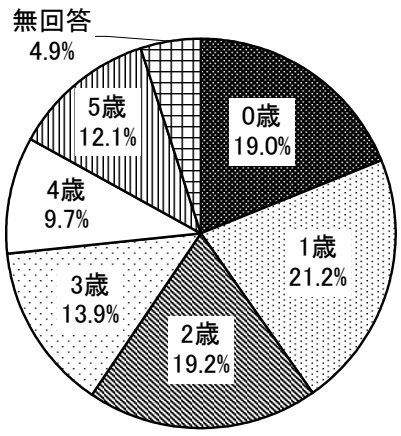
問２　封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いますか。また、２人以上いる場合、末子の年齢（平成 20 年４月１日現在の年齢）をご記入ください。

【子どもの人数】



平均:1.6人

【末子の年齢】

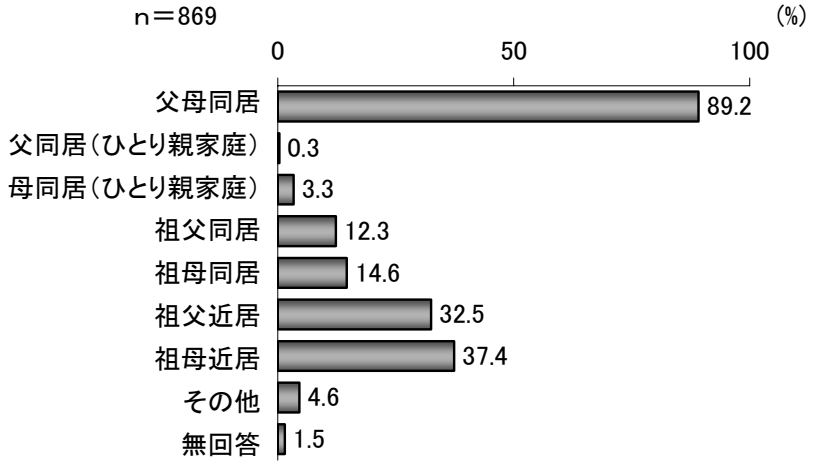


平均:2.1歳

1-3. 同居・近居の状況

同居・近居の状況は、「父母同居」（89.2%）が９割と多い。ついで、「祖母近居」（37.4%）や「祖父近居」（32.5%）が３割台となっている。

問３　あて名のお子さんとの同居・近居（概ね 30 分以内程度に行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。（あてはまる番号すべてに○）

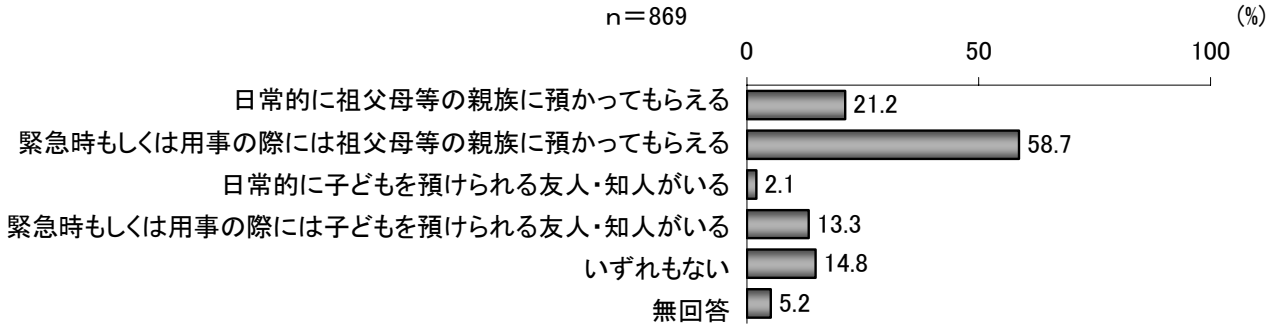


1-4. 日頃子どもを預かってくれる人

（1）預かってくれる人の有無

日頃子どもを預かってくれる人の有無をみると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」とする人が 58.7%と半数強を占めている。「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」とする人は 21.2%であり、「いずれもない」とする人は 14.8%となっている。

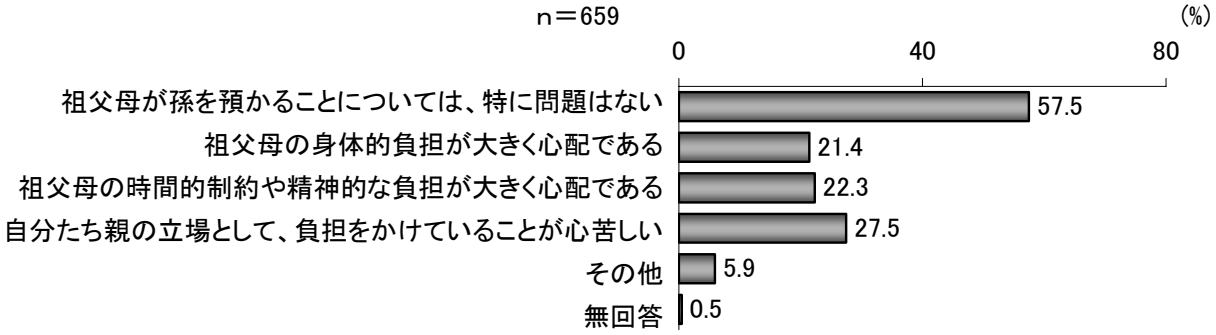
問４　日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。（あてはまる番号すべてに○）



（2）祖父母に預かってもらっている状況

祖父母に預かってもらっている状況として、「祖父母が孫を預かることについては、特に問題はない」（57.5%）とする人が半数強を占めているが、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」（27.5%）とする人が３割近くみられる。

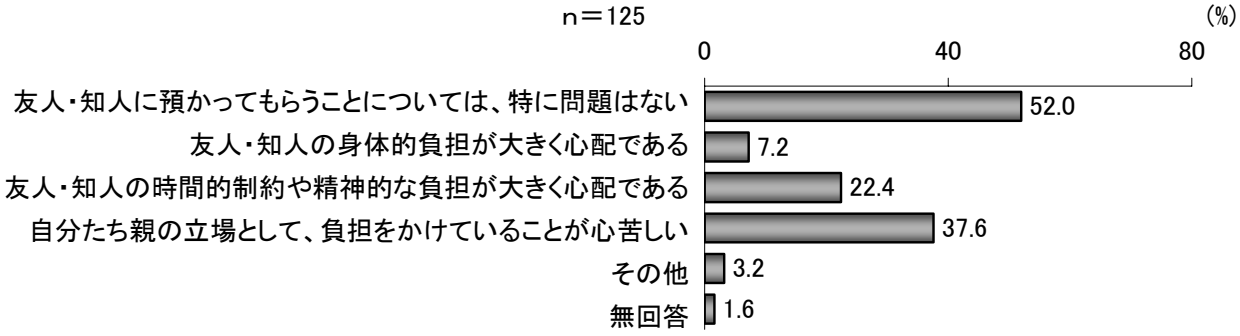
問４-１　祖父母に預かってもらっている状況について、お伺いします。（あてはまる番号すべてに○）



（3）友人や知人に預かってもらっている状況

友人や知人に預かってもらっている状況として、「友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない」とする人が 52.0%と半数を占めているが、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」（37.6%）とする人が３人に１人強の割合でみられる。

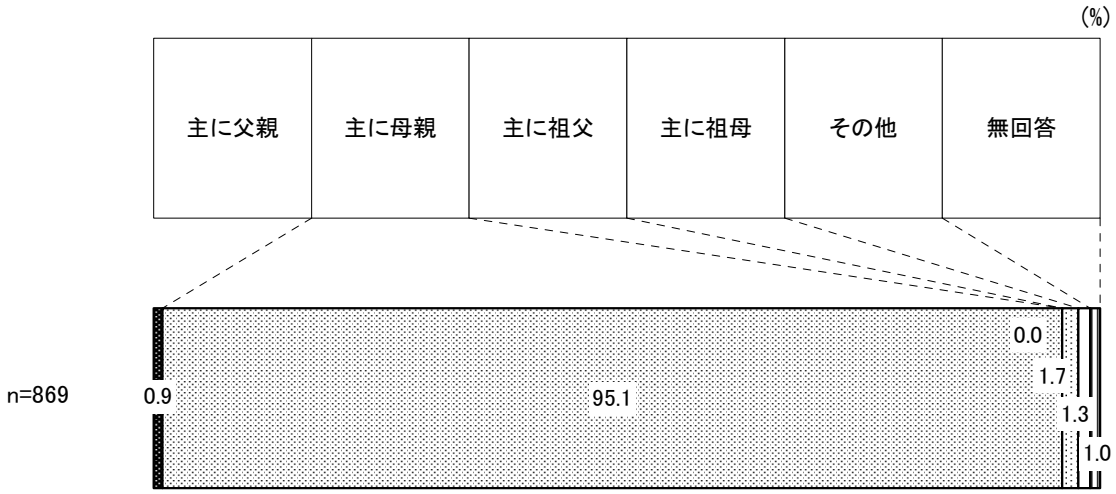
問４-２　友人や知人に預かってもらっている状況について、お伺いします。
（あてはまる番号すべてに○）



1-5. 子どもの身の回りの世話を主にしている人

子どもの身の回りの世話をしているのは「主に母親」が 95.1%と大多数を占めている。

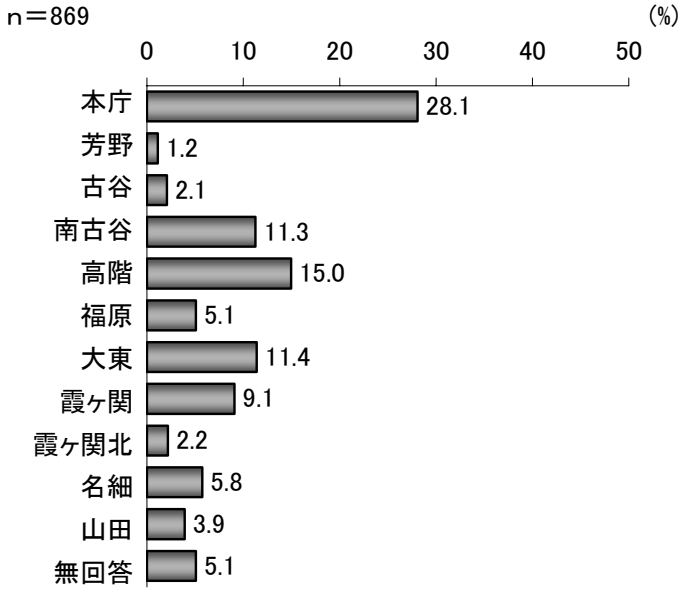
問５　あて名のお子さんの身の回りの世話などを主にしている方はどなたですか。（１つに○）
続柄はあて名のお子さんから見た関係です。



1-6. 居住地区

居住地区は、「本庁」（28.1%）が３割弱と最も多い。ついで、「高階」（15.0%）、「大東」（11.4%）、「南古谷」（11.3%）が１割台となっている。

問６　お住まいの地区は、どこですか。（１つに○）



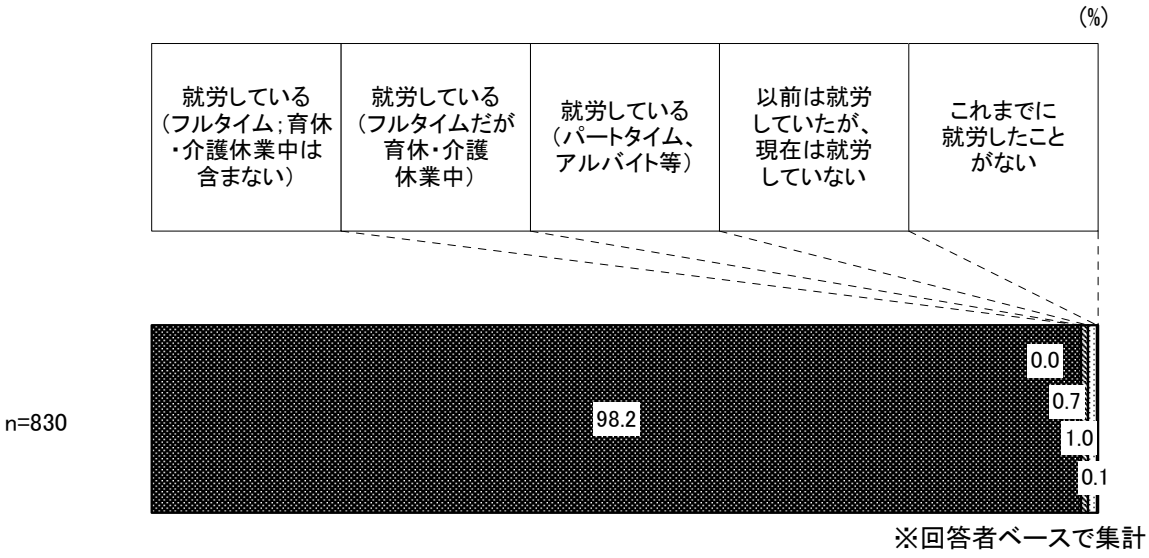
2．保護者の就労状況について

2-1．父親の就労状況

父親は、「就労している（フルタイム；育休・介護休業中は含まない)」が 98.2%と大多数を占めている。

「就労している（パートタイム、アルバイト等)」と回答した人は６人であり、就労日数は週「５日」、就労時間は１日あたり「８時間」がやや多くなっている。

問７　現在の就労状況を（自営業、家族従事者含む）お伺いします。（１つに○）
（１）父親　【母子家庭の場合は記載不要】



※回答者ベースで集計

■パートタイム、アルバイト等で就労している人の就労日数（週）

	計	3 日	5 日	6 日	平均
%	100.0	16.7	50.0	33.3	5.0
n	6	1	3	2	

■パートタイム、アルバイト等で就労している人の就労時間（日）

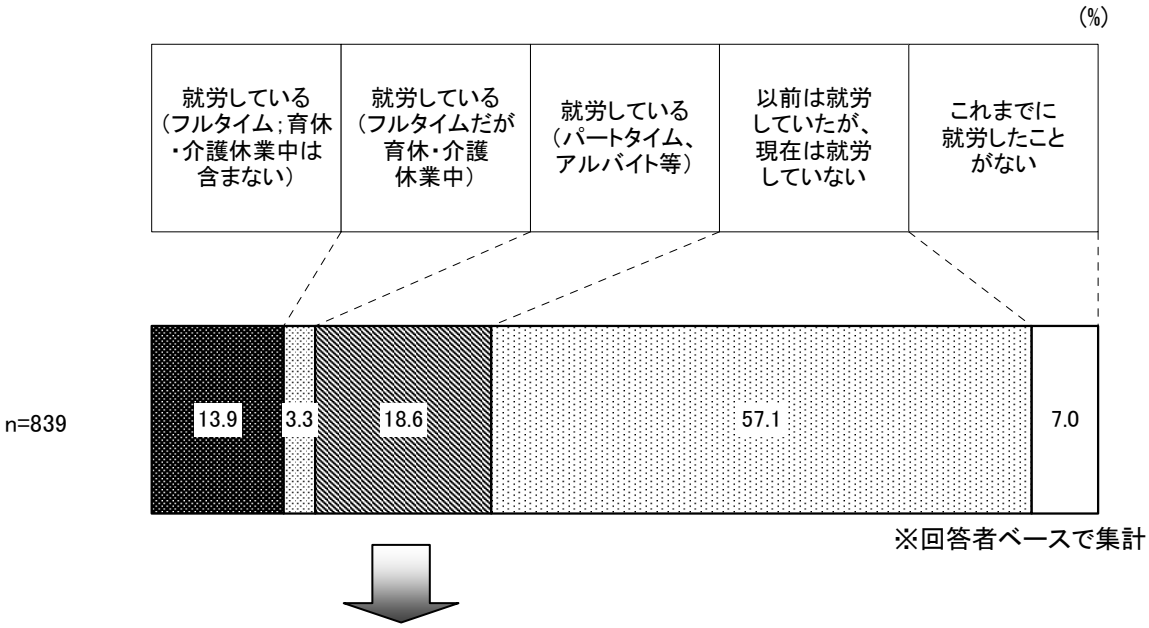
	計	8 時間	9 時間	平均
%	100.0	66.7	33.3	8.3
n	6	4	2	

2-2. 母親の就労状況

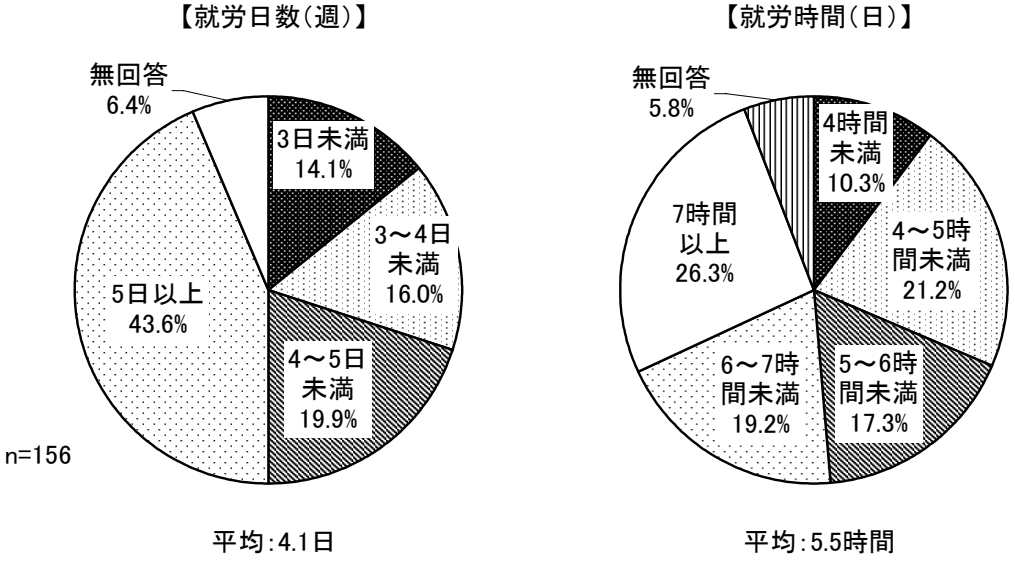
母親は、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 57.1%と半数強を占めており、「これまでに就労したことがない」(7.0%) を合わせると“就労していない”母親は 64.1%となっている。

「就労している（パートタイム、アルバイト等)」は 18.6%であり、就労日数は週「５日以上」(43.6%)、就労時間は１日あたり「７時間以上」(26.3%) が多くなっている。

問７　現在の就労状況を（自営業、家族従事者含む）お伺いします。（１つに○）
（２）母親　【父子家庭の場合は記載不要】



■パートタイム、アルバイト等で就労している人の就労日数（週）と就労時間（日）

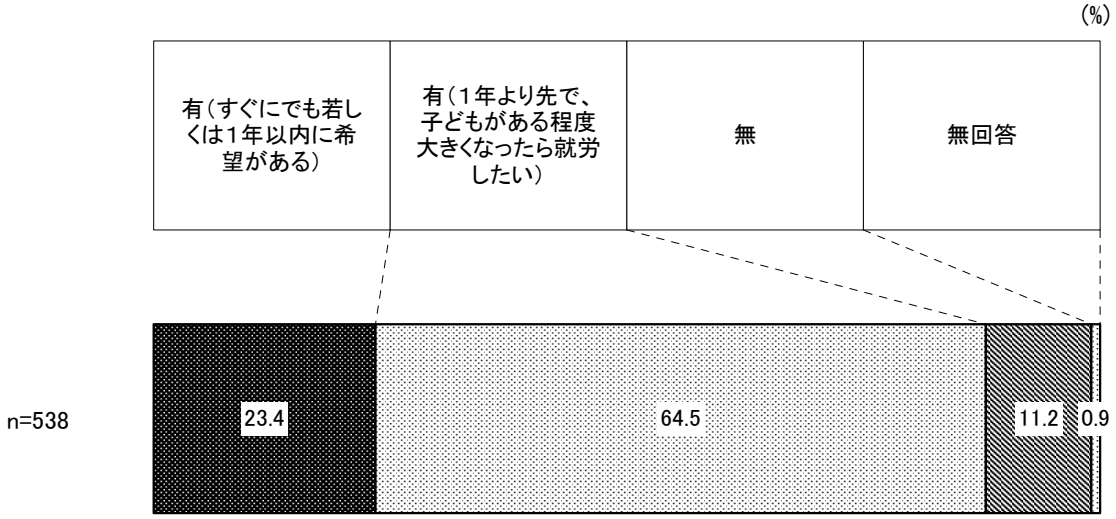


2-3. 現在就労していない母親の就労希望

（1）就労希望の有無

現在就労していない母親のうち、就労希望が「有（すぐにでも若しくは１年以内に希望がある)」（23.4%）とする人は２割強で、「有（１年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい)」（64.5%）とする人が６割強と多数を占め、両者を合わせると就労希望“有”と回答した母親は 87.9%と多数を占めている。

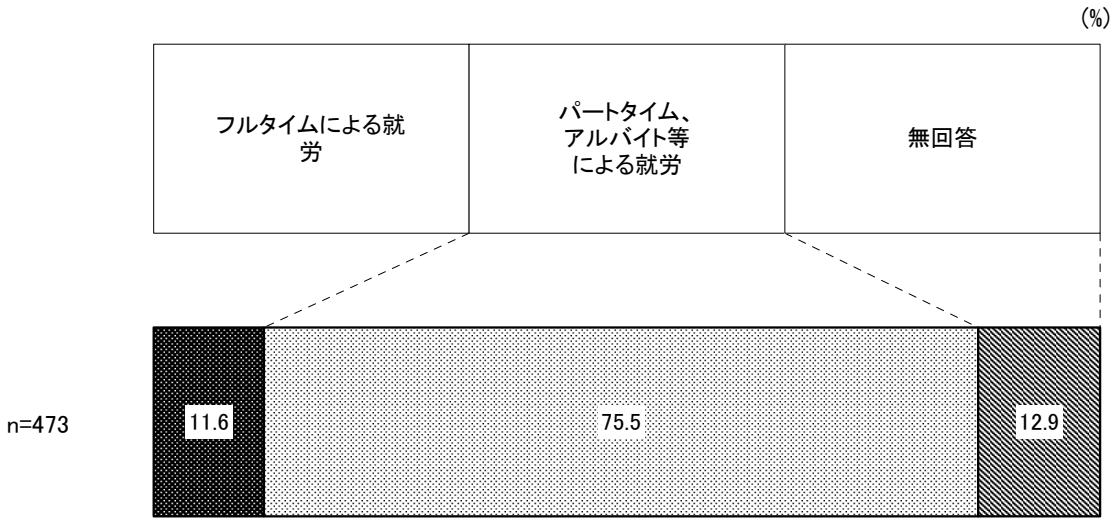
問８　母親の就労希望はありますか。（１つに○）



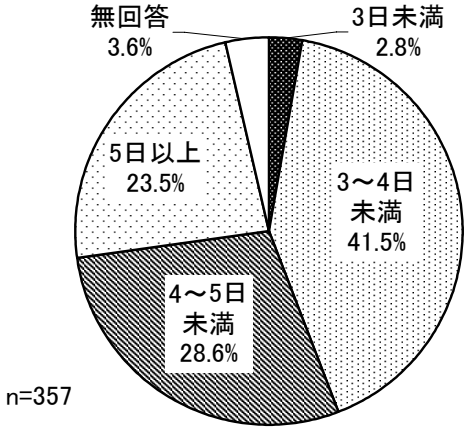
（2）就労希望形態

就労希望が“有”と回答した母親の就労希望形態としては、「フルタイムによる就労」（11.6%）は１割強であり、「パートタイム、アルバイト等による就労」（75.5%）が４人に３人強と多い。また、「パートタイム、アルバイト等による就労」を希望している人の平均希望就労日数は週 3.8 日、平均希望就労時間は１日 4.8 時間となっている。

問8-1　就労希望の形態はどのようなものですか。（１つに○）（パート、アルバイトを希望の方は一週当たり日数及び一日当たり時間も記入してください。）

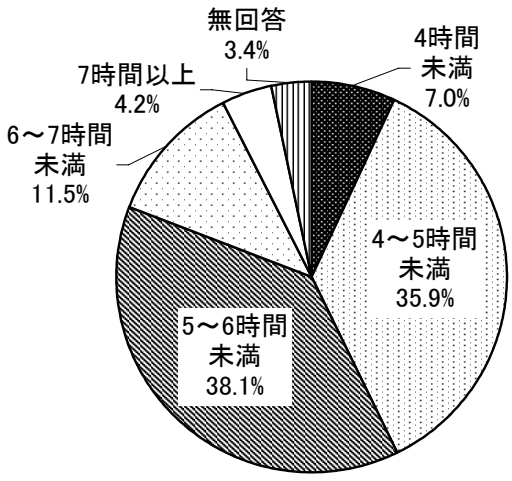


【希望就労日数(週)】



平均:3.8日

【希望就労時間(日)】

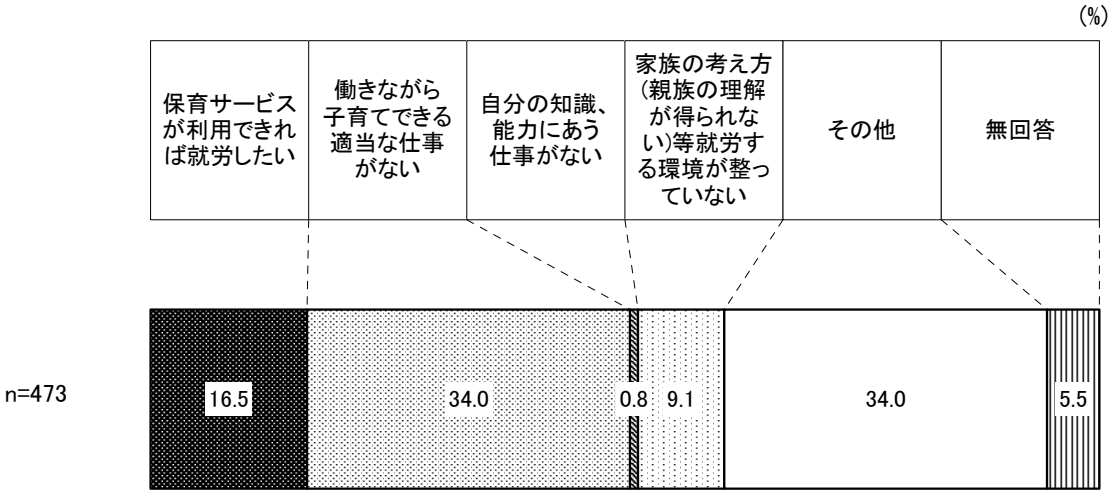


平均:4.8時間

（3）就労希望がありながら働いていない理由

就労希望がありながら現在働いていない理由は、「働きながら子育てできる適当な仕事がない」（34.0%）をあげる人が３人に１人強の割合と多くなっており、「保育サービスが利用できれば就労したい」（16.5%）とする人は６人に１人の割合となっている。

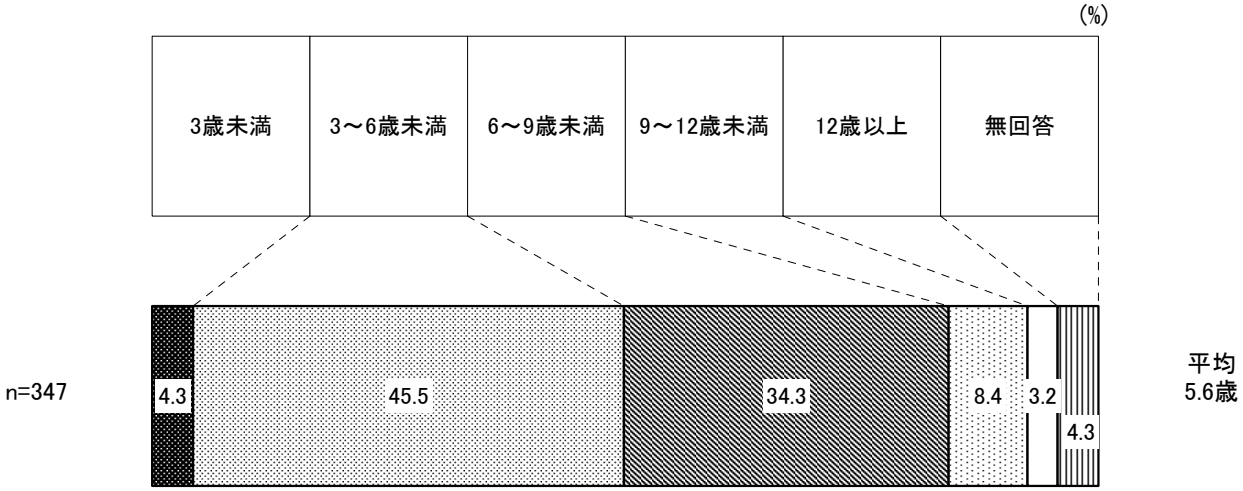
問8-2　就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。（もっとも近いもの１つに○）



（4）就労したい時の子どもの年齢

１年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したいと回答した人の就労したい時の子どもの年齢は、「３～６歳未満」（45.5%）が半数近くを占め、「６～９歳」（34.3%）は３人に１人強の割合となっており、平均年齢は5.6歳となっている。

問8-3　問8で「2．有（１年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい）」を選ばれた方にお伺いします。あて名のお子さんも含めて一番小さい子が何歳になったときに就労を希望されますか。

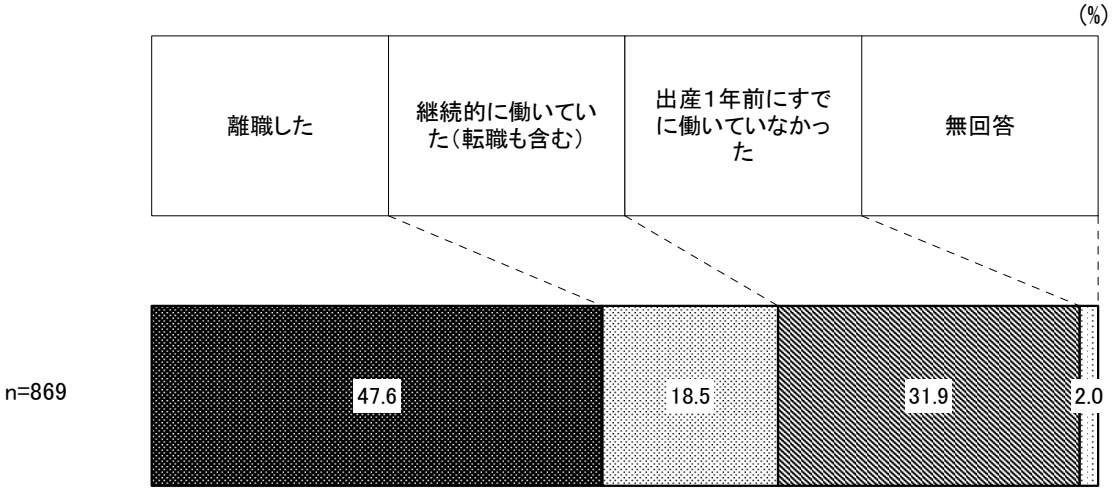


2-4. 出産前後の離職の状況

（1）離職の状況

出産前後（それぞれ１年以内）に「離職した」人は 47.6%と半数近くを占めており、「継続的に働いていた（転職も含む）」（18.5%）人は２割弱となっている。

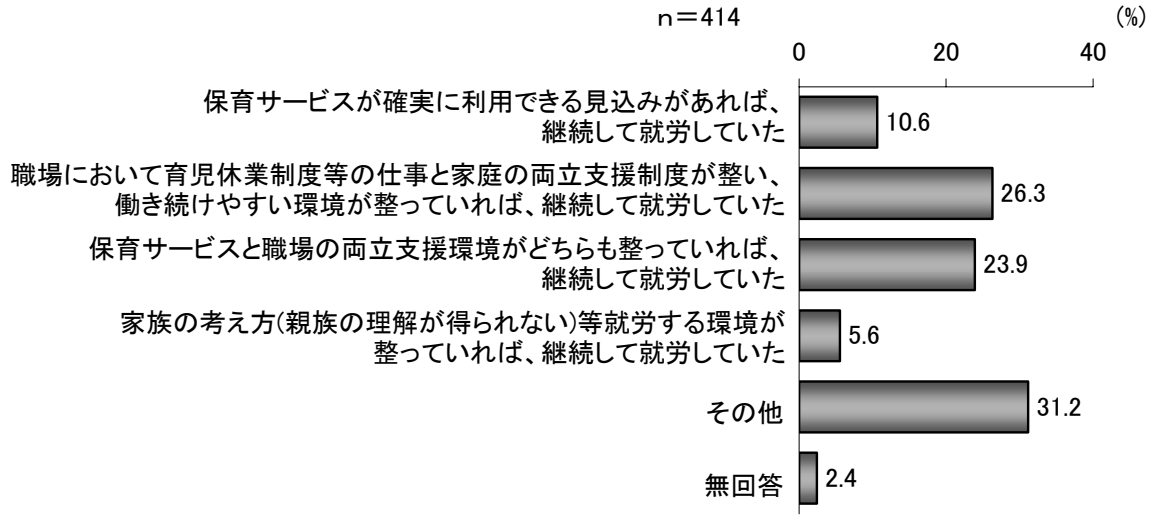
問９　封筒のあて名のお子さんの出産前後（前後それぞれ１年以内）に離職をしましたか。
（１つに○）



（2）サービスや環境が整っていた場合の就労継続について

出産前後１年以内に離職をした人のうち、サービスや環境が整っていた場合の就労継続については「その他」が多くなっているが、具体的には「子育てに専念したかったから」「子どもが小さいうちは、子どもと一緒にいたいから」「就労を継続するつもりはなかったから」「引越や転勤のため就労を継続できなかった」「体調を崩したため」などがあげられており、保育サービスや環境が整っていても離職していたとする人が３割強と多くなっている。「保育サービスが確実に利用できる見込みがあれば、継続して就労していた」（10.6%）とする人は１割、「職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた」（26.3%）や「保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた」（23.9%）とする人はそれぞれ 25%前後となっている。

問９-１　仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続しましたか。（もっとも近いもの１つに○）



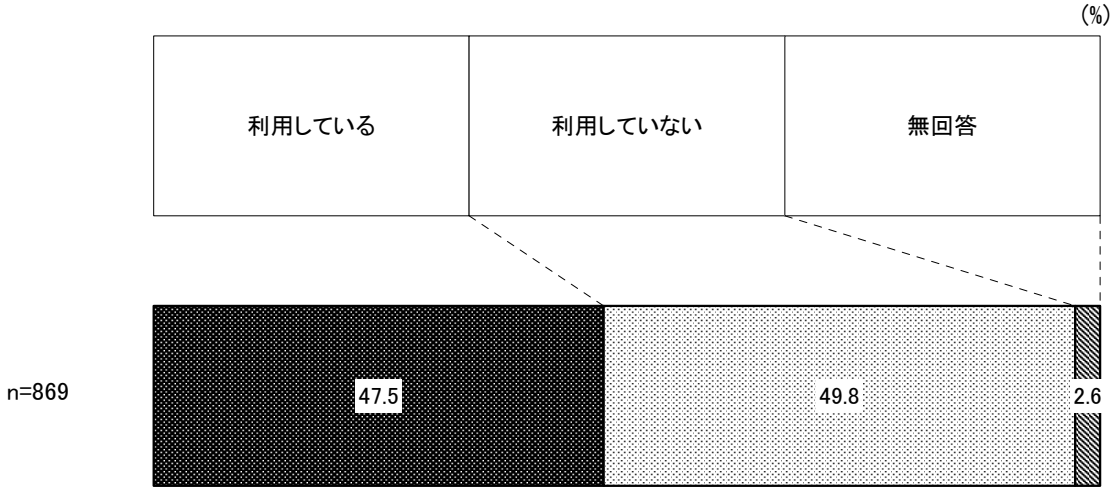
3．保育サービスの利用について

3-1．利用状況等について

（1）利用状況

保育サービスを「利用している」のは 47.5%となっている。

問 10　封筒のあて名のお子さんの現在の保育サービスの利用の有無についてお伺いします。日頃、定期的にお子さんを預けるサービスを利用していますか。



≪年齢、母親就労状況別：利用状況≫

年齢別にみると、「利用していない」は１歳以下で８割強と多く、「利用している」は３歳で６割、４歳以上では４人に３人弱の割合と多くなっている。

母親の就労状況別では、就労している人で「利用している」が 77.7%と多くなっている。

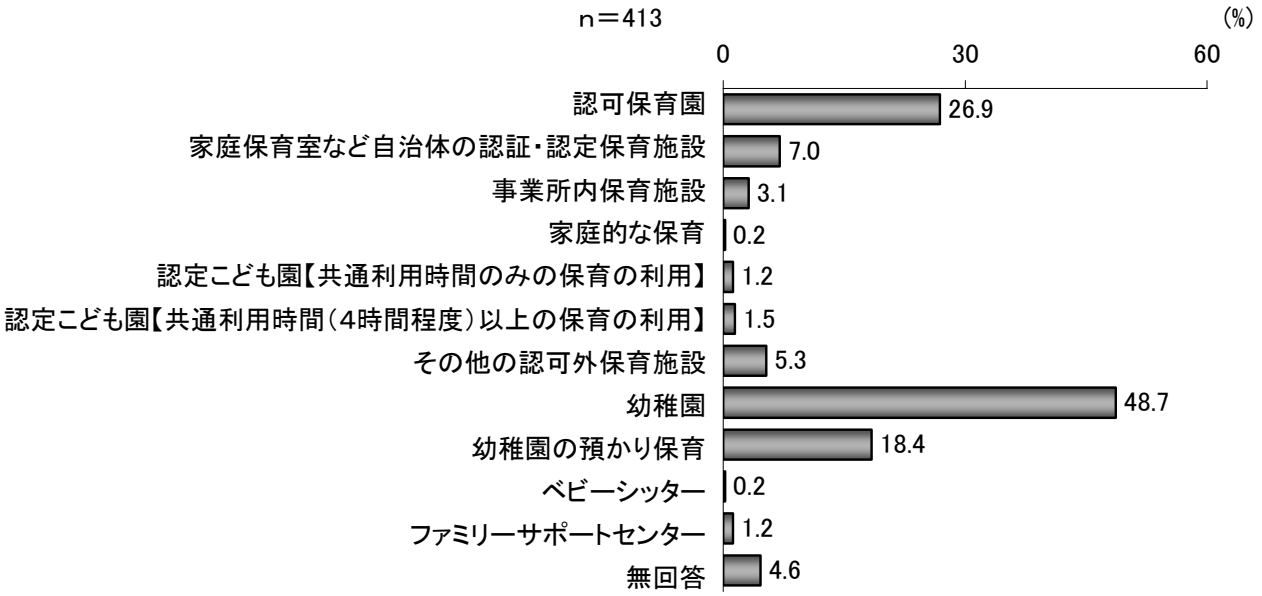
(%)

		n	利用している	利用していない	無回答
全体		869	47.5	49.8	2.6
年齢	1 歳未満	109	★ 9.2	☆ 88.1	2.8
	1 歳	142	★ 18.3	☆ 81.0	0.7
	2 歳	154	● 33.1	○ 63.6	3.2
	3 歳	148	○ 60.8	● 35.1	4.1
	4 歳	132	☆ 74.2	★ 22.7	3.0
	5 歳	182	☆ 74.7	★ 23.1	2.2
母親就労状況	就労している	301	☆ 77.7	★ 18.6	3.7
	就労していない	538	★ 30.1	☆ 68.2	1.7

（2）利用しているサービス

現在利用している保育サービスは、「幼稚園」（48.7%）が半数近くを占め、「認可保育園」（26.9%）は４人に１人強の割合となっている。

問 10-1　封筒のあて名のお子さんは、現在、どのような保育サービスを利用していますか。不定期に利用されるものも含めてお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

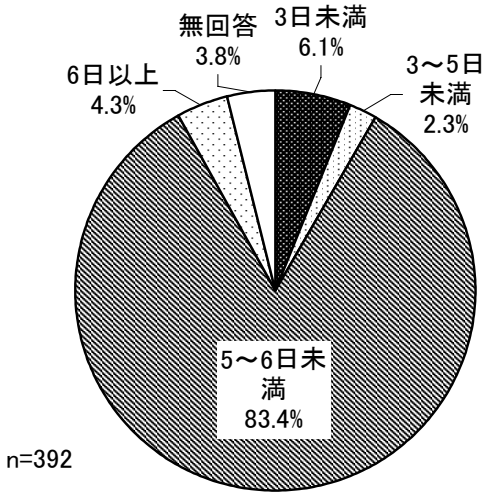


（3）サービスの利用日数と利用時間

保育サービスの利用日数は「５～６日未満」が 83.4%と多く、平均日数は週 4.8 日となっている。また、平均利用時間は１日あたり 6.8 時間となっており、利用時間帯は「９時台」から、利用終了時間は「14 時台」が多い。

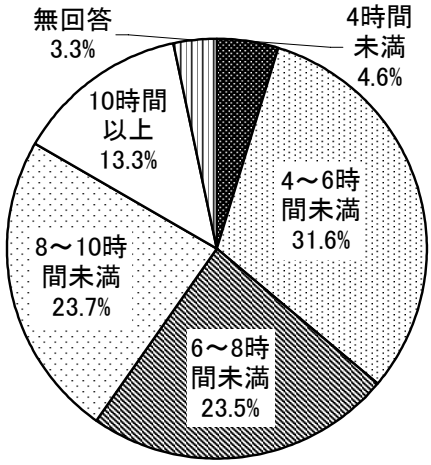
問 10-2　利用時間についてお伺いします。枠内に具体的な数字でお答えください。

【利用日数（週）】



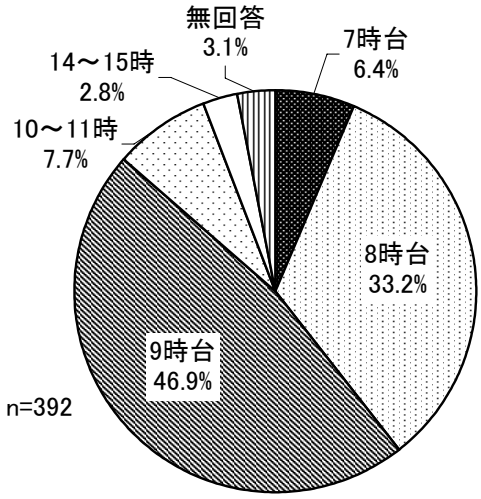
平均：4.8日

【利用時間（日）】

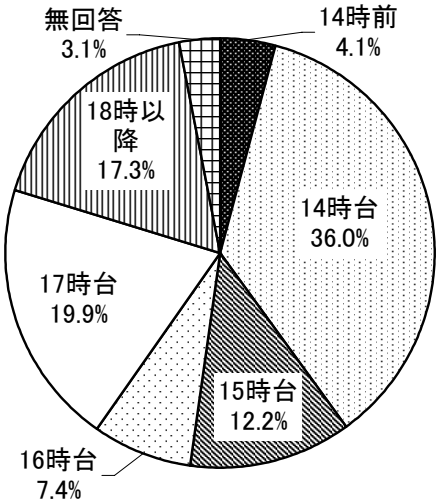


平均：6.8時間

【利用開始時間】



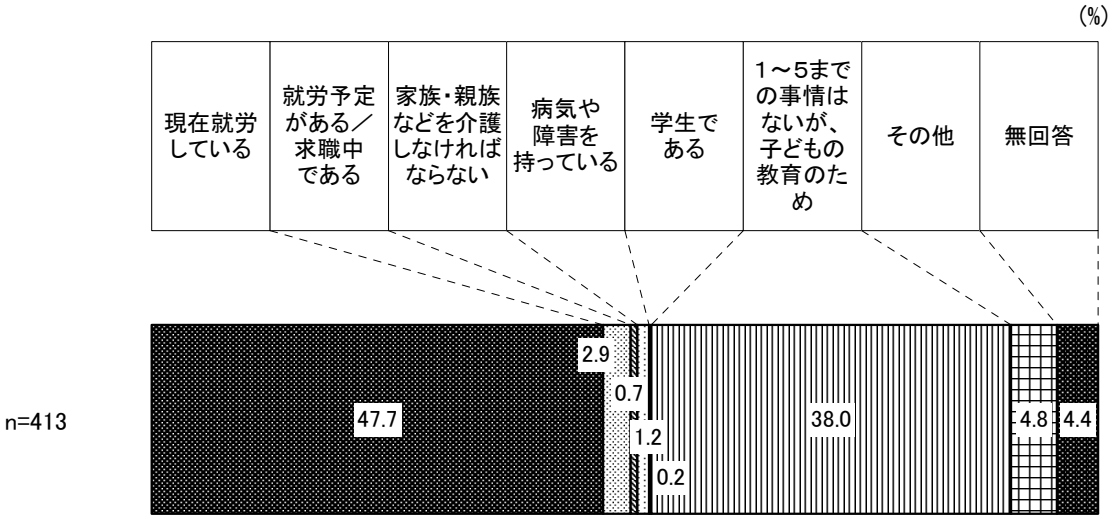
【利用終了時間】



（4）保育サービスを利用している理由

保育サービスを利用している理由としては、「現在就労している」（47.7%）と「子どもの教育のため」（38.0%）が多くなっている。

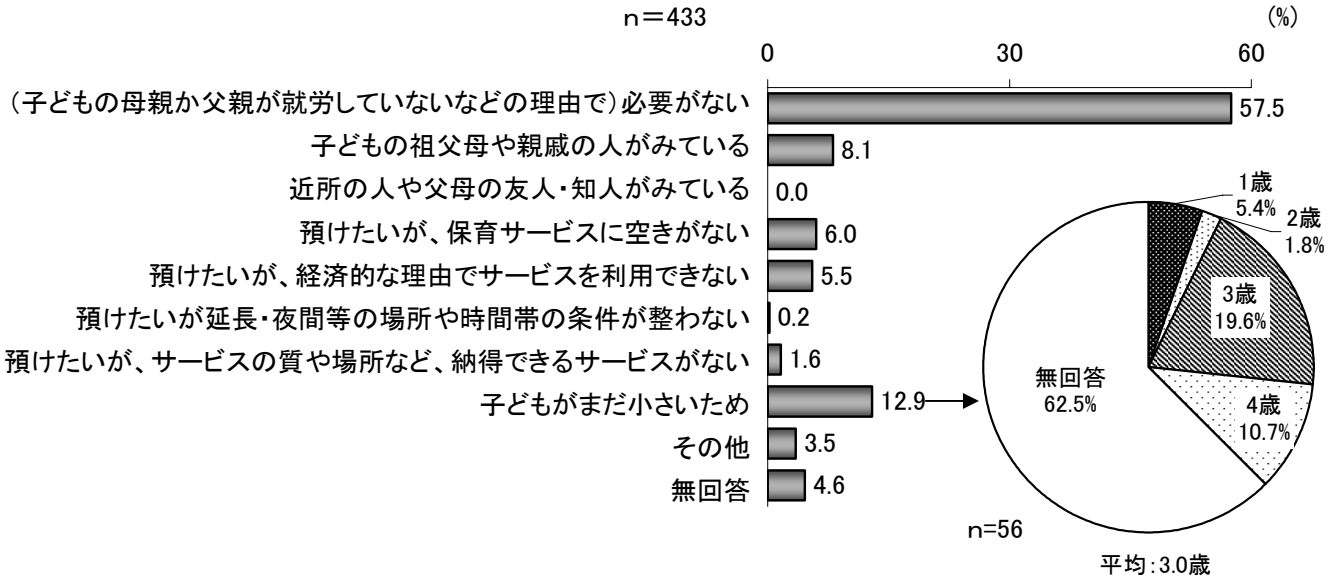
問 10-3　利用されている理由についてお伺いします。（主な理由１つに○）



（5）保育サービスを利用していない理由

保育サービスを利用していない理由は、「（子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）必要がない」（57.5%）とする人が６割近くと多い。「子どもがまだ小さいため」と回答した人の預けようと思っている年齢は、「３歳」が２割弱とやや多く、平均年齢も3.0歳となっている。

問 10-4　問 10 で「2．利用していない」を選ばれた方にお伺いします。
保育サービスを利用していない理由は何ですか。（主な理由１つに○）

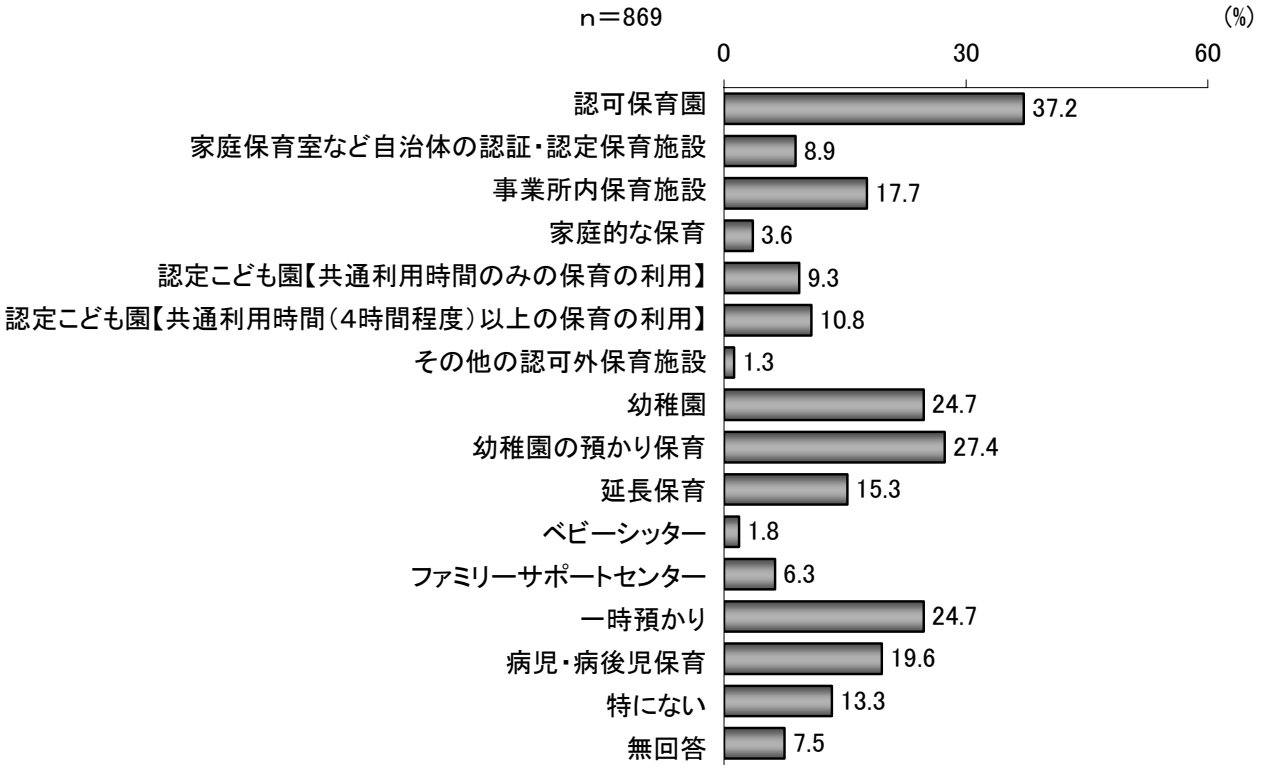


3-2. 利用希望

（1）今後利用したい、または不足していると思うサービス

今後利用したい、または不足していると思うサービスとしては、「認可保育園」（37.2%）が最も多い。ついで、「幼稚園の預かり保育」（27.4%）、「幼稚園」（24.7%）、「一時預かり」（24.7%）が25%前後で続いている。

問11　封筒のあて名のお子さんに関して、今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、（利用日数・回数や利用時間が）足りていないと思う保育サービスはどれですか。現在就労していないが、今後就労希望のある方は、就労した場合を想定してお答えください。
（あてはまる番号すべてに○）



≪年齢、母親就労状況別：今後利用したい、または不足していると思うサービス≫

年齢別でみると、１歳以下では「認可保育園」「一時預かり」「事業所内保育施設」をあげる人が多くなっている。

母親の就労状況別では、就労している人は「病児・病後児保育」、就労していない人は「幼稚園」をあげる人がやや多い。

(%)

		n	認可保育園	幼稚園の預かり保育	幼稚園	一時預かり	病児・病後児保育	事業所内保育施設
全体		869	37.2	27.4	24.7	24.7	19.6	17.7
年齢	1 歳未満	109	☆ 62.4	△ 33.0	28.4	△ 30.3	18.3	△ 27.5
	1 歳	142	☆ 60.6	28.2	○ 38.7	△ 30.3	14.8	△ 27.5
	2 歳	154	34.4	△ 33.1	△ 33.1	24.7	19.5	15.6
	3 歳	148	36.5	26.4	20.9	23.6	21.6	16.2
	4 歳	132	★ 17.4	29.5	▲ 16.7	▲ 19.7	22.0	▲ 11.4
	5 歳	182	★ 20.9	▲ 17.6	● 12.6	22.0	20.9	▲ 12.1
母親就労状況	就労している	301	37.5	▲ 19.6	● 11.6	22.6	△ 28.2	14.0
	就労していない	538	37.2	31.2	△ 32.0	26.6	14.9	20.3

		n	延長保育	認定こども園【共通利用時間（4時間程度）以上の保育の利用】	認定こども園【共通利用時間のみの保育の利用】	家庭保育室など自治体の認証・認定保育施設	特にない
全体		869	15.3	10.8	9.3	8.9	13.3
年齢	1 歳未満	109	20.2	△ 17.4	△ 17.4	△ 17.4	▲ 7.3
	1 歳	142	16.9	14.1	12.0	12.0	▲ 5.6
	2 歳	154	14.9	11.0	11.7	7.1	9.7
	3 歳	148	12.8	11.5	8.8	6.8	14.9
	4 歳	132	11.4	9.1	5.3	6.8	△ 22.7
	5 歳	182	16.5	▲ 4.9	▲ 3.8	5.5	18.1
母親就労状況	就労している	301	19.9	9.0	8.3	10.3	9.6
	就労していない	538	13.2	11.9	10.0	8.6	15.4

※上位 10 項目と「特にない」

（2）今後の利用希望

今後の利用希望について、サービスごとに利用希望日数、利用希望時間、希望開始時間、希望終了時間をまとめたものが以下の表である。「認可保育園」で「６日以上」希望する人は４人に１人の割合と多くなっている。

問 11-1　今後の利用希望についてお伺いします。１週間あたり何日、１日あたり何時間（何時から何時まで）保育サービス(延長保育なども含めます)を希望しますか。
（あてはまる番号すべてに○）

■利用希望日数(週)

		計	2日未満	2～3日未満	3～4日未満	4～5日未満	5～6日未満	6日以上	無回答	平均
希望するサービス	認可保育園	100.0	0.0	0.4	5.6	9.2	59.4	24.3	1.2	5.1
		251	0	1	14	23	149	61	3	
	家庭保育室など自治体の認証･認定保育施設	100.0	5.0	10.0	15.0	15.0	40.0	10.0	5.0	4.2
		20	1	2	3	3	8	2	1	
	事業所内保育施設	100.0	0.0	2.4	8.3	10.7	66.7	11.9	0.0	4.8
		84	0	2	7	9	56	10	0	
	家庭的な保育	100.0	0.0	10.0	30.0	20.0	30.0	10.0	0.0	4.1
		10	0	1	3	2	3	1	0	
	認定こども園【共通利用時間のみの保育の利用】	100.0	0.0	4.2	8.3	12.5	50.0	25.0	0.0	4.9
		24	0	1	2	3	12	6	0	
	認定こども園【共通利用時間以上の保育の利用】	100.0	0.0	2.7	5.4	8.1	73.0	10.8	0.0	4.9
		37	0	1	2	3	27	4	0	
	その他の認可外保育施設	100.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	4.8
		4	0	0	1	0	2	1	0	
	幼稚園	100.0	0.0	0.0	1.4	3.5	87.5	6.9	0.7	5.0
		144	0	0	2	5	126	10	1	
	幼稚園の預かり保育	100.0	6.1	5.4	19.0	6.1	52.4	8.2	2.7	4.2
		147	9	8	28	9	77	12	4	
	延長保育	100.0	2.1	8.3	10.4	0.0	56.3	22.9	0.0	4.7
		48	1	4	5	0	27	11	0	
	ベビーシッター	100.0	28.6	28.6	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1
		7	2	2	3	0	0	0	0	

（上段%、下段n）

■利用希望時間(日)

		計	3時間未満	3～5時間未満	5～7時間未満	7～10時間未満	10～12時間未満	12時間以上	無回答	平均
希望するサービス	認可保育園	100.0	0.4	3.2	11.2	42.6	27.5	12.0	3.2	9.0
		251	1	8	28	107	69	30	8	
	家庭保育室など自治体の認証･認定保育施設	100.0	0.0	5.0	20.0	60.0	5.0	10.0	0.0	8.0
		20	0	1	4	12	1	2	0	
	事業所内保育施設	100.0	0.0	2.4	11.9	59.5	21.4	3.6	1.2	8.6
		84	0	2	10	50	18	3	1	
	家庭的な保育	100.0	0.0	0.0	50.0	30.0	20.0	0.0	0.0	7.3
		10	0	0	5	3	2	0	0	
	認定こども園【共通利用時間のみの保育の利用】	100.0	0.0	8.3	41.7	37.5	8.3	4.2	0.0	7.1
		24	0	2	10	9	2	1	0	
	認定こども園【共通利用時間以上の保育の利用】	100.0	0.0	8.1	18.9	48.6	10.8	10.8	2.7	8.0
		37	0	3	7	18	4	4	1	
	その他の認可外保育施設	100.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	11.7
		4	0	0	1	0	1	1	1	
	幼稚園	100.0	0.0	6.9	55.6	29.2	4.9	0.7	2.8	6.3
		144	0	10	80	42	7	1	4	
	幼稚園の預かり保育	100.0	15.6	36.1	6.1	25.9	10.9	2.0	3.4	5.5
		147	23	53	9	38	16	3	5	
	延長保育	100.0	20.8	20.8	2.1	20.8	14.6	20.8	0.0	7.2
		48	10	10	1	10	7	10	0	
	ベビーシッター	100.0	42.9	14.3	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0	4.4
		7	3	1	1	2	0	0	0	

（上段%、下段n）

■希望開始時間

		計	8時より前	8時台	9時台	10時台	11～14時より前	14時台	15時以降	無回答
希望するサービス	認可保育園	100.0	15.1	36.3	42.2	2.8	0.8	0.8	0.4	1.6
		251	38	91	106	7	2	2	1	4
	家庭保育室など自治体の認証・認定保育施設	100.0	10.0	15.0	70.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20	2	3	14	1	0	0	0	0
	事業所内保育施設	100.0	2.4	34.5	53.6	7.1	1.2	0.0	1.2	0.0
		84	2	29	45	6	1	0	1	0
	家庭的な保育	100.0	0.0	30.0	50.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
		10	0	3	5	0	0	2	0	0
	認定こども園【共通利用時間のみの保育の利用】	100.0	4.2	29.2	50.0	4.2	4.2	4.2	4.2	0.0
		24	1	7	12	1	1	1	1	0
	認定こども園【共通利用時間以上の保育の利用】	100.0	8.1	35.1	37.8	13.5	0.0	2.7	0.0	2.7
		37	3	13	14	5	0	1	0	1
	その他の認可外保育施設	100.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0
		4	1	1	0	0	0	0	1	1
	幼稚園	100.0	2.1	20.8	68.8	4.9	0.0	0.7	0.0	2.8
		144	3	30	99	7	0	1	0	4
	幼稚園の預かり保育	100.0	6.1	11.6	27.2	2.7	1.4	38.1	10.9	2.0
		147	9	17	40	4	2	56	16	3
	延長保育	100.0	27.1	12.5	22.9	0.0	0.0	10.4	27.1	0.0
		48	13	6	11	0	0	5	13	0
	ベビーシッター	100.0	0.0	0.0	57.1	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0
		7	0	0	4	0	0	0	3	0

（上段%、下段n）

■希望終了時間

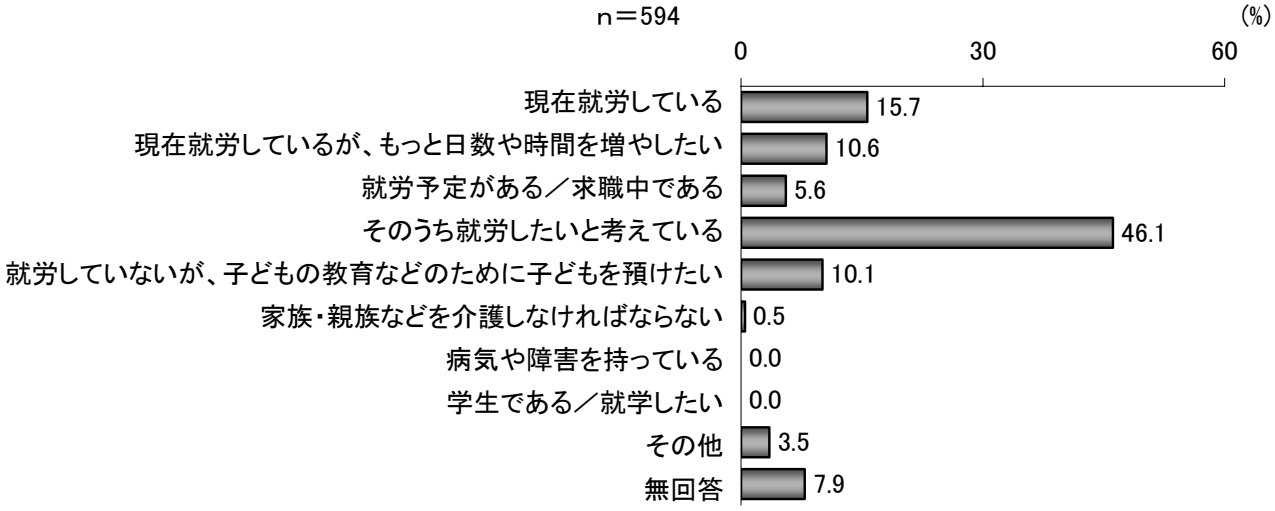
		計	14時より前	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時以降	無回答
希望するサービス	認可保育園	100.0	2.4	4.4	7.6	6.8	21.9	36.7	19.1	1.2
		251	6	11	19	17	55	92	48	3
	家庭保育室など自治体の認証・認定保育施設	100.0	10.0	5.0	5.0	10.0	30.0	25.0	15.0	0.0
		20	2	1	1	2	6	5	3	0
	事業所内保育施設	100.0	1.2	2.4	8.3	7.1	31.0	42.9	7.1	0.0
		84	1	2	7	6	26	36	6	0
	家庭的な保育	100.0	0.0	10.0	30.0	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0
		10	0	1	3	0	0	4	2	0
	認定こども園【共通利用時間のみの保育の利用】	100.0	12.5	25.0	12.5	8.3	16.7	20.8	4.2	0.0
		24	3	6	3	2	4	5	1	0
	認定こども園【共通利用時間以上の保育の利用】	100.0	2.7	8.1	8.1	18.9	27.0	16.2	16.2	2.7
		37	1	3	3	7	10	6	6	1
	その他の認可外保育施設	100.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0
		4	1	0	0	0	0	2	0	1
	幼稚園	100.0	5.6	36.8	27.8	10.4	8.3	6.9	1.4	2.8
		144	8	53	40	15	12	10	2	4
	幼稚園の預かり保育	100.0	3.4	0.7	2.0	19.0	25.9	36.1	11.6	1.4
		147	5	1	3	28	38	53	17	2
	延長保育	100.0	8.3	0.0	0.0	2.1	6.3	27.1	56.3	0.0
		48	4	0	0	1	3	13	27	0
	ベビーシッター	100.0	14.3	14.3	0.0	14.3	14.3	28.6	14.3	0.0
		7	1	1	0	1	1	2	1	0

（上段%、下段n）

（３）サービスを利用したい理由

サービスを利用したい理由としては、「そのうち就労したいと考えている」（46.1%）とする人が半数近くを占めている。

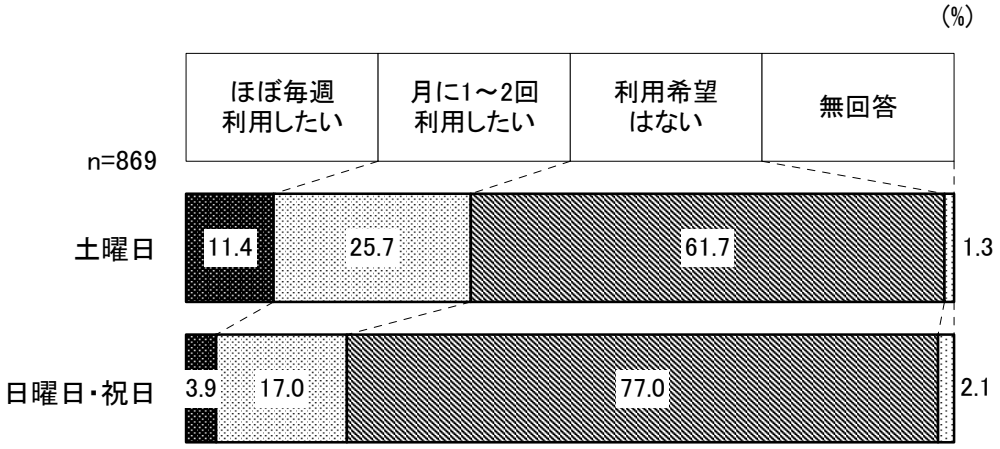
問 11-2　サービスを利用したいと考えている理由はどのようなことですか。
（もっともあてはまる番号１つに○）



3-3. 土曜日・休日の保育の希望

休日の保育希望としては、「ほぼ毎週利用したい」との回答は土曜日 11.4%、日曜日・祝日で 3.9%となっている。「月に１～２回利用したい」を合わせた“利用したい”との回答は、土曜日 37.1%、日曜日・祝日 20.9%となっている。

問 12　封筒のあて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、保育サービスなど（一時的な利用は除きます）の利用希望がありますか。（それぞれ１つに○）



≪母親就労状況別：土曜日・休日の保育の希望≫

母親の就労状況別でみると、就労している人で“利用したい”との回答は土曜日 55.5%、日曜日 30.6%となっている。就労していない人は「利用希望はない」との回答が７～８割と多くなっているが、土曜日に“利用したい”とする人が４人に１人みられる。

【土曜日】　(%)

		n	ほぼ毎週利用したい	月に1～2回利用したい	利用希望はない	無回答
全体		869	11.4	25.7	61.7	1.3
母親就労状況	就労している	301	△ 20.3	△ 35.2	★ 43.9	0.7
	就労していない	538	6.7	▲ 19.9	○ 72.3	1.1

【日曜日・祝日】　(%)

		n	ほぼ毎週利用したい	月に1～2回利用したい	利用希望はない	無回答
全体		869	3.9	17.0	77.0	2.1
母親就労状況	就労している	301	7.0	△ 23.6	▲ 67.4	2.0
	就労していない	538	2.0	13.0	△ 83.3	1.7

4．病児・病後児保育について

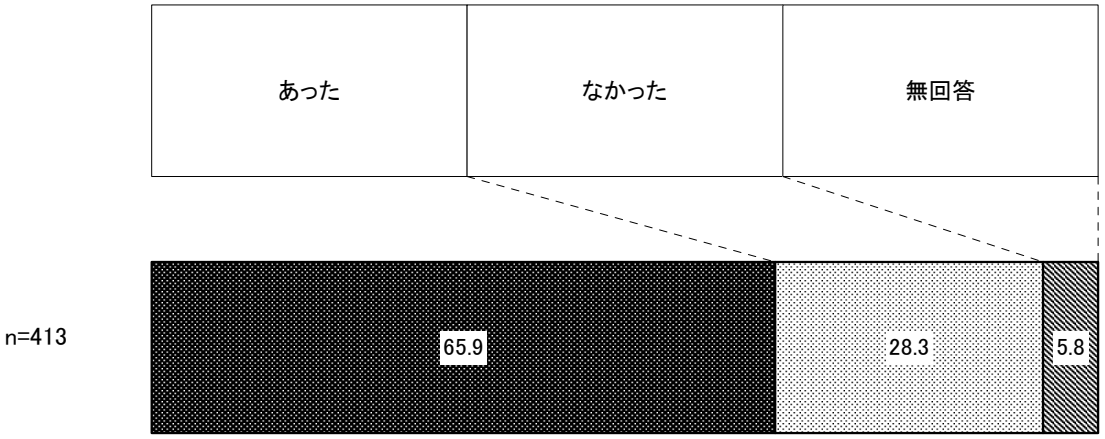
4-1．過去１年間に保育サービスを利用できなかったこと

（1）利用できなかったことの有無

過去１年間に保育サービスを利用できなかったことが「あった」とする人は 65.9％と３人に２人弱の割合となっている。

問 13　保育サービスを利用している保護者の方にお伺いします。この１年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の保育サービスが利用できなかったことはありますか。

(%)



≪年齢別：利用できなかったことの有無≫

年齢別にみると、「あった」は１歳未満や２歳で８割前後と多いが、５歳は 57.4％とやや少なくなっている。

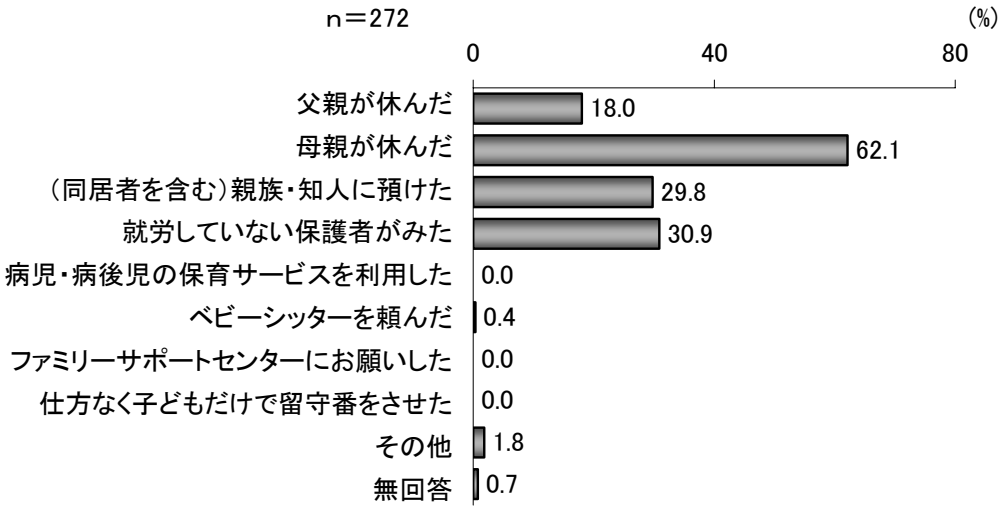
(%)

		n	あった	なかった	無回答
全体		413	65.9	28.3	5.8
年齢	1 歳未満	10	○ 80.0	▲ 20.0	0.0
	1 歳	26	65.4	30.8	3.8
	2 歳	51	○ 78.4	● 17.6	3.9
	3 歳	90	68.9	24.4	6.7
	4 歳	98	67.3	30.6	2.0
	5 歳	136	▲ 57.4	33.1	9.6

（2）対処方法

保育サービスが利用できなかった際の対処方法としては、「母親が休んだ」（62.1%）が６割強と多い。ついで、「就労していない保護者がみた」（30.9%）、「（同居者を含む）親族・知人に預けた」（29.8%）が３割前後となっている。

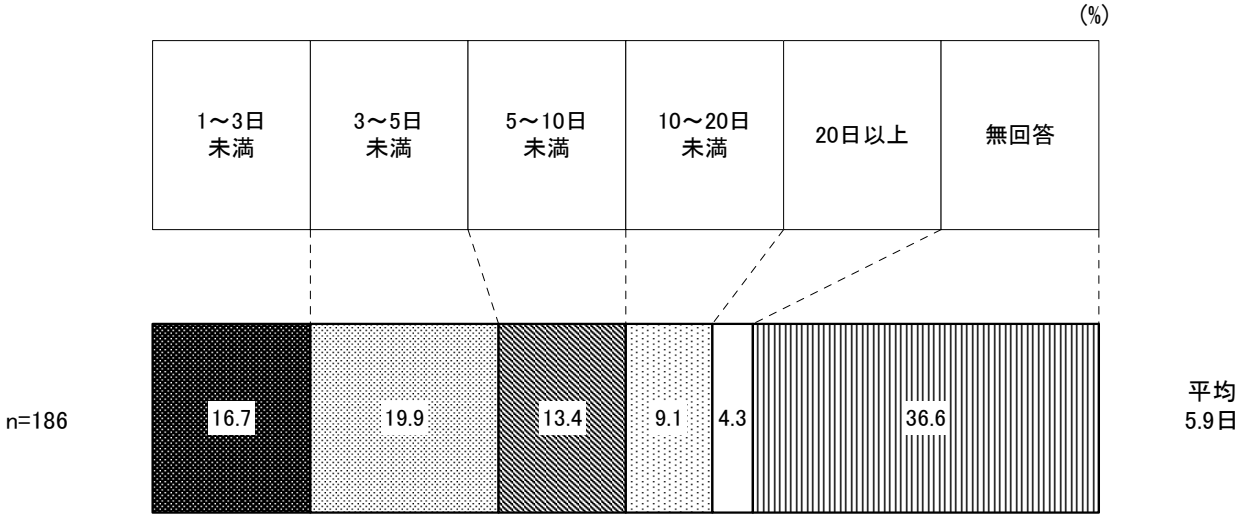
問 13-1　この１年間の対処方法についてお伺いします。（あてはまる番号すべてに○）



（3）施設等に預けたいと思った日数

対処方法として、「父親が休んだ」「母親が休んだ」「（同居者を含む）親族・知人に預けた」と回答した人に、できれば施設等に預けたいと思った日数を聞いたところ、希望があったのは 63.4%であり、平均日数は 5.9 日となっている。

問 13-2　その際、できれば施設等に預けたいと思われた日数はどれくらいありますか。



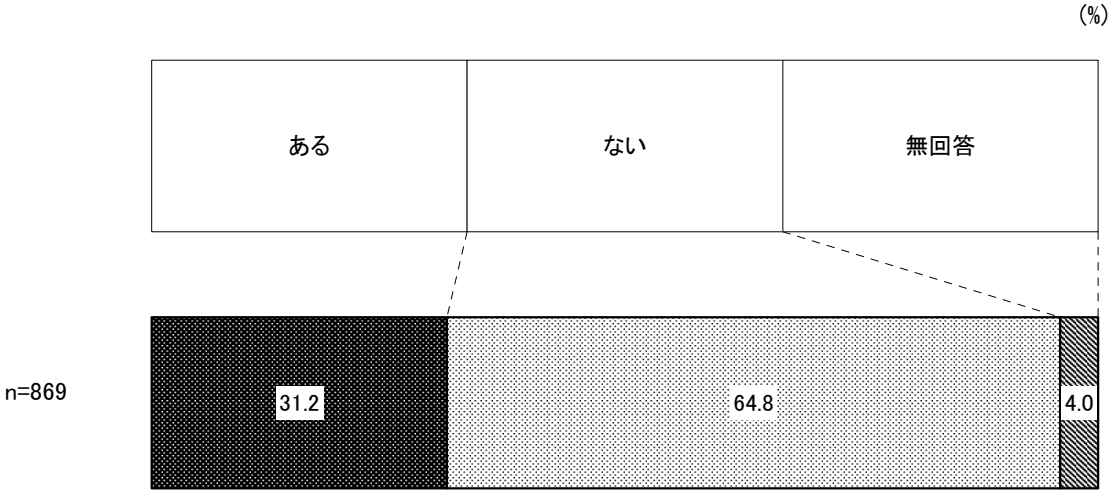
５．一時預かりについて

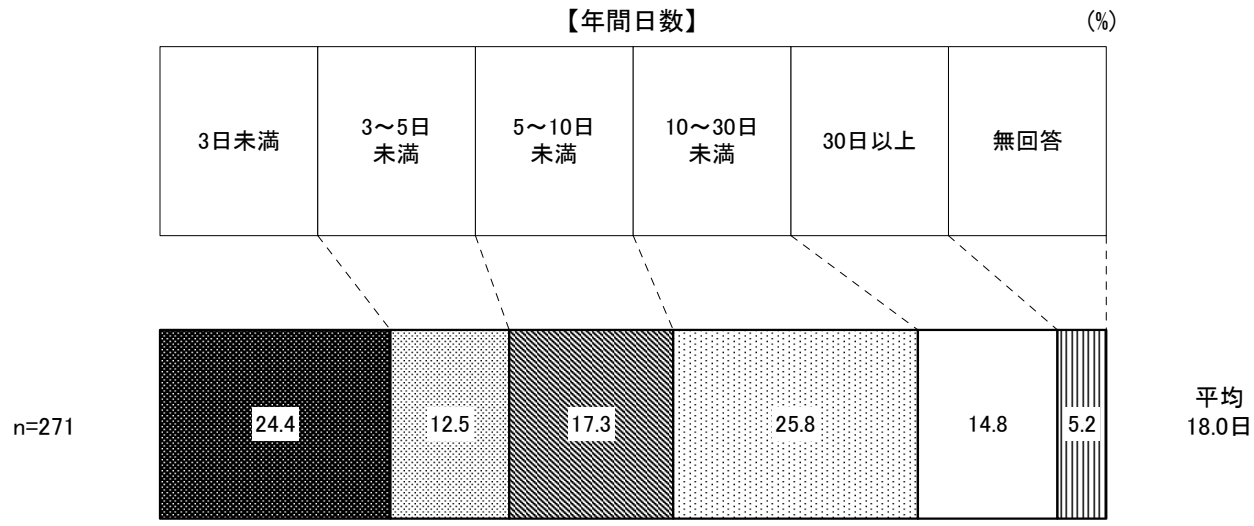
5-1. 過去１年間に家族以外に一時的に預けたこと

（1）預けたことと年間日数

過去１年間に家族以外に一時的に子どもを預けたことが「ある」（31.2%）との回答は３割強であり、日数は年間「３日未満」（24.4%）と「10～30 日未満」（25.8%）が 25%前後と多く、平均日数は 18.0 日となっている。

問 14　この１年間で、私用（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。（半日程度についても１日としてカウントしてください。）



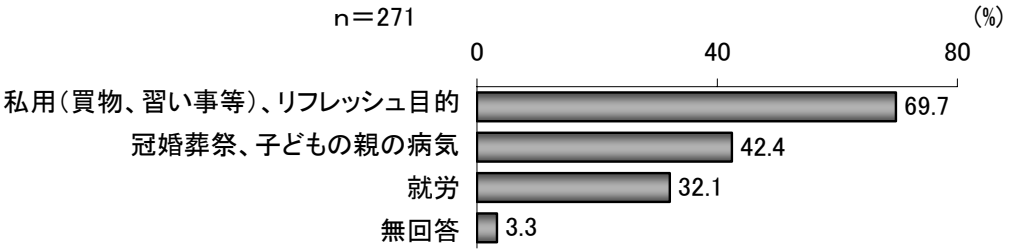


（2）預けた理由と日数

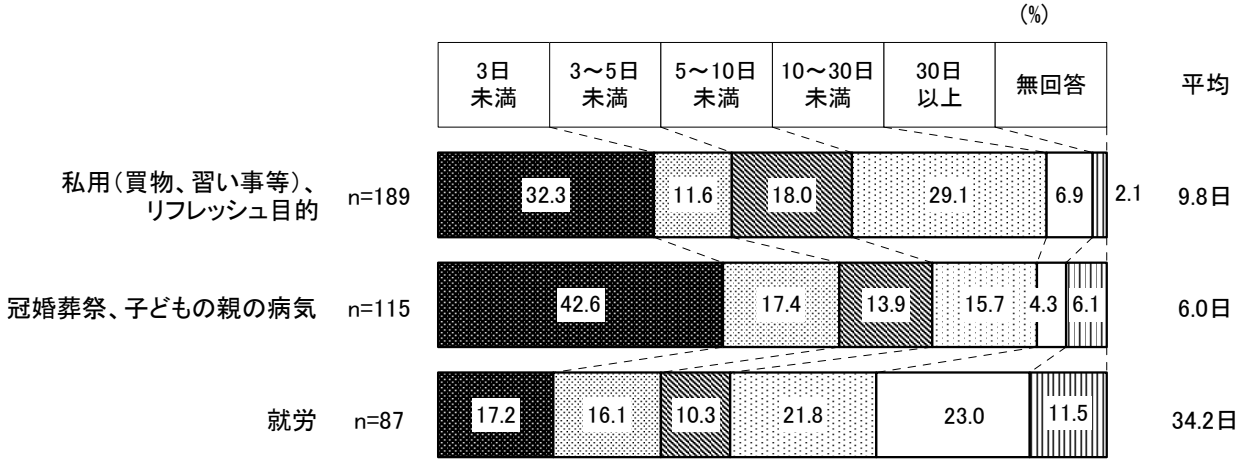
過去１年間に家族以外に一時的に子どもを預けたことがある人の理由は、「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」（69.7%）が７割と多い。「冠婚葬祭、子どもの親の病気」（42.4%）は４割強、「就労」（32.1%）は３割強となっている。

また、理由別の預けた平均日数は、「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」9.8日、「冠婚葬祭、子どもの親の病気」6.0日、「就労」34.2日となっている。

【預けた理由】



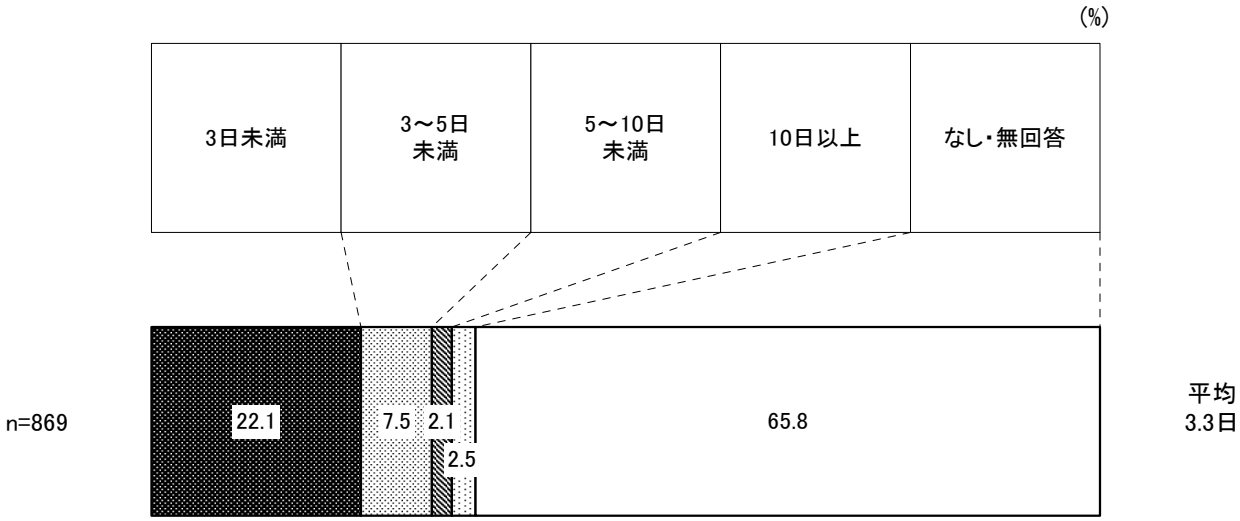
【理由別日数】



5-2. 今後利用したい、増やしたいと思う日数

今後利用したい、増やしたいと思う日数として希望があったのは 34.2%と３人に１人強の割合となっており、平均日数は 3.3 日となっている。

問 15　今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いますか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。



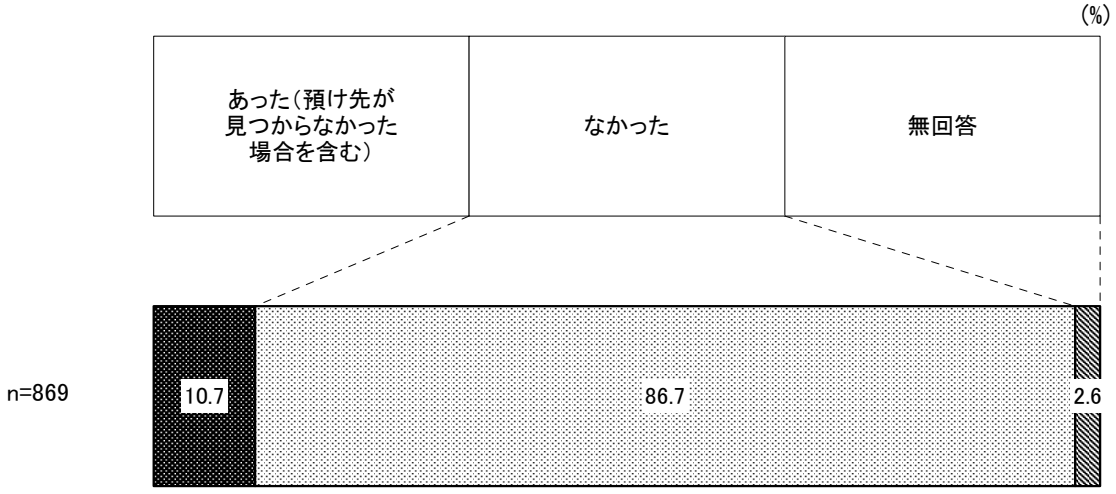
６．宿泊を伴う一時預かりについて

6-1. 過去１年間に泊まりがけで家族以外に預けなければならなかったこと

（1）預けなければならなかったことの有無

過去１年間に泊まりがけで家族以外に子どもを預けなければならなかったことが「あった（預け先が見つからなかった場合を含む)」とする人は 10.7%となっている。

問 16　この１年間に、保護者の用事などにより、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。

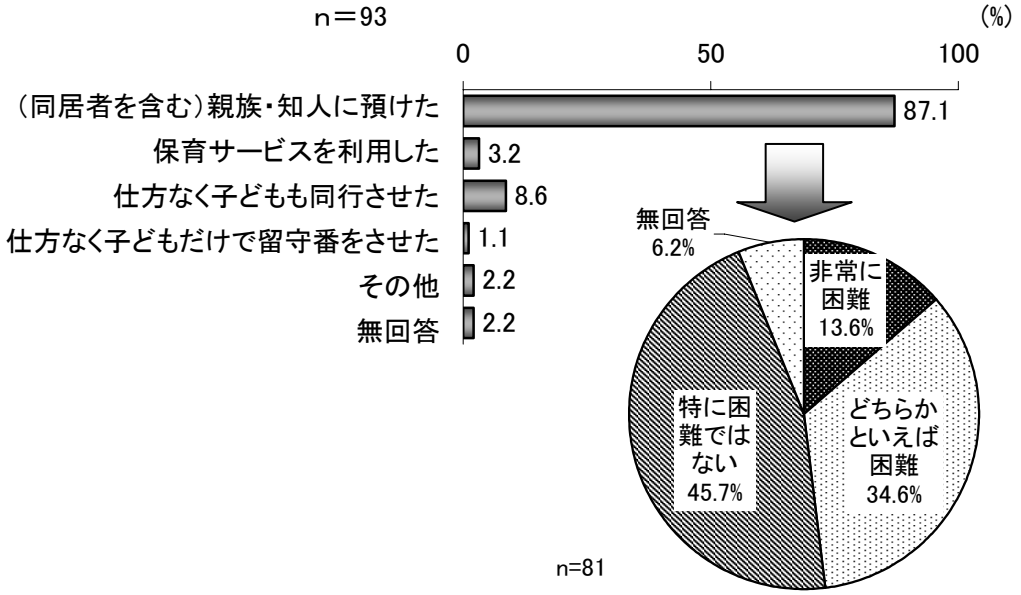


（2）対処方法と困難度

対処方法としては、「（同居者を含む）親族・知人に預けた」（87.1%）が大多数を占めており、その際の困難度としては、「特に困難ではない」（45.7%）が半数近くを占めているが、３人に１人強が「どちらかといえば困難」（34.6%）としている。

対処方法ごとの預けた泊数は以下の表の通りである。

問 16-1　この１年間の対処方法（親族・知人に預けた場合は泊数と困難度をお答えください。）についてお伺いします。（あてはまる番号すべてに○）



■（同居者を含む）親族・知人に預けた泊数（年間）

	計	3 泊未満	3～5 泊未満	5～10 泊未満	10～30 泊未満	30 泊以上	無回答	平均
%	100.0	54.3	14.8	19.8	6.2	3.7	1.2	5.8
n	81	44	12	16	5	3	1	

■保育サービスを利用した泊数（年間）

	計	1 泊	平均
%	100.0	100.0	1.0
n	3	3	

■仕方なく子どもも同行させた泊数（年間）

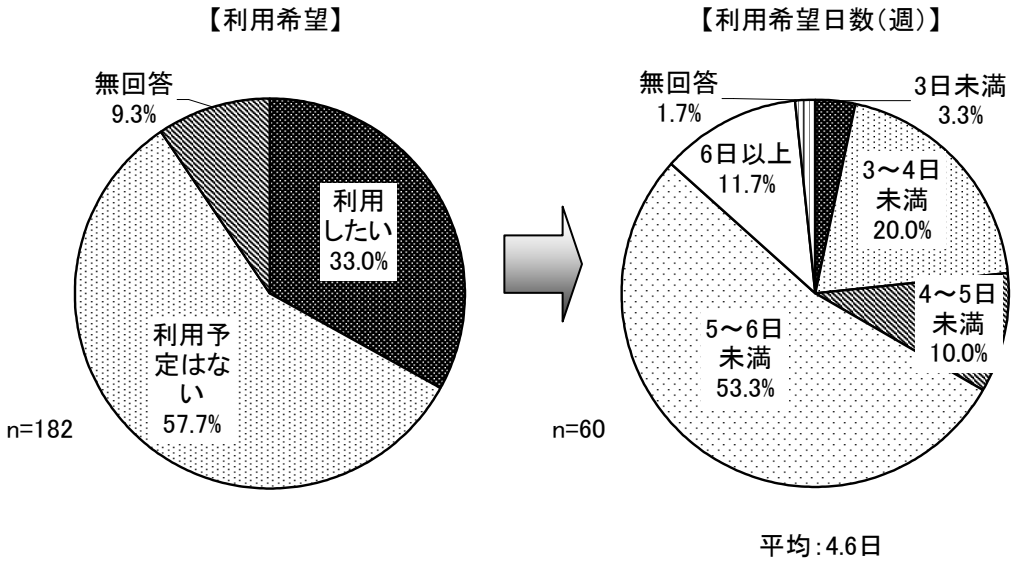
	計	1 泊	2 泊	3 泊	4 泊	7 泊	無回答	平均
%	100.0	25.0	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5	2.9
n	8	2	2	1	1	1	1	

7．学童保育室の利用希望について

7-1．小学校入学以降の学童保育室の利用希望

小学校入学以降に学童保育室を「利用したい」（33.0%）と回答した人は約３人に１人の割合となっており、利用希望日数は「５～６日未満」（53.3%）が半数強を占め、平均日数は週 4.6 日となっている。

問 17　あて名のお子さんについて、小学校入学以降の放課後の過ごし方について、学童保育室を利用したいと思いますか。



≪母親就労状況別：小学校入学以降の学童保育室の利用希望≫

母親の就労状況別にみると、就労している人で「利用したい」との回答が６割弱と多くなっている。

(%)

		n	利用したい	利用予定はない	無回答
全体		182	33.0	57.7	9.3
母親就労状況	就労している	78	☆ 59.0	★ 30.8	10.3
	就労していない	96	★ 13.5	☆ 79.2	7.3

8．ベビーシッターの利用について

8-1．ベビーシッターの利用目的と利用頻度

（1）利用目的

回答があったのは４人であり、利用目的は以下の表の通りである。

問 18　どのような目的で利用していますか。（あてはまる番号すべてに○）

	計	主たる保育サービスとして利用している	保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している（朝・夕等）	子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している	祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している	親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している	その他の目的で利用している
%	100.0	25.0	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0
n	4	1	2	0	1	1	0

※回答者ベースで集計

（2）利用頻度

利用日数（月）と利用時間（回）は以下の表の通りである。

問 18-1　どれくらいの頻度で利用していますか。枠内に数字をご記入ください。

■利用日数（月）

	計	2 日	16 日
%	100.0	50.0	50.0
n	2	1	1

■利用時間（回）

	計	1.5 時間	2 時間	4 時間
%	100.0	14.3	57.1	28.6
n	7	1	4	2

※回答者ベースで集計

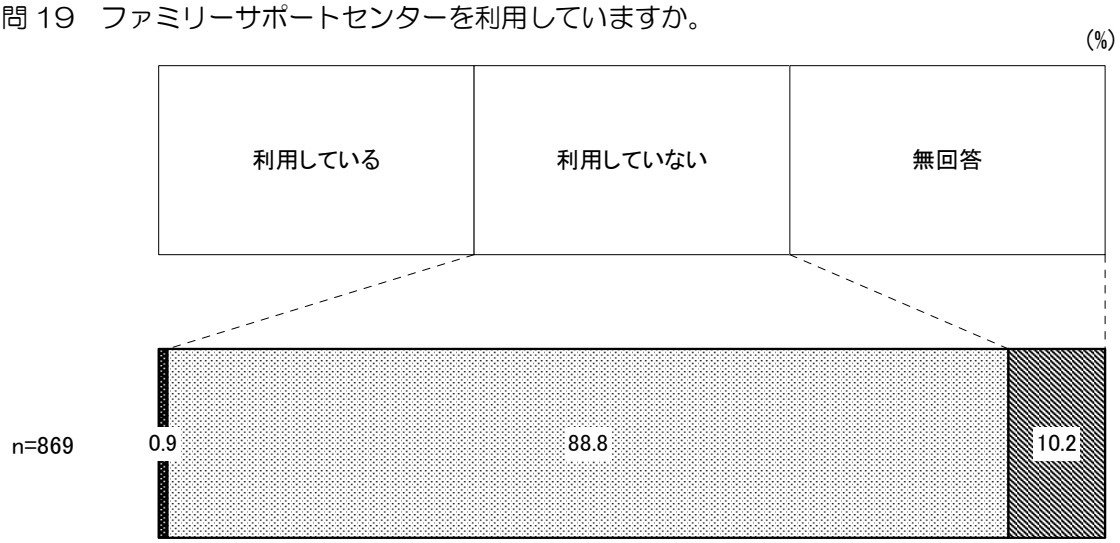
９．ファミリーサポートセンターの利用について

9-1．ファミリーサポートセンターの利用について

（1）利用状況

ファミリーサポートセンターを「利用している」のは 0.9%となっている。

問 19　ファミリーサポートセンターを利用していますか。



（2）利用目的

ファミリーサポートセンターの利用目的は、以下の表の通りである。

問 19-1　どのような目的で利用していますか。（あてはまる番号すべてに○）

	計	主たる保育サービスとして利用している	保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している（朝・夕等）	子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している	祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している	親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している	保育施設等の送り迎えに利用している	その他の目的で利用している
%	100.0	12.5	25.0	0.0	0.0	25.0	12.5	25.0
n	8	1	2	0	0	2	1	2

（3）利用頻度

ファミリーサポートセンターの利用日数は月に「１日」が３人、「４日」が１人、「20日」が１人となっており、平均日数は月 5.4 日となっている。また、１回あたりの利用時間は「0.5 時間」から「３時間」であり、平均時間は 1.6 時間となっている。

問 19-2　どれくらいの頻度で利用していらっしゃいますか。枠内に数字をご記入ください。

■利用日数（月）

	計	1 日	4 日	20 日	無回答	平均
%	100.0	37.5	12.5	12.5	37.5	5.4
n	8	3	1	1	3	

■利用時間（回）

	計	0.5 時間	1 時間	1.5 時間	2 時間	3 時間	無回答	平均
%	100.0	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	37.5	1.6
n	8	1	1	1	1	1	3	

（4）利用時間を増やしたい希望

ファミリーサポートセンターを利用している人で利用時間を増やしたいと回答があったのは３人であり、それぞれ「２時間」「５時間」となっている。

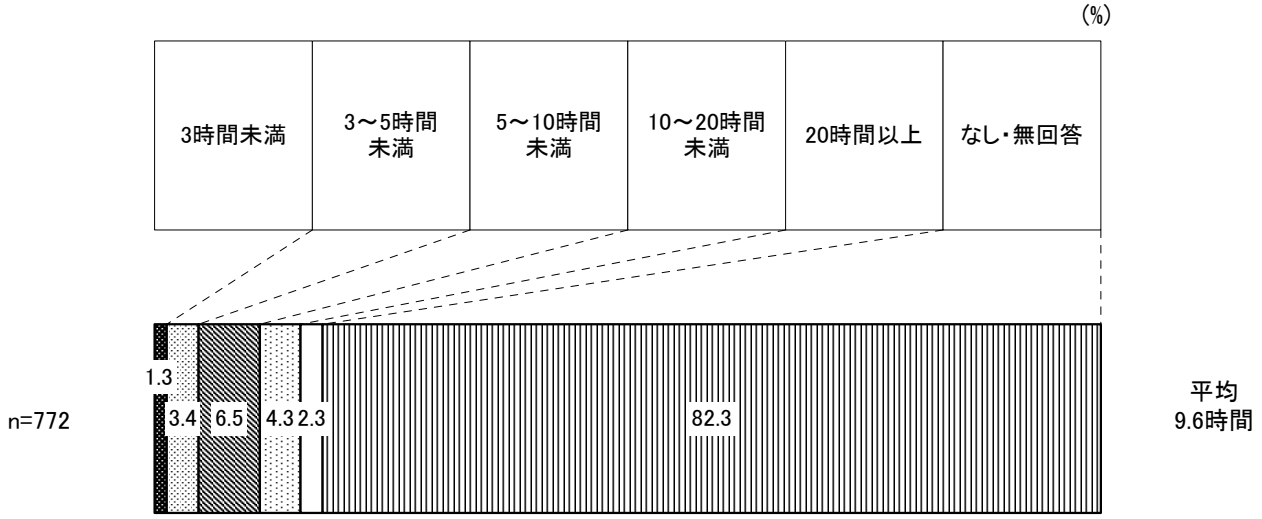
問 19-3　利用時間を増やしたいと思いますか。

	計	2 時間	5 時間	無回答	平均
%	100.0	25.0	12.5	62.5	3.0
n	8	2	1	5	

（5）利用していない人の利用希望

利用していない人で今後利用希望があるのは 17.8%であり、平均利用希望時間は月 9.6 時間となっている。

問 19-4　問１９で「2．利用していない」を選ばれた方にお伺いします。
今は利用していないが、できれば利用したい方は、枠内に数字をご記入ください。



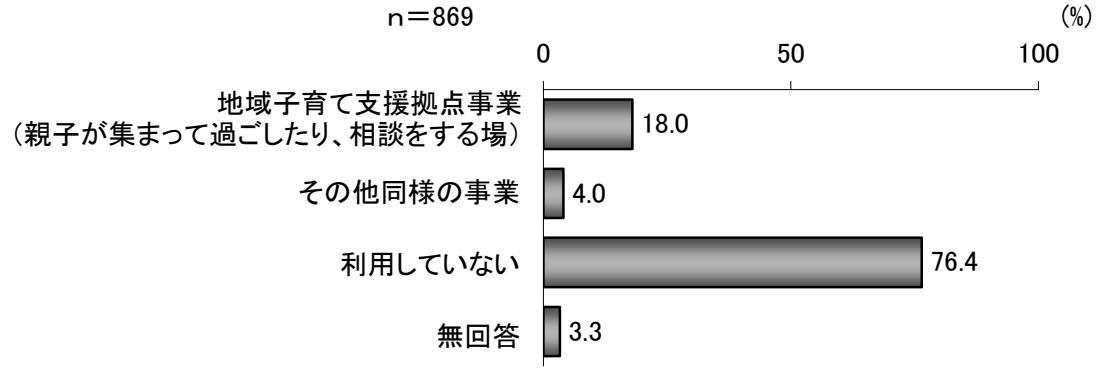
１０．地域子育て支援拠点事業について

10-1．利用状況

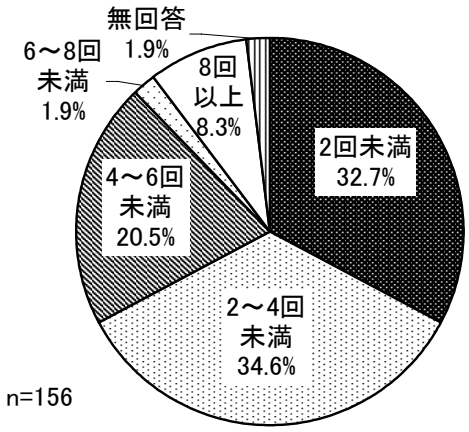
「地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場)」を利用しているのは 18.0%、「その他同様の事業」を利用しているのは 4.0%となっており、４人に３人強は「利用していない」としている。

地域子育て支援拠点事業の利用回数は、「２回未満」（32.7%）や「２～４回未満」（34.6%）が３人に１人前後の割合と多く、平均回数は月 3.2 回となっている。その他同様の事業の利用回数は「２～４回未満」（37.1%）がやや多く、平均回数は月 3.7 回となっている。

問 20　封筒のあて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、つどいの広場、子育て支援センター等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。

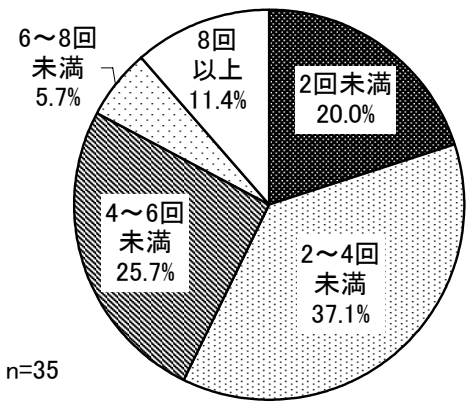


【地域子育て支援拠点事業の利用回数】



平均：3.2回

【その他同様の事業の利用回数】



平均：3.7回

≪年齢、母親就労状況、保育サービス利用状況別：利用状況≫

年齢別でみると、１歳以下では「地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）」を利用している人が３割台と多いが、３歳以上では１割を切り、「利用していない」人が９割前後と多い。

母親の就労状況別では、就労していない人の４人に１人が「地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）」を利用しているが、就労している人は「利用していない」との回答が９割弱と多い。

保育サービスを利用している人は「利用していない」との回答が９割強と多数を占めているが、保育サービスを利用していない人の３人に１弱は「地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）」を利用している。

(%)

		n	地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）	その他同様の事業	利用していない	無回答
全体		869	18.0	4.0	76.4	3.3
年齢	1 歳未満	109	☆ 38.5	6.4	★ 54.1	4.6
	1 歳	142	☆ 33.1	4.9	★ 60.6	4.2
	2 歳	154	○ 29.9	△ 10.4	★ 59.1	4.5
	3 歳	148	▲ 8.8	2.0	○ 88.5	1.4
	4 歳	132	★ 2.3	0.8	☆ 94.7	2.3
	5 歳	182	★ 2.7	0.5	☆ 93.4	3.3
母親就労状況	就労している	301	● 6.3	1.0	○ 88.7	4.0
	就労していない	538	△ 24.9	5.8	▲ 69.1	3.0
保育サービス	利用している	413	● 3.9	1.7	☆ 92.3	2.4
	利用していない	433	○ 31.6	6.2	★ 61.4	3.9

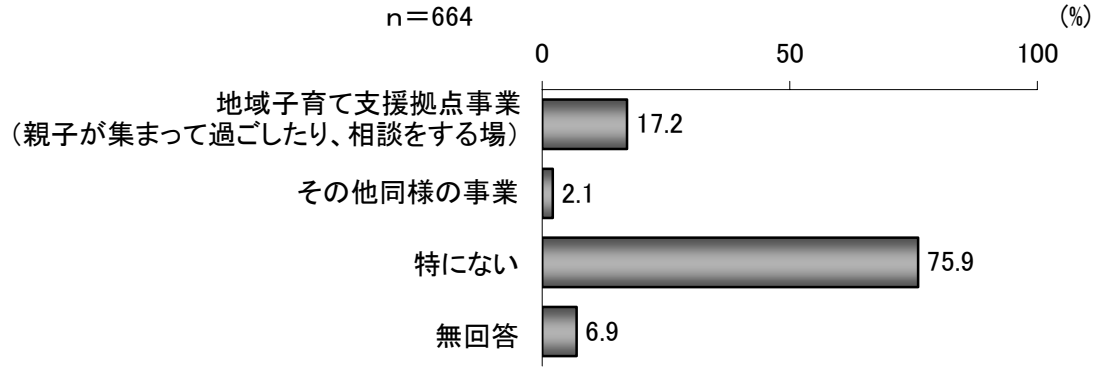
10-2. 今後の利用希望と利用していない理由

（1）利用希望

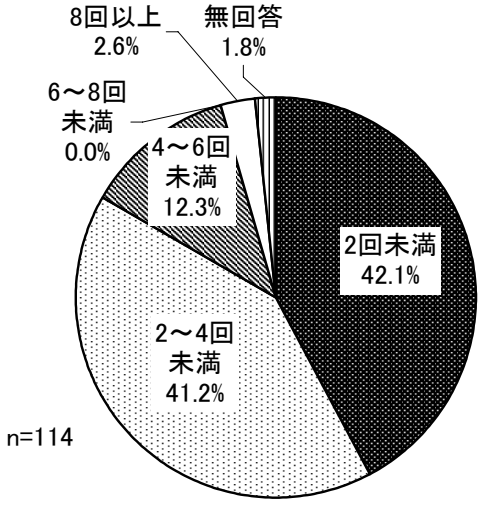
現在利用していない人で、「地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場)」を利用したいとの回答は 17.2%、「その他同様の事業」を利用したいとの回答は 2.1%であり、４人に３人は「特にない」としている。

地域子育て支援拠点事業の利用希望回数は、「２回未満」（42.1%）や「２～４回未満」（41.2%）が４割強と多く、平均希望回数は月 2.1 回となっている。その他同様の事業の利用希望回数は「１回」（42.9%）がやや多く、平均希望回数は月 2.1 回となっている。

問 21　今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。
希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

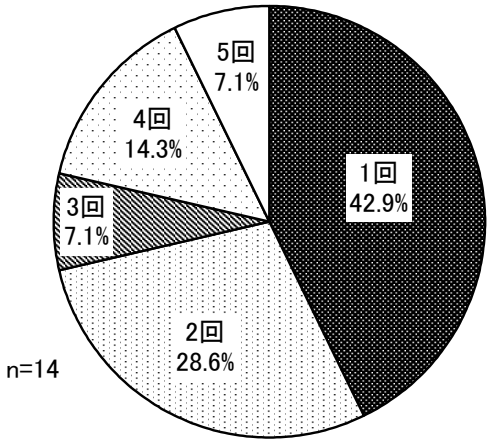


【地域子育て支援拠点事業の利用希望回数】



平均:2.1回

【その他同様の事業の利用希望回数】

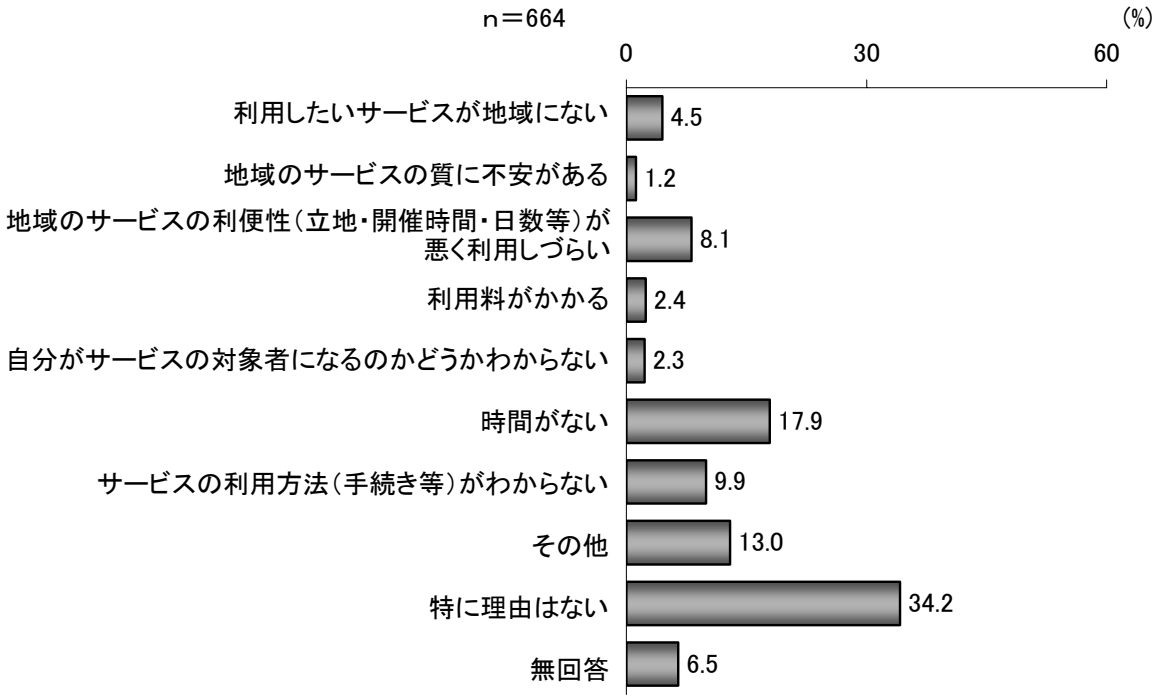


平均:2.1回

（2）利用していない理由

利用していない理由をみると、「特に理由はない」とする人が３人に１人強の割合と多い。「時間がない」は 17.9%、「サービスの利用方法（手続き等）がわからない」は 9.9%、「地域のサービスの利便性（立地・開催時間・日数等）が悪く利用しづらい」は 8.1%となっている。

問 21-1　現在利用していない理由はどのようなことですか。（もっともあてはまる番号１つに○）



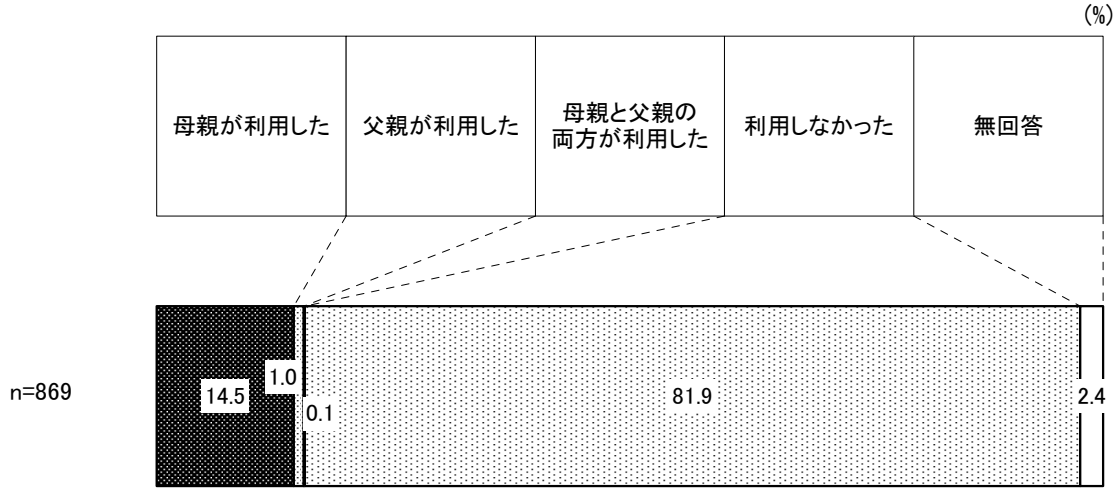
１１．育児休業制度の利用について

11-1. 育児休業制度の利用について

（1）利用状況

育児休業制度を「母親が利用した」のは 14.5%、「父親が利用した」は 1.0%、「母親と父親の両方が利用した」は 0.1%となっており、“利用した”人は 15.6%となっている。

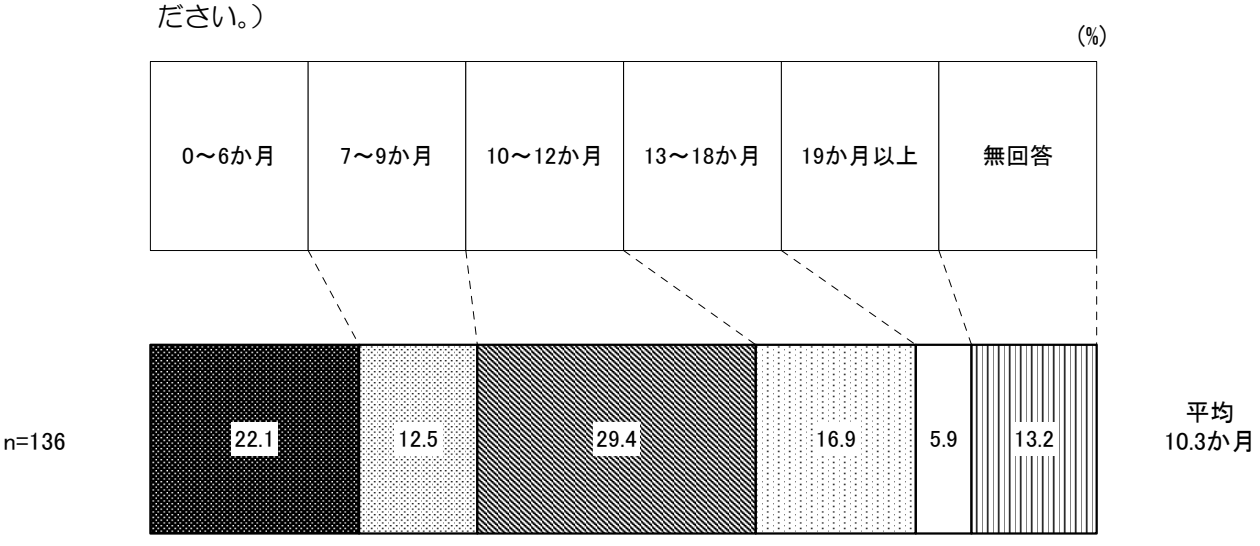
問 22　封筒のあて名のお子さんについて、母親又は父親が育児休業制度を利用しましたか。（１つに○）



（2）復帰した時の子どもの月齢

育児休業から復帰したときの子ども月齢は、「10～12 か月」(29.4%)が３割弱とやや多く、平均月齢も 10.3 か月となっている。

問 22-1　育児休業から復帰したとき、お子さんの月齢は何か月でしたか。枠内に、具体的に数字でご記入ください。（お子さんが１歳以上の場合も月に換算してお答えください。問 22 で「３.」とお答えになった方は、最後の育児休業利用者が復帰された時についてお答えください。）



（3）育児休業明けの保育サービス

育児休業明けの保育サービスの利用について、「育児休業取得期間を調整せずにできた」は 36.8%、「育児休業取得期間を調整したのでできた」は 19.1%、「できなかった」は 17.6%となっている。

問 22-2　育児休業明けに、希望する保育サービスをすぐ利用できましたか。（1 つに○）

	計	育児休業期間を調整せずにできた	育児休業期間を調整したのでできた	できなかった	希望しなかった	無回答
%	100.0	36.8	19.1	17.6	14.0	12.5
n	136	50	26	24	19	17

（4）保育サービスが確実に利用できた場合の取得期間

育児休業明けの保育サービスの利用について、育児休業期間を調整したのでできたと回答した人に、保育サービスが確実に利用できた場合の取得期間を聞いたところ、「変わらない」が 4 人、「長くした」が 11 人、「短くした」が 11 人となっている。

「長くした」と回答した人の平均期間は 6.3 か月、「短くした」と回答した人の平均期間は 5.7 か月となっている。

問 22-3　育児休業明けに希望する保育サービスが確実に利用できたとしたら、育児休業は実際に取得した期間と変わりましたか。（1 つに○）

	計	変わらない	長くした	短くした
%	100.0	15.4	42.3	42.3
n	26	4	11	11

■「長くした」と回答した人の期間

	計	1 か月	2 か月	6 か月	8 か月	12 か月	24 か月	平均
%	100.0	27.3	18.2	27.3	9.1	9.1	9.1	6.3
n	11	3	2	3	1	1	1	

■「短くした」と回答した人の期間

	計	1 か月	4 か月	5 か月	6 か月	9 か月	10 か月	12 か月	平均
%	100.0	18.2	18.2	18.2	18.2	9.1	9.1	9.1	5.7
n	11	2	2	2	2	1	1	1	

（5）保育サービスが利用できなかった人の対処方法

育児休業明けの保育サービスの利用ができなかったと回答した人の対処方法は以下の表の通りである。

問 22-4　どのように対応されましたか。（1つに○）

	計	希望とは違う認可保育園を利用した	事業所内の保育サービスを利用した	上記以外の保育サービスを利用した	家族等にみてもらうことで対応した	仕事を辞めた
%	100.0	16.7	8.3	41.7	16.7	16.7
n	24	4	2	10	4	4

１２．子育て支援サービス等の認知度、利用度及び満足度について

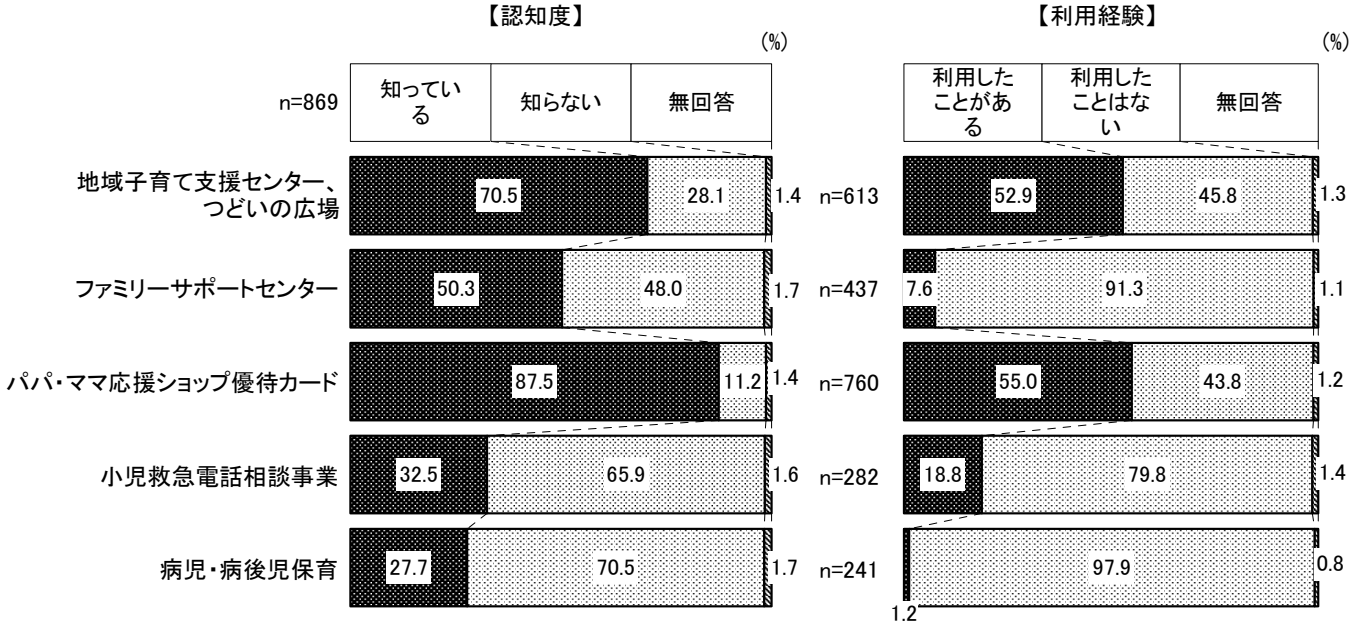
12-1．子育て支援サービスの認知度、利用度及び満足度

（1）認知度と利用経験

子育て支援サービスで「知っている」との回答は、「パパ・ママ応援ショップ優待カード」が 87.5%と多く、「地域子育て支援センター、つどいの広場」も 70.5%と多くなっているが、「小児救急電話相談事業」や「病児・病後児保育」は３割前後にとどまる。

知っていると回答した人の利用経験をみると、「パパ・ママ応援ショップ優待カード」と「地域子育て支援センター、つどいの広場」は「利用したことがある」人が５割強となっている。

問 23　下記のサービスを知っていますか。「知っている」、「知らない」のどちらかに○をつけてください。また、「知っている」と答えた方は、その利用について、「利用したことがある」、「利用したことはない」のどちらかに○をつけてください。



≪年齢、子の人数、母親就労状況別:「知っている」の回答比率≫

年齢別でみると、「地域子育て支援センター、つどいの広場」は１歳未満で８割、１～２歳では４人に３人の割合と多い。「小児救急電話相談事業」は１歳以下で４割前後と多い。

子の人数別では、３人以上いる人で「ファミリーサポートセンター」や「パパ・ママ応援ショップ優待カード」を知っている人が多い。

母親の就労状況別では、就労している人で「ファミリーサポートセンター」と「病児・病後児保育」を知っている人が多くなっている。

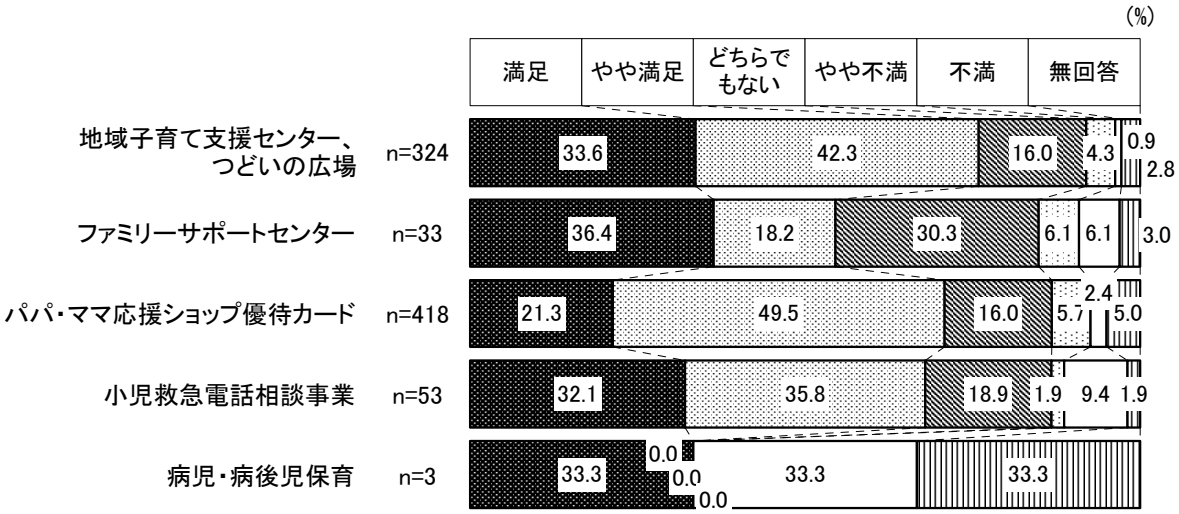
(%)

		n	地域子育て支援センター、つどいの広場	ファミリーサポートセンター	ﾊﾟﾊﾟ･ママ応援ショップ優待カード	小児救急電話相談事業	病児・病後児保育
全体		869	70.5	50.3	87.5	32.5	27.7
年齢	1 歳未満	109	○ 80.7	▲ 43.1	▲ 79.8	○ 44.0	25.7
	1 歳	142	△ 76.8	● 40.1	88.0	△ 39.4	31.7
	2 歳	154	△ 76.0	50.0	85.7	29.9	29.2
	3 歳	148	75.0	53.4	91.2	29.1	28.4
	4 歳	132	▲ 64.4	△ 59.8	88.6	31.8	29.5
	5 歳	182	★ 55.5	52.7	89.0	▲ 25.3	▲ 22.5
子の人数	1 人	423	71.9	▲ 43.7	82.7	32.2	29.8
	2 人	366	70.2	54.9	91.3	33.6	26.0
	3 人以上	66	▲ 63.6	○ 62.1	△ 95.5	▲ 27.3	▲ 22.7
母親就労状況	就労している	301	66.1	△ 59.5	89.4	34.2	○ 41.9
	就労していない	538	73.4	45.4	86.8	32.0	▲ 20.4

（2）満足度

子育て支援サービスを利用したことのある人の満足度をみると、どのサービスも概ね３割前後の人が「満足」としている。利用経験の多い「パパ・ママ応援ショップ優待カード」については、「満足」が２割強とやや少なく、「やや満足」（49.5%）との回答が半数を占めている。

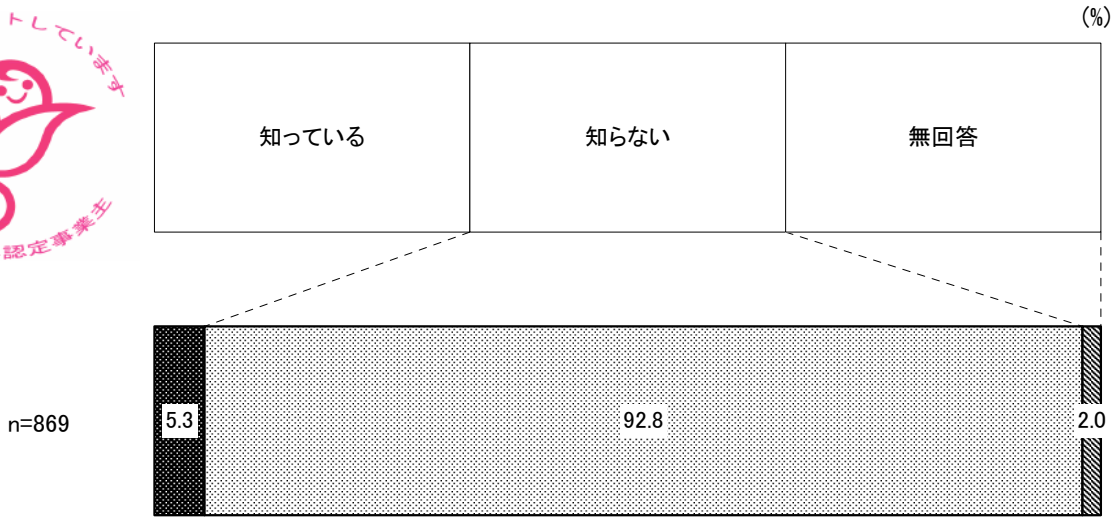
問 23-1　利用してどの程度満足していますか。「満足」「やや満足」「どちらでもない」「やや不満」「不満」のいずれかに○をつけてください。



12-2. 『くるみん』の認知度

次世代育成支援対策推進法では、事業主は、従業員の子育て支援のための行動計画を策定・実施し、その結果が一定の要件を満たす場合に、厚生労働大臣の認定を受けることができるが、その認定マーク『くるみん』を「知っている」のは5.3%であり、「知らない」との回答が92.8%と多数を占めている。

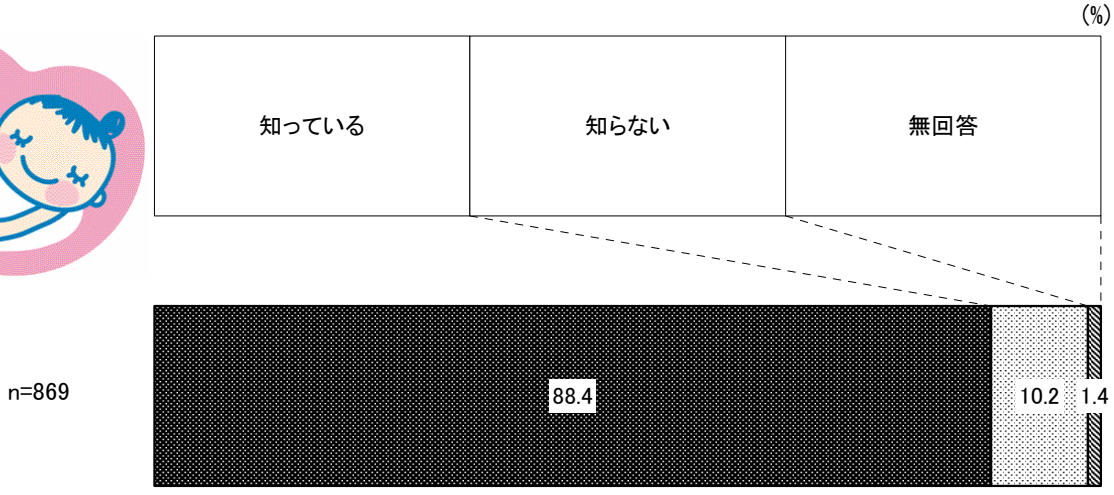
問２４　次世代育成支援対策推進法では、事業主は、従業員の子育て支援のための行動計画を策定・実施し、その結果が一定の要件を満たす場合に、厚生労働大臣の認定を受けることができます。認定マーク「くるみん」をご存知ですか？



12-3. マタニティマークの認知度

妊産婦にやさしい環境づくりの推進の一環としてのマタニティマークを「知っている」とする人は88.4%と多く、「知らない」（10.2%）とする人は１割である。

問２５　妊産婦にやさしい環境づくりの推進の一環として、マタニティマークの普及の取り組みが行われています。マタニティマークをご存知ですか？



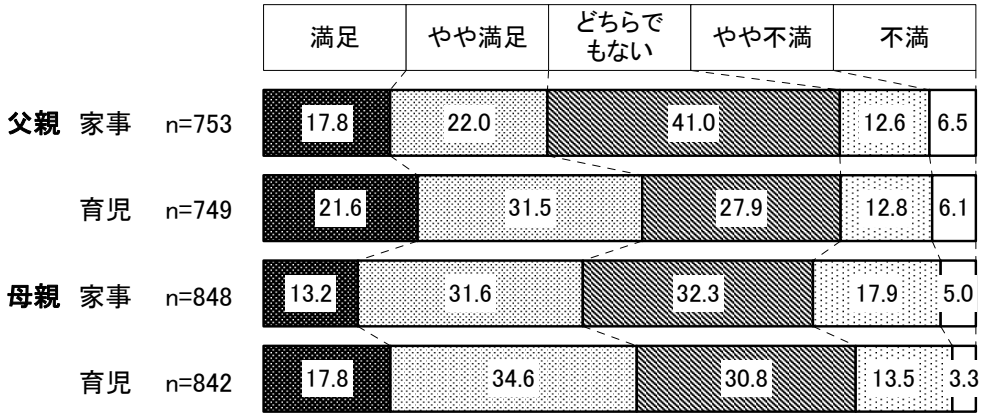
１３．家事・育児について

13-1．自分の家事・育児に関する満足度

自分の家事・育児に関する満足度をみると、父親の家事に対する満足度（「満足」と「やや満足」の合計）は 39.8%、育児は 53.1%、母親の家事は 44.8%、育児は 52.4%となっており、父親、母親ともに育児に対する満足度は５割を超えている。

問２６　ご自分の家事・育児に関する現在の満足度はどうですか。

(%)



※回答者ベースで集計

≪子の人数、母親就労状況別：母親自身の満足度≫

子の人数別にみると、３人以上いる人では「やや不満」との回答が家事 31.7%、育児 22.2%とやや多くなっている。

母親の就労状況別でみると、就労している人で「やや不満」との回答が家事 28.2%、育児 18.6%とやや多い。

【家事】 (%)

		n	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
全体		848	13.2	31.6	32.3	17.9	5.0
子の人数	1 人	410	13.9	34.4	33.7	▲ 12.7	5.4
	2 人	362	13.0	27.6	32.3	21.8	5.2
	3 人以上	63	11.1	28.6	▲ 27.0	○ 31.7	1.6
母親就労状況	就労している	298	▲ 6.4	30.2	▲ 27.2	○ 28.2	8.1
	就労していない	525	16.0	32.6	36.0	▲ 12.0	3.4

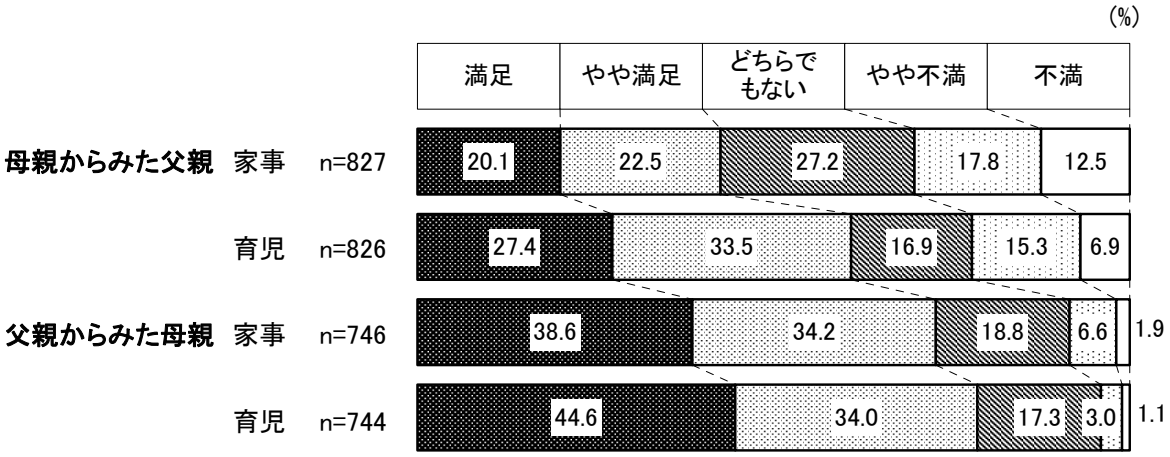
【育児】 (%)

		n	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
全体		842	17.8	34.6	30.8	13.5	3.3
子の人数	1 人	407	19.7	34.4	32.4	9.8	3.7
	2 人	359	15.9	34.8	29.0	16.7	3.6
	3 人以上	63	15.9	33.3	28.6	△ 22.2	0.0
母親就労状況	就労している	295	▲ 11.2	34.2	29.8	△ 18.6	6.1
	就労していない	522	20.9	35.1	31.6	10.5	1.9

13-2. 配偶者の家事・育児に対する満足度

配偶者の家事・育児に関する満足度をみると、母親からみた父親の家事に対する満足度（「満足」と「やや満足」の合計）は 42.6%、育児は 60.9%、父親からみた母親の家事は 72.8%、育児は 78.6%となっており、母親自身の評価よりも父親からみた評価の方が 25 ポイント以上高くなっている。

問２７　配偶者の家事・育児に対する満足度はどうですか。



※回答者ベースで集計

≪年齢、子の人数別：父親からみた母親の満足度≫

年齢別にみると、１歳未満では「満足」との回答が６割前後と多くなっているが、年齢があがるにつれて少なくなっている。

子の人数別では、１人では「満足」との回答がやや多くなっているが、３人以上いる人では「どちらでもない」との回答が３割台と多くなっている。

【家事】 (%)

		n	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
全体		746	38.6	34.2	18.8	6.6	1.9
年齢	1 歳未満	98	☆ 55.1	32.7	▲ 9.2	2.0	1.0
	1 歳	125	40.8	△ 40.8	▲ 12.8	4.8	0.8
	2 歳	126	38.9	▲ 28.6	△ 23.8	7.1	1.6
	3 歳	132	37.1	34.1	18.9	7.6	2.3
	4 歳	113	35.4	▲ 28.3	23.0	9.7	3.5
	5 歳	151	▲ 29.8	38.4	22.5	7.3	2.0
子の人数	1 人	354	41.8	36.2	14.4	6.2	1.4
	2 人	328	36.9	33.5	20.7	7.0	1.8
	3 人以上	55	● 25.5	▲ 27.3	☆ 34.5	7.3	5.5

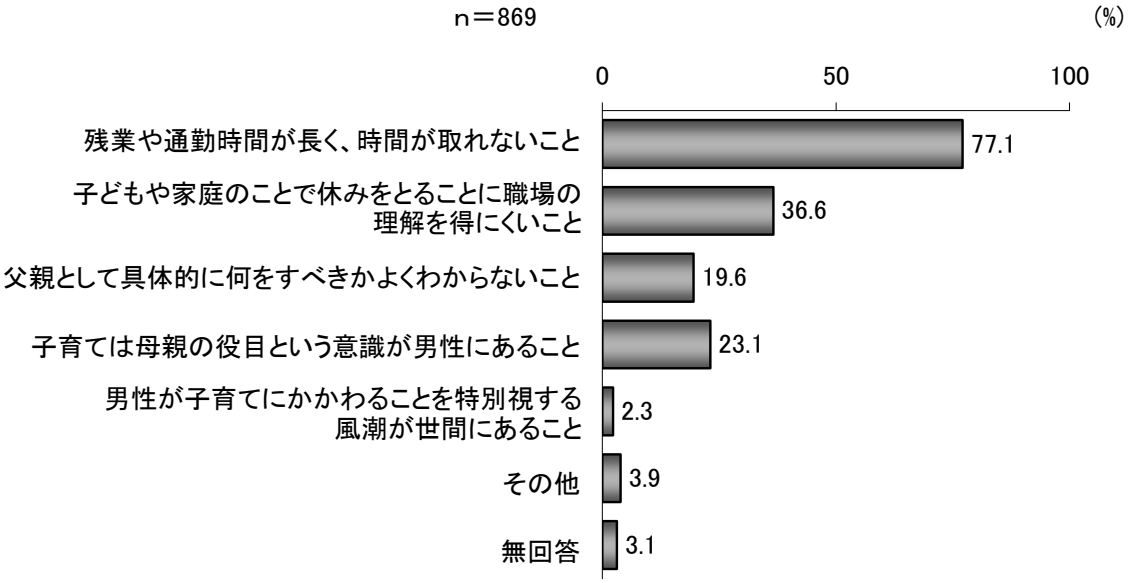
【育児】 (%)

		n	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
全体		744	44.6	34.0	17.3	3.0	1.1
年齢	1 歳未満	98	☆ 61.2	29.6	▲ 9.2	0.0	0.0
	1 歳	125	48.8	34.4	15.2	0.8	0.8
	2 歳	126	45.2	32.5	17.5	4.8	0.0
	3 歳	131	42.7	34.4	17.6	3.1	2.3
	4 歳	112	▲ 37.5	32.1	△ 23.2	5.4	1.8
	5 歳	151	▲ 37.1	38.4	19.9	3.3	1.3
子の人数	1 人	353	△ 51.0	32.0	13.9	2.5	0.6
	2 人	327	40.7	35.8	19.0	3.4	1.2
	3 人以上	55	★ 25.5	36.4	○ 30.9	3.6	3.6

13-3. 父親が子育てに関わりづらい理由

父親が子育てに関わりづらい理由としては、「残業や通勤時間が長く、時間が取れないこと」（77.1%）をあげる人が最も多く、４人に３人強の割合となっている。ついで、「子どもや家庭のことで休みをとることに職場の理解を得にくいこと」（36.6%）が３人に１人強の割合と多い。また、「子育ては母親の役目という意識が男性にあること」（23.1%）をあげる人も４人に１人弱の割合でみられる。

問２８　一般的に、父親が子育てに十分に関わっていないと言われていますが、父親が子育てに関わりづらいのは、どうしてだと思いますか。（○は２つまで）



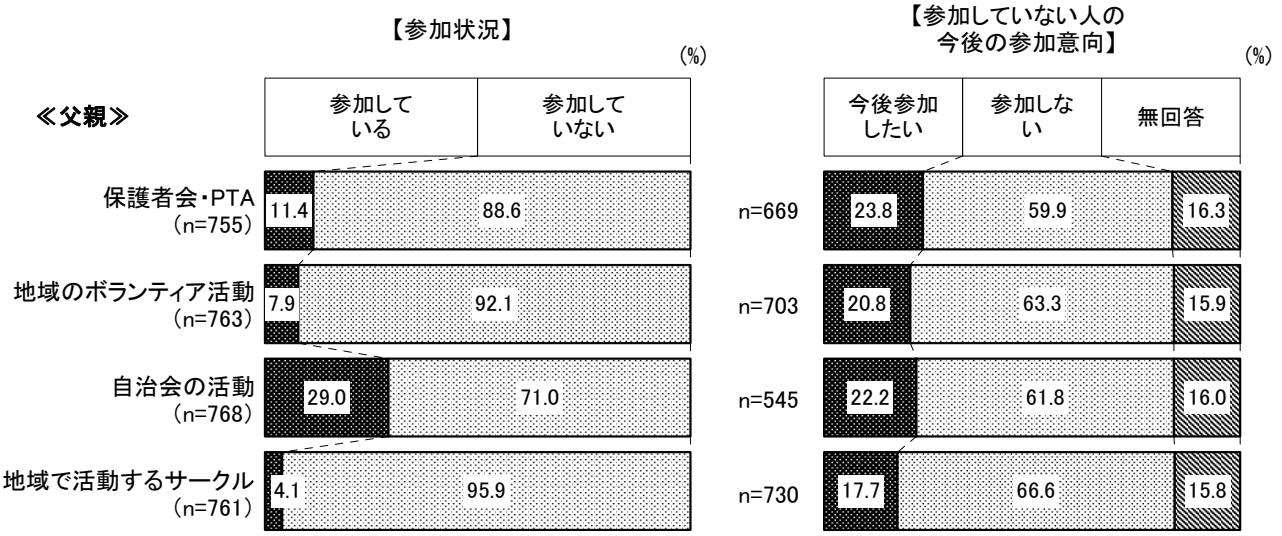
１４．地域社会への関わりについて

14-1．参加状況と参加意向

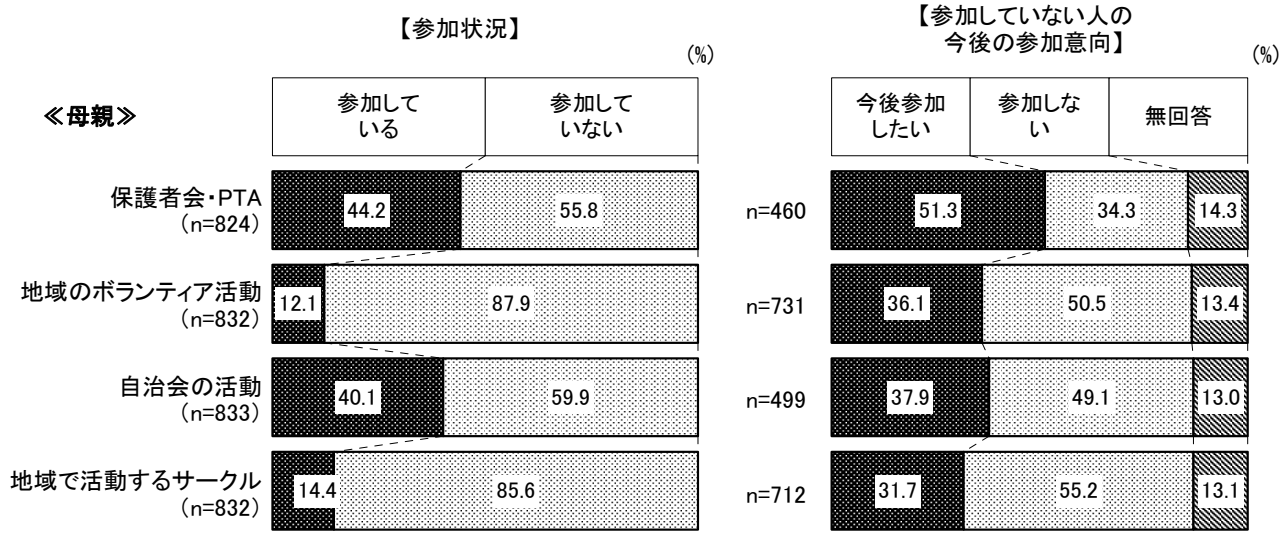
父親は、自治会の活動に「参加している」人が 29.0％と多くなっている。また、現在「参加していない」人で「今後参加したい」との回答はどの活動も２割前後となっている。

母親は、保護者会・ＰＴＡや自治会の活動に「参加している」人が４割強と多く、地域のボランティア活動や地域で活動するサークルも１割を超えている。現在「参加していない」人で保護者会・ＰＴＡに「今後参加したい」とする人が 51.3％と半数を超え、他の活動は「今後参加したい」との回答が３割台となっている。

問２９　下記の行事や組織に参加していますか。また、「参加していない」と答えた方は、今後の参加意向をお答えください。



※回答者ベースで集計



※回答者ベースで集計

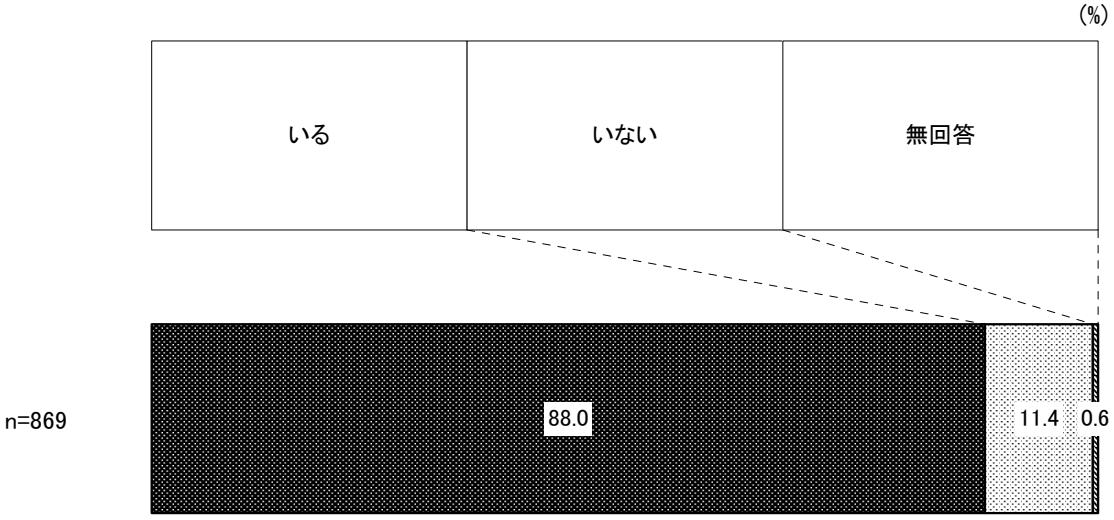
１５．地域医療について

15-1．かかりつけ医

（1）かかりつけ医の有無

子どもにかかりつけ医が「いる」人は 88.0％と多数を占めているが、「いない」（11.4％）とする人も１割強みられる。

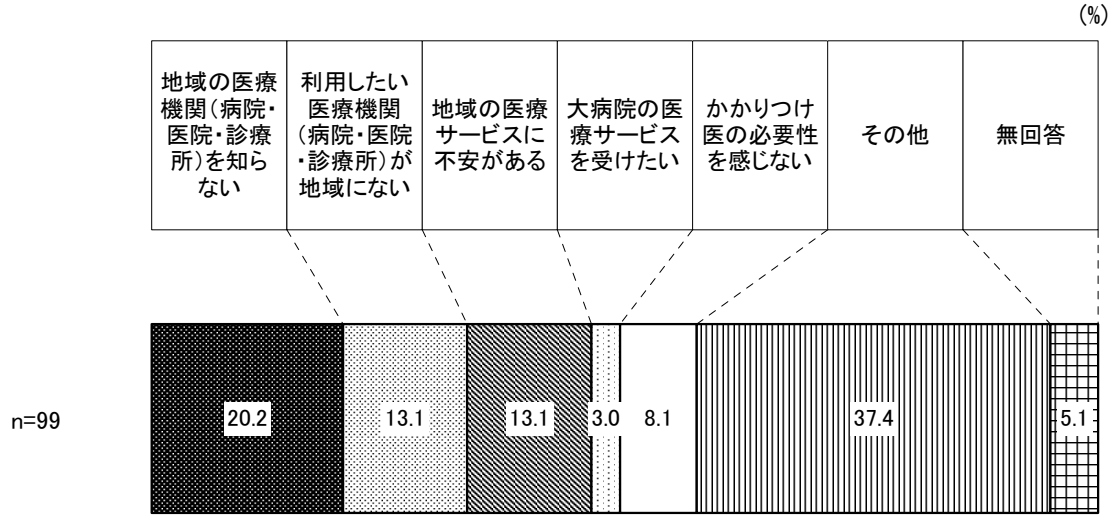
問３０　お子さんにかかりつけ医はいますか。



（2）かかりつけ医がいない理由

かかりつけ医がいない理由としては、「地域の医療機関（病院・医院・診療所）を知らない」（20.2％）が２割とやや多い。

問３０-1　現在いない理由はどのようなことですか。（主な理由１つに○）

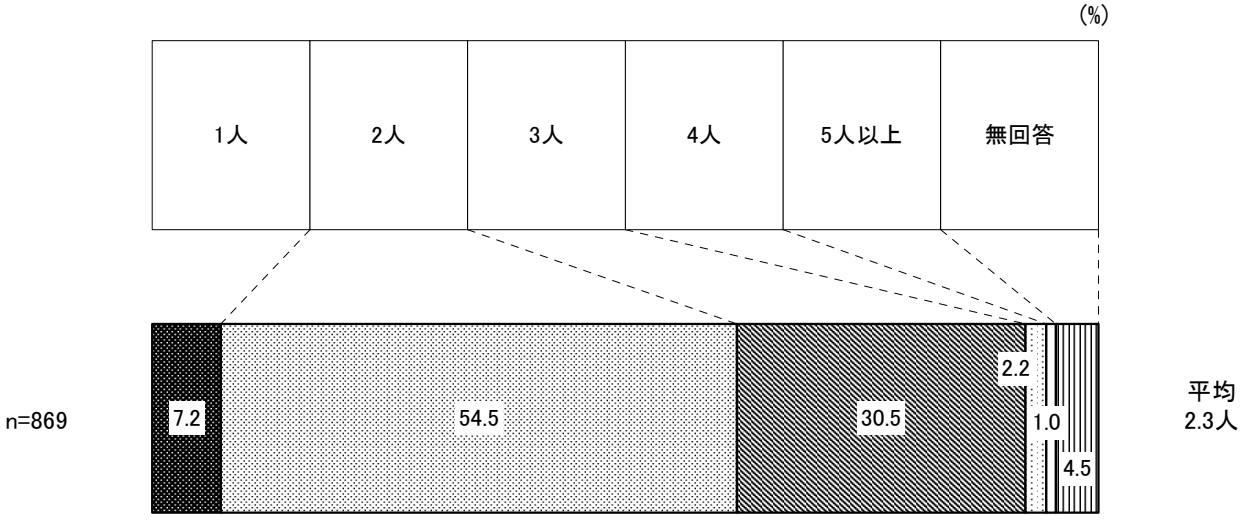


１６．子どもの数について

16-1．希望する子どもの人数

希望する子どもの人数は「２人」（54.5%）が最も多く、半数を超えている。ついで、「３人」（30.5%）が３割と多く、平均人数は2.3人となっている。

問３１　希望するお子さんの数は何人ですか。枠内に具体的な数字でお答えください。



≪子の人数別：希望する子どもの人数≫

子の人数別でみると、現在１人の人では「２人」を希望する人が６割、「３人」が２割となっている。現在２人の人で希望する人数も「２人」と回答した人は６割と多いが、「３人」を希望する人も３人に１人強の割合でみられる。

(%)

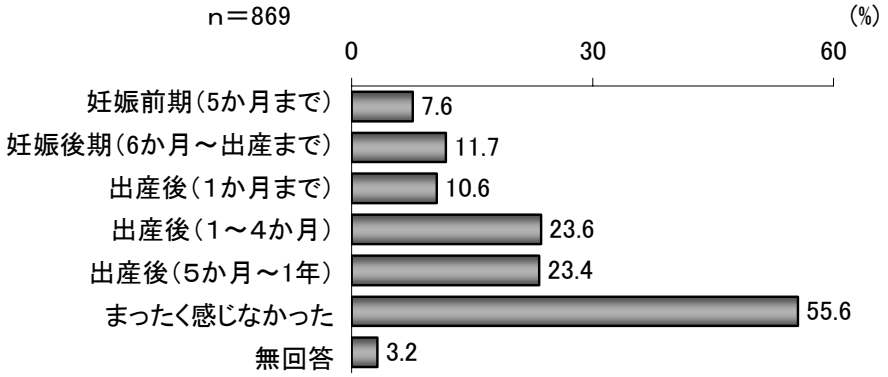
		n	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答	平均
全体		869	7.2	54.5	30.5	2.2	1.0	4.5	2.3
子の人数	1人	423	△ 13.7	59.1	● 20.1	0.5	0.7	5.9	2.1
	2人	366	▲ 0.0	△ 59.8	35.2	1.4	1.4	2.2	2.4
	3人以上	66	▲ 1.5	★ 1.5	☆ 69.7	☆ 18.2	1.5	7.6	3.2

１７．育児の状況などについて

17-1．妊娠中や出産後で孤独感を感じた時期

妊娠中や出産後（約１年）に、誰もサポートしてくれないという孤独感を感じた時期としては、「まったく感じなかった」とする人が 55.6%と半数強を占めている。感じた時期は、「出産後（１～４か月)」と「出産後（５か月～１年)」が 23%台とやや多い。

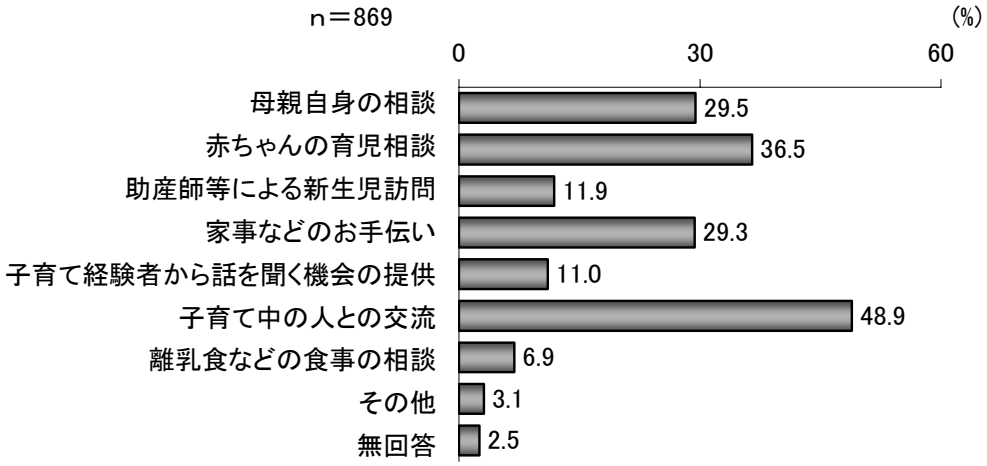
問３２　妊娠中や出産後（約１年）に、誰もサポートしてくれないという孤独感を感じた時期はありますか。（あてはまる番号すべてに○）



17-2．出産後のサポートとして重要だと思うサービス

出産後のサポートとして重要だと思うサービスは、「子育て中の人との交流」(48.9%)が最も多く、半数近くを占めている。ついで、「赤ちゃんの育児相談」(36.5%)、「母親自身の相談」(29.5%)、「家事などのお手伝い」(29.3%）が３割前後で続いている。

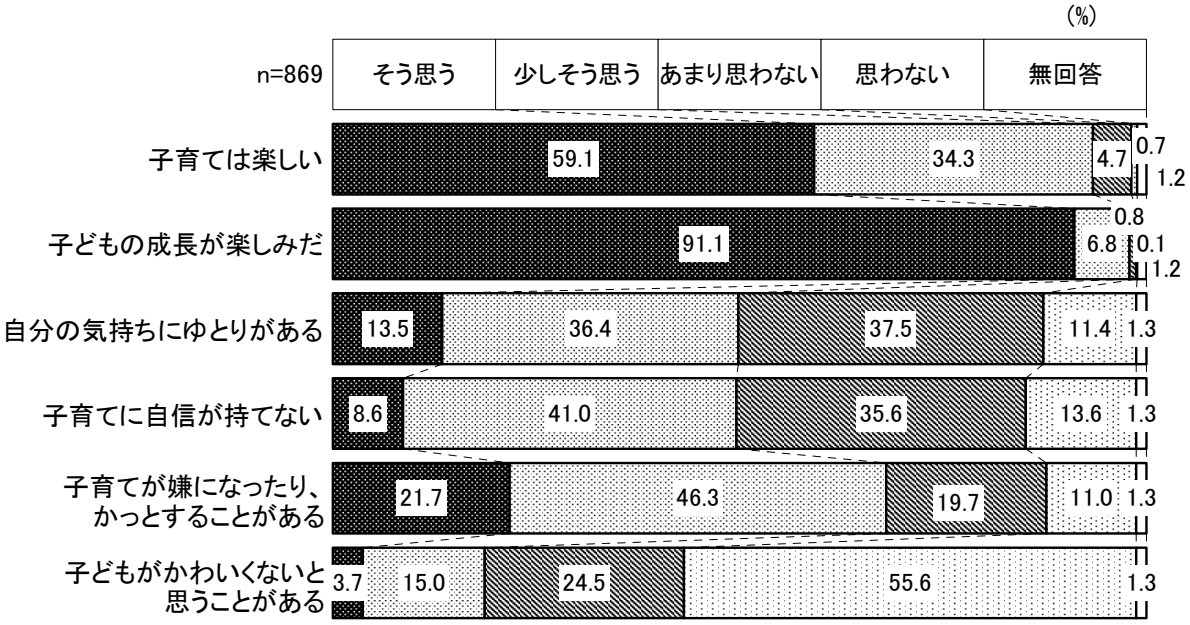
問３３　出産後（約１年）のサポートとして、どのようなサービスが重要だと思いますか。（○は２つまで）



17-3. 日ごろの子育てについて感じること

日ごろの子育てについて感じることとして、「子育ては楽しい」は「そう思う」が６割近くを占め、「少しそう思う」が３人に１人の割合となっている。「子どもの成長が楽しみだ」については、「そう思う」との回答が 91.1％と大多数を占めているが、一方で、「子どもがいやになったり、かっとすることがある」については、「そう思う」が２割強みられ、「少しそう思う」（46.3％）と合わせると“思う”が 68.0％と７割近くを占めている。「自分の気持ちにゆとりがある」については、「あまり思わない」（37.5％）や「思わない」（11.4％）が多く、“思わない”とする人が 48.9％と半数近くを占めている。

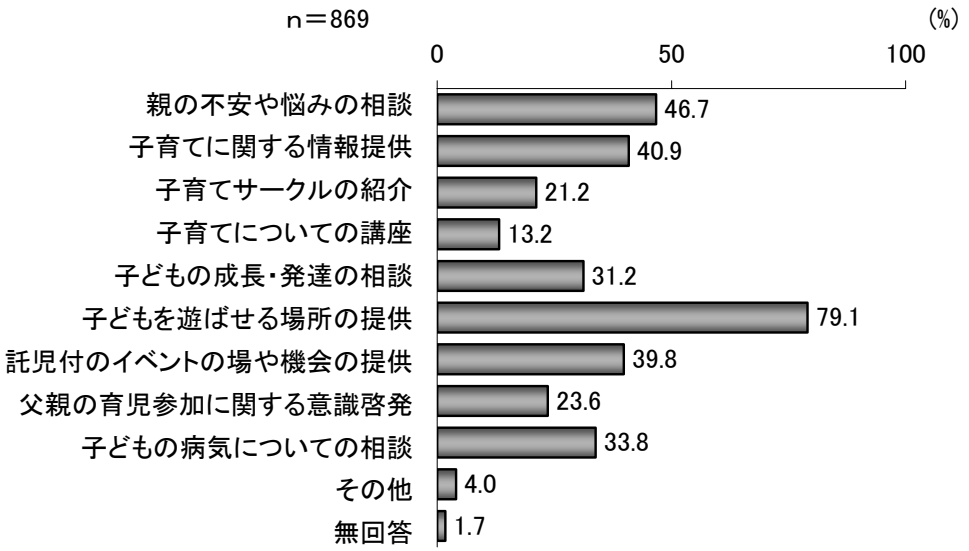
問３４　日ごろの子育てについて、次のように感じることはありますか。
（それぞれの項目ごとに○は１つ）



17-4. 子育てを楽しく安心して行うために必要なサービス

子育てを楽しく安心して行うために必要なサービスとしては、「子どもを遊ばせる場所の提供」（79.1%）が８割弱と最も多い。ついで、「親の不安や悩みの相談」（46.7%）や「子育てに関する情報提供」（40.9%）、「託児付のイベントの場や機会の提供」（39.8%）が４割前後となっている。

問３５　日常の子育てを楽しく、安心して行うために必要なサービスはどのようなものだと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）



≪年齢、保育サービスの利用状況別：子育てを楽しく安心して行うために必要なサービス≫

年齢別にみると、１歳で「子育てに関する情報提供」をあげる人が 56.3%と多くなっている。１歳未満では「子育てに関する情報提供」「子育てについての講座」「子どもの成長・発達の相談」をあげる人がやや多い。

保育サービスの利用状況別では、利用していない人で「子育てに関する情報提供」「子育てサークルの紹介」「託児付のイベントの場や機会の提供」をあげる人がやや多くなっている。

(%)

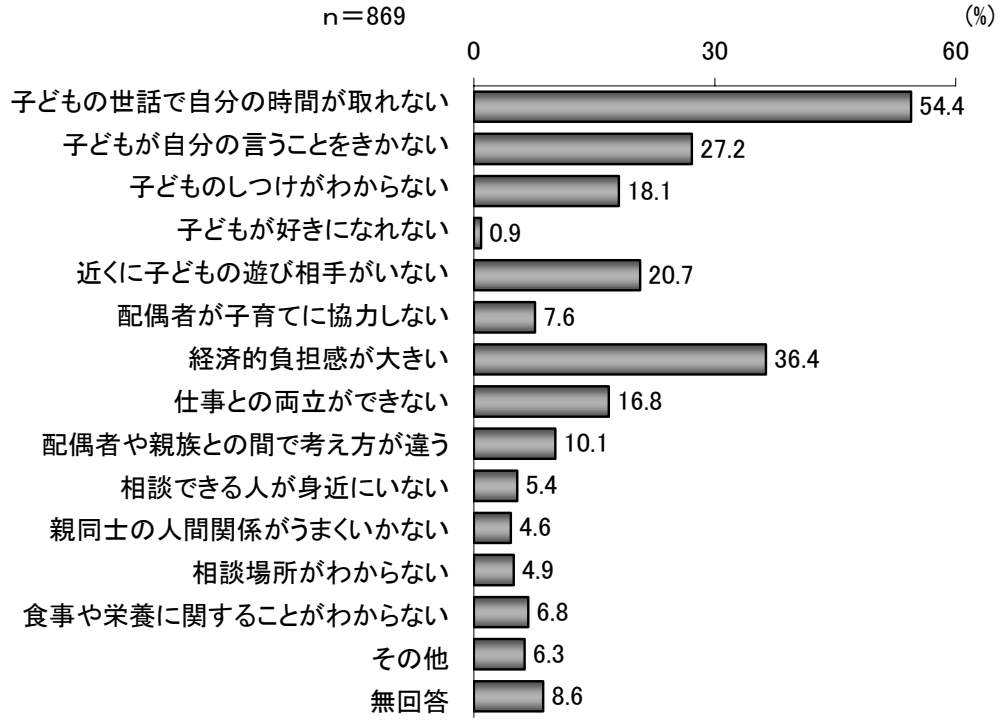
		n	親の不安や悩みの相談	子育てに関する情報提供	子育てサークルの紹介	子育てについての講座	子どもの成長・発達の相談	子どもを遊ばせる場所の提供
全体		869	46.7	40.9	21.2	13.2	31.2	79.1
年齢	1 歳未満	109	45.0	△ 48.6	25.7	△ 18.3	△ 36.7	78.9
	1 歳	142	50.7	☆ 56.3	△ 30.3	16.9	35.2	78.2
	2 歳	154	42.9	42.2	26.0	15.6	30.5	77.9
	3 歳	148	45.9	40.5	18.2	12.2	33.8	76.4
	4 歳	132	48.5	▲ 34.8	16.7	11.4	28.0	82.6
	5 歳	182	46.7	● 28.0	▲ 13.2	▲ 7.7	▲ 25.3	80.8
保育サービス	利用している	413	48.4	▲ 34.1	▲ 15.0	10.4	29.1	78.9
	利用していない	433	45.7	△ 47.6	△ 27.3	16.2	34.2	79.4

		n	託児付のイベントの場や機会の提供	父親の育児参加に関する意識啓発	子どもの病気についての相談	その他	無回答
全体		869	39.8	23.6	33.8	4.0	1.7
年齢	1 歳未満	109	43.1	22.0	38.5	4.6	2.8
	1 歳	142	△ 45.1	21.1	33.1	2.1	2.1
	2 歳	154	△ 44.8	26.6	31.8	3.9	1.3
	3 歳	148	42.6	22.3	△ 39.9	3.4	2.0
	4 歳	132	▲ 31.8	21.2	34.1	6.1	0.8
	5 歳	182	▲ 33.5	26.9	▲ 28.0	4.4	1.6
保育サービス	利用している	413	35.1	25.2	36.1	6.5	1.0
	利用していない	433	△ 45.3	22.2	32.1	1.4	1.8

17-5. 子育てをしている中で悩んでいることや気になること

子育てをしている中で悩んでいることや気になることとしては、「子どもの世話で自分の時間が取れない」（54.4%）が半数強で最も多い。ついで、「経済的負担感が大きい」（36.4%）が３人に１人強、「子どもが自分の言うことをきかない」（27.2%）が４人に１人強の割合で続いている。

問３６　子育てをしている中で、日ごろ悩んでいることや気になることはどのようなことですか。（あてはまる番号すべてに○）



≪年齢、子の人数別：子育てをしている中で悩んでいることや気になること≫

年齢別にみると、１歳未満で「食事や栄養に関することがわからない」をあげる人が２割弱と多くなっている。

子の人数別では、３人以上いる人で「子どもの世話で自分の時間が取れない」が７割強と多く、「経済的負担感が大きい」も５割弱と多い。

(%)

		n	子どもの世話で自分の時間が取れない	経済的負担感が大きい	子どもが自分の言うことをきかない	近くに子どもの遊び相手がいない	子どものしつけがわからない
全体		869	54.4	36.4	27.2	20.7	18.1
年齢	1 歳未満	109	57.8	▲ 28.4	★ 10.1	21.1	13.8
	1 歳	142	59.2	35.9	26.8	△ 28.9	19.0
	2 歳	154	△ 61.0	33.1	29.9	17.5	△ 26.6
	3 歳	148	55.4	△ 41.9	29.1	17.6	15.5
	4 歳	132	▲ 49.2	37.1	△ 35.6	18.2	14.4
	5 歳	182	▲ 46.7	39.6	28.0	20.3	17.0
子の人数	1 人	423	50.1	31.7	23.6	23.2	20.6
	2 人	366	56.0	40.2	29.2	19.4	15.8
	3 人以上	66	☆ 72.7	○ 47.0	△ 34.8	▲ 12.1	13.6

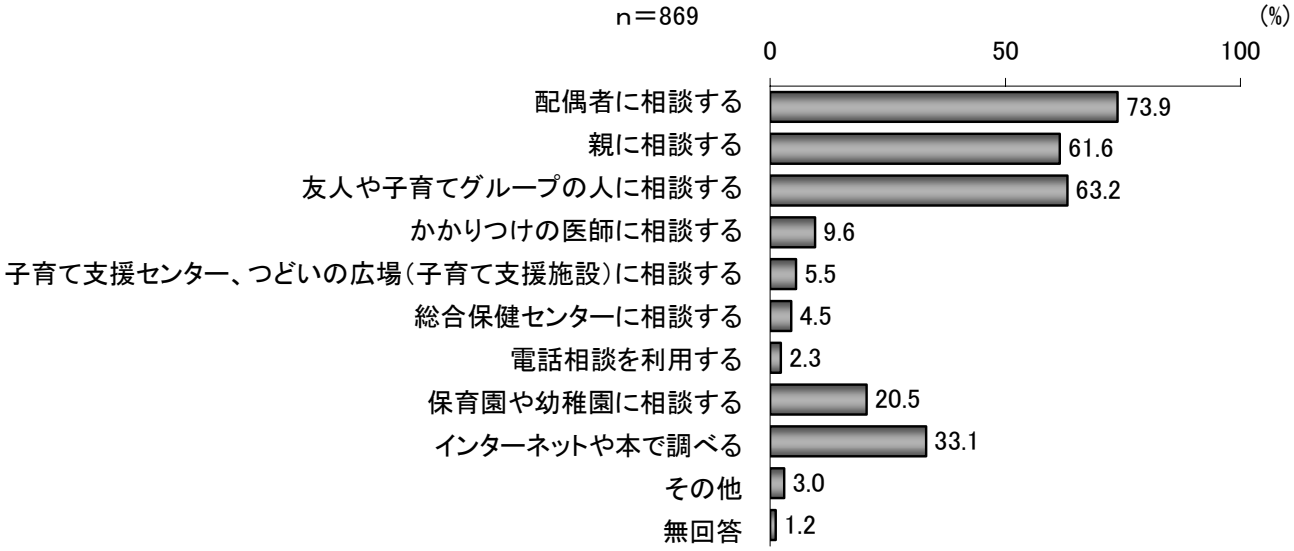
		n	仕事との両立ができない	配偶者や親族との間で考え方が違う	配偶者が子育てに協力しない	食事や栄養に関することがわからない
全体		869	16.8	10.1	7.6	6.8
年齢	1 歳未満	109	△ 22.0	9.2	10.1	○ 19.3
	1 歳	142	12.0	9.2	6.3	9.9
	2 歳	154	13.0	5.8	6.5	5.8
	3 歳	148	16.9	13.5	8.1	2.7
	4 歳	132	18.9	10.6	4.5	5.3
	5 歳	182	19.2	12.1	9.9	2.2
子の人数	1 人	423	17.5	8.3	7.1	9.0
	2 人	366	16.1	10.4	8.2	4.4
	3 人以上	66	16.7	△ 19.7	9.1	4.5

※上位9項目

17-6. 子育てで困ったときや悩んだときの対処方法

子育てで困ったときや悩んだときの対処方法は、「配偶者に相談する」（73.9%）が最も多く４人に３人弱の割合となっている。ついで、「友人や子育てグループの人に相談する」（63.2%）、「親に相談する」（61.6%）が６割台と多くなっている。また、「インターネットや本で調べる」（33.1%）とする人も３人に１人の割合でみられる。

問３７　子育てで困ったときや悩んだとき、どのようにしていますか。（あてはまる番号すべてに○）



≪年齢、保育サービス利用状況別：子育てで困ったときや悩んだときの対処方法≫

年齢別に上位５項目をみると、１歳未満では「インターネットや本で調べる」が５割と多い。また、「親に相談する」との回答も７割強と多く、４人に３人弱の割合となっている。４～５歳は「保育園や幼稚園に相談する」が３割前後とやや多い。

保育サービスの利用状況別にみると、特に大きな差はみられないが、利用している人で「保育園や幼稚園に相談する」と回答した人は３人に１人強となっている。

(%)

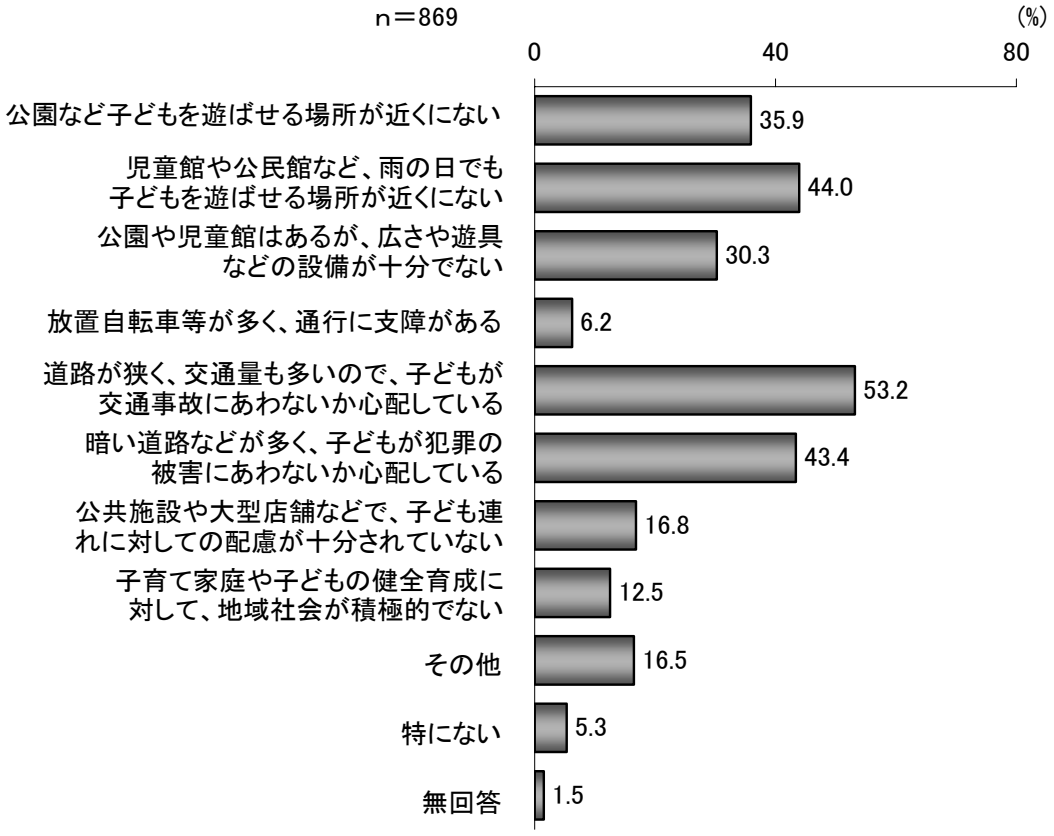
		n	配偶者に相談する	友人や子育てグループの人に相談する	親に相談する	インターネットや本で調べる	保育園や幼稚園に相談する
全体		869	73.9	63.2	61.6	33.1	20.5
年齢	1 歳未満	109	76.1	▲ 57.8	○ 73.4	☆ 50.5	▲ 12.8
	1 歳	142	75.4	64.1	△ 66.9	38.0	● 7.0
	2 歳	154	72.7	64.3	61.0	34.4	15.6
	3 歳	148	77.0	64.2	58.8	31.1	25.0
	4 歳	132	75.0	65.9	▲ 55.3	▲ 27.3	△ 30.3
	5 歳	182	▲ 68.7	62.1	58.2	▲ 24.2	△ 29.1
保育サービス	利用している	413	72.4	65.4	58.1	30.3	○ 34.6
	利用していない	433	76.4	61.9	64.9	36.3	● 6.9

※上位5項目

17-7. 川越市で子育てをしている中で感じていること

川越市で子育てをしている中で感じていることは、「道路が狭く、交通量も多いので、子どもが交通事故にあわないか心配している」(53.2%)、「暗い道路などが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配している」(43.4%) と“犯罪や事故”を心配している人が４～５割と多くなっている。また、「児童館や公民館など、雨の日でも子どもを遊ばせる場所が近くにない」(44.0%) や「公園など子どもを遊ばせる場所が近くにない」(35.9%)、「公園や児童館はあるが、広さや遊具などの設備が十分でない」(30.3%) など“遊び場”に不満を感じている人も３～４割と多い。

問 38　川越市で子育てをしている中で、日ごろ感じていることはどんなことですか。あてはまる番号に○をつけてください。(あてはまる番号すべてに○)



≪居住地区別：川越市で子育てをしている中で感じていること≫

居住地区別にみると、「道路が狭く、交通量も多いので、子どもが交通事故にあわないか心配している」は本庁、高階、福原地区で６割前後と多い。「暗い道路などが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配している」は芳野、古谷地区で６割台と多くなっている。また、「児童館や公民館など、雨の日でも子どもを遊ばせる場所が近くにない」は芳野、古谷地区で７割台と多くなっている。

(%)

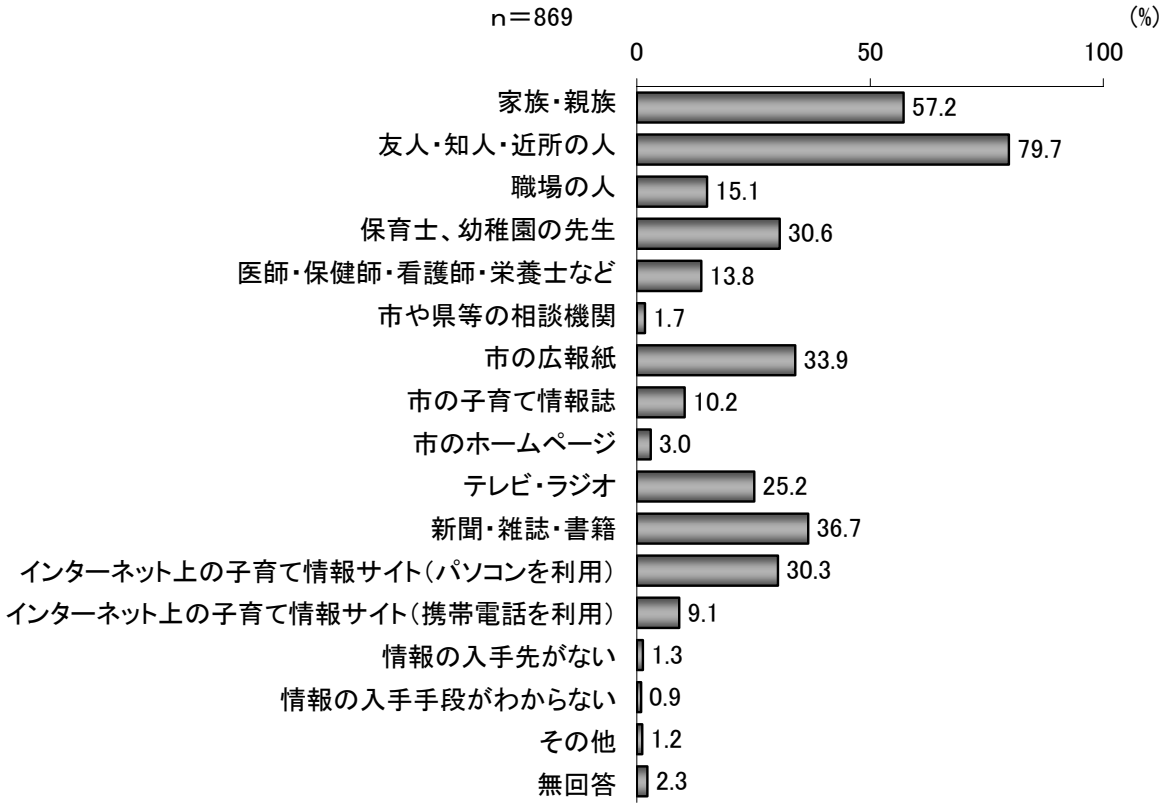
		n	公園など子どもを遊ばせる場所が近くにない	児童館や公民館など、雨の日でも子どもを遊ばせる場所が近くにない	公園や児童館はあるが、広さや遊具などの設備が十分でない	放置自転車等が多く、通行に支障がある	道路が狭く、交通量も多いので、子どもが交通事故にあわないか心配している	暗い道路などが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配している
全体		869	35.9	44.0	30.3	6.2	53.2	43.4
居住地区	本庁	244	○ 46.3	▲ 36.5	34.4	10.7	△ 59.8	▲ 36.5
	芳野	10	40.0	☆ 70.0	30.0	▲ 0.0	★ 10.0	☆ 60.0
	古谷	18	33.3	☆ 72.2	● 16.7	5.6	▲ 44.4	☆ 61.1
	南古谷	98	▲ 29.6	☆ 63.3	△ 37.8	2.0	● 42.9	△ 49.0
	高階	130	33.8	★ 18.5	33.8	7.7	○ 66.2	43.1
	福原	44	△ 40.9	△ 52.3	34.1	2.3	△ 61.4	△ 52.3
	大東	99	▲ 26.3	△ 51.5	▲ 23.2	5.1	51.5	42.4
	霞ヶ関	79	● 21.5	☆ 59.5	▲ 25.3	2.5	● 43.0	44.3
	霞ヶ関北	19	★ 15.8	○ 57.9	▲ 21.1	5.3	★ 15.8	★ 26.3
	名細	50	★ 20.0	46.0	● 20.0	4.0	▲ 44.0	○ 56.0
	山田	34	☆ 67.6	▲ 38.2	▲ 23.5	8.8	55.9	44.1

		n	公共施設や大型店舗などで、子ども連れに対しての配慮が十分されていない	子育て家庭や子どもの健全育成に対して、地域社会が積極的でない	その他	特にない	無回答
全体		869	16.8	12.5	16.5	5.3	1.5
居住地区	本庁	244	19.7	16.4	20.9	3.3	1.2
	芳野	10	▲ 10.0	● 0.0	0.0	▲ 0.0	0.0
	古谷	18	△ 22.2	16.7	11.1	▲ 0.0	0.0
	南古谷	98	13.3	11.2	9.2	4.1	0.0
	高階	130	14.6	11.5	17.7	8.5	1.5
	福原	44	▲ 6.8	9.1	6.8	6.8	4.5
	大東	99	17.2	17.2	18.2	10.1	1.0
	霞ヶ関	79	20.3	▲ 6.3	17.7	6.3	1.3
	霞ヶ関北	19	▲ 10.5	▲ 5.3	10.5	△ 10.5	5.3
	名細	50	12.0	12.0	24.0	▲ 0.0	0.0
	山田	34	△ 23.5	8.8	11.8	2.9	0.0

17-8. 子育てに関する情報入手先

子育てに関する情報入手先は、「友人・知人・近所の人」（79.7%）が８割と多い。ついで、「家族・親族」（57.2%）が６割弱となっている。

問３９　子育てに関する情報を主にどこから入手していますか？（あてはまる番号すべてに○）



≪年齢、母親就労状況別：子育てに関する情報入手先≫

年齢別に上位 10 項目をみると、３歳以上で「保育士、幼稚園の先生」をあげる人が４割前後と多い。１歳未満は「家族・親族」「インターネット上の子育て情報サイト（パソコンを利用)」「市の子育て情報誌」がやや多くなっている。

母親の就労状況別では、就労している人で「保育士、幼稚園の先生」や「職場の人」をあげる人が多くなっている。

(%)

		n	友人・知人・近所の人	家族・親族	新聞・雑誌・書籍	市の広報紙	保育士、幼稚園の先生
全体		869	79.7	57.2	36.7	33.9	30.6
年齢	1 歳未満	109	77.1	△ 63.3	36.7	35.8	★ 8.3
	1 歳	142	▲ 74.6	57.0	38.0	37.3	★ 15.5
	2 歳	154	81.2	52.6	35.1	31.8	31.2
	3 歳	148	81.1	59.5	37.2	29.1	△ 39.2
	4 歳	132	80.3	57.6	37.1	37.1	○ 40.9
	5 歳	182	82.4	55.5	36.3	33.5	○ 40.7
母親就労状況	就労している	301	75.1	55.1	▲ 30.6	▲ 28.9	☆ 49.2
	就労していない	538	82.9	58.4	39.8	36.8	● 20.1

		n	インターネット上の子育て情報サイト（パソコンを利用）	テレビ・ラジオ	職場の人	医師・保健師・看護師・栄養士など	市の子育て情報誌
全体		869	30.3	25.2	15.1	13.8	10.2
年齢	1 歳未満	109	△ 39.4	▲ 18.3	▲ 9.2	15.6	△ 15.6
	1 歳	142	34.5	21.8	11.3	16.9	11.3
	2 歳	154	30.5	22.1	13.6	13.0	13.6
	3 歳	148	30.4	29.7	14.2	10.1	7.4
	4 歳	132	31.1	28.0	△ 20.5	15.2	13.6
	5 歳	182	▲ 20.9	28.6	19.8	13.2	▲ 3.3
母親就労状況	就労している	301	30.6	21.6	☆ 39.9	14.3	7.0
	就労していない	538	30.7	27.3	● 1.5	13.4	12.3

※上位 10 項目

１８．自由意見

18-1．安心して子どもを育てていくための施策等に関する要望・意見

安心して子どもを産み、健やかに育てていくための行政の施策や、社会の制度のあり方などについての要望や意見（487 件）を分類し、共通するものを抜粋して掲載した。

①子育てに係る経済的負担の軽減

◆子育てに係る経済的負担が大きい

✧すべてにおいて、お金があまりかからないようにして下さい。
✧子供はたくさんほしいと思いますが、やはり経済的に苦しいので、もう少し市がサポートしてほしいと思います。
✧出産や育児に対しての経済的な支援をもっと増やして欲しい。
✧収入によって保育園料が決まるとか。育児に関しての出費が多く、いくら働いても楽にならない。

◆子どもに対する医療費助成の拡大（期間延長）を望む

✧「こども医療費」の期間をもっと長くするべきだと思う。今は、小学校入学までだが、他の市で中学修了まで保障されているところもある。せめて小学校在学中は保障してほしい。
✧こども医療費の受給など、「就学前まで」ではなく、みんな平等に「満６歳まで」にしてもらいたい。４月生まれの子と、３月生まれの子とでは、１年近く差があるので…。
✧医療費について、小学校６年生まで負担してほしい。それが無理なら１割負担。まだまだ病院に行く事が多いため、生活に余裕がなく、さらに苦しくなる。行きたくても行けなくなる。

◆児童手当の対象年齢の拡大・増額を望む

✧児童手当の所得制限を撤廃してほしい。
✧児童手当などの補助金をアップしてほしい。

◆母子・父子家庭への援助の拡大を望む

✧１人親家庭の援助金、保育料、もう一度見なおしてもらいたい。
✧母子家庭や父子家庭に対する配慮がもう少しあると生活しやすいと思います。

◆出産費用・健診費用の負担が大きい

✧経済的な負担が多く、出産費など保険対象になると良いと思う。お産は病気ではないというが、女性は危険を含めて望んでいるのだから…保険対象であると少子化も少し改善されると思います。
✧子供を増やしていきたいのなら、出産費用を全て負担してほしい。
✧出産費用、健診費用がかかりすぎる。

②母子保健や医療の充実

◆母子保健の活動の充実を望む

✧新生児訪問は続けていってほしい。
✧母乳相談の復活！
✧助産師による新生児訪問を２人目以降も実施してほしい。

◆小児科の充実、休日・夜間の診療体制の充実を望む

✧子育てにかかるお金の援助はうれしいが、子供に何かあった時の医療サービスに不安がある。かかりつけ医を決めようにも、近所に小児科が少ない。大きな病院でも半日がかり（予約をしていても）でやっと診てもらえるなど。

✧夜中など子供が高熱を出した時に、受診出来る医療機関が欲しい。

✧医療施設の充実（休日、夜間）。

◆産科の充実を望む

✧お産の時の救急体制をしっかりしてほしい。

✧安全で安心できる産婦人科があったらいいですね。

✧産科医不足ということで騒がれていますが、緊急時に受け入れ拒否ということのないようにしてほしいと思います。

◆予防接種の無料化や補助、方法を見直してほしい

✧予防注射に任意（有料）のものがあるが、ワクチンの重要性がさけばれているこの頃、接種率を高めるためにも、無料（公費負担）にしていただくと嬉しい。

✧インフルエンザの予防接種料金が病院によって差があります。一律にするか無料にするかして欲しいです。

✧インフルエンザの予防接種は、保育園、幼稚園、学校で実施して欲しい。

◆健診の受診日・方法等を見直してほしい

✧健康診断の会場を車等が無い人もいるので交通の便が良い所で行って下さい。

✧子どもの定期健診が、４カ月、１才半、３才だけで、それ以外は個人の負担で健診を受けるようなので、定期健診の回数を増やすか、個人の負担額を減らしてくれると助かります。

✧総合保健センターが不便な場所にあるため、せめて送迎バスなどを運行してほしいです。（集団健診や予防接種のときなど）

③保育サービスの充実

◆保育園の数（定員）を増やしてほしい

✧保育園の待機児童が多すぎる。保育園の数が少ないのではないか。

✧保育園をもっと増やして下さい。来年度の申し込みをしたのですが、何年も待たないと入園できないと言われてしまいました。

✧保育園などの施設にもっと多くの子供が入園できるようにしてほしい。

◆保育料が高い、無認可保育園に対する援助の充実を望む

✧生活の為に働きに出たいのに保育料が高く、負担が大きくふみきれない。

✧川越市の保育園へ入園不可な場合、認定外の保育園の補助があると助かります。

✧保育料を値下げしてほしい。２人目を現在考えているが、保育料が高くて、２人目が産まれたら、仕事をやめなくてはならない状況です。

◆保育時間の延長、休日保育の実施を望む

✧市立の保育園でも、日曜日まで保育サービスしてほしい。接客業なので、平日より土日・祝日の保育サービスがあったらすごく助かります。

✧残業時間まで預かっていただける環境を希望します。

✧保育園の延長保育。延長時間、延長してくれる園も増えてはきているものの、現実は、園の方で受け入れてくれないところもあることを知ってほしいと思います。

◆病児・病後児保育の充実を望む

✧病児保育室を市内につくってください。

✧病中、病後でも預かってくれる施設がもっと身近にあると助かります。

✧一般の保育園や幼稚園での病児保育を確立して欲しい。核家族が多い中で、両親共働きの家庭が多いはず。普段通園している（慣れている）環境での病児保育を希望します。

◆入所基準・審査方法を見直してほしい

✧保育園は、働いていなければ入れないというのはおかしい。子供を預けてからでなければ、仕事を探したり、いろいろな事が出来ないと思う。

✧保育園（認可）の入園手続きの際、「祖父母と同居していると、入園は難しい」とのことですが、同居していても働きたい人はたくさんいると思います。もっと働く女性を支援する政策を考えてほしいです。

④リフレッシュ保育、ストレスの軽減、育児サークル

◆リフレッシュ保育・一時保育の充実を望む

✧リフレッシュの為（映画や買い物等でも）に、子供を預かってほしい。理由がなくても気軽に預けたい。

✧母親が休息をとりたい時や、諸都合ですぐ預けられる一時預かりの充実を、負担の少ない金額で対応してもらえると、とても助かります。育児疲れを少しでも解消し、リフレッシュでき、育児を楽しめると思います。

◆育児サークル等の充実を望む

✧子供もそして親も友達を作れるような会がほしい。育児についてや悩みなどを聞いてもらえる場が近くにないので、そういう場を増やしてほしいです。

✧子育てサークルには参加していますが、１つの地域で月に１回というのは少ないと思います。せめて、２回まで増やしていただけると、子供も一緒にあそぶ楽しみも増え、親としてもいい気分転換の場があり、いいなと思います。

◆子育て支援センターの充実を望む

✧子育て支援センターに４才になったら行けないシステムはとても不便でした。

✧子育て支援センターやつどいの広場のような、親子共安心して過せる（情報交換やそう談などできる）場がもっとたくさんあるといいと思う。

⑤子育て相談・情報提供の充実

◆子育て相談の充実を望む

✧一人で悩んでいる母親がたくさんいます。近所で活動したり、輪を広げて相談しやすい環境を作って欲しい。

✧近くに育児相談できる場がほしい。

◆子育てに関する情報提供の充実を望む

✧広報紙に子育ての情報をもっとのせてほしい。市の子育て情報誌を広報紙と一緒に配布してほしい。

✧今まで子育て支援サービスなどまったく知りませんでした。知らないと利用も出来ないし、存在する意味もありません。情報提供をもっと活動的にして下さい。

✧困った時に、相談出来る機関、子どもを預けられる場所の情報提供を望みます。

⑥幼稚園、学童保育、小学校

◆幼稚園について

✧川越市立の幼稚園があると、経済的に助かる人も多いと思います。

✧幼稚園にかかる費用が大きすぎるのに、補助金は少なすぎる。

✧幼稚園は、もう少し保育の幅を広げ、現実の課題のために工夫して受け入れをしてほしい。

◆学童保育について

✧学童保育の学校休暇中の早朝の対応。

✧学童保育の拡充と保育士、指導員の質の向上をお願いします。

✧学童保育の定員を増やしていただくことも希望します。

◆小学校について

✧公立学校の充実。

✧小学校を学区外で選択できる様にしてほしい。（私立を選択できる様な経済状況ならよいが）

✧少子化のせいか、ＰＴＡ・自治会の役員活動の分担が大変厳しいです。大変なのはわかりますが、子供を犠牲にしてまで活動しなくてはならない様子。未就学児がいる家庭は考慮して欲しい。

✧小学校でも、学童だけでなく、親の用事で帰りが遅い時などだけ、学校内で預かり保育の様に見てもらえる制度があると安心。（有料でも良いので）

⑦公園、児童館等子どものための施設の充実

◆公園の増加、遊具の充実、整備を望む

✧子育てをしてみて痛感しているのは、川越は遊具の充実した公園が少ない事です。安心して子供をのびのびと遊ばせ、基礎体力づくりをさせたいと思っていますが、毎日遊ぶ場所に困っています。

✧小さな子供が遊べる場所や遊具が少ないと思う。

✧近隣の市にくらべ、満足のいく公園が少ない。就学前の子供の公園もないが、就学後の子供がボールを使っておもいきり遊べる公園は皆無である。

◆児童館の増設・充実を望む

✧児童館は小さい子にはいいが、大きくなると遊べなくなる。もう少し広い児童館を作ってほしい。

✧児童館が少ない。充実していない。

⑧子どもの安全、バリアフリー化

◆道路整備や道路や公共施設のバリアフリー化を望む

✧子供の通園、通学の際に車の交通量が多く、なかなか渡れない道路や死角の多い道があり、自転車で子供を乗せていて、危ない思いをしました。時間で通行を規制するなど、子供の安全を考えていただきたい。

✧歩道の状態が全体的に悪い。歩道の段差にスロープがないのはなぜか。車イスの移動も不便だし、車道ばかりきれいにするのではなく、歩道の整備もきちんとしてほしい。ガードレールも、もっと頑丈なものにしてほしい。小さい子供が通う学校の前の歩道として安全とは思えません。

✧川越市駅にはエレベーターがなく、荷物を持ってベビーカーをかかえ上げるのは大変。反対側にも改札口を作ってほしい。歩道が狭く、車との接触が恐い。

◆防犯体制の充実を望む

✧下校時などのパトロールの強化。

✧小学校が遠い子供達は、スクールバスなどがあると良いと思う。子供の事件が多く、変な人が多い世の中になってしまったので、集団登校などしていても心配。帰宅時は１人になる事が多く心配なので、親も子も安心して外に出せるようにしてもらいたい。

✧小学生の登下校を見守り、サポートする人員がほしい。保護者だけでは負担も大きく、心配。

⑨地域社会での子育て支援、企業・職場の子育て支援

◆地域社会で子育て支援をしてほしい

✧お金を沢山かけて色々な事をする事より、地域にいるある程度子育てが落ちついた経験豊かなお母さん達の力をうまく活用する方法を考えると良いと思います。資格などより、なにより経験はとても大切です。限られた予算の中でより良い社会にしていく為には、ハードよりも、ソフトの改革が必要なのではないでしょうか。

✧定年退職された方々にも、子育て世代や育成社会にもっと力を貸してもらえると助かります。朝夕の通学路の交通指導やパトロール、放課後の学童保育施設等の指導員・保育員等。経験知識、社会モラル・遊び・しつけ等、こども達に教えて欲しいことはまだ沢山あります。また、保護者も彼等から学ぶべきことが多くあります。このような方々の雇用機会を増やしていただき、税金を活かしていただけることを強く希望します。

◆公共施設や商業施設で、子連れに配慮した設備やサービスを

✧市役所などの手続きの際、子供を遊ばせるスペースか入れておく柵などが欲しいです。

✧保健センターに予防接種に行った時、座ることもできない赤ちゃん連れが多いのに、赤ちゃんと一緒にトイレに入ることが出来ない。ベビーベット付きの個室トイレがあると良いと思った。

✧買い物をしている時に、スーパーやデパートの中に託児をしてくれるサービスがあったら嬉しいと思います。子ども連れの買い物が大変だと家にこもりがちになったり、人と関われなくなったりします。少しでも母が子どもと離れ、リフレッシュし、一段と育児にがんばれる力をもつためにも、是非、一日も早くこのような場ができてくれたらありがたいです。

◆子育て家庭への職場の理解、残業の規制、休暇の取得

✧企業全体が休みをしっかり取らせるよう努力してもらわないと、父親との時間が少なく、子供の教育という面で大切な事が失われてしまうと思う。親子のコミュニケーションが少なすぎるから、いろんな親子間での犯罪が増加しているように思う。

✧仕事をもっている親の休みを拡大すること。例えば子育て休日を１年で５日とはあまりにも少なすぎると思うし、休みをとると職場の人に負担になるので、１人が休んでもカバーできるような雇用体制をととのえてほしいと思います。

✧「くるみん」マークを職場は認定されているが、形だけで育児休暇等利用できる環境にない。特に、契約社員等は、絶対に無理だと思います。

◆交通機関の充実

✧公民館や児童館などの公共施設への交通手段に不便を感じます。子育て支援室や保健センターは行きたいと思うことが何度もありましたが、断念しました。

✧子供が小さい時、シャトルバスを利用しようと思ったが、子供もお金がかかるので、利用できなかった。電車のように、小学校前の子供は、無料で利用できればと思う。交通費も積み重なれば結構な出費で負担になる。

✧幼い子供を連れて気軽に出掛けられる市内の巡回バスがあると行動範囲がもっと広がると思います。

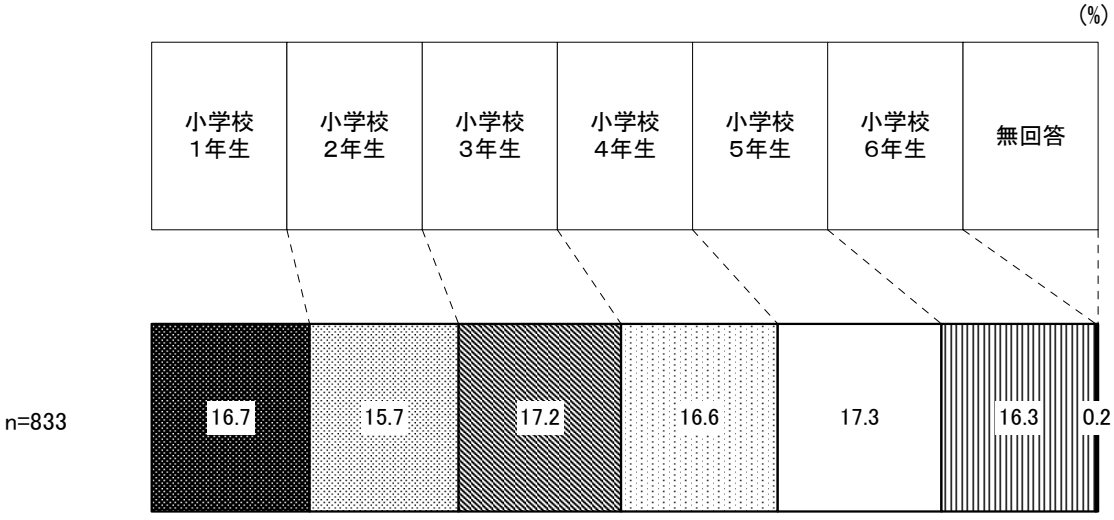
小学生児童のいる世帯　調査結果

1．子どもと家族の状況について

1-1. 子どもの学年

調査対象の子どもの学年は、「小学校１年生」から「小学校６年生」まで 15～17%と分散している。

問1　封筒のあて名のお子さんの学年をお伺いします。（１つに○）

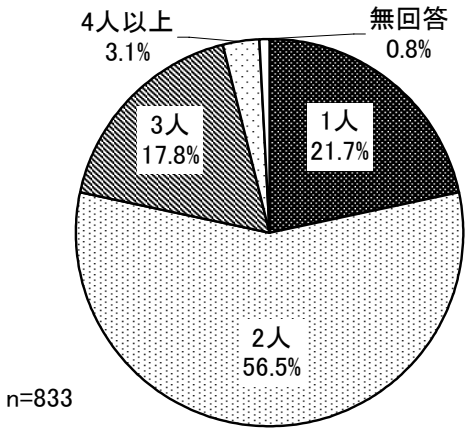


1-2. 子どもの人数と末子の年齢

子どもの人数は「２人」（56.5%）が半数強を占めており、平均人数は2.0人となっている。
末子の年齢は「６～８歳」（42.1%）が４割強と多く、平均年齢は7.0歳となっている。

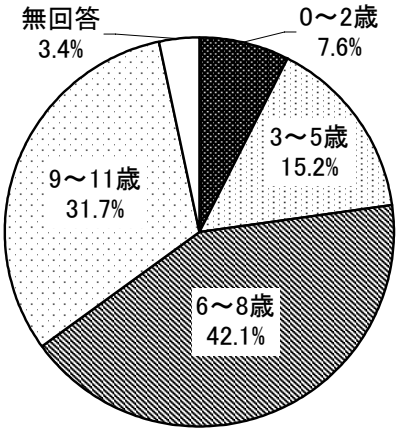
問2　封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いますか。また、２人以上いる場合、末子の年齢（平成 20 年４月１日現在の年齢）をご記入ください。

【子どもの人数】



平均:2.0人

【末子の年齢】

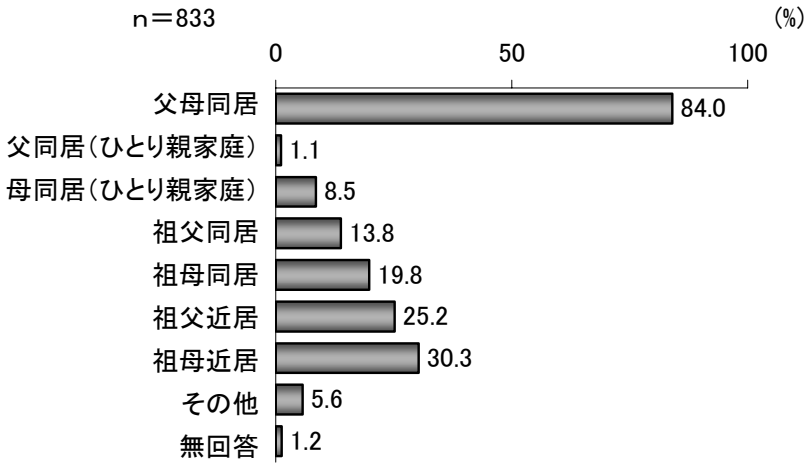


平均:7.0歳

1-3. 同居・近居の状況

同居・近居の状況をみると、「父母同居」が 84.0%となっている。「祖母近居」（30.3%）、「祖父近居」（25.2%）は３割前後、「祖母同居」（19.8%）、「祖父同居」（13.8%）は１割台となっている。

問３　あて名のお子さんとの同居・近居（概ね 30 分以内程度に行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。（あてはまる番号すべてに○）

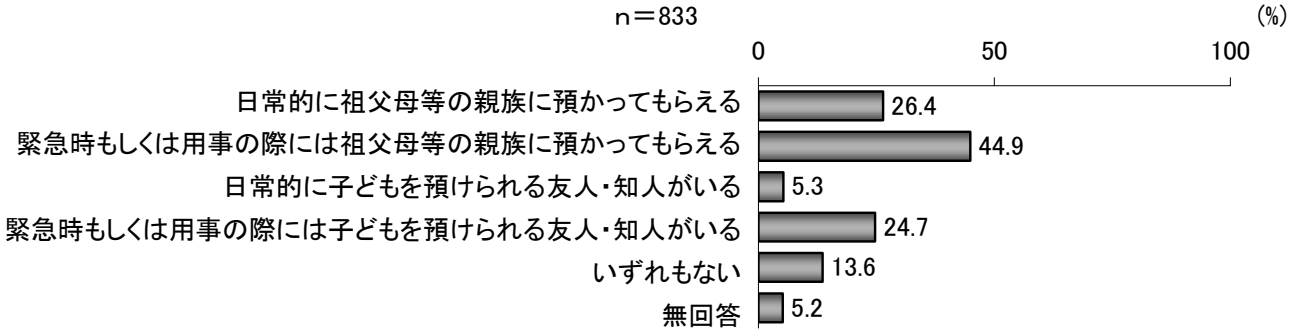


1-4. 日頃子どもを預かってくれる人

（1）預かってくれる人の有無

日頃子どもを預かってくれる人の有無をみると、「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」とする人は 26.4%であり、４人に１人強の割合となっている。「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」とする人は 44.9%と多いが、「いずれもない」（13.6%）とする人も１割強みられる。

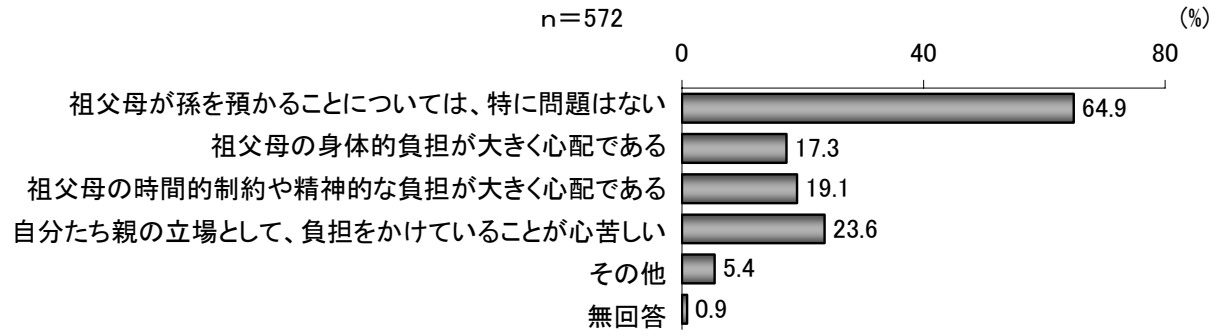
問４　日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。（あてはまる番号すべてに○）



（2）祖父母に預かってもらっている状況

祖父母に預かってもらっている状況について、「祖父母が孫を預かることについては、特に問題はない」とする人が 64.9%と多数を占めているが、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」（23.6%）とする人が４人に１人弱の割合でみられる。

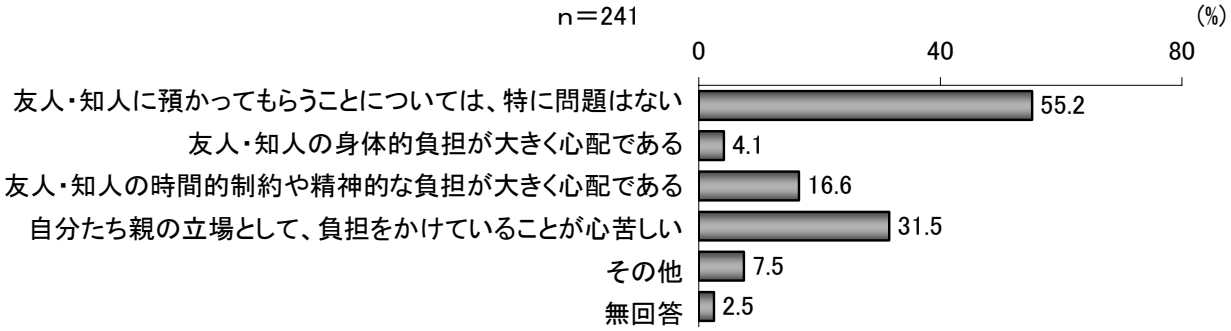
問4-1　祖父母に預かってもらっている状況について、お伺いします。（あてはまる番号すべてに○）



（3）友人や知人に預かってもらっている状況

友人や知人に預かってもらっている状況についても、「友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない」（55.2%）とする人が半数を超えているが、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」（31.5%）とする人も３割強みられる。

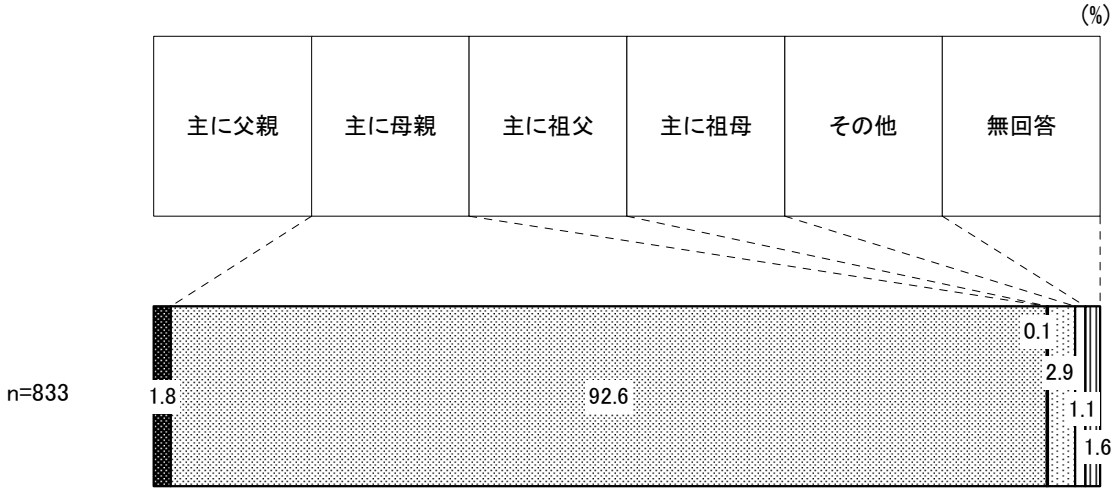
問4-2　友人や知人に預かってもらっている状況について、お伺いします。
（あてはまる番号すべてに○）



1-5. 子どもの身の回りの世話を主にしている人

子どもの身の回りの世話をしているのは「主に母親」との回答が 92.6%と大多数を占めている。

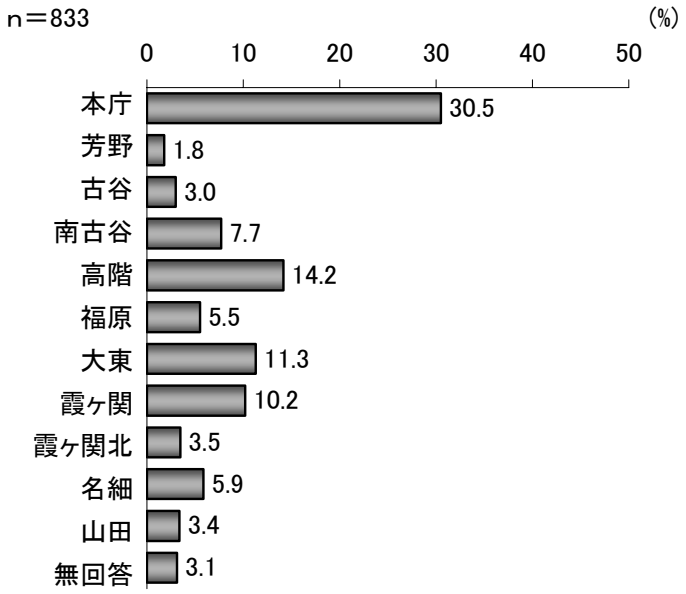
問5　あて名のお子さんの身の回りの世話などを主にしている方はどなたですか。（１つに○）
続柄はあて名のお子さんから見た関係です。



1-6. 居住地区

居住地区は、「本庁」（30.5%）が３割と最も多い。ついで、「高階」（14.2%）、「大東」（11.3%）、「霞ヶ関」（10.2%）が１割台となっている。

問6　お住まいの地区は、どこですか。（１つに○）



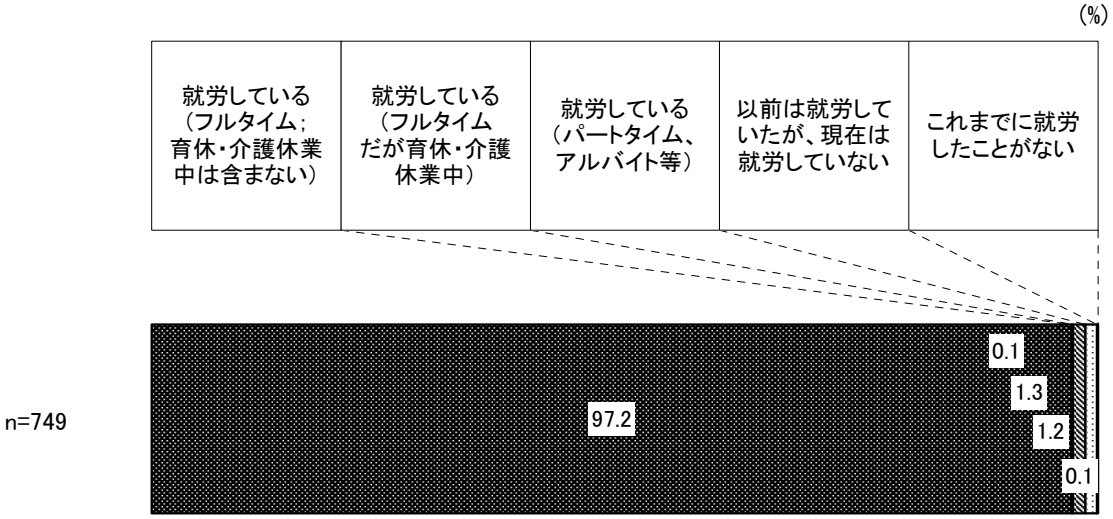
2．保護者の就労状況について

2-1．父親の就労状況

父親の就労状況は、「就労している（フルタイム；育休・介護休業中は含まない）」が 97.2%と大多数を占めている。

パートタイム、アルバイト等で就労している人の就労日数は週「５日」や「６日」がそれぞれ３人とやや多く、就労時間は１日「５時間」や「８時間」がやや多くなっており、平均日数は週 5.2 日、平均時間は１日 6.7 時間となっている。

問７　現在の就労状況を（自営業、家族従事者含む）お伺いします。（１つに○）
（１）父親　【母子家庭の場合は記載不要】



※回答者ベースで集計

■パートタイム、アルバイト等で就労している人の就労日数（週）

	計	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日	無回答	平均
%	100.0	10.0	10.0	30.0	30.0	10.0	10.0	5.2
n	10	1	1	3	3	1	1	

■パートタイム、アルバイト等で就労している人の就労時間（日）

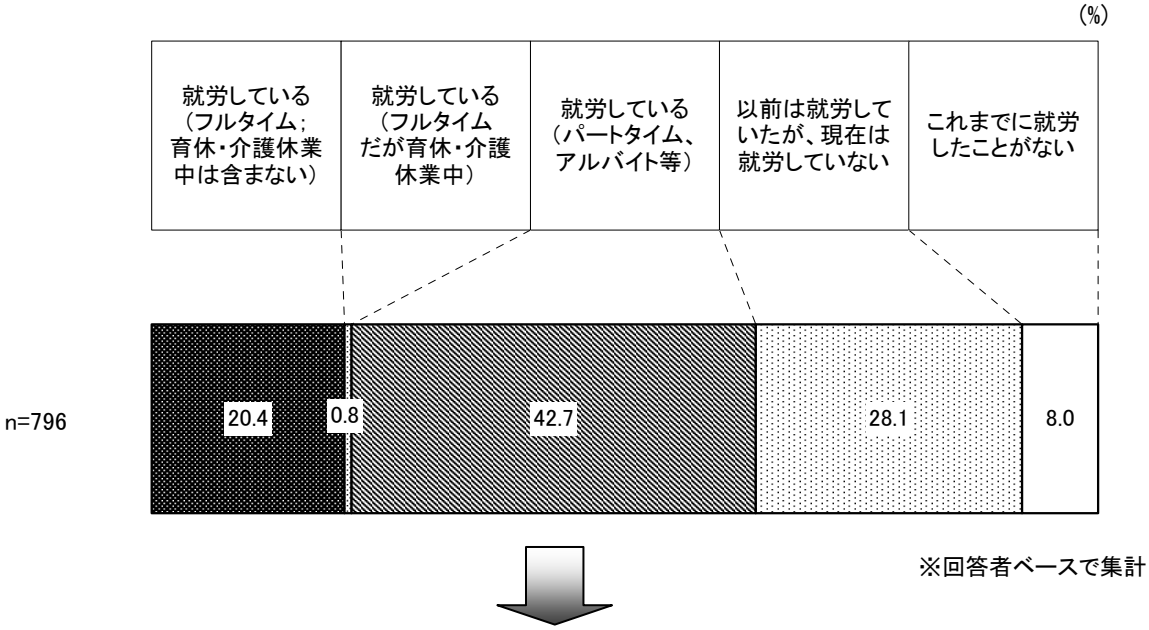
	計	5 時間	6.5 時間	8 時間	無回答	平均
%	100.0	30.0	10.0	40.0	20.0	6.7
n	10	3	1	4	2	

2-2. 母親の就労状況

母親の就労状況は、「就労している（パートタイム、アルバイト等）」が 42.7%と４割強を占め、「就労している（フルタイム；育休・介護休業中は含まない）」（20.4%）が２割であり、“就労している”母親は 63.9%となっている。

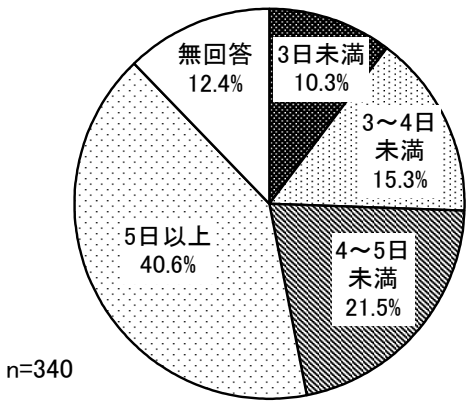
パートタイム、アルバイト等で就労している人の就労日数は週「５日以上」が４割と多く、就労時間は１日「４～５時間未満」が４人に１人強と多くなっており、平均日数は週 4.1 日、平均時間は１日 4.9 時間となっている。

問７　現在の就労状況を（自営業、家族従事者含む）お伺いします。（１つに○）
（２）母親　【父子家庭の場合は記載不要】



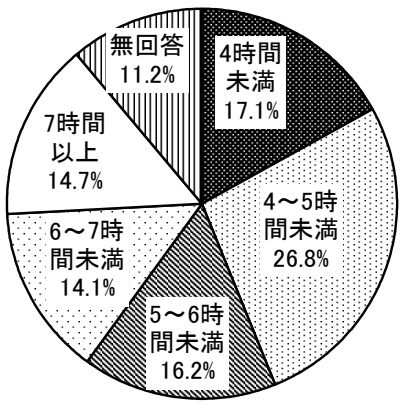
■パートタイム、アルバイト等で就労している人の就労日数（週）と就労時間（日）

【就労日数（週）】



平均：4.1日

【就労時間（日）】



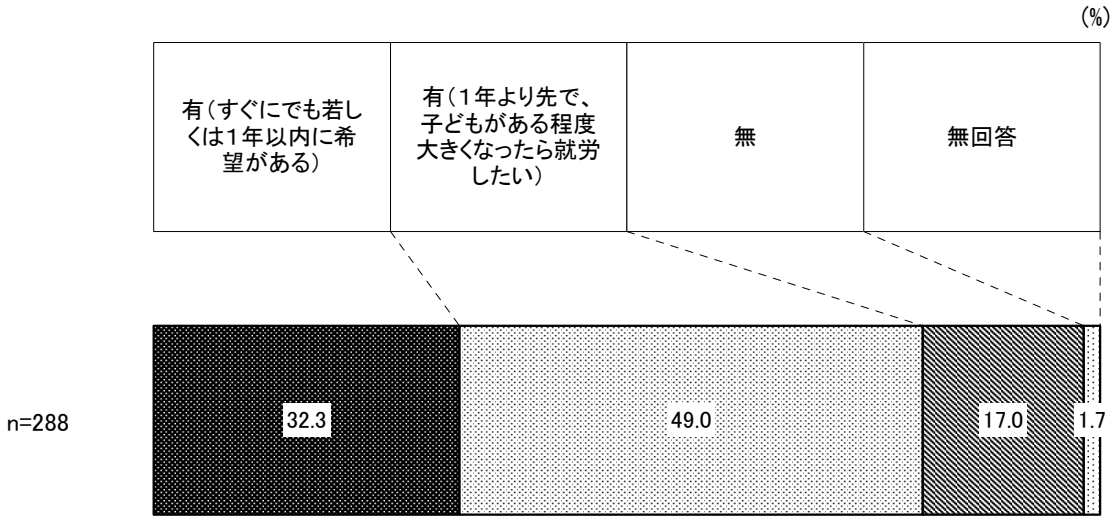
平均：4.9時間

2-3. 現在就労していない母親の就労希望

（1）就労希望の有無

現在就労していない母親の就労希望みると、「有(すぐにでも若しくは１年以内に希望がある)」とする人は約３人に１人、「有（１年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい)」とする人が２人に１人となっており、就労希望が“有”との回答は 81.3%となっている。

問８　母親の就労希望はありますか。（１つに○）

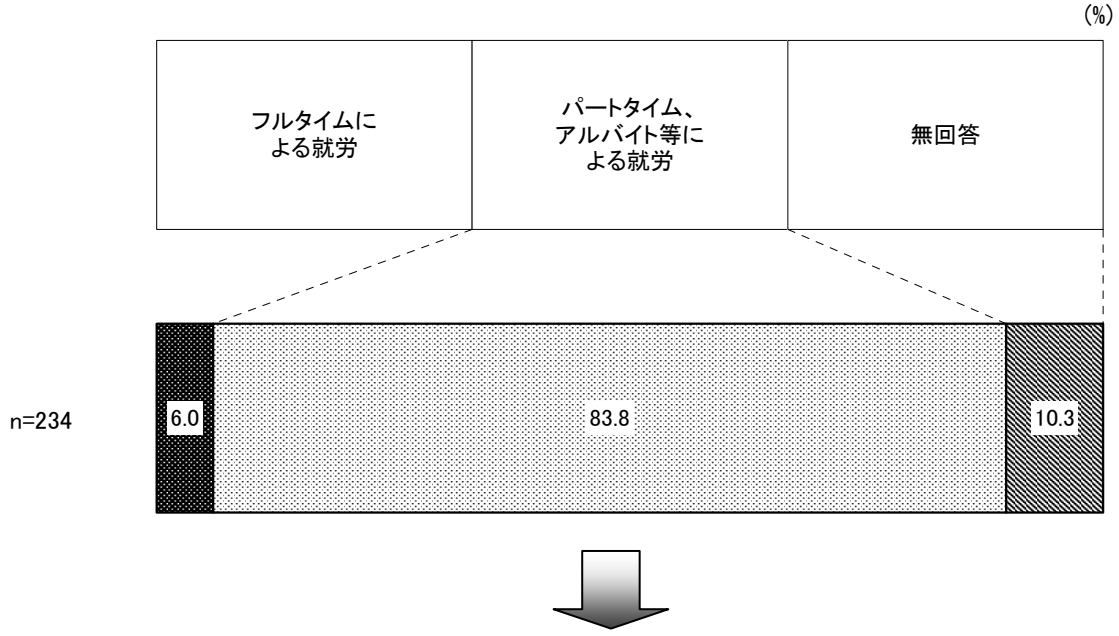


（2）就労希望形態

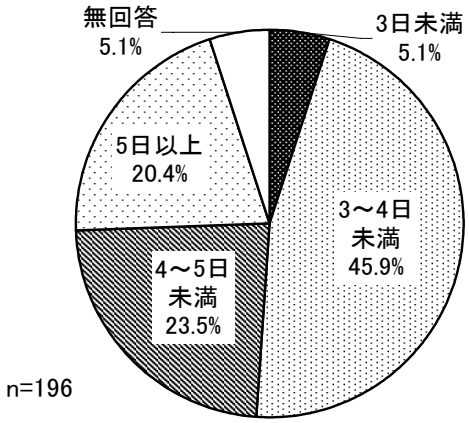
就労希望が“有”と回答した母親の就労希望形態は、「パートタイム、アルバイト等による就労」（83.8%）が８割強と多い。

「パートタイム、アルバイト等による就労」を希望する人の希望就労時間は週「３～４日未満」が 45.9%と半数近くを占め、平均日数は 3.7 日となっている。希望就労時間は１日「４～５時間未満」（40.8%）が４割、「５～６時間未満」（33.2%）が３割強であり、平均時間は１日 4.6 時間となっている。

問8-1　就労希望の形態はどのようなものですか。（１つに○）（パート、アルバイトを希望の方は一週当たり日数及び一日当たり時間も記入してください。）

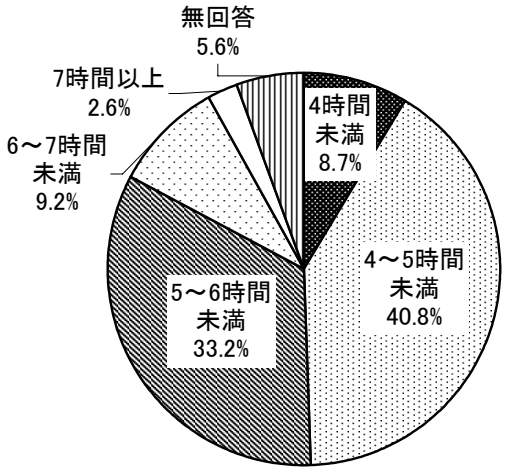


【希望就労日数（週）】



平均：3.7日

【希望就労時間（日）】

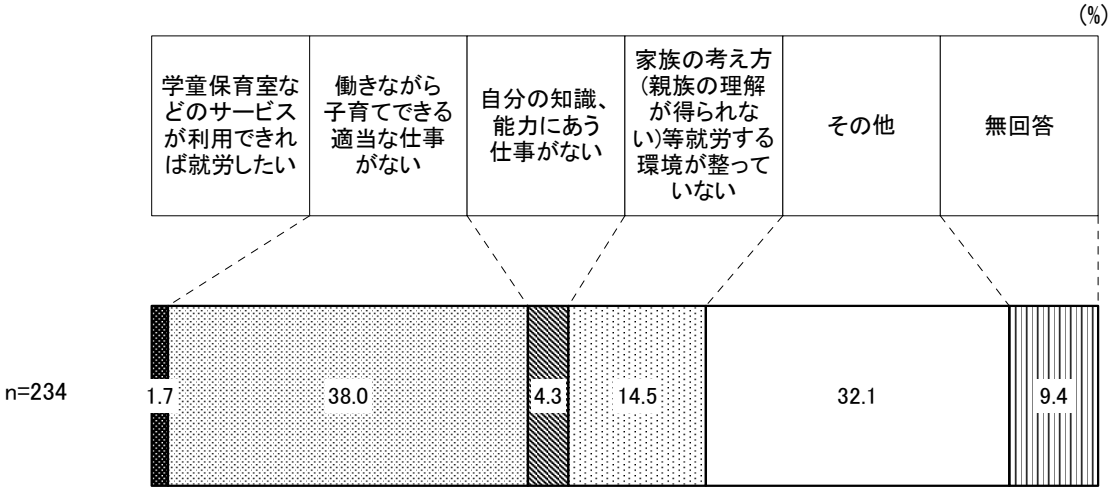


平均：4.6時間

（3）就労希望がありながら働いていない理由

就労希望がありながら現在働いていない理由としては、「働きながら子育てできる適当な仕事がない」（38.0%）が４割弱と多くなっている。

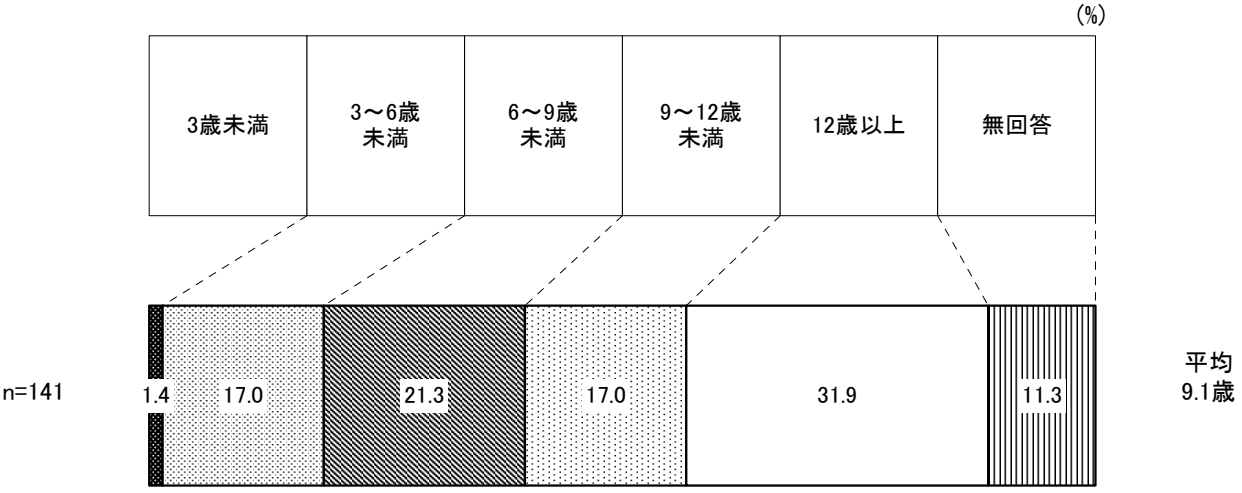
問8-2　就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。（もっとも近いもの１つに○）



（4）就労したい時の子どもの年齢

１年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したいと回答した人の就労したい時の子どもの年齢は、「12 歳以上」（31.9%）が３割強、「６～９歳未満」（21.3%）が２割強とやや多く、平均年齢は 9.1 歳となっている。

問8-3　問8で「2．有（１年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい）」を選ばれた方にお伺いします。あて名のお子さんも含めて一番小さい子が何歳になったときに就労を希望されますか。



3．学童保育室の利用について

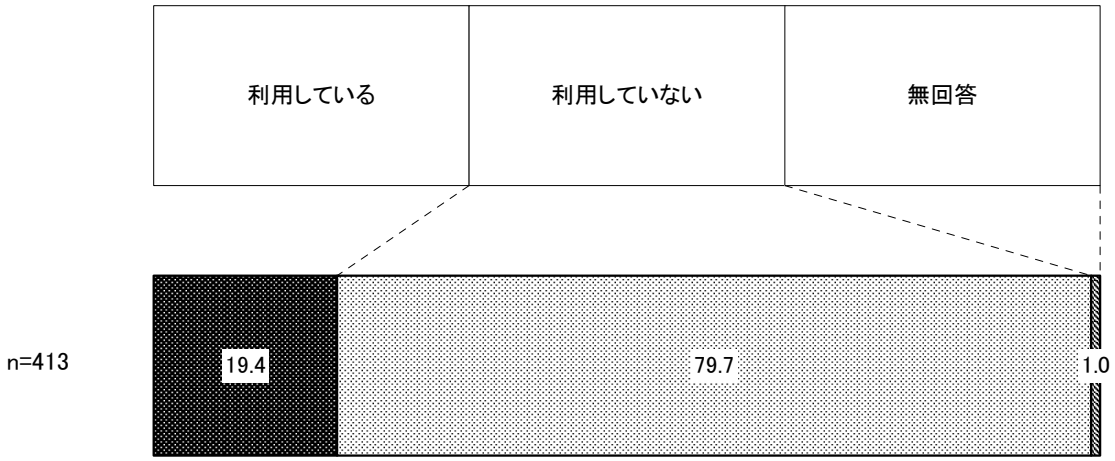
3-1．学童保育室の利用について

（1）利用状況

小学校１年生から３年生のうち、学童保育室を「利用している」のは 19.4%となっている。

問9　宛名のお子さんについて、現在、学童保育室を利用していますか。（１つに○）

(%)



≪学年別:利用状況≫

学年別にみると、学童保育室を「利用している」のは１年生 23.7%、２年生 15.3%、３年生 18.9%となっており、１年生は４人に１人弱の割合となっている。

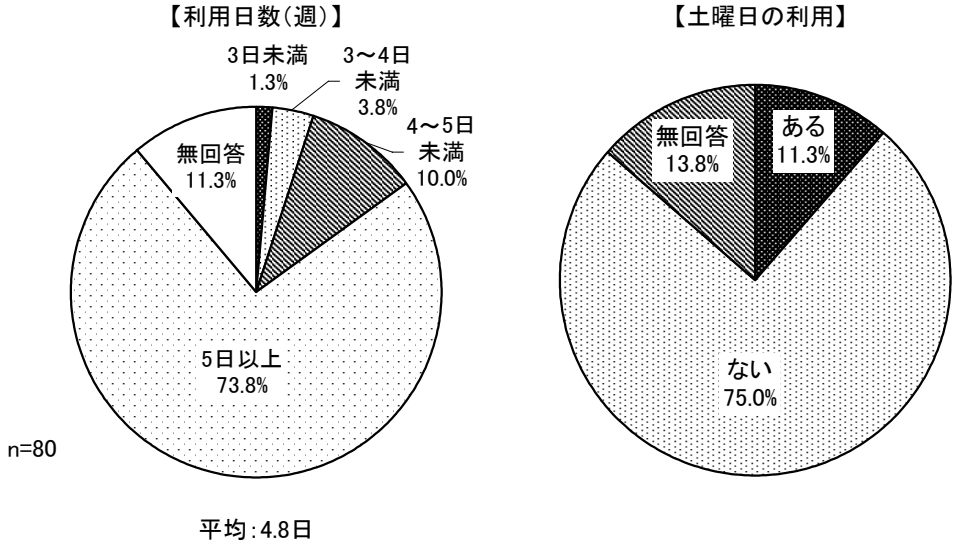
(%)

		n	利用している	利用していない	無回答
全体		413	19.4	79.7	1.0
学年	1 年生	139	23.7	75.5	0.7
	2 年生	131	15.3	83.2	1.5
	3 年生	143	18.9	80.4	0.7

（2）利用日数と土曜日の利用状況

学童保育室の利用日数は週「５日以上」（73.8%）が７割強と多く、平均日数は4.8日となっている。土曜日の利用については、「ある」（11.3%）が１割強であり、４人に３人は「ない」としている。

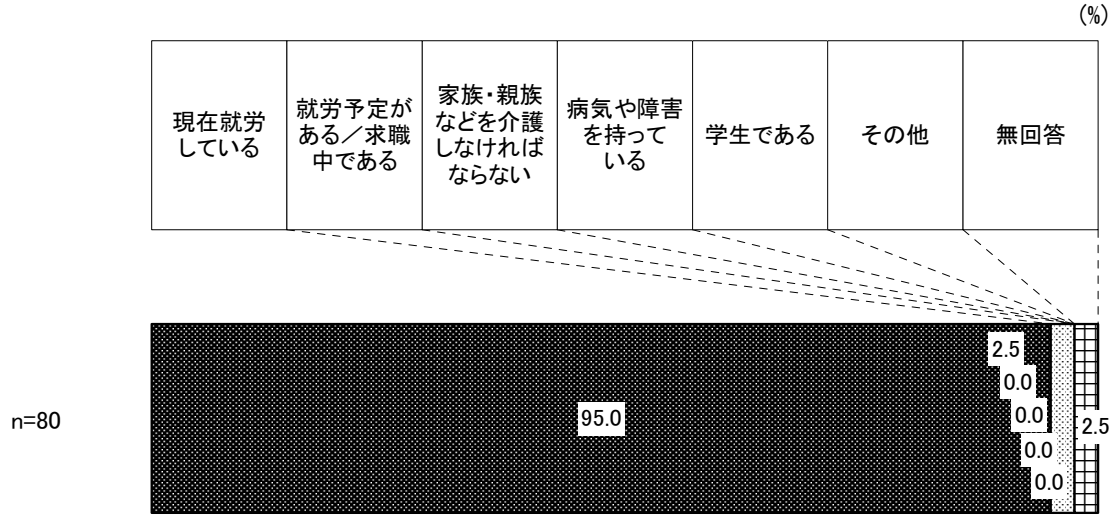
問9-1　あて名のお子さんについて、学童保育室の利用日数はどれくらいですか。



（3）利用している理由

学童保育室を利用している理由は、「現在就労している」が95.0%と大多数を占めている。

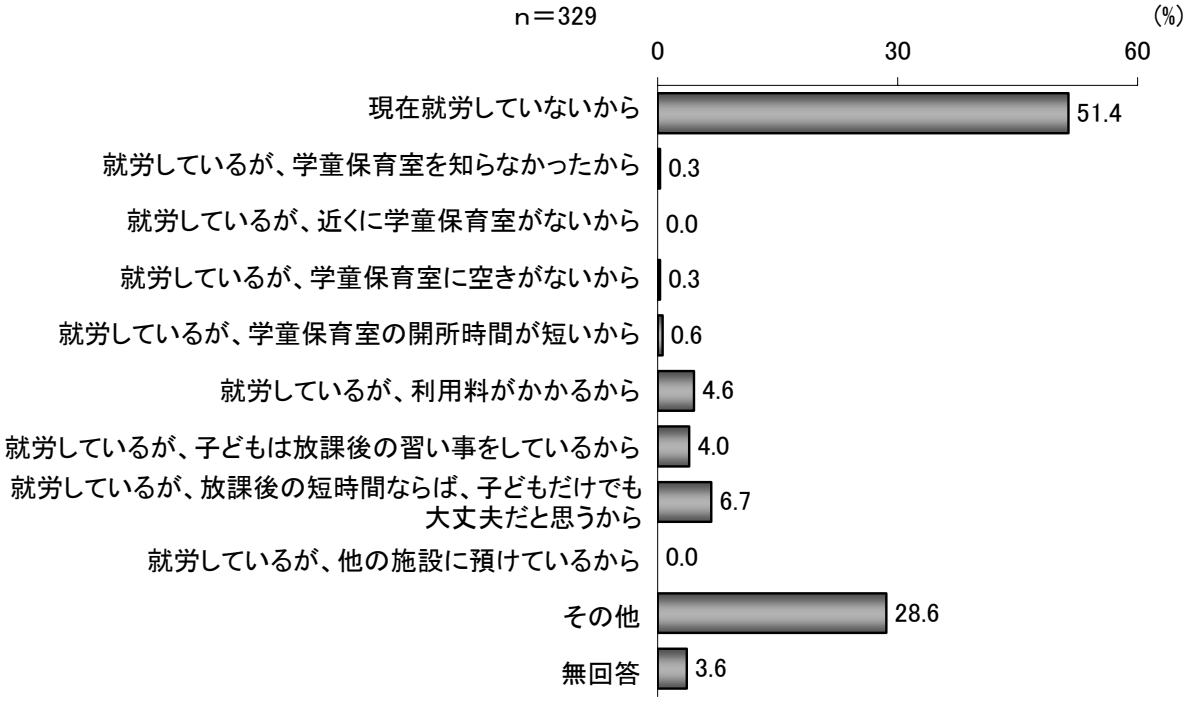
問9-2　利用されている理由についてお伺いします。（主な理由１つに○）



（4）利用していない理由

学童保育室を利用していない理由は、「現在就労していないから」（51.4%）が半数強を占めている。

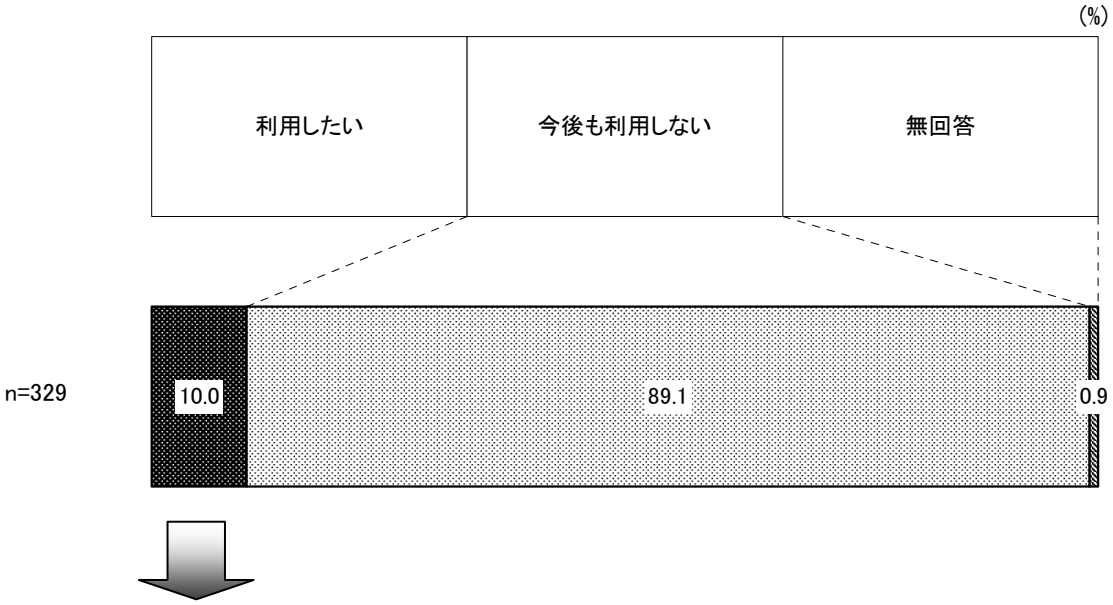
問9-3　利用していない理由は何ですか。（主な理由１つに○）



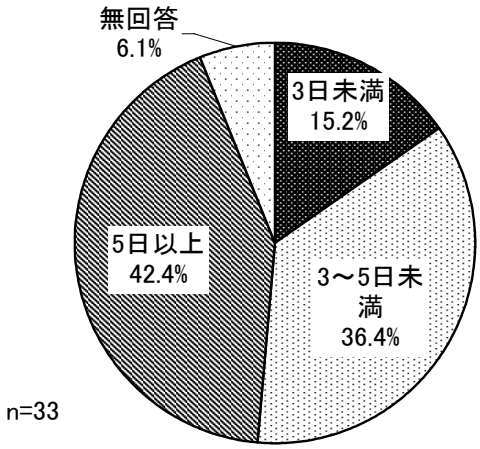
（5）利用希望

現在学童保育室を利用していない人のうち、今後「利用したい」とする人は１割であり、平均利用希望日数は週 3.8 日、土曜日の利用希望が「ある」（21.2%）人は２割強となっている。

問9-4　あて名のお子さんについて、今後、学童保育室を利用したいとお考えですか。（１つに○）

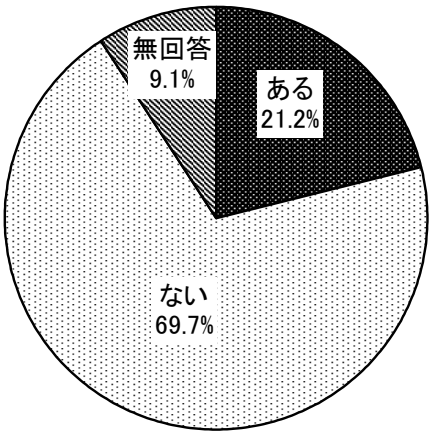


【利用希望日数（週）】



平均：3.8日

【土曜日の利用希望】



（6）利用したい理由

現在学童保育室を利用していない人で、今後利用したいと回答した人の理由は、「そのうち就労したいと考えている」（51.5%）が半数強と多い。

問9-5　今後学童保育室を利用したい理由は何ですか。（主な理由１つに○）

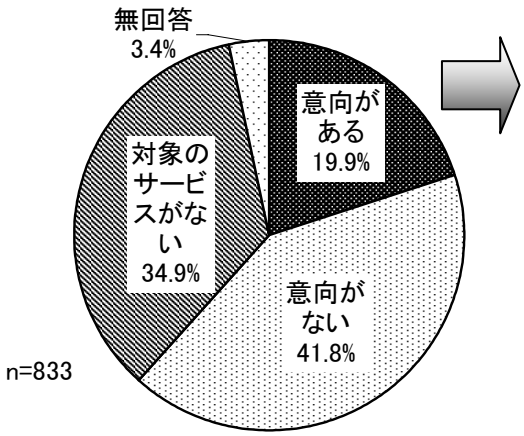
	計	現在就労している	就労予定がある／求職中である	そのうち就労したいと考えている	家族・親族などを介護しなければならない	病気や障害を持っている	学生である／就学したい	就労していないが、子どもの教育などのために預けたい	その他	無回答
%	100.0	21.2	6.1	51.5	0.0	3.0	0.0	6.1	9.1	3.0
n	33	7	2	17	0	1	0	2	3	1

3-2. 放課後子ども教室の利用希望

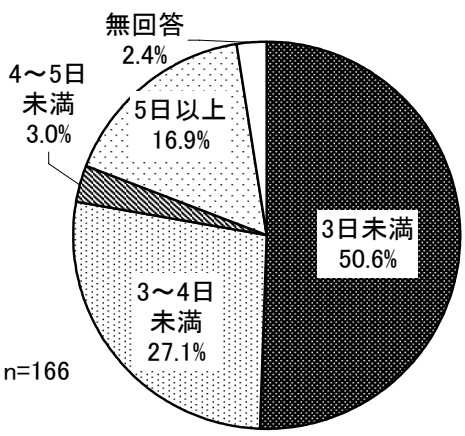
放課後子ども教室の利用について、「意向がある」（19.9%）との回答は２割、「意向がない」（41.8%）は４割強、「対象のサービスがない」（34.9%）は３割強となっている。
意向があると回答した人の利用希望日数は週「３日未満」（50.6%）が５割と多く、平均日数は2.7日となっている。

問9-6　地域によっては、学童保育室と連携して行うサービスとして『放課後子ども教室』がありますが、その利用意向はありますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。

【利用希望】



【利用希望日数(週)】



平均:2.7日

≪学年別:放課後子ども教室の利用希望≫

学年別にみると、「意向がある」のは１年生で 25.9%とやや多く、４人に１人の割合となっている。５年生以上は「意向がない」との回答が半数を超えている。

(%)

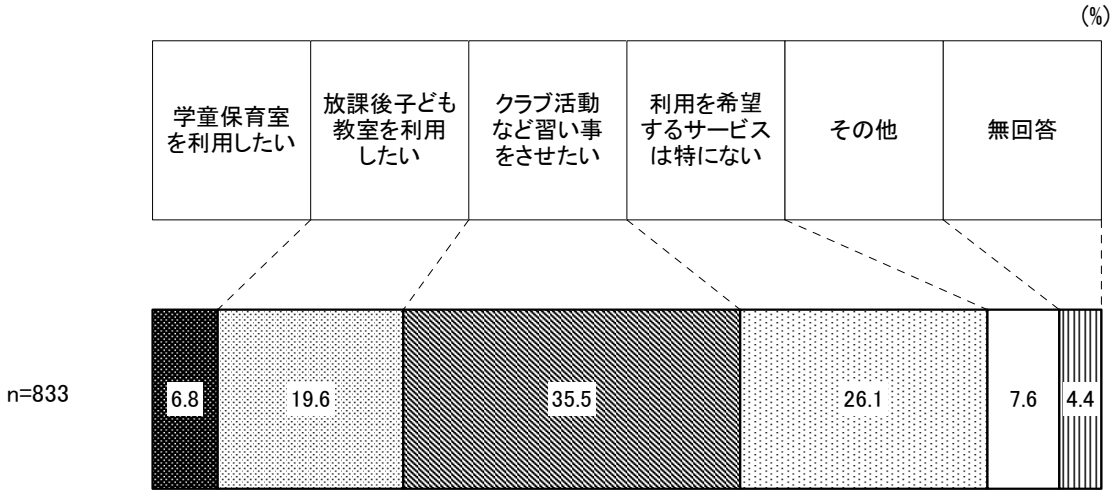
		n	意向がある	意向がない	対象のサービスがない	無回答
全体		833	19.9	41.8	34.9	3.4
学年	1 年生	139	△ 25.9	★ 25.9	△ 43.9	4.3
	2 年生	131	22.1	▲ 32.8	△ 41.2	3.8
	3 年生	143	21.7	▲ 36.4	39.2	2.8
	4 年生	138	19.6	45.7	34.1	0.7
	5 年生	144	16.0	○ 53.5	▲ 27.8	2.8
	6 年生	136	▲ 14.7	○ 55.9	● 23.5	5.9

3-3. 小学４年生以降の放課後の過ごし方

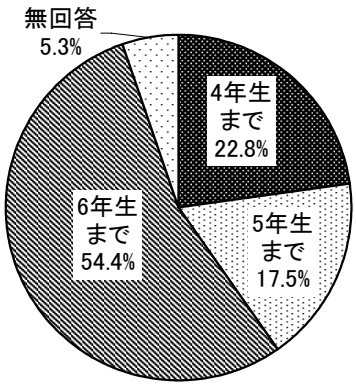
小学４年生以降の放課後の過ごし方について、「クラブ活動など習い事をさせたい」（35.5%）とする人が３人に１人強の割合で最も多い。「放課後子ども教室を利用したい」（19.6%）は２割、「学童保育室を利用したい」は6.8%となっており、４人に１人強は「利用を希望するサービスは特にない」としている。

学童保育室を利用したいと回答した人の利用希望学年は、「６年生まで」が 54.4%と半数強を占めている。

問 10　あて名のお子さんについてお伺いします。小学４年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。（１つに○）



【利用希望学年】



≪学年別：小学4年生以降の放課後の過ごし方≫

学年別にみると、「学童保育室を利用したい」は３年生で１割強とやや多く、「放課後子ども教室を利用したい」は１年生で３割弱とやや多くなっている。

(%)

		n	学童保育室を利用したい	放課後子ども教室を利用したい	クラブ活動など習い事をさせたい	利用を希望するサービスは特にない	その他	無回答
全体		833	6.8	19.6	35.5	26.1	7.6	4.4
学年	1 年生	139	8.6	△ 28.1	37.4	● 13.7	8.6	3.6
	2 年生	131	9.9	17.6	36.6	24.4	5.3	6.1
	3 年生	143	△ 12.6	19.6	30.8	27.3	6.3	3.5
	4 年生	138	2.2	21.0	39.1	28.3	5.8	3.6
	5 年生	144	3.5	17.4	30.6	△ 31.9	11.1	5.6
	6 年生	136	4.4	▲ 13.2	39.0	30.9	8.1	4.4

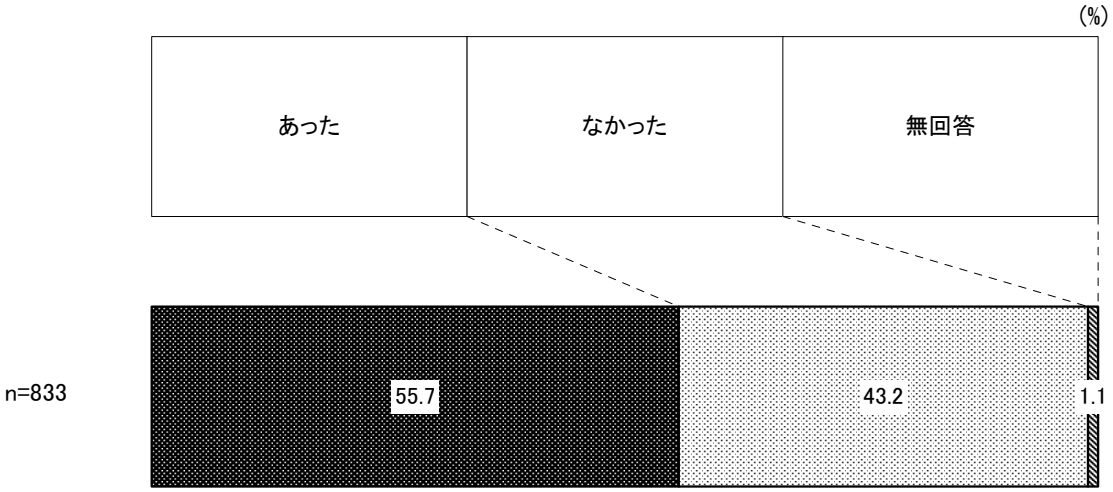
4．病児・病後児保育について

4-1．過去１年間に学校を休まなければならなかったこと

（1）利用できなかったことの有無

過去１年間に学校を休まなければならなかったことが「あった」との回答は 55.7%と半数強を占めている。

問 11　この１年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。



≪学年別：利用できなかったことの有無≫

学年別にみると、「あった」との回答は１年生で 66.9%、３年生で 61.5%とやや多くなっている。

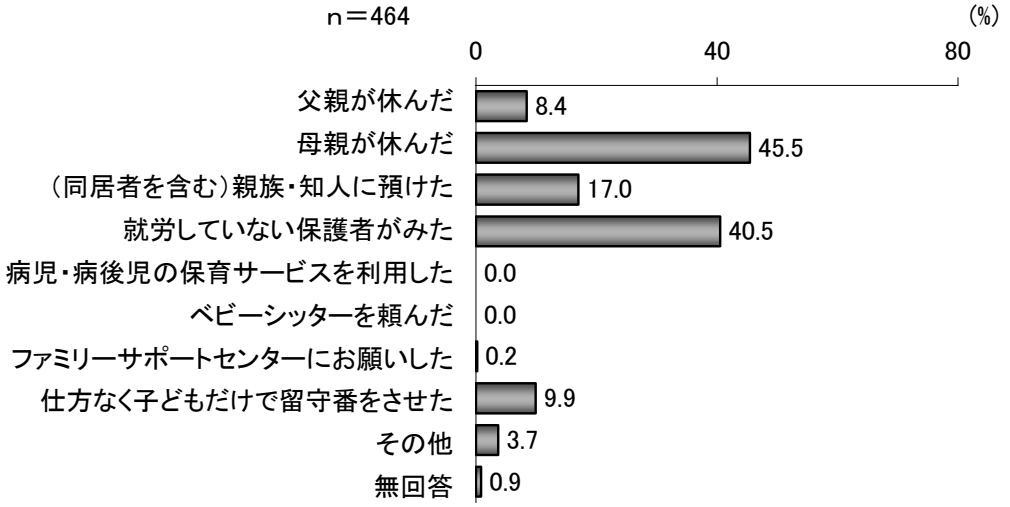
(%)

		n	あった	なかった	無回答
全体		833	55.7	43.2	1.1
学年	1 年生	139	○ 66.9	● 33.1	0.0
	2 年生	131	▲ 48.9	△ 49.6	1.5
	3 年生	143	△ 61.5	38.5	0.0
	4 年生	138	52.2	47.1	0.7
	5 年生	144	56.9	41.0	2.1
	6 年生	136	▲ 47.8	△ 50.0	2.2

（2）対処方法

学校を休んだときの対処方法は、「母親が休んだ」（45.5%）と「就労していない保護者がみた」（40.5%）が４割台と多い。

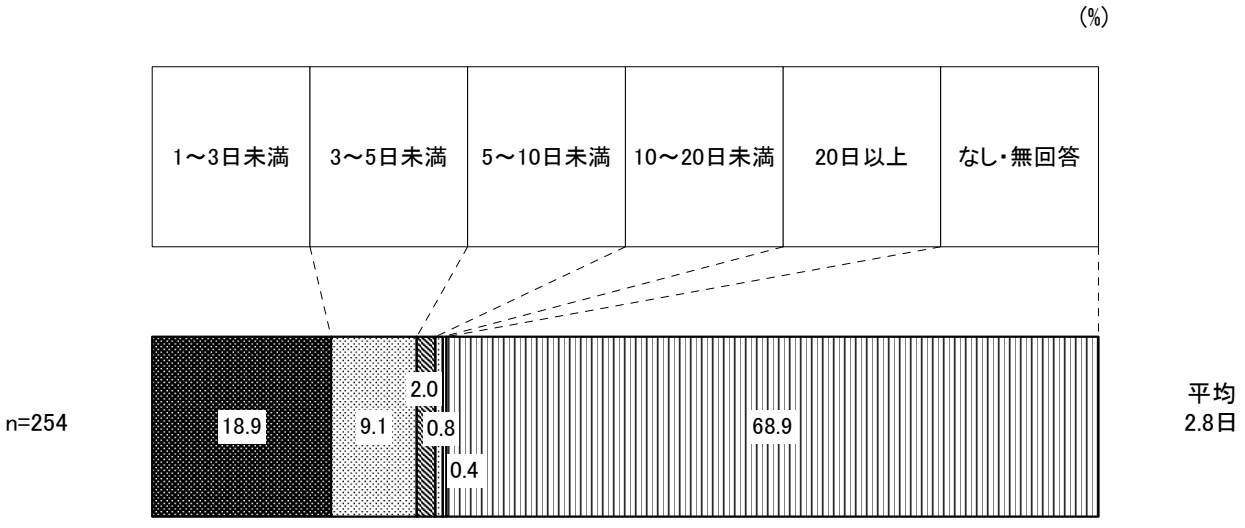
問 11-1　この１年間の対処方法についてお伺いします。（あてはまる番号すべてに○）



（3）施設等に預けたいと思った日数

対処方法として、「父親が休んだ」「母親が休んだ」「（同居者を含む）親族・知人に預けた」と回答した人に、できれば施設等に預けたいと思った日数を聞いたところ、希望があったのは 31.2%であり、平均日数は 2.8 日となっている。

問 11-2　その際、できれば施設等に預けたいと思われた日数はどれくらいありますか。枠内に日数を記入してください。



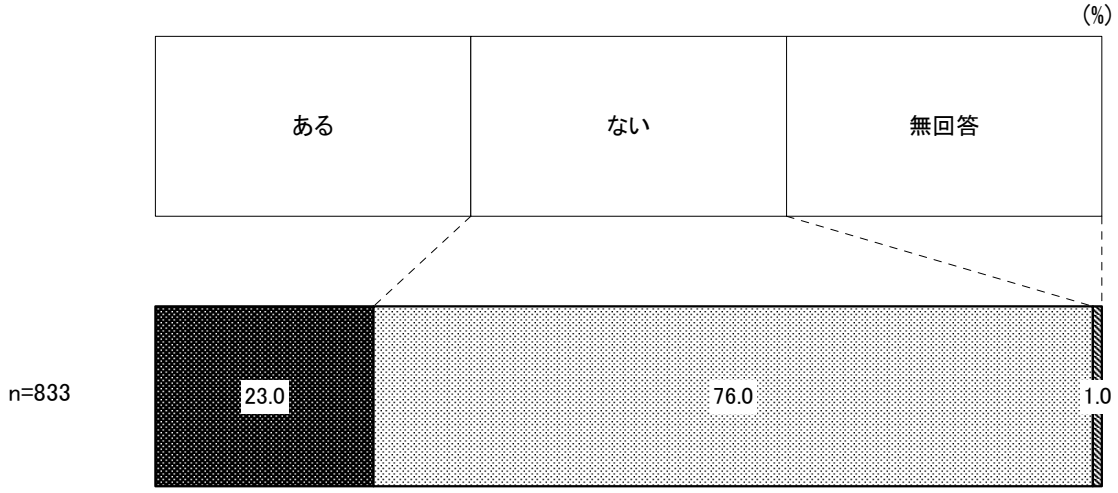
5．一時預かりについて

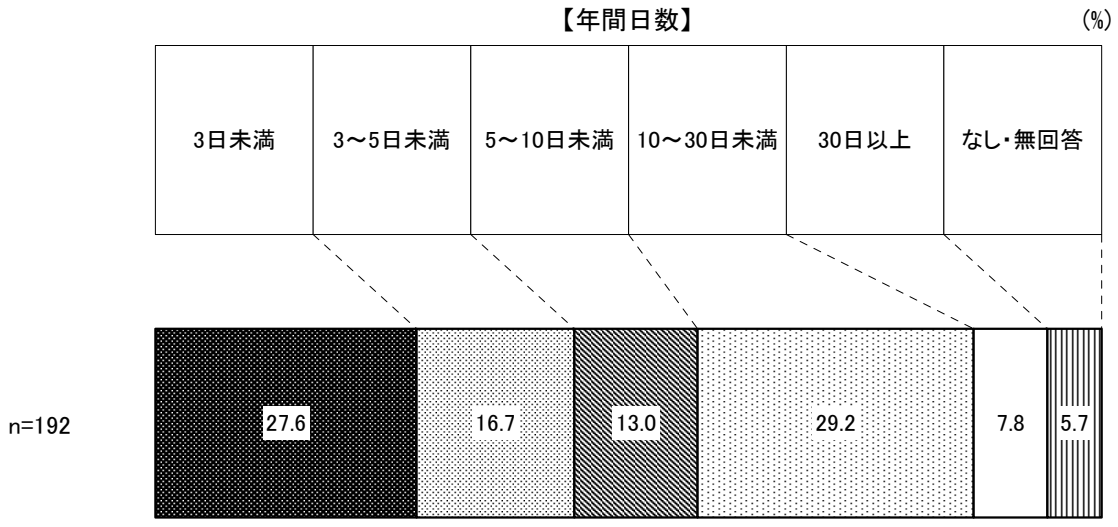
5-1．過去１年間に家族以外に一時的に預けたこと

（1）預けたことと年間日数

過去１年間に家族以外に一時的に子どもを預けたことが「ある」（23.0%）との回答は４人に１人弱の割合となっており、日数は年間「３日未満」（27.6%）と「10～30 日未満」（29.2%）が多く、平均日数は 15.1 日となっている。

問 12　この１年間で、私用（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。（半日程度についても１日としてカウントしてください。）



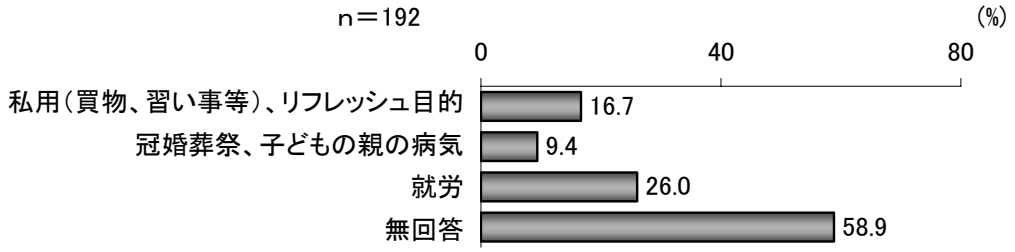


（2）預けた理由と日数

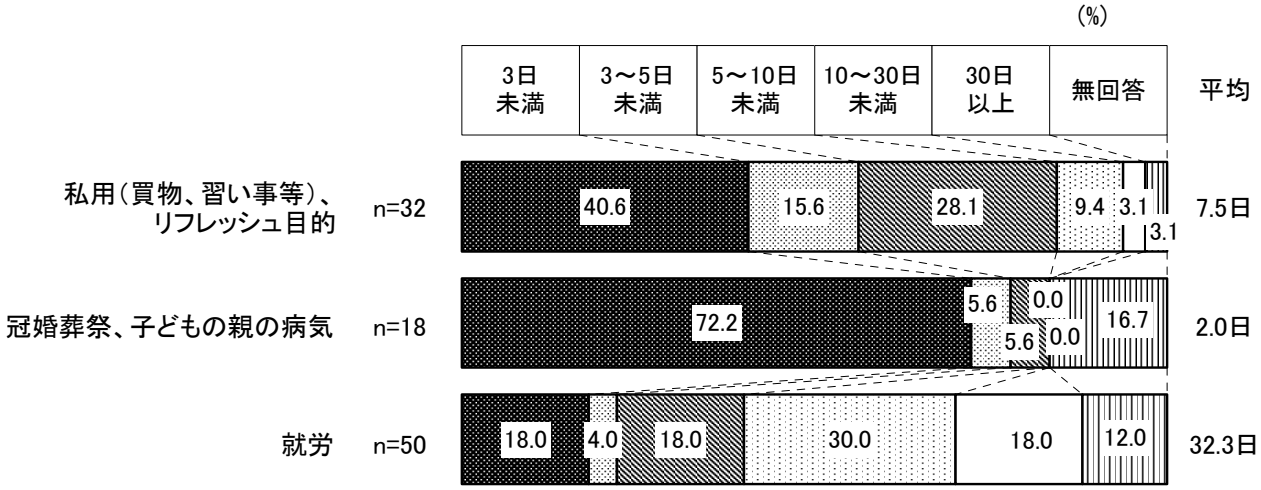
過去１年間に家族以外に一時的に子どもを預けたことがある人の理由は、「就労」が26.0%と多い。「私用（買物、習い事等)、リフレッシュ目的」は 16.7%、「冠婚葬祭、子どもの親の病気」は9.4%となっている。

また、理由別の預けた平均日数は、「私用（買物、習い事等)、リフレッシュ目的」7.5 日、「冠婚葬祭、子どもの親の病気」2.0 日、「就労」32.3 日となっている。

【預けた理由】



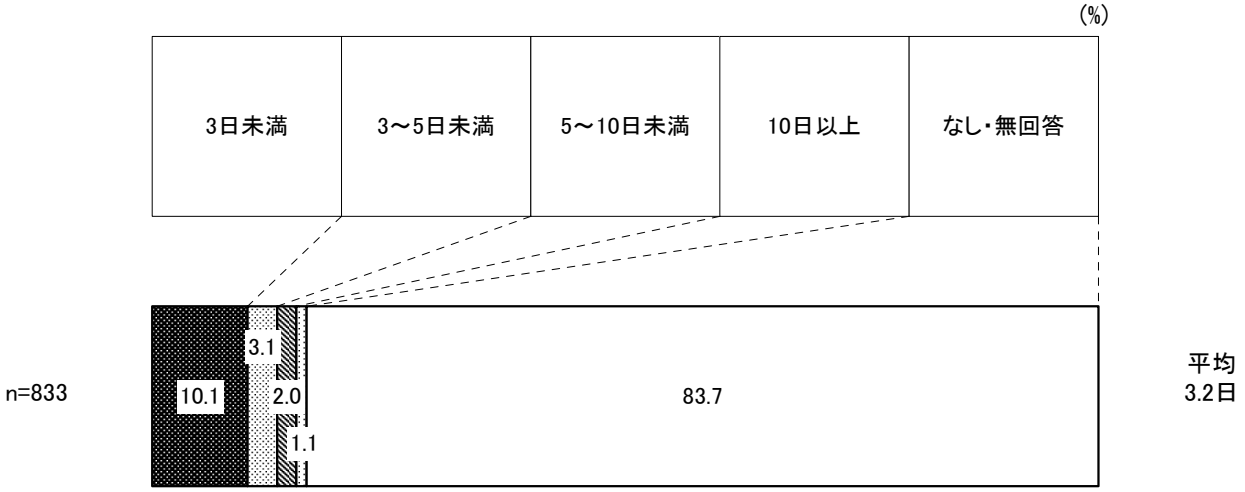
【理由別日数】



5-2. 今後利用したい、増やしたいと思う日数

今後利用したい、増やしたいと思う日数として希望があったのは 16.3%であり、平均日数は 3.2 日となっている。

問 13　今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いますか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。



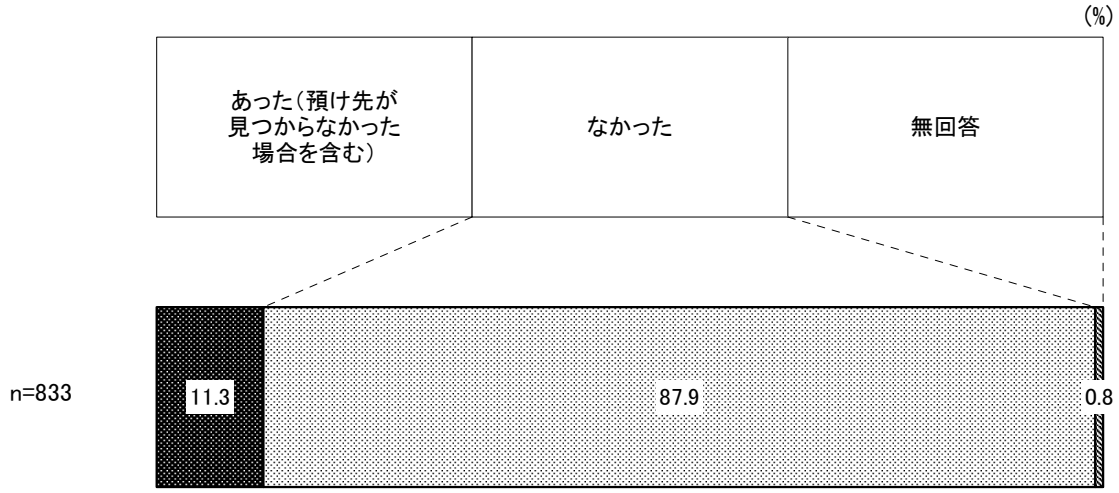
6．宿泊を伴う一時預かりについて

6-1．過去１年間に泊まりがけで家族以外に預けなければならなかったこと

（1）預けたことの有無

過去１年間に泊まりがけで家族以外に子どもを預けなければならなかったことが「あった（預け先が見つからなかった場合を含む）」とする人は11.3%となっている。

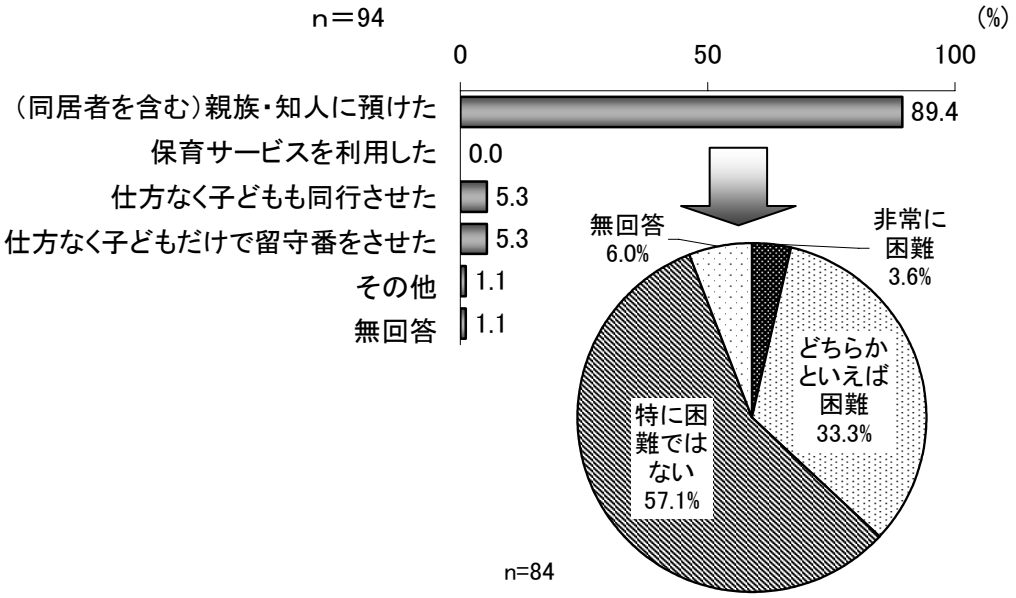
問 14　この１年間に、保護者の用事などにより、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。



（2）対処方法と困難度

対処方法としては、「（同居者を含む）親族・知人に預けた」（89.4%）が多数を占めており、その際の困難度としては、「特に困難ではない」（57.1%）が６割近くを占めているが、３人に１人は「どちらかといえば困難」（33.3%）としている。
対処方法ごとの預けた泊数は以下の表の通りである。

問 14-1　この１年間の対処方法（親族・知人に預けた場合は泊数と困難度をお答えください。）についてお伺いします。（あてはまる番号すべてに○）



■（同居者を含む）親族・知人に預けた泊数（年間）

	計	3 泊未満	3～5 泊未満	5～10 泊未満	10 泊以上	無回答	平均
%	100	46.4	17.9	21.4	10.7	3.6	3.9
n	84	39	15	18	9	3	

■仕方なく子どもも同行させた泊数（年間）

	計	1 泊	2 泊	3 泊	無回答	平均
%	100	20.0	20.0	40.0	20.0	2.3
n	5	1	1	2	1	

■仕方なく子どもだけで留守番をさせた泊数（年間）

	計	1 泊	2 泊	無回答	平均
%	100	60.0	20.0	20.0	1.3
n	5	3	1	1	

7．ベビーシッターの利用について

7-1．ベビーシッターの利用目的と利用頻度

（1）利用目的

ベビーシッターの利用目的は以下の表の通りである。

問 15　どのような目的で利用していらっしゃいますか。（あてはまる番号すべてに○）

	計	子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している	祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している	親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している	その他の目的で利用している
%	100.0	33.3	33.3	33.3	0.0
n	3	1	1	1	0

※回答者ベースで集計

（2）利用頻度

利用日数（月）と利用時間（回）は以下の表の通りである。

問 15-1　どれくらいの頻度で利用していますか。枠内に数字をご記入ください。

■利用日数（月）

	計	1 日	2 日	5 日
%	100.0	33.3	33.3	33.3
n	3	1	1	1

■利用時間（回）

	計	1 時間	3 時間
%	100.0	50.0	50.0
n	2	1	1

※回答者ベースで集計

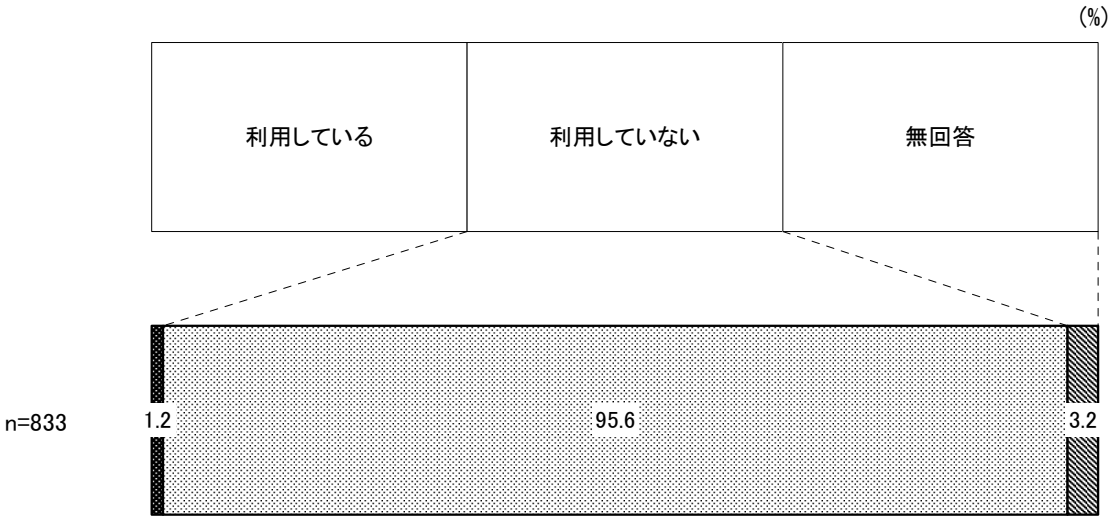
8．ファミリーサポートセンターの利用について

8-1．ファミリーサポートセンターの利用について

（1）利用状況

ファミリーサポートセンターを「利用している」人は1.2%となっている。

問16　ファミリーサポートセンターを利用していますか。



（2）利用目的

ファミリーサポートセンターを利用している理由は、以下の表の通りである。

問16-1　どのような目的で利用していますか。（あてはまる番号すべてに○）

	計	主たる保育サービスとして利用している	保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している（朝・夕等）	子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している	祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している	親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している	保育施設等の送り迎えに利用している	その他の目的で利用している	無回答
%	100.0	10.0	40.0	10.0	20.0	0.0	60.0	10.0	0.0
n	10	1	4	1	2	0	6	1	0

（3）利用頻度

ファミリーサポートセンターの利用日数は月に「１日」が６人とやや多く、平均日数は月3.6 日となっている。また、１回あたりの利用時間は「１時間」が４人とやや多く、平均時間は2.2時間となっている。
なお、今後利用時間を増やしたいと回答した人はみられない。

問 16-2　どれくらいの頻度で利用していますか。

■利用日数（月）

	計	1 日	2 日	4 日	20 日	無回答	平均
%	100.0	60.0	10.0	10.0	10.0	10.0	3.6
n	10	6	1	1	1	1	

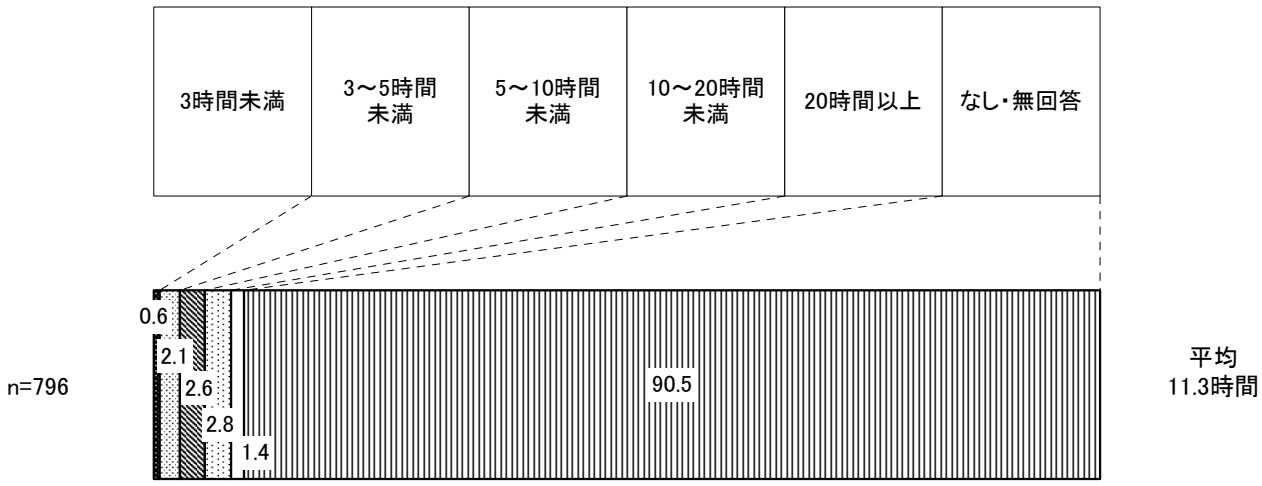
■利用時間（回）

	計	1 時間	2 時間	3 時間	4 時間	5 時間	無回答	平均
%	100.0	40.0	20.0	10.0	10.0	10.0	10.0	2.2
n	10	4	2	1	1	1	1	

（4）利用していない人の利用希望

利用していない人で今後利用希望があるのは9.5%であり、平均利用希望時間は月 11.3 時間となっている。

問 16-4　問 16 で「2．利用していない」を選ばれた方にお伺いします。
今は利用していないが、できれば利用したい方は、枠内に数字をご記入ください。



９．子育て支援サービス等の認知度、利用度及び満足度について

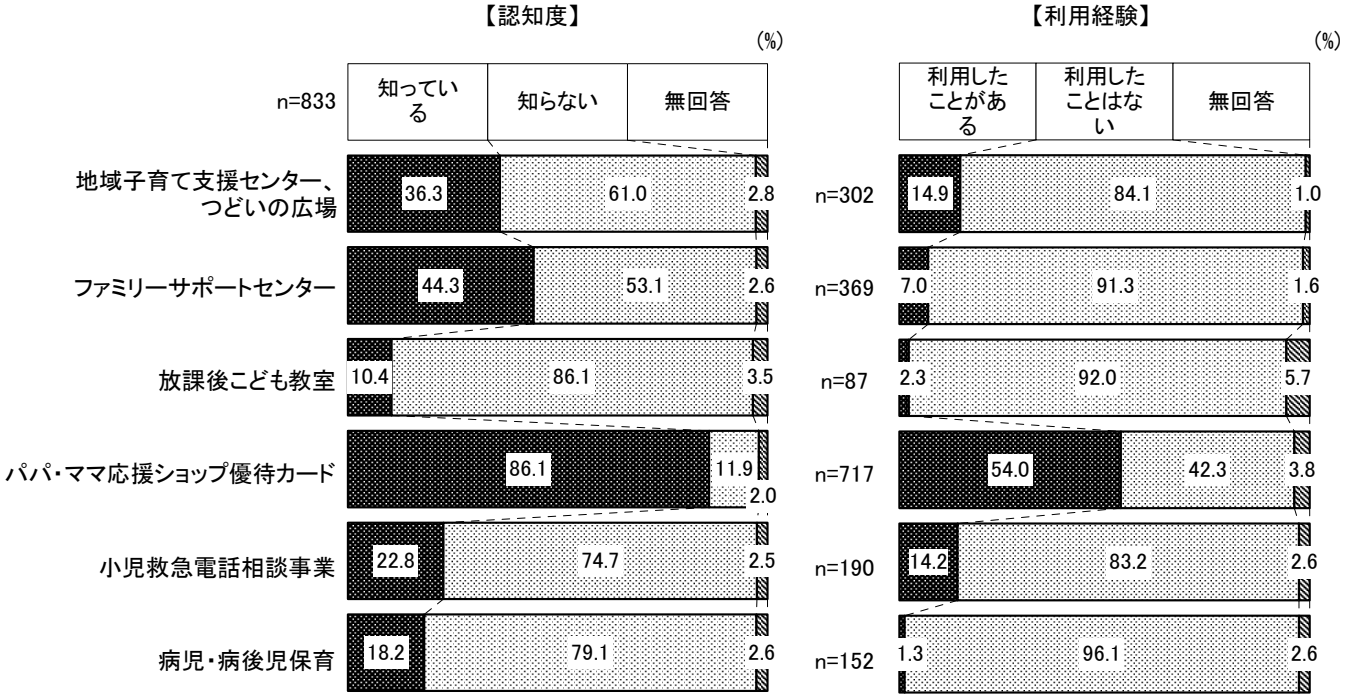
9-1．子育て支援サービスの認知度、利用度及び満足度

（1）認知度と利用経験

子育て支援サービスで「知っている」との回答は、「パパ・ママ応援ショップ優待カード」が 86.1%と最も多い。ついで「ファミリーサポートセンター」（44.3%）が４割台、「地域子育て支援センター、つどいの広場」（36.3%）が３割台となっているが、「放課後こども教室」は１割にとどまっている。

知っていると回答した人の利用経験をみると、「パパ・ママ応援ショップ優待カード」は「利用したことがある」人が 54.0%と半数を超えている。

問 17　下記のサービスを知っていますか。「知っている」、「知らない」のどちらかに○をつけてください。また、「知っている」と答えた方は、その利用について、「利用したことがある」、「利用したことはない」のどちらかに○をつけてください。



≪学年別:「知っている」の回答比率≫

学年別にみると、「病児・病後児保育」は１年生で３割弱と多い。また、どのサービスも低学年で「知っている」との回答が多く、５年生以上ではやや少なくなっている。

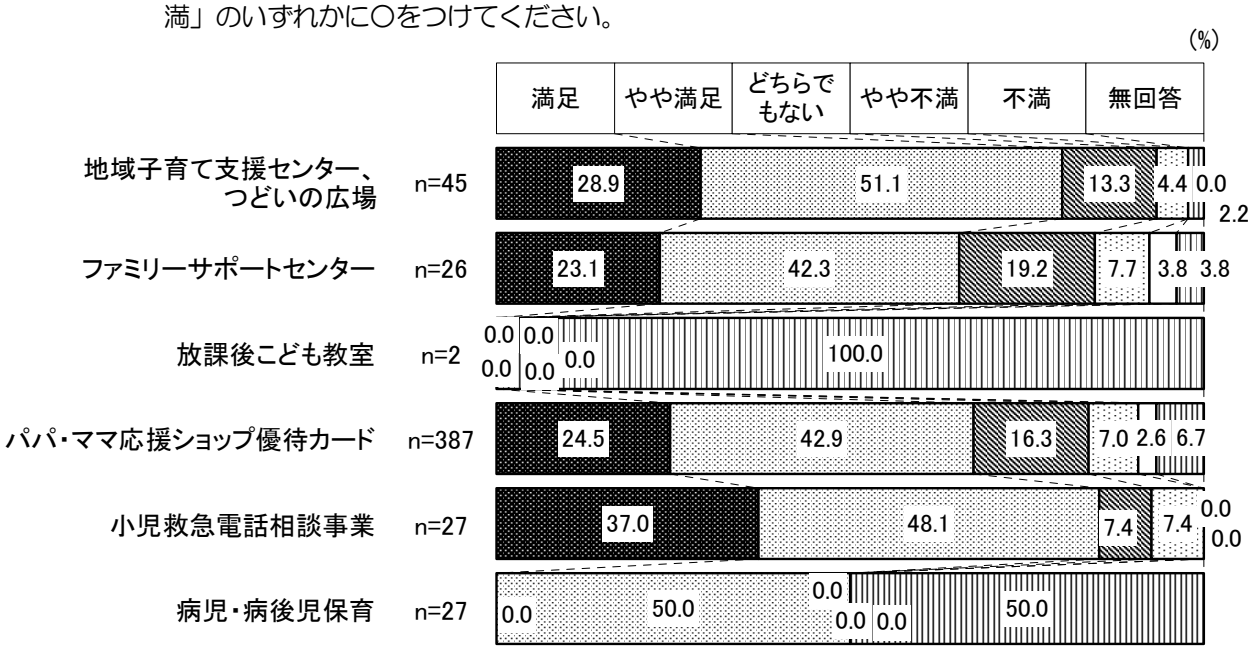
(%)

		n	地域子育て支援センター、つどいの広場	ファミリーサポートセンター	放課後こども教室	ﾊﾟﾊﾟ･ママ応援ショップ優待カード	小児救急電話相談事業	病児・病後児保育
全体		833	36.3	44.3	10.4	86.1	22.8	18.2
学年	1 年生	139	40.3	△ 52.5	7.9	△ 93.5	△ 28.8	○ 28.8
	2 年生	131	△ 44.3	45.0	10.7	87.8	24.4	16.0
	3 年生	143	△ 41.3	△ 52.4	11.2	90.9	22.4	21.0
	4 年生	138	33.3	41.3	10.1	86.2	21.0	15.9
	5 年生	144	▲ 29.9	▲ 38.2	11.1	▲ 78.5	18.8	▲ 11.8
	6 年生	136	▲ 28.7	▲ 35.3	11.8	▲ 79.4	21.3	16.2

（2）満足度

子育て支援サービスを利用したことのある人の「満足」との回答をみると、「小児救急電話相談事業」（37.0%）、「地域子育て支援センター、つどいの広場」（28.9%）、「パパ・ママ応援ショップ優待カード」（24.5%）、「ファミリーサポートセンター」（23.1%）の順で多くなっている。

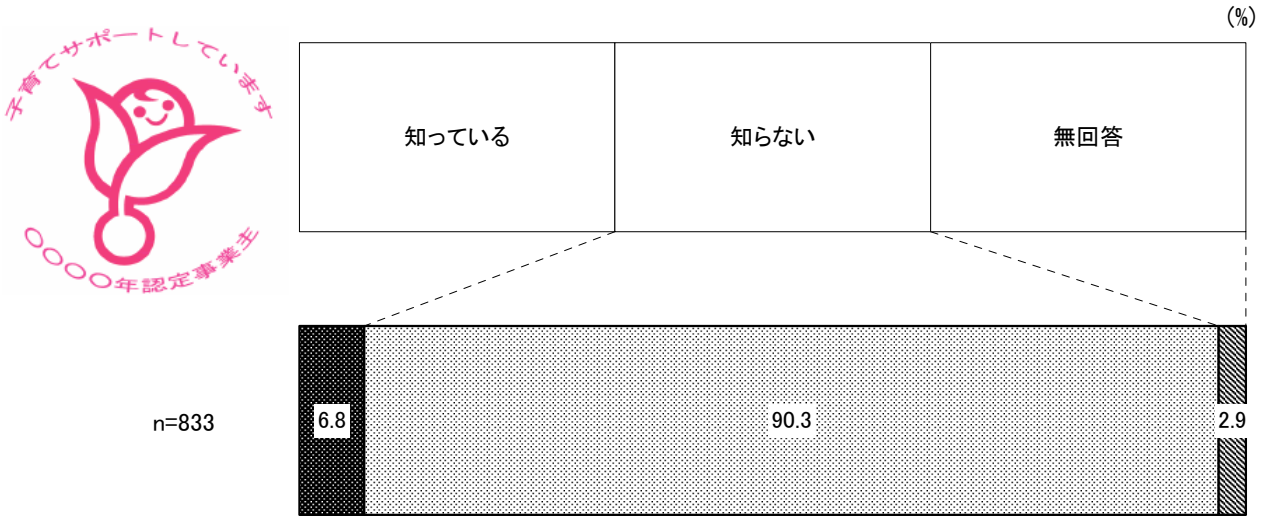
問 17-1　利用してどの程度満足していますか。「満足」「やや満足」「どちらでもない」「やや不満」「不満」のいずれかに○をつけてください。



9-2. 「くるみん」の認知度

次世代育成支援対策推進法では、事業主は、従業員の子育て支援のための行動計画を策定・実施し、その結果が一定の要件を満たす場合に、厚生労働大臣の認定を受けることができるが、その認定マーク『くるみん』を「知っている」のは6.8%であり、「知らない」との回答が90.3%と多数を占めている。

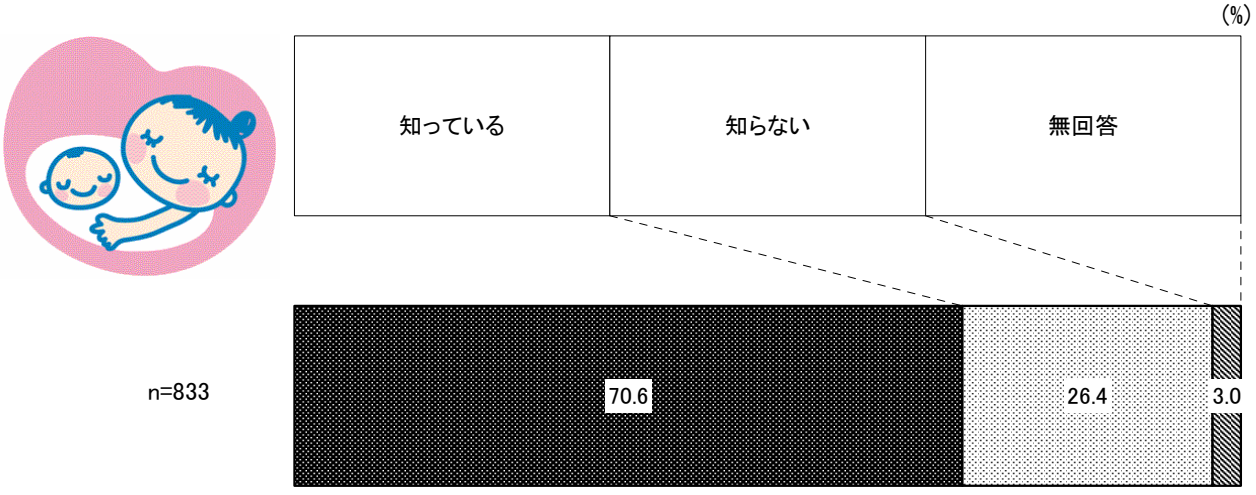
問18　次世代育成支援対策推進法では、事業主は、従業員の子育て支援のための行動計画を策定・実施し、その結果が一定の要件を満たす場合に、厚生労働大臣の認定を受けることができます。認定マーク「くるみん」をご存知ですか？



9-3. マタニティマークの認知度

妊産婦にやさしい環境づくりの推進の一環としてのマタニティマークを「知っている」（70.6%）とする人は7割を占めているが、4人に1人強は「知らない」（26.4%）としている。

問19　妊産婦にやさしい環境づくりの推進の一環として、マタニティマークの普及の取り組みが行われています。マタニティマークをご存知ですか？

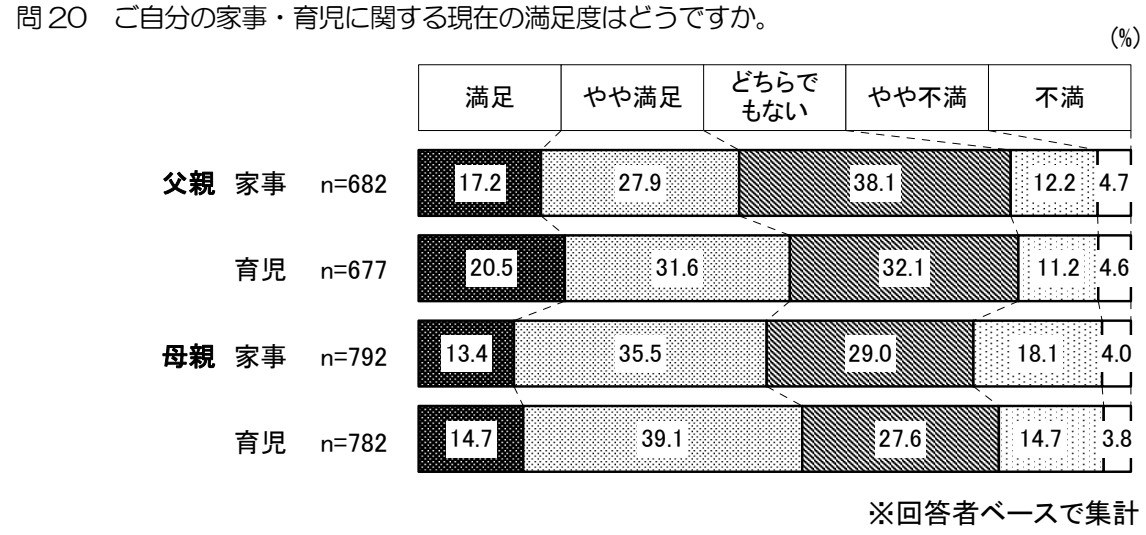


１０．家事・育児について

10-1. 自分の家事・育児に関する満足度

自分の家事・育児に関する満足度をみると、父親の家事に対する満足度（「満足」と「やや満足」の合計）は 45.1%、育児は 52.1%、母親の家事は 48.9%、育児は 53.8%となっており、父親、母親ともに家事や育児に対する満足度は５割前後となっている。

問２０　ご自分の家事・育児に関する現在の満足度はどうですか。

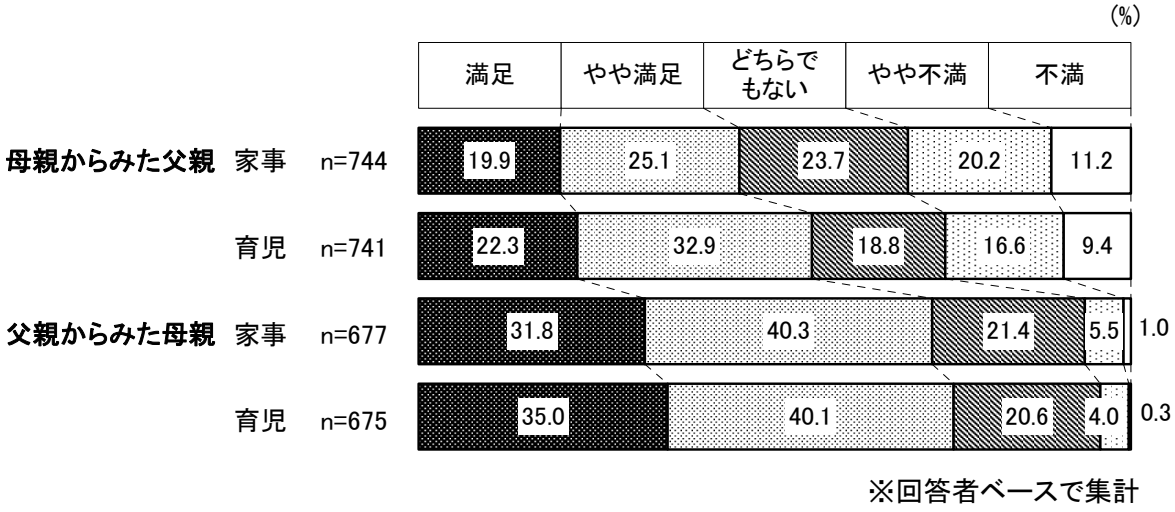


※回答者ベースで集計

10-2. 配偶者の家事・育児に対する満足度

配偶者の家事･育児に関する満足度をみると､母親からみた父親の家事に対する満足度(「満足」と「やや満足」の合計）は 45.0%、育児は 55.2%、父親からみた母親の家事は 72.1%、育児は 75.1%となっており、母親自身の評価よりも父親からみた評価の方が 20 ポイント以上高くなっている。

問２１　配偶者の家事・育児に対する満足度はどうですか。

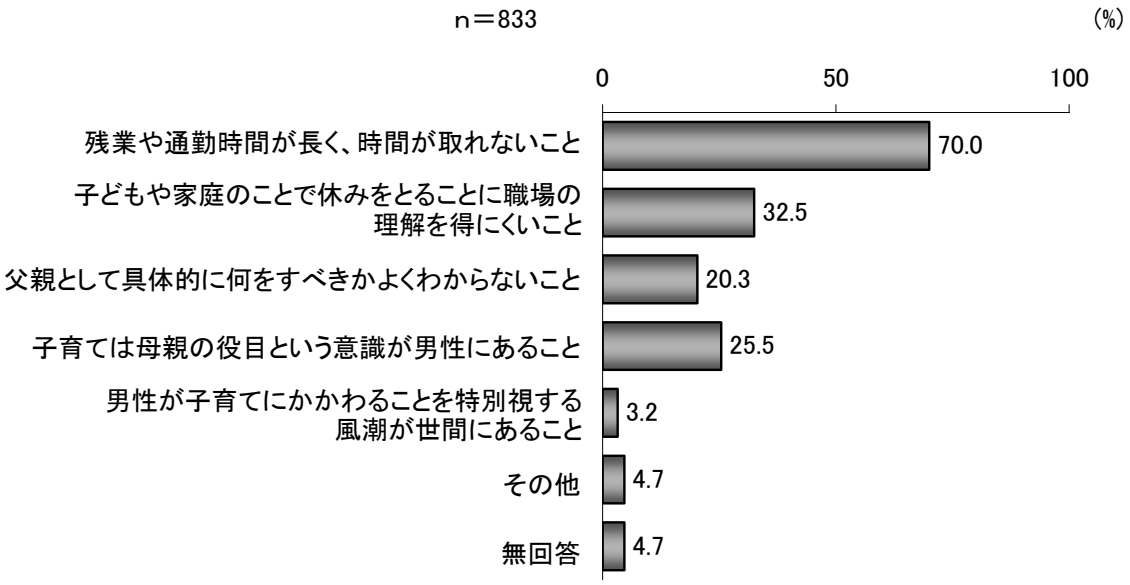


※回答者ベースで集計

10-3. 父親が子育てに関わりづらい理由

父親が子育てに関わりづらい理由としては、「残業や通勤時間が長く、時間が取れないこと」（70.0%）が７割と最も多い。ついで、「子どもや家庭のことで休みをとることに職場の理解を得にくいこと」（32.5%）が３人に１人弱、「子育ては母親の役目という意識が男性にあること」（25.5%）が４人に１人の割合で続いている。

問22　一般的に、父親が子育てに十分に関わっていないと言われていますが、父親が子育てにかかわりづらいのは、どうしてだと思いますか。（○は２つまで）



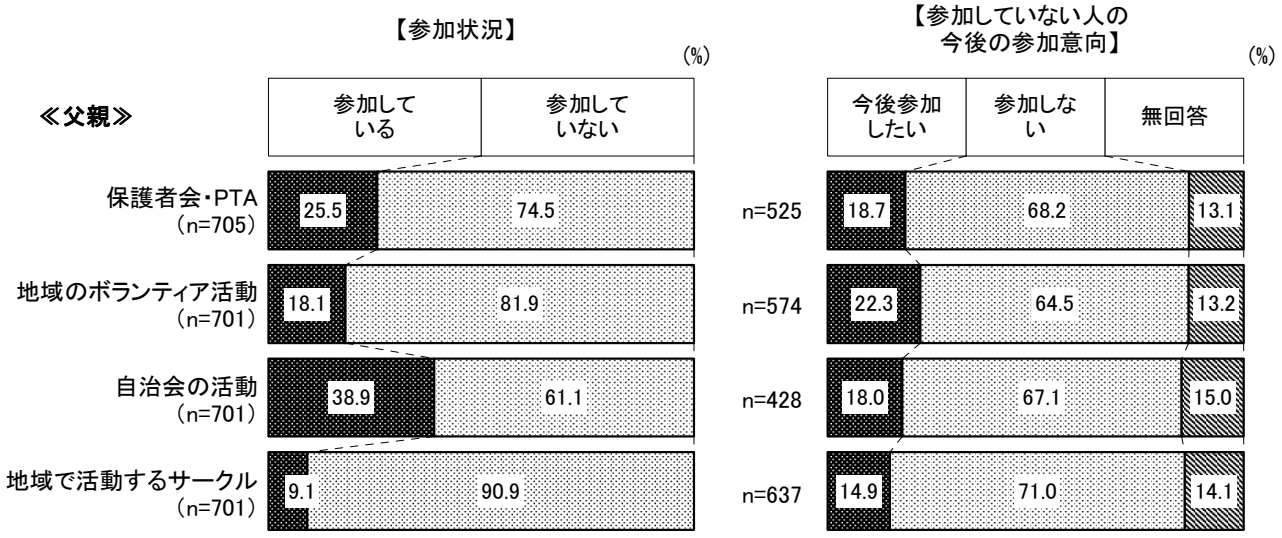
１１．地域社会への関わりについて

11-1. 参加状況と参加意向

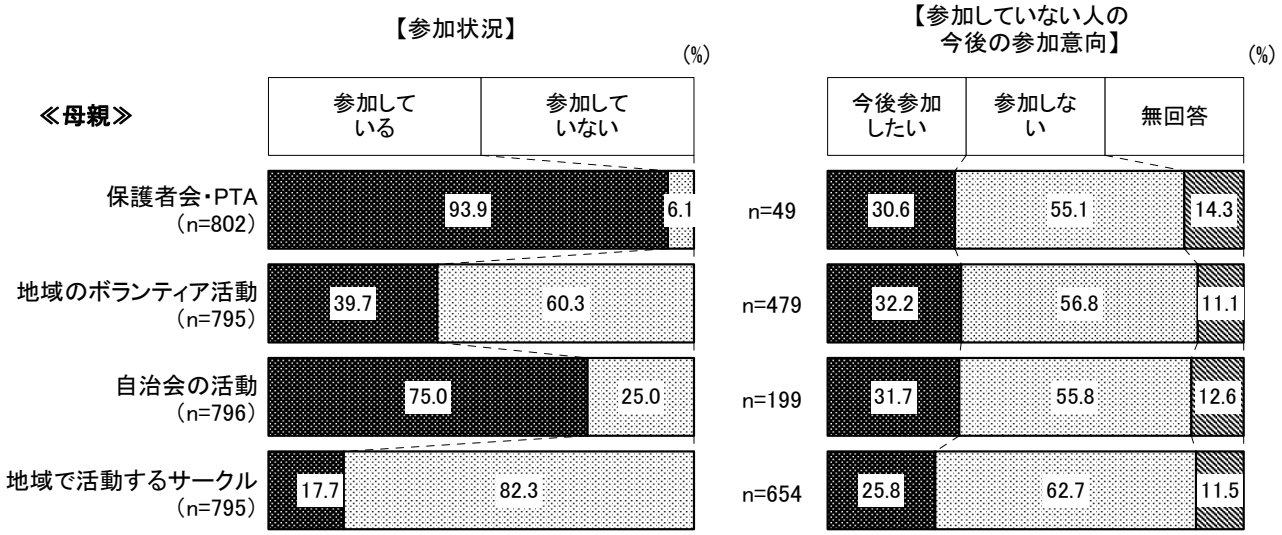
父親は、自治会の活動に「参加している」人が 38.9%と多くなっている。保護者会・ＰＴＡは 25.5%と４人に１人の割合となっている。現在「参加していない」人で「今後参加したい」との回答はどの活動も２割前後となっているが、地域で活動するサークルは 14.9%とやや少ない。

母親は、保護者会・ＰＴＡに「参加している」人が 93.9%と大多数を占め、自治会の活動も 75.0%と多い。地域のボランティア活動は４割、地域で活動するサークルは２割弱となっている。現在「参加していない」人で「今後参加したい」との回答はどの活動も３割前後となっている。

問 23　下記の行事や組織に参加していますか。また、「参加していない」と答えた方は、今後の参加意向をお答えください。



※回答者ベースで集計



※回答者ベースで集計

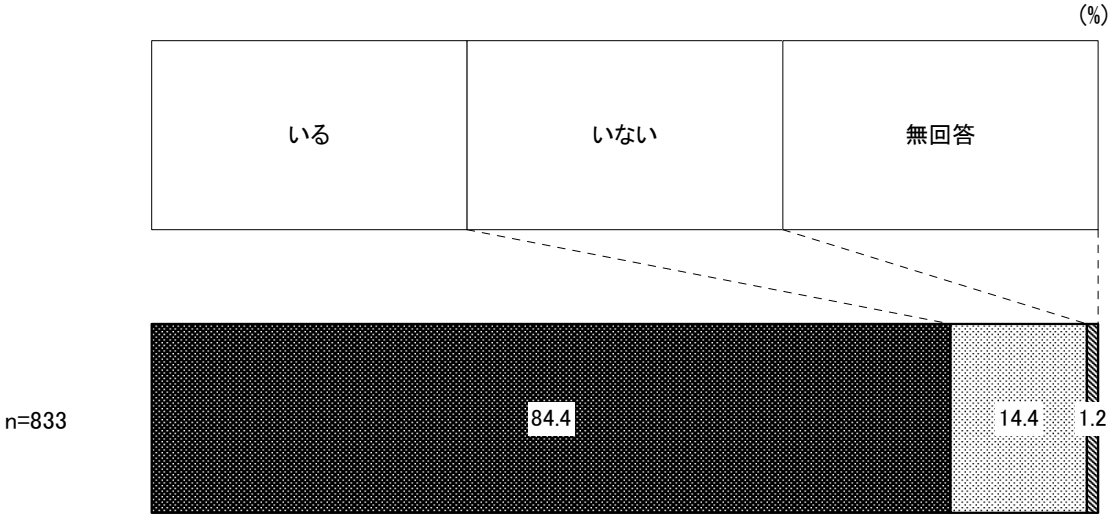
１２．地域医療について

12-1．かかりつけ医

（1）かかりつけ医の有無

子どもにかかりつけ医が「いる」との回答は84.4%となっている。

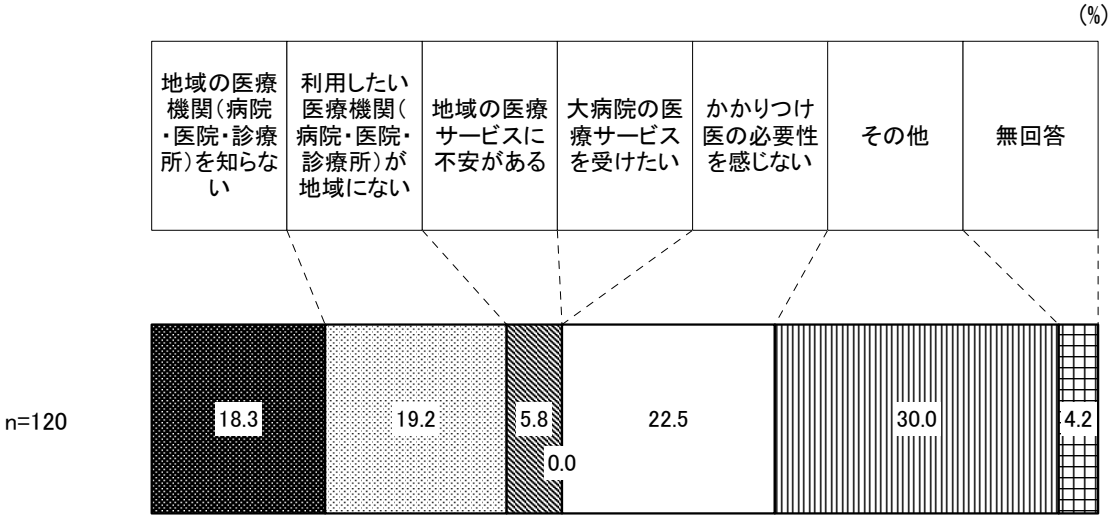
問24　お子さんにかかりつけ医はいますか。



（2）かかりつけ医がいない理由

かかりつけ医がいない理由としては、「かかりつけ医の必要性を感じない」（22.5%）、「利用したい医療機関（病院・医院・診療所）が地域にない」（19.2%）、「地域の医療機関（病院・医院・診療所）を知らない」（18.3%）が２割前後となっている。

問24-1　現在いない理由はどのようなことですか。（主な理由１つに○）

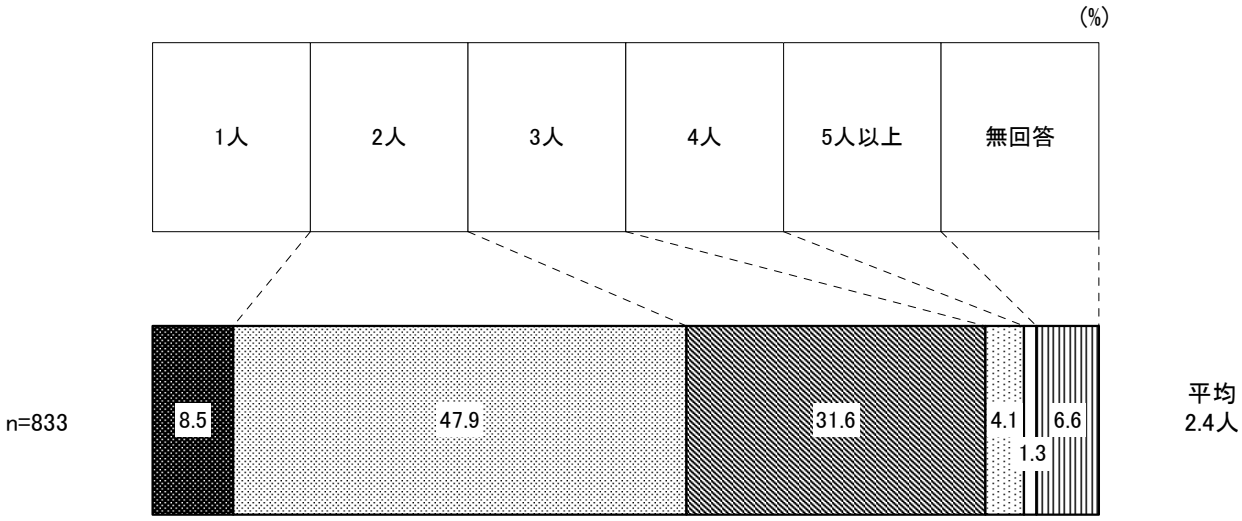


１３．子どもの数について

13-1．希望する子どもの人数

希望する子どもの人数は「２人」（47.9%）が半数近くを占め、「３人」（31.6%）が３割となっており、平均人数は2.4人となっている。

問25　希望するお子さんの数は何人ですか。枠内に具体的な数字でお答えください。



≪子の人数別：希望する子どもの人数≫

子の人数別でみると、現在１人の人では「２人」を希望する人が４割、「３人」が１割強となっている。現在２人の人で希望する人数も「２人」と回答した人は７割弱と多いが、「３人」を希望する人も４人に１人強の割合でみられる。

(%)

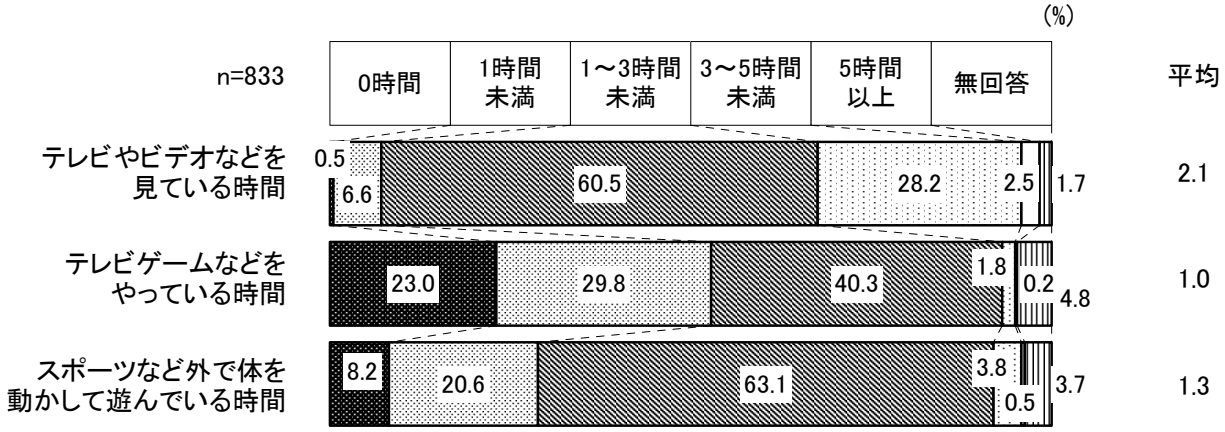
		n	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答	平均
全体		833	8.5	47.9	31.6	4.1	1.3	6.6	2.4
子の人数	1人	181	☆ 36.5	▲ 41.4	★ 12.2	0.0	0.6	9.4	1.8
	2人	471	▲ 0.4	☆ 67.5	▲ 25.5	0.8	0.6	5.1	2.3
	3人以上	174	▲ 0.0	★ 2.3	☆ 69.5	○ 17.2	4.0	6.9	3.3

１４．子どもの家庭での生活について

14-1．子どもの遊びについて

テレビやビデオなどを見ている時間は「１～３時間未満」（60.5%）が６割と多数を占めているが、「３～５時間未満」（28.2%）との回答も３割弱と多い。テレビゲームなどをやっている時間は「１～３時間未満」（40.3%）が４割、「１時間未満」（29.8%）が３割と多くなっているが、「０時間」（23.0%）との回答も４人に１人弱の割合でみられる。スポーツなど外で体を動かして遊んでいる時間についても「１～３時間未満」（63.1%）が６割強と多い。

問26　あて名のお子さんの遊びについて、おたずねします。テレビゲーム等で遊ぶ時間は１日に平均するとどれくらいですか。空欄に数字を入れてください。（30 分は 0.5 と記入）

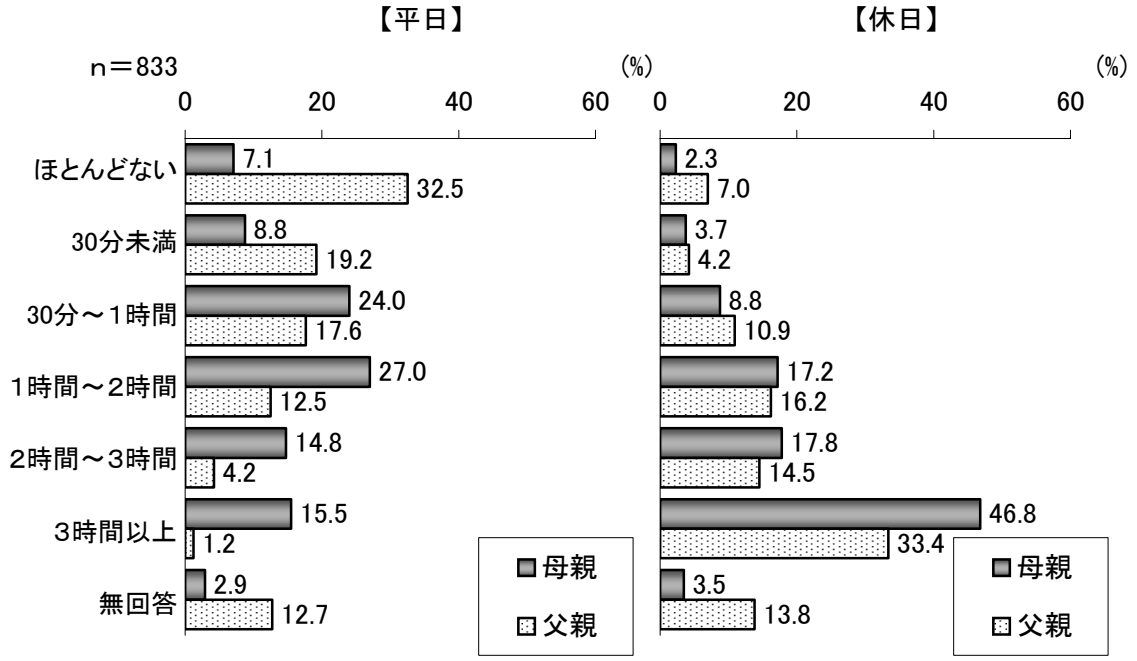


14-2. 子どもと話したり遊んだりする時間

平日の子どもと話したり遊んだりする時間をみると、母親は「30 分～１時間」（24.0%）や「１時間～２時間」（27.0%）が多くなっているが、父親は「ほとんどない」（32.5%）が３人に１人弱の割合と多くなっている。

休日は、「３時間以上」が最も多くなっており、母親は 46.8%、父親は 33.4%となっている。

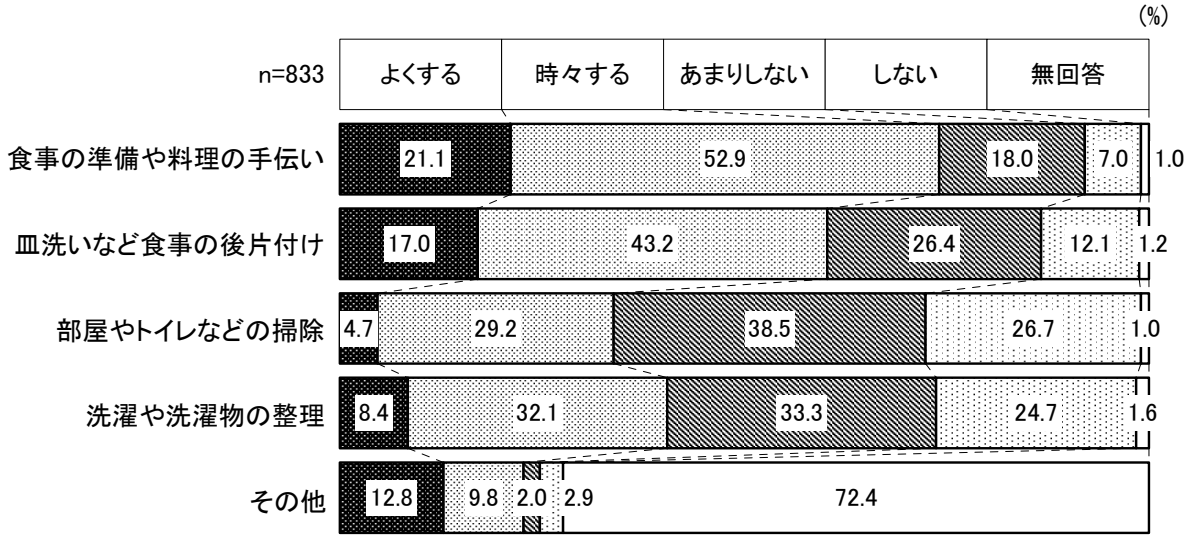
問27　ふだん、あて名のお子さんと話したり遊んだりする時間はどれくらいありますか。平日と休日に分けてお答えください。（それぞれの項目ごとに○は１つ）



14-3. 家事の手伝い

家事の手伝いについて、「食事の準備や料理の手伝い」や「皿洗いなど食事の後片付け」は「よくする」との回答が２割前後とやや多く、「時々する」を合わせると“する”との回答は６～７割と多いが、「部屋やトイレなどの掃除」や「洗濯や洗濯物の整理」は４割前後にとどまる。

問28　あて名のお子さんは、家事の手伝いをしますか。（それぞれの項目ごとに○は１つ）



≪学年、子の人数別:「よくする」の回答比率≫

学年別に「よくする」の回答比率をみると、特に大きな差はみられないが、「食事の準備や料理の手伝い」は４年生で３割弱とやや多くなっている。

子の人数別にみると、３人以上で「よくする」との回答が多くなっており、「食事の準備や料理の手伝い」や「皿洗いなど食事の後片付け」は４人に１前後の割合となっている。

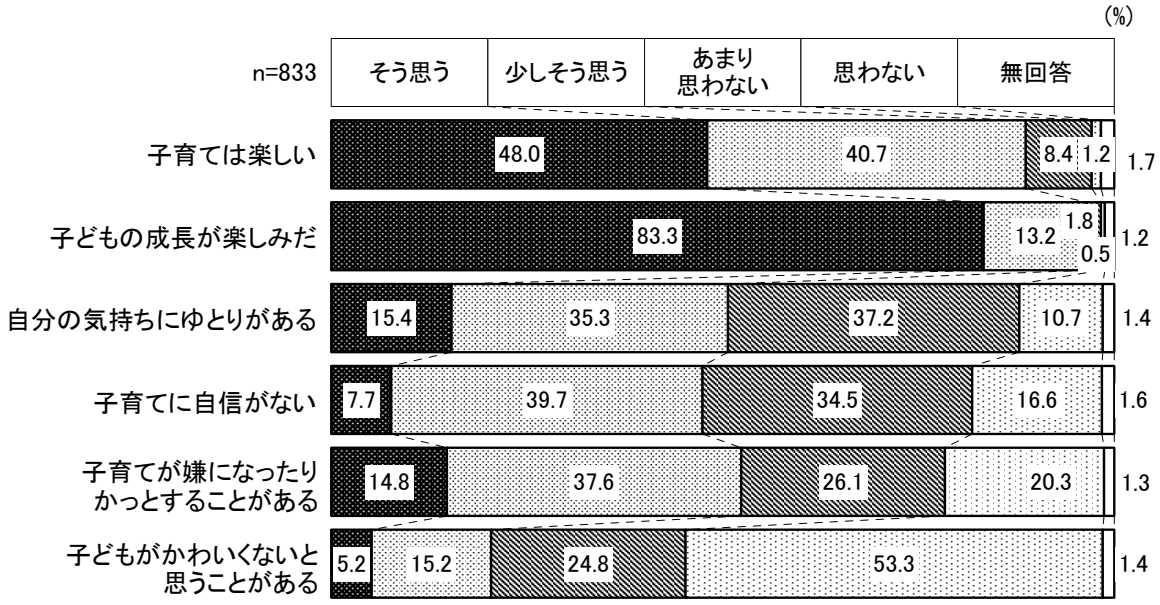
(%)

		n	食事の準備や料理の手伝い	皿洗いなど食事の後片付け	部屋やトイレなどの掃除	洗濯や洗濯物の整理	その他
全体		833	21.1	17.0	4.7	8.4	12.8
学年	1 年生	139	25.2	18.7	2.2	5.8	11.5
	2 年生	131	21.4	18.3	3.8	7.6	13.0
	3 年生	143	▲ 14.7	12.6	4.2	4.9	▲ 7.7
	4 年生	138	△ 28.3	20.3	5.1	8.7	11.6
	5 年生	144	▲ 16.0	16.7	4.9	11.1	16.0
	6 年生	136	22.1	16.2	8.1	12.5	17.6
子の人数	1 人	181	▲ 14.9	▲ 9.4	3.3	5.5	9.4
	2 人	471	21.4	17.2	4.9	8.7	12.5
	3 人以上	174	△ 27.0	△ 24.7	5.7	10.9	17.8

14-4. 日ごろの子育てで感じること

日ごろの子育てについて感じることとして、「子育ては楽しい」は「そう思う」は５割を切っているが、「少しそう思う」は４割であり、両者を合わせると“思う”が 88.7%と多数を占めている。「子どもの成長が楽しみだ」については、「そう思う」との回答が 83.3%と多数を占めているが、一方で、「自分の気持ちにゆとりがある」について、「あまり思わない」（37.2%）や「思わない」（10.7%）がやや多く、“思わない”とする人が 47.9%と半数近くを占めている。

問 29　あて名のお子さんの日ごろの子育てについて、次のように感じることはありますか。（それぞれの項目ごとに○は１つ）

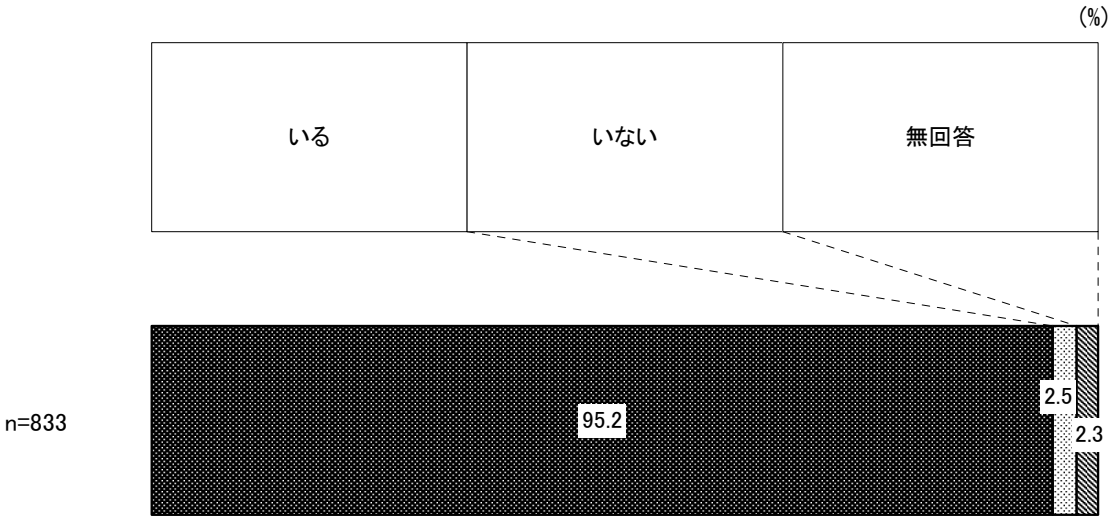


１５．子どもの学校での生活について

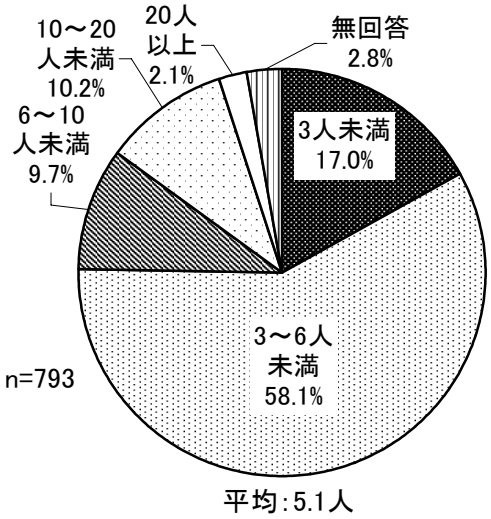
15-1．友人の有無

一緒に遊んだり勉強したりする友人が「いる」との回答は95.2%となっている。また、友人の人数は「３～６人未満」（58.1%）が６割近くを占め、平均人数は5.1人となっている。

問30　あて名のお子さんには、一緒に遊んだり勉強したりする友人がいますか。



【友人の人数】

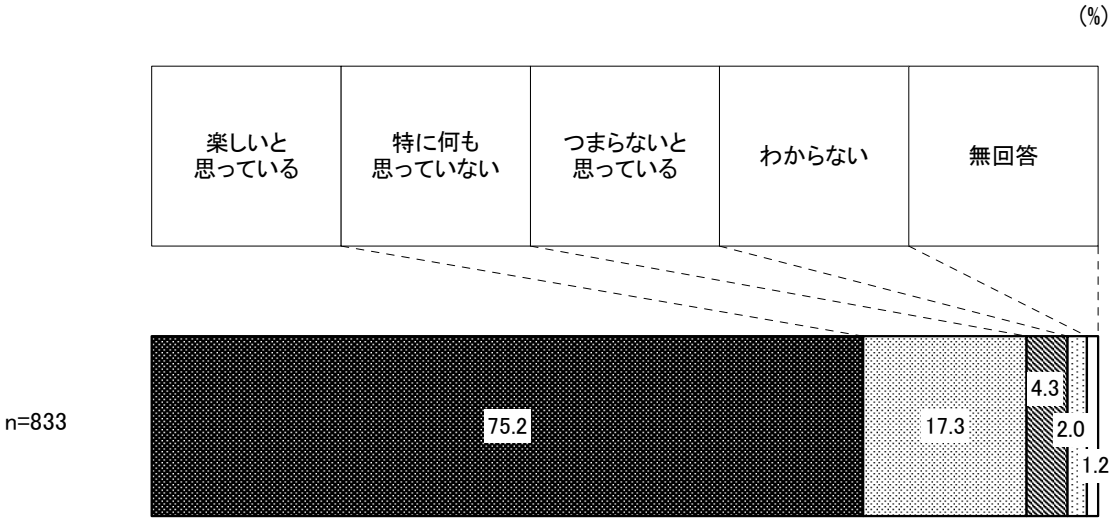


平均:5.1人

15-2. 学校に行くこと

学校に行くことについて、「楽しいと思っている」が 75.2%と多く、４人に３人の割合となっている。

問31　あて名のお子さんは、ふだん学校に行くことをどう思っていますか。（１つに○）



≪学年別：学校に行くこと≫

学年別にみると、１年生は「楽しいと思っている」との回答が８割強と多いが、６年生は68.4%とやや少なく、「特に何も思っていない」との回答が４人に１人弱の割合とやや多い。

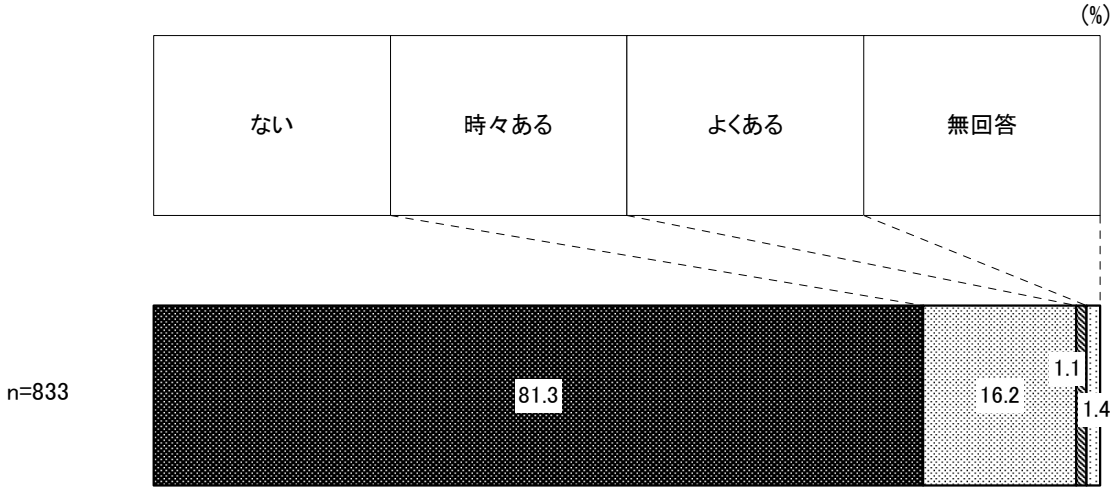
(%)

		n	楽しいと思っている	特に何も思っていない	つまらないと思っている	わからない	無回答
全体		833	75.2	17.3	4.3	2.0	1.2
学年	1 年生	139	△ 82.0	▲ 10.1	5.0	1.4	1.4
	2 年生	131	76.3	17.6	2.3	3.1	0.8
	3 年生	143	73.4	17.5	5.6	3.5	0.0
	4 年生	138	75.4	18.1	2.9	1.4	2.2
	5 年生	144	75.0	17.4	4.2	1.4	2.1
	6 年生	136	▲ 68.4	△ 23.5	5.9	1.5	0.7

15-3. 学校へ行きたくないと困らせたこと

学校へ行きたくないと困らせたことが「時々ある」（16.2%）との回答は６人に１人弱の割合となっており、「ない」が 81.3%と多い。

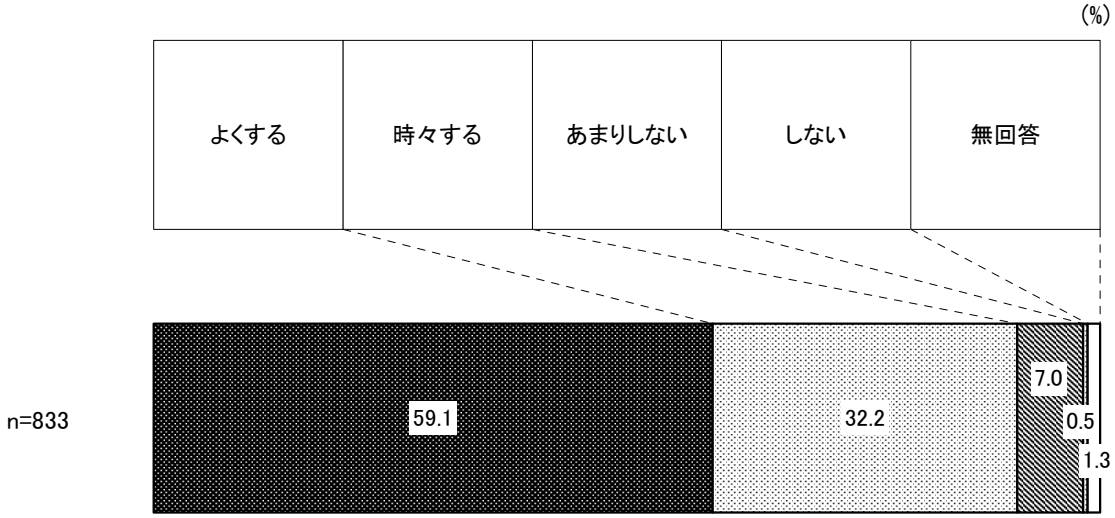
問 32　あて名のお子さんが学校へ行きたくないと言って、親を困らせたことがありますか。（１つに○）



15-4. 友達や先生の話をすること

友達や先生の話を「よくする」（59.1%）が６割弱を占め、「時々する」（32.2%）は３人に１人弱の割合となっている。

問33　あて名のお子さんは、友達や先生の話をしますか。（１つに○）



≪学年別：友達や先生の話をすること≫

学年別にみると、１年生は「よくする」との回答が７割弱と多くなっているが、６年生は47.1%と半数を切り、「あまりしない」（11.8%）や「しない」（1.5%）を合わせると“しない”が13.3%と１割を超えている。

(%)

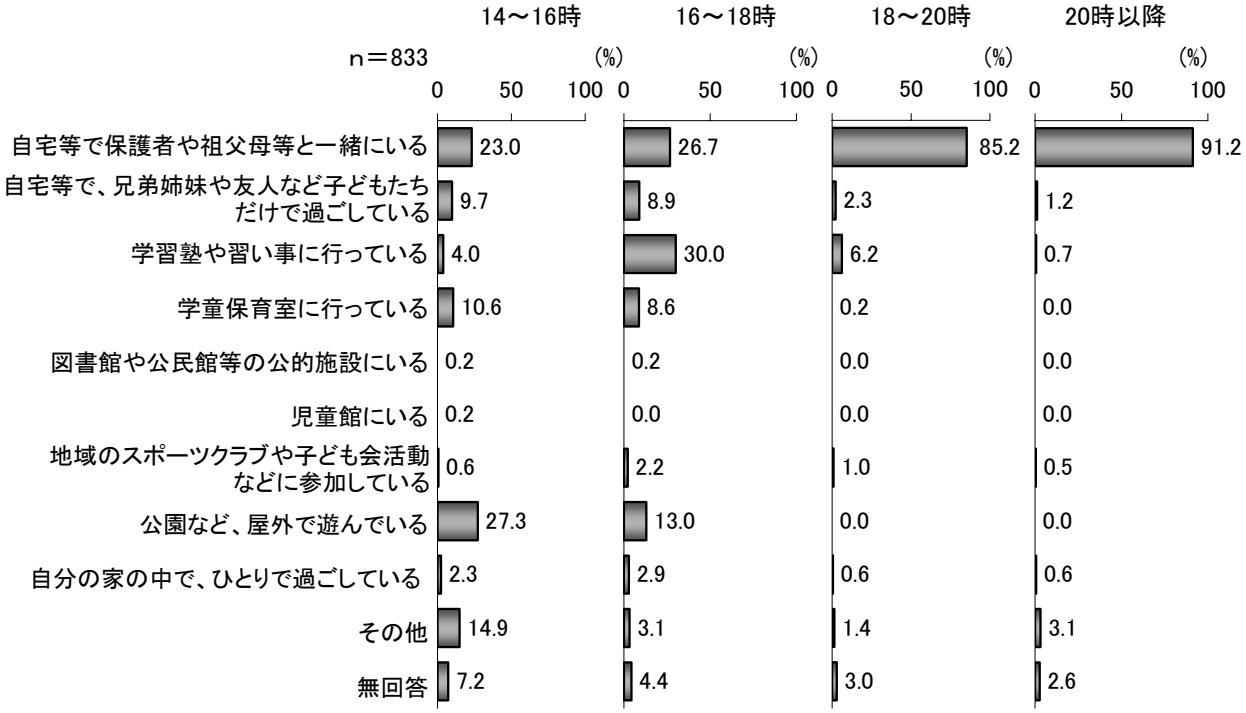
		n	よくする	時々する	あまりしない	しない	無回答
全体		833	59.1	32.2	7.0	0.5	1.3
学年	1 年生	139	○ 69.1	▲ 23.7	7.2	0.0	0.0
	2 年生	131	61.8	33.6	3.8	0.0	0.8
	3 年生	143	58.0	32.9	7.0	0.7	1.4
	4 年生	138	60.1	32.6	4.3	0.0	2.9
	5 年生	144	57.6	31.3	7.6	0.7	2.8
	6 年生	136	● 47.1	△ 39.7	11.8	1.5	0.0

１６．子どもの放課後や休日の過ごし方について

16-1. 平日の放課後の過ごし方

平日の放課後の過ごし方としては、14～16 時は「公園など、屋外で遊んでいる」（27.3%）が４人に１人強、「自宅等で保護者や祖父母等と一緒にいる」（23.0%）が４人に１人弱と多い。16～18 時は「学習塾や習い事に行っている」（30.0%）が３割と多くなっている。“18 時以降”は「自宅等で保護者や祖父母等と一緒にいる」が９割前後と多数を占めている。

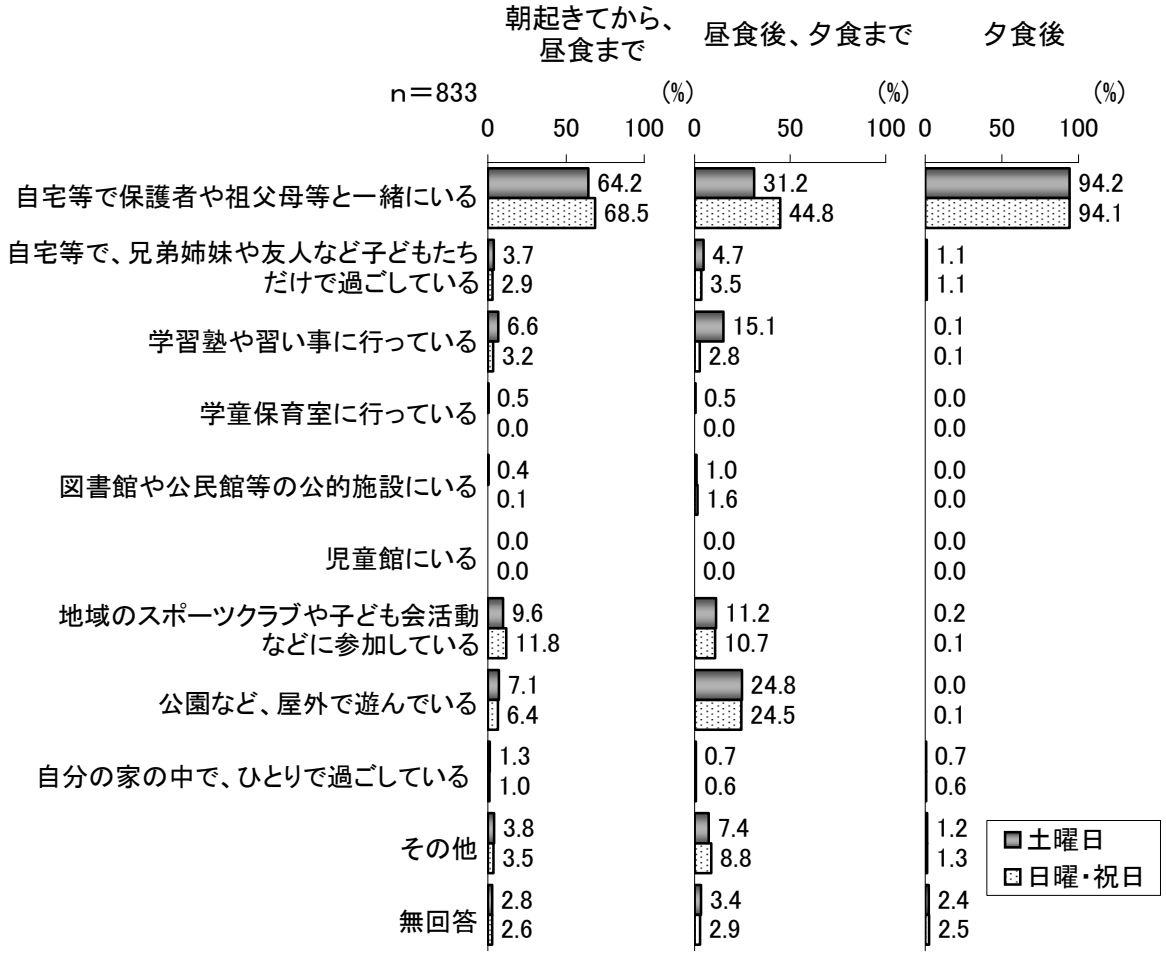
問34　平日の放課後、あて名のお子さんはどのように過ごしていますか。時間帯ごとに一番多い過ごしかたを、下の表（B表）から選んで、次の表（A表）に番号を１つずつ記入してください。



16-2. 土曜日や休日の過ごし方

土曜日と日曜・祝日の過ごし方で特に大きな違いはみられないが、土曜日の昼食後、夕食までは「学習塾や習い事に行っている」が 15.1%と多くなっている。

問 35　学校が休みの土曜日や休日（日・祝日）、あて名のお子さんは、どのように過ごしていますか。時間帯ごとに一番多い過ごしかたを、下の表（B表）から選んで、次の表（A表）に番号を１つずつ記入してください。

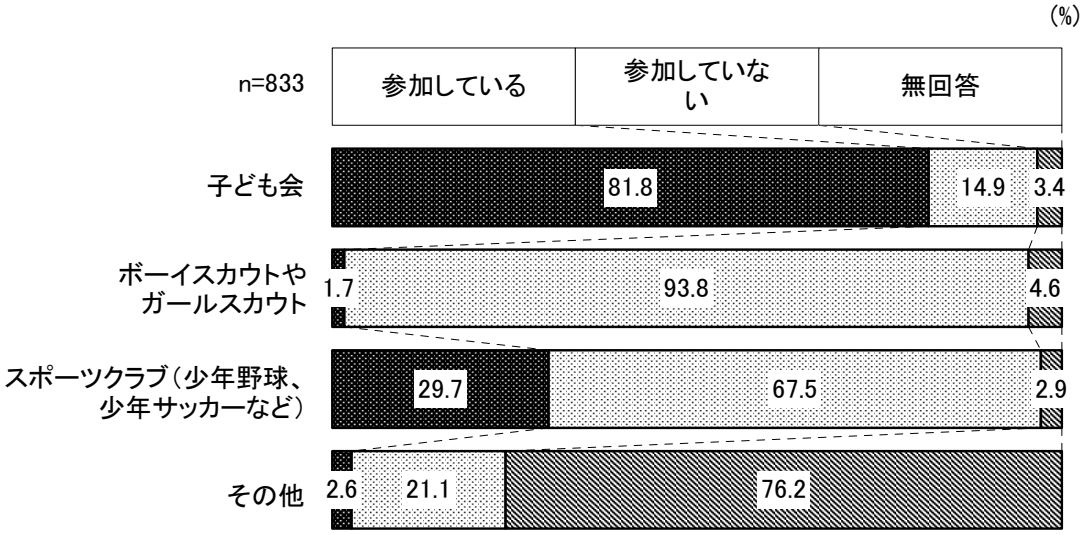


１７．地域活動について

17-1．参加状況

地域活動の参加状況をみると、「子ども会」に「参加している」子どもが 81.8%と多い。「スポーツクラブ（少年野球、少年サッカーなど)」は 29.7%となっている。

問 36　あて名のお子さんは、次の地域活動に参加していますか。（それぞれの項目ごとに○は１つ）



≪学年、子の人数別：「参加している」の回答比率≫

学年別にみると、「子ども会」は１年生で９割弱、「スポーツクラブ（少年野球、少年サッカーなど)」は２年生以上で３割前後となっている。

子の人数別では、３人以上で「スポーツクラブ（少年野球、少年サッカーなど)」が 35.1%とやや多い。

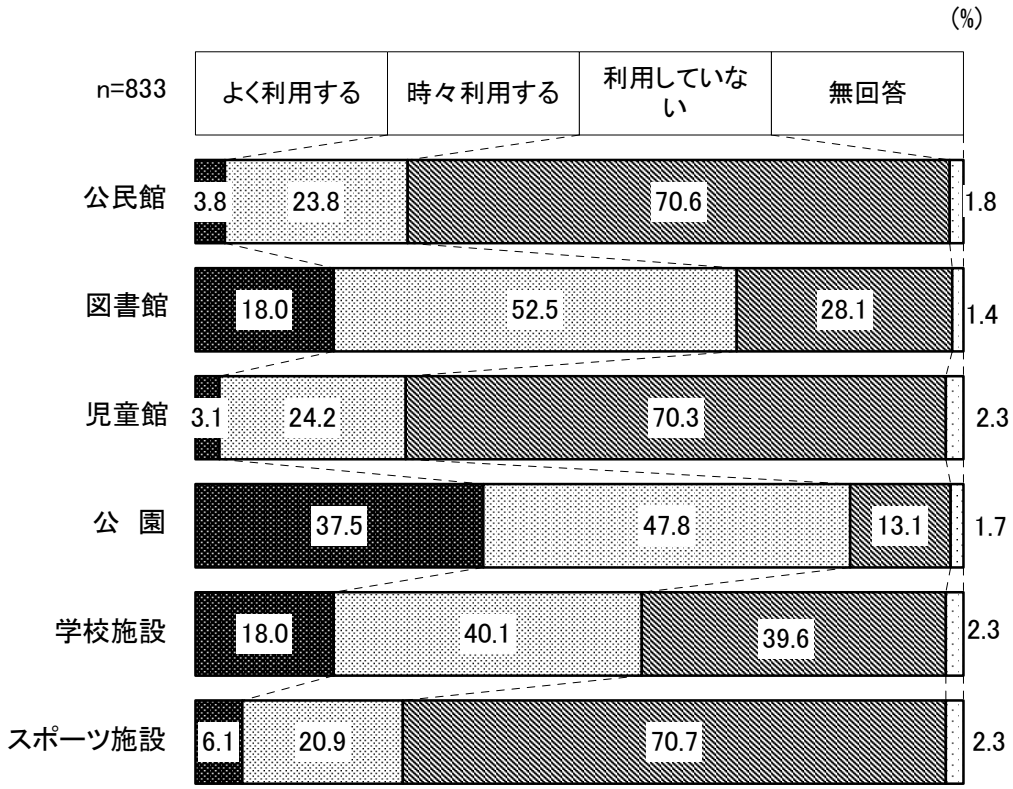
(%)

		n	子ども会	ボーイスカウトやガールスカウト	スポーツクラブ（少年野球、少年サッカーなど）	その他
全体		833	81.8	1.7	29.7	2.6
学年	1 年生	139	△ 87.1	2.9	● 19.4	0.7
	2 年生	131	84.0	0.8	32.8	2.3
	3 年生	143	82.5	1.4	32.2	2.1
	4 年生	138	83.3	2.2	28.3	2.9
	5 年生	144	▲ 76.4	2.8	32.6	3.5
	6 年生	136	77.2	0.0	31.6	4.4
子の人数	1 人	181	77.3	3.9	▲ 20.4	2.2
	2 人	471	82.0	1.3	31.0	1.5
	3 人以上	174	85.6	0.6	△ 35.1	5.7

17-2. 公共施設の利用状況

公共施設の利用状況をみると、「よく利用する」との回答が多いのは、公園が 37.5%、図書館、学校施設が 18.0%となっている。一方、「利用していない」との回答が多いのは公民館、児童館、スポーツ施設であり、７割を超えている。

問37　あて名のお子さんは、公共施設（公民館、児童館、図書館など）を利用しますか。
（それぞれの項目ごとに○は１つ）

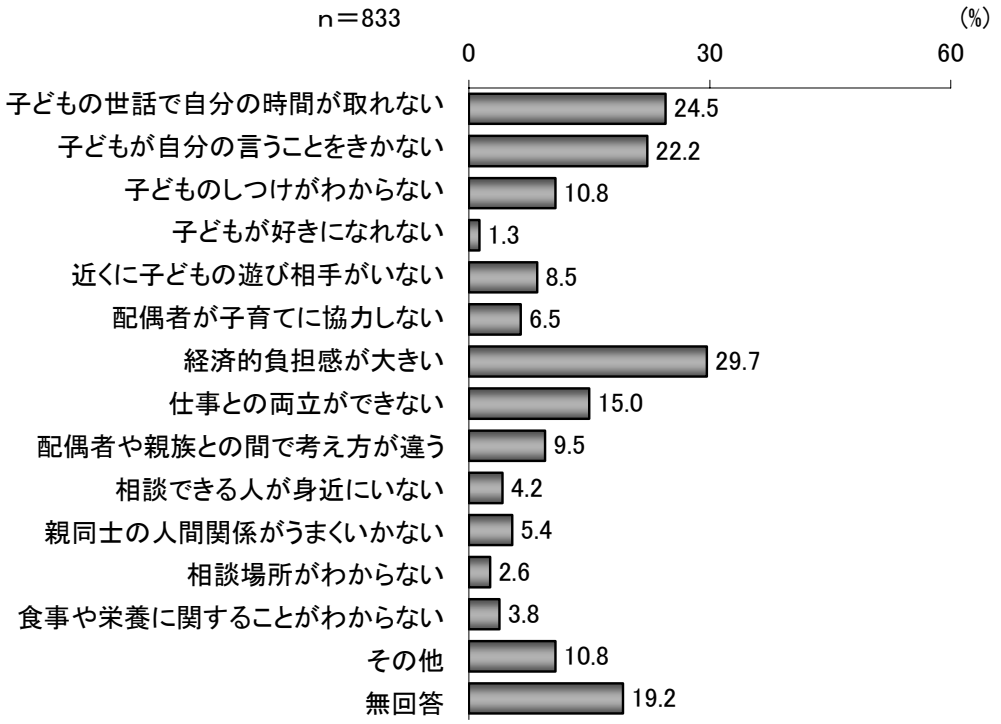


１８．子育ての悩み、子育て支援のサービスなどについて

18-1．子育てをしている中で悩んでいることや気になること

子育てをしている中で悩んでいることや気になることとしては、「経済的負担感が大きい」（29.7%）、「子どもの世話で自分の時間が取れない」（24.5%）、「子どもが自分の言うことをきかない」（22.2%）が２割台で上位にあげられている。

問38　子育てをしている中で、日ごろ悩んでいることや気になることはどのようなことですか。
（あてはまる番号すべてに○）



≪学年、子の人数別：子育てをしている中で悩んでいることや気になること≫

学年別に上位５項目をみると、１年生で「子どもの世話で自分の時間が取れない」をあげる人が４割弱と多く、「仕事との両立ができない」や「子どものしつけがわからない」をあげる人もやや多い。

子の人数別では、３人以上の人で「経済的負担感が大きい」が４割強、「子どもの世話で自分の時間が取れない」が３割強と多くなっている。

(%)

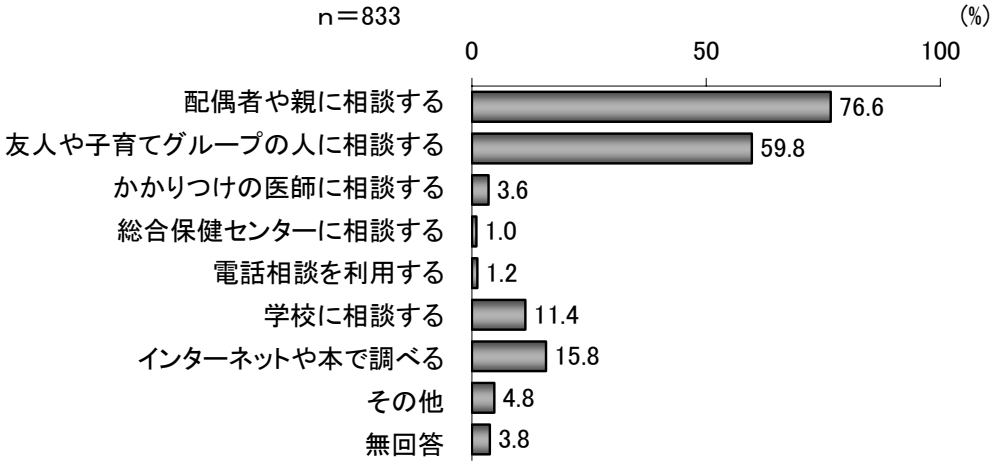
		n	経済的負担感が大きい	子どもの世話で自分の時間が取れない	子どもが自分の言うことをきかない	仕事との両立ができない	子どものしつけがわからない
全体		833	29.7	24.5	22.2	15.0	10.8
学年	1 年生	139	29.5	☆ 39.6	24.5	△ 22.3	△ 16.5
	2 年生	131	28.2	26.0	22.1	16.8	11.5
	3 年生	143	30.8	27.3	23.1	14.0	11.9
	4 年生	138	29.7	19.6	21.0	14.5	10.9
	5 年生	144	28.5	▲ 18.1	23.6	11.8	8.3
	6 年生	136	31.6	▲ 16.2	18.4	11.0	5.9
子の人数	1 人	181	▲ 22.1	21.5	23.2	13.8	7.2
	2 人	471	28.0	22.9	22.1	15.3	12.3
	3 人以上	174	○ 42.5	△ 32.2	21.8	14.9	10.3

※上位5項目

18-2. 子育てで困ったときや悩んだときの対処方法

子育てで困ったときや悩んだときの対処方法は、「配偶者や親に相談する」（76.6%）が最も多く、4人に3人強の割合となっている。ついで、「友人や子育てグループの人に相談する」（59.8%）が6割となっている。

問39　子育てで困ったときや悩んだとき、どのようにしていますか。（あてはまる番号すべてに○）



≪学年別：子育てで困ったときや悩んだときの対処方法≫

学年別に上位5項目をみると、「配偶者や親に相談する」「友人や子育てグループの人に相談する」「インターネットや本で調べる」は1年生でやや多くなっている。

(%)

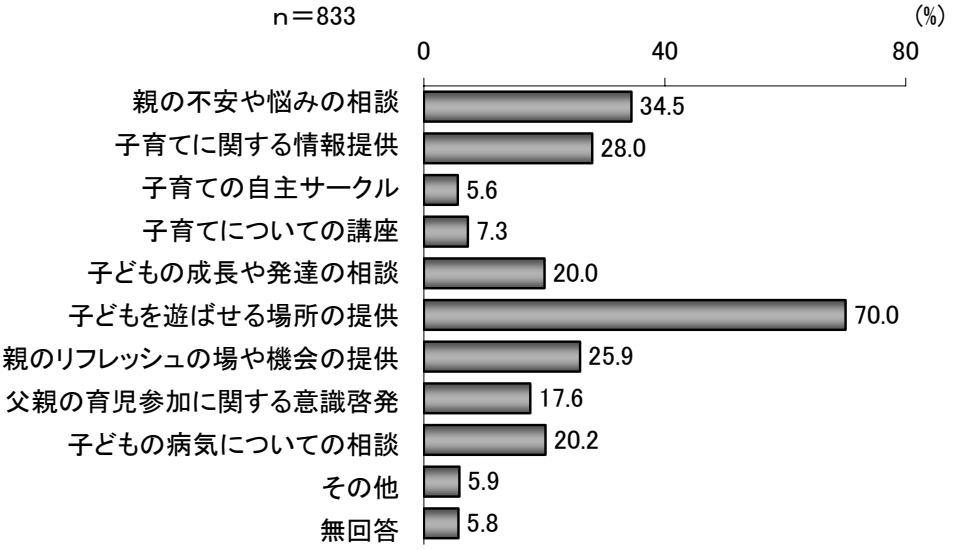
		n	配偶者や親に相談する	友人や子育てグループの人に相談する	インターネットや本で調べる	学校に相談する	かかりつけの医師に相談する
全体		833	76.6	59.8	15.8	11.4	3.6
学年	1年生	139	△ 82.0	○ 69.8	△ 21.6	10.8	6.5
	2年生	131	77.1	55.7	18.3	▲ 6.1	4.6
	3年生	143	76.2	59.4	17.5	13.3	2.1
	4年生	138	73.9	56.5	15.9	13.0	0.7
	5年生	144	72.9	54.9	▲ 10.4	15.3	5.6
	6年生	136	77.9	61.8	11.8	9.6	2.2

※上位5項目

18-3. 子どもの健やかな成長のために必要なサービス

子どもの健やかな成長のために必要なサービスとしては、「子どもを遊ばせる場所の提供」（70.0%）が７割と最も多い。ついで、「親の不安や悩みの相談」（34.5%）、「子育てに関する情報提供」（28.0%）、「親のリフレッシュの場や機会の提供」（25.9%）が３割前後で続いている。

問40　子どもの健やかな成長のために、どのようなサービスが必要だと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）



≪学年、子の人数別：子どもの健やかな成長のために必要なサービス≫

学年別に上位７項目をみると、「親のリフレッシュの場や機会の提供」は１年生で多く、３人に１人強の割合となっている。「子どもを遊ばせる場所の提供」は１、２年生で８割弱とやや多く、「親の不安や悩みの相談」「子どもの病気についての相談」「父親の育児参加に関する意識啓発」は１年生でやや多い。

子の人数別では、３人以上の人で「親のリフレッシュの場や機会の提供」をあげる人が３割とやや多い。

(%)

		n	子どもを遊ばせる場所の提供	親の不安や悩みの相談	子育てに関する情報提供	親のリフレッシュの場や機会の提供	子どもの病気についての相談	子どもの成長や発達の相談	父親の育児参加に関する意識啓発
全体		833	70.0	34.5	28.0	25.9	20.2	20.0	17.6
学年	1 年生	139	△ 76.3	△ 39.6	32.4	○ 36.7	△ 25.2	20.1	△ 24.5
	2 年生	131	△ 79.4	▲ 26.7	24.4	26.7	15.3	21.4	21.4
	3 年生	143	73.4	33.6	26.6	28.7	21.0	16.8	▲ 10.5
	4 年生	138	69.6	35.5	29.0	▲ 18.1	21.7	17.4	18.8
	5 年生	144	▲ 61.8	34.0	29.2	26.4	20.8	22.9	14.6
	6 年生	136	▲ 60.3	36.8	25.7	▲ 18.4	16.9	21.3	16.9
子の人数	1 人	181	65.2	34.3	31.5	▲ 17.7	22.7	17.1	15.5
	2 人	471	71.3	35.2	27.6	27.4	20.0	21.7	18.5
	3 人以上	174	72.4	32.8	25.3	△ 31.0	19.0	18.4	18.4

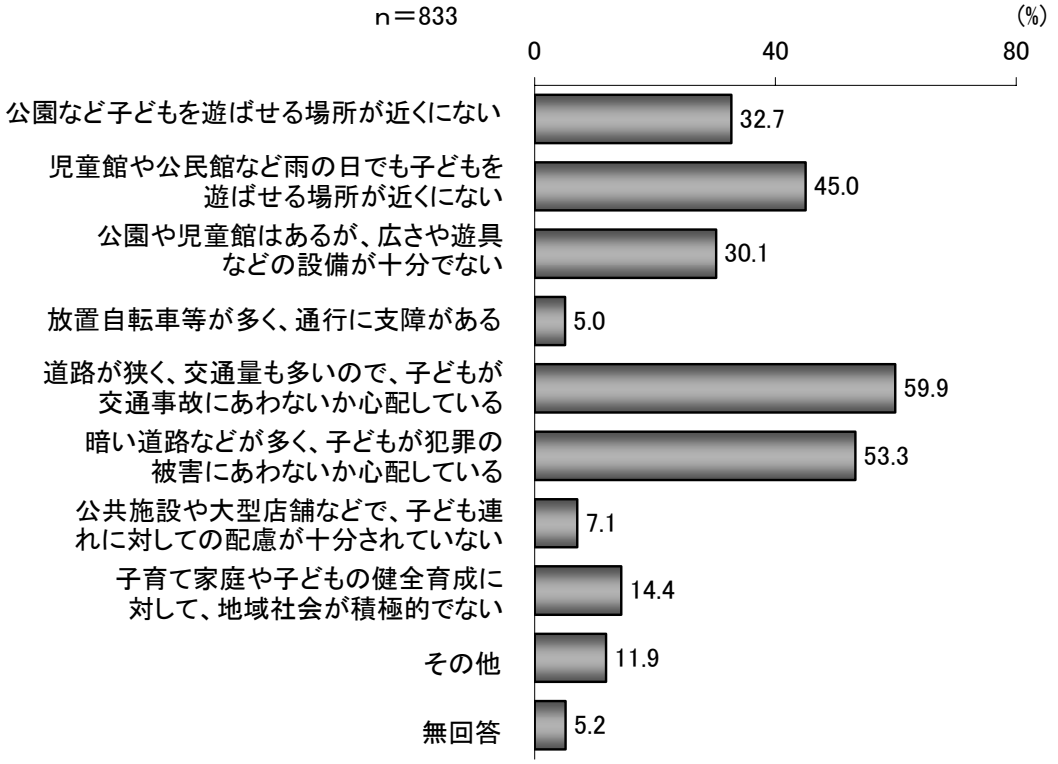
※上位7項目

１９．子育て支援のあり方について

19-1．川越市で子育てをしている中で感じていること

川越市で子育てをしている中で感じていることは、「道路が狭く、交通量も多いので、子どもが交通事故にあわないか心配している」（59.9%）、「暗い道路などが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配している」（53.3%）と“犯罪や事故”を心配している人が５割台と多くなっている。また、「児童館や公民館など、雨の日でも子どもを遊ばせる場所が近くにない」（45.0%）や「公園など子どもを遊ばせる場所が近くにない」（32.7%）、「公園や児童館はあるが、広さや遊具などの設備が十分でない」（30.1%）など“遊び場”に不満を感じている人も３～４割と多い。

問４１　川越市で子育てしていく中で、日ごろ感じていることはどんなことですか。あてはまる番号に○をつけてください。（あてはまる番号すべてに○）



≪居住地区別：川越市で子育てをしている中で感じていること≫

居住地区別にみると、「児童館や公民館など雨の日でも子どもを遊ばせる場所が近くにない」は古谷地区で７割強、名細地区で６割強と多くなっているが、本庁、芳野、高階地区は３割台と少ない。「公園など子どもを遊ばせる場所が近くにない」は本庁地区で５割弱、山田地区では８割と多くなっている。

(%)

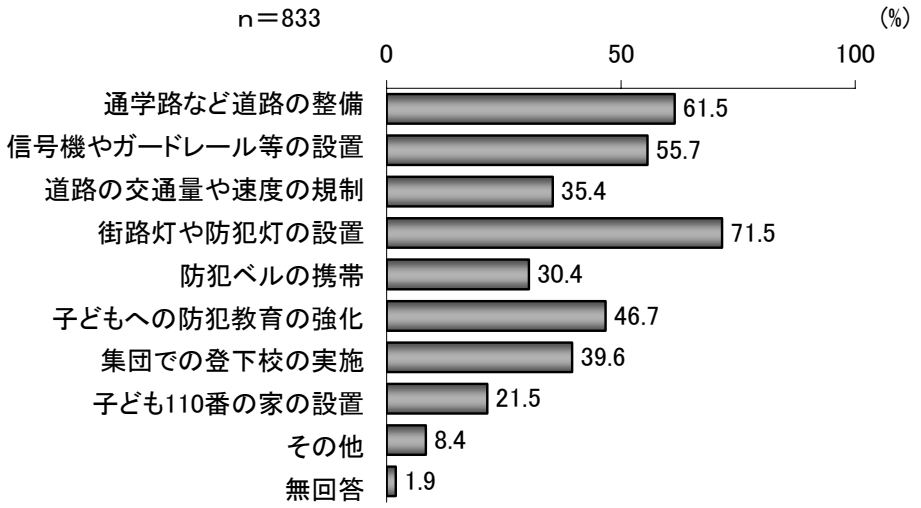
		n	公園など子どもを遊ばせる場所が近くにない	児童館や公民館など雨の日でも子どもを遊ばせる場所が近くにない	公園や児童館はあるが、広さや遊具などの設備が十分でない	放置自転車等が多く、通行に支障がある	道路が狭く、交通量も多いので、子どもが交通事故にあわないか心配している
全体		833	32.7	45.0	30.1	5.0	59.9
居住地区	本庁	254	○ 47.6	▲ 37.4	△ 37.0	△ 10.2	△ 69.3
	芳野	15	★ 13.3	● 33.3	△ 40.0	▲ 0.0	★ 26.7
	古谷	25	28.0	☆ 72.0	● 16.0	▲ 0.0	★ 44.0
	南古谷	64	▲ 25.0	△ 51.6	31.3	3.1	▲ 50.0
	高階	118	● 22.0	● 30.5	▲ 24.6	4.2	△ 66.9
	福原	46	28.3	○ 56.5	30.4	▲ 0.0	△ 65.2
	大東	94	● 22.3	△ 51.1	29.8	1.1	△ 64.9
	霞ヶ関	85	▲ 23.5	49.4	28.2	5.9	▲ 50.6
	霞ヶ関北	29	★ 13.8	○ 55.2	● 17.2	3.4	★ 27.6
	名細	49	● 20.4	☆ 63.3	26.5	4.1	▲ 53.1
	山田	28	☆ 78.6	42.9	● 17.9	▲ 0.0	● 46.4

		n	暗い道路などが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配している	公共施設や大型店舗などで、子ども連れに対しての配慮が十分されていない	子育て家庭や子どもの健全育成に対して、地域社会が積極的でない	その他	無回答
全体		833	53.3	7.1	14.4	11.9	5.2
居住地区	本庁	254	51.2	6.7	17.3	11.0	3.9
	芳野	15	△ 60.0	▲ 0.0	▲ 6.7	20.0	0.0
	古谷	25	● 40.0	4.0	● 4.0	16.0	4.0
	南古谷	64	54.7	7.8	▲ 7.8	15.6	6.3
	高階	118	57.6	8.5	11.9	10.2	6.8
	福原	46	56.5	4.3	10.9	15.2	4.3
	大東	94	▲ 47.9	▲ 2.1	16.0	11.7	4.3
	霞ヶ関	85	54.1	9.4	15.3	10.6	4.7
	霞ヶ関北	29	▲ 48.3	6.9	△ 24.1	20.7	17.2
	名細	49	57.1	8.2	18.4	12.2	2.0
	山田	28	☆ 71.4	△ 14.3	▲ 7.1	10.7	10.7

19-2. 子どもの安全確保のために必要だと思うこと

子どもの安全確保のために必要だと思うこととしては、「街路灯や防犯灯の設置」（71.5％）、「通学路など道路の整備」（61.5％）、「信号機やガードレール等の設置」（55.7％）が５～７割で上位にあげられている。ついで、「子どもへの防犯教育の強化」（46.7％）、「集団での登下校の実施」（39.6％）、「道路の交通量や速度の規制」（35.4％）、「防犯ベルの携帯」（30.4％）が３～４割となっている。

問42　子どもが交通事故や犯罪にあわないよう子どもの安全確保のために、どんなことが必要だと思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。（あてはまる番号すべてに○）



≪学年別：子どもの安全確保のために必要だと思うこと≫

学年別でみると、「子どもへの防犯教育の強化」や「集団での登下校の実施」は１、２年生で５割前後と多くなっている。また、１年生では「信号機やガードレール等の設置」「道路の交通量や速度の規制」「防犯ベルの携帯」をあげる人もやや多い。

(%)

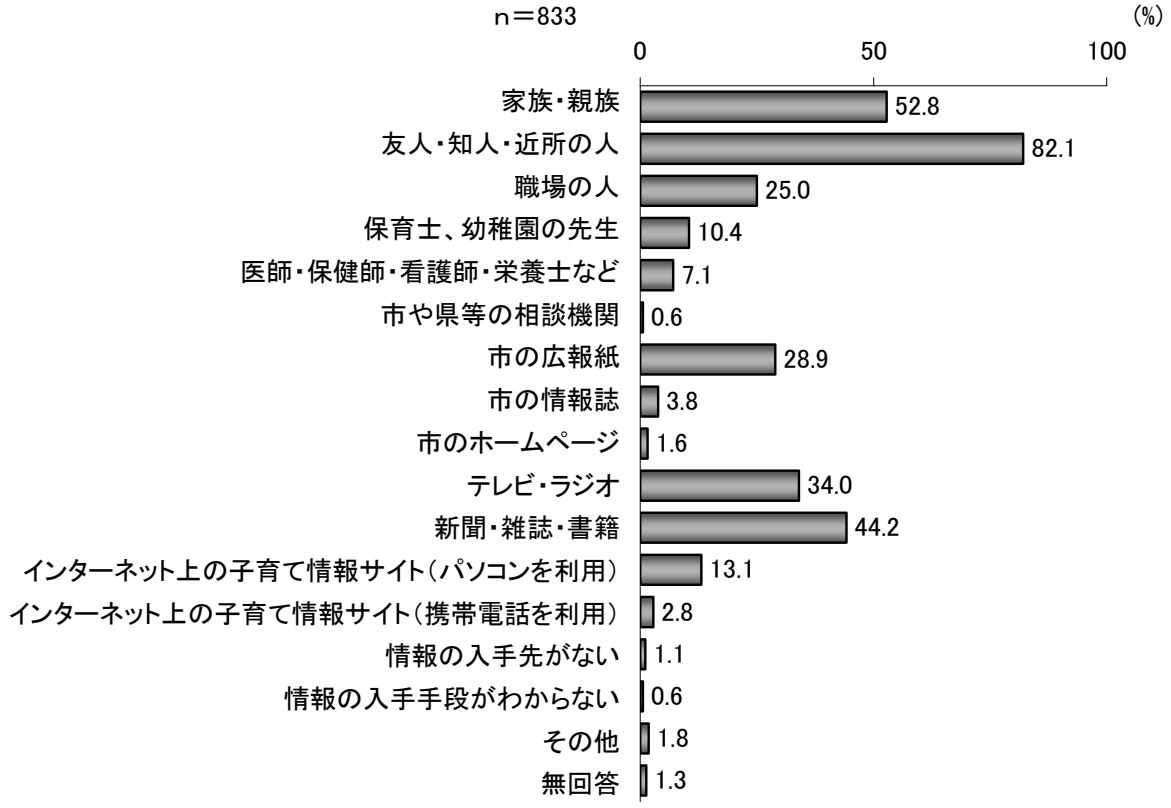
		n	通学路など道路の整備	信号機やガードレール等の設置	道路の交通量や速度の規制	街路灯や防犯灯の設置	防犯ベルの携帯
全体		833	61.5	55.7	35.4	71.5	30.4
学年	1 年生	139	66.2	△ 62.6	△ 43.2	69.8	△ 38.8
	2 年生	131	61.8	58.0	38.2	▲ 66.4	35.1
	3 年生	143	63.6	53.1	30.8	△ 78.3	31.5
	4 年生	138	61.6	53.6	36.2	73.9	▲ 23.2
	5 年生	144	60.4	▲ 49.3	35.4	67.4	34.0
	6 年生	136	▲ 55.1	57.4	▲ 28.7	73.5	● 19.9

		n	子どもへの防犯教育の強化	集団での登下校の実施	子ども 110 番の家の設置	その他	無回答
全体		833	46.7	39.6	21.5	8.4	1.9
学年	1 年生	139	△ 52.5	△ 48.2	24.5	8.6	1.4
	2 年生	131	△ 54.2	△ 45.0	25.2	11.5	2.3
	3 年生	143	43.4	44.1	21.0	4.9	0.7
	4 年生	138	43.5	▲ 31.9	18.8	8.7	0.7
	5 年生	144	46.5	41.7	22.9	8.3	4.9
	6 年生	136	▲ 41.2	● 26.5	16.9	8.1	1.5

19-3. 子育てに関する情報入手先

子育てに関する情報入手先は、「友人・知人・近所の人」（82.1%）が８割強と最も多い。ついで、「家族・親族」（52.8%）が５割強、「新聞・雑誌・書籍」（44.2%）が４割強となっている。

問43　子育てに関する情報を主にどこから入手していますか。（あてはまる番号すべてに○）



≪学年、母親就労状況別：子育てに関する情報入手先≫

学年別に上位９項目をみると、「家族・親族」「市の広報紙」「医師・保健師・看護師・栄養士など」は１年生でやや多くなっている。「保育士、幼稚園の先生」をあげる人も１、２年生でやや多い。

母親の就労状況別では、就労している人は「職場の人」が、就労していない人は「新聞・雑誌・書籍」をあげる人がやや多くなっている。

(%)

		n	友人・知人・近所の人	家族・親族	新聞・雑誌・書籍	テレビ・ラジオ	市の広報紙
全体		833	82.1	52.8	44.2	34.0	28.9
学年	1 年生	139	84.9	△ 60.4	48.2	33.8	△ 36.0
	2 年生	131	86.3	57.3	45.8	34.4	31.3
	3 年生	143	81.8	▲ 46.9	45.5	▲ 28.7	26.6
	4 年生	138	84.1	52.2	47.1	△ 39.9	24.6
	5 年生	144	▲ 76.4	50.0	39.6	34.7	27.1
	6 年生	136	79.4	50.0	▲ 38.2	31.6	27.9
母親就労状況	就労している	508	82.7	53.3	39.8	31.7	26.6
	就労していない	288	84.0	53.8	△ 53.5	38.5	33.7

		n	職場の人	インターネット上の子育て情報サイト（パソコンを利用）	保育士、幼稚園の先生	医師・保健師・看護師・栄養士など
全体		833	25.0	13.1	10.4	7.1
学年	1 年生	139	28.1	15.1	△ 18.7	△ 15.1
	2 年生	131	23.7	16.8	△ 16.8	10.7
	3 年生	143	24.5	16.1	12.6	7.0
	4 年生	138	26.8	15.2	▲ 5.1	5.1
	5 年生	144	25.7	▲ 4.9	▲ 3.5	2.8
	6 年生	136	21.3	11.0	5.9	▲ 1.5
母親就労状況	就労している	508	○ 38.2	12.0	10.8	7.3
	就労していない	288	★ 3.1	16.0	9.4	6.3

※上位9項目

２０．自由意見

20-1．安心して子どもを育てていくための施策等に関する要望・意見

安心して子どもを産み、健やかに育てていくための行政の施策や、社会の制度のあり方などについての要望や意見（380 件）を分類し、共通するものを抜粋して掲載した。

①学童保育・保育園

✧保育園、学童保育室の待機児童をゼロにしていく。
✧一時保育が誰でも利用しやすいように、利用場所、数を増やしてほしいです。また、学校のＰＴＡ活動をしている人は、一時的に学童保育室を利用できるようにしてほしい。
✧学校にしか学童保育がないので、近くの公民館でも学童保育や児童館等を行なってほしい。
✧学童の入室対象学年を１～３年から全学年にしてほしい。今のところ入室できているが、今後どうなるかわからないので不安。安心して預けられる場所を確保してほしい。
✧学童保育の時間を１９時までにしてほしい。
✧学童保育は就労していないと入れないと聞いたが、急な用事の際にも使用できたら助かる。
✧子供が産まれて、働きたくても、「保育園は待ち状態…」。いつでも入園できるようなシステムにして欲しいです。
✧親の就労支援のためにも、学童保育室を保育園のように市の職員で運営することを望みます。（直接管理）
✧保育園から小学校へあがってからのサービスのギャップが有ると思います。両親共就労する家庭が増えている中、学童保育施策を一層充実させていただきますよう切に望みます。現在は、開設時間が１８：３０で終了する為、ファミリーサポートと二重保育を行っており、経済的負担が厳しいです。よろしくお願いします。

②学校問題

✧１８歳までは義務教育とし、もっと命の大切さや幸せとは何かとか、安心して生活するにはどうすれば良いのかという事を大人になって考える社会でなく、子どもの頃から子供の考えを育てるような教育の時間をふやせば良いと思います。もう一つ、学校ももっと国際的にいろんな国の子供たちと、小さい頃から共に学んでいけるようになればと思います。昔の日本とは現実的に変わっています。外国に対して、もっと自然にふれあえる日本人を育てなければいけないと思います。
✧安心して預けられる教員が少ない気がする。学校に通わせる親としては、先生を信頼できるかというのが気になるところです。口ばっかりの先生、えこひいきする先生、見栄でやっている先生。子供１人、１人をきちんと見られ、考えてくれる先生が多くなってくれる事を望みます。
✧学区わけの基準がわからない。うちは、前の道路でくぎられているので、近所の子はほとんどが違う学校。学区内のお友達と遊ぶには２０分くらい自転車でいかなくてはならない。
✧学校の施設や環境にもっと予算を使って欲しい。学校は古くきたない所が多いように感じる。
✧学校教育（小・中学）において、少人数学級を実施し、一人一人に目を配ることができるよう、心より希望しています。
✧私達が子供の頃のように、土曜日の午前中は学校があった方がいいと思う。休みをもて余しているし、平日帰りが遅くて遊ぶ時間がない。中学校は部活も少ないし、先生も一生懸命ではない。放課後ふらふらしている中学生が多い。学校の先生も駐車場代をとるべきだと思う。

✧小、中学校は、先生はキビシク、ビシビシ愛情をもって教育してほしい。子供が悪いときは、しっかりしかって、時には愛のムチも必要である。教育者は生徒と友達になってはいけないと思います。
✧土曜日は学校があった方がよいと思う。先生方の負担も考え、臨時の教員を増やすなどして、よい方法を考えて行えば子供達の学力向上にかなりの成果があると思う。
✧ＰＴＡ活動、地域の活動の負担を減らしてほしい。

③子どものための施設

✧児童館が他市とくらべて施設自体整っていないと感じます。小学生の遊びに来る時間は危なく、それ以降行かなくなりました。
✧雨の日に子供を遊ばせられるような、小・中学生向けの児童館を作って頂けることを願っています。
✧児童館・体育館・屋内プール・図書館等がもっとたくさんあり、子どもが利用しやすくなるとよい。
✧市の中心部と辺縁部で、子育ての環境に差が出ないようにしてほしい。（公園、児童館、図書館）。
✧図書館に１０代の子供用の本が少ないです。安く利用できるスポーツ施設が近くにないです。

④子どもの遊び場

✧以前は近くに公園があったが、駐車場になってしまい公園がない。子供の遊ぶ（外で）場所がなく心配です。かわいそうです。
✧近くでボール遊びのできる場所がないので、道路や駐車場で遊んでいます。とても危険なので、安全にボール遊びのできる場所を作ってほしいです。
✧近所に子供をのびのびと遊ばせられる環境がなく、不満に思います。近所の公園ではボール遊びも禁止です。木のぼりできるような木や清潔なトイレもありません。子供がのびのびと遊べる場所が必要だと思います。
✧徒歩や、自転車で気軽に行ける公園を作ってほしい。また、ボールが使える広場もあると嬉しい。

⑤通学の安全・治安問題

✧最近、近所の道路を抜け道として使う人が多く、交通量が増えました。子供のスクールゾーンでもあるので、もう少し信号機を付けるか、時間内の交通規制をしてほしいと思います。
✧川越は、とにかく道が入り込んでいて狭く、観光地だという事もあり、車や人が多すぎる。子供達の登下校中の車を規制して欲しい。親たちだけで、交差点などを立哨しているため、スクールゾーン内にも車がどんどん進入してきてしまう。たまに、地域の男性や警察官などが一緒に立ってくれないと怖い時もあります。もう少し、子供に対する配慮を大人として持って欲しいと思います。
✧通学路にガードレールが全く設置されていない！！信号機も無い所があり、車の交通量も多いので、見直し（設置）が必要かと思う。事故が起きてからの改正では遅い！早急に考えてほしい！！安心して学校へ通わせられる環境を。
✧不審者が多く、登下校が心配なので、パトロールの強化をして欲しい。
✧夏場の夕やけチャイムの時間が早すぎるような気がします。あまり早すぎると全く効果がありません。２回ならすなど、考えていただきたいです。
✧放課後の事故、犯罪から守る為の子供への指導をもっと増やしてほしい。人目のない所へのパトロール強化（調整池、川、田んぼ道ｅｔｃ）、警官やパトカー、青色灯車等での子供がやばいと思うようなものがいいと思う。親達より効果アリだと思う。

⑥経済的支援

- ✧せめて、小学校中学年ぐらいまでは、医療費を無料にしてほしいです。
- ✧児童手当を１人目の子供から１万円にして欲しいです。
- ✧児童手当を義務教育中にしてほしい。
- ✧インフルエンザの注射ですが、できれば子供達も６５歳以上の人のように安くできるといいと思います。
- ✧出産にかかる費用の軽減。
- ✧ひとり親の手当てのお金を下げないでほしいです。
- ✧低所得の父子世帯には母子家庭の様に援助がない。
- ✧もう１人子供が欲しいと思いますが、経済的にも環境的にも産める状況ではありません。
- ✧経済的な負担が大きすぎる。医療費の補助やその他税制面での援助があると良い。
- ✧子育てで大変な人から税金をとらないでほしい。このままだと今後ますます出生率は減るでしょう。
- ✧成人するまで、子どもにかかる費用は無料！！
- ✧もう１人子供を欲しいと思っているのですが、やはり経済的に不安なので、医療費を義務教育の間は無料にするとか、４人産んだら１００万円プレゼントとか、何か後押ししてくれる政策があると嬉しいです。
- ✧教育費にとてもお金がかかるので、高校、大学資金の援助などをもっと増やすか、私立高校等授業料を公立並みに安くして欲しい。子育て中の税金の免除など。

⑦就労環境

- ✧パートやアルバイトにも育児金などの制度がほしいです。
- ✧過重労働で安心して子育てをできないので、労働条件のシステムを基本から変えていただきたい。
- ✧子供がいての仕事との両立がなかなか難しい。学校の行事や、病気等で休みを取る事が理解されているかが難しく、働く時に一番気になる事。仕事をさがす時にも、子供が産まれてからの正社員は難しい。ハローワークでの求人情報に子供がいて、働く事の理解がある会社かがわかると良い。
- ✧時間的、精神的なゆとりが親になると、子育てを心から楽しめないと思います。子育てに理解のある職場が増えてほしいです。
- ✧親が一人で子供を育てている家庭も多いと思いますが、親が安心して働ける場がもっと川越市内にあると良いと思います！！
- ✧仕事をしている場合、看護休暇等、休暇がとりやすいのが一番の支援です。子どもが病気の時病院に預けるのではなく、お迎えの人が見つからない時ファミサポにたよるのではなく、早くあがらせてもらえる社会制度になってほしいです。他人や行政に子育てをまかせる社会では子どもがかわいそうです。自分（親が）で子供をみたくても、仕事をせざるをえない人もいます。

⑧保健・医療体制

- ✧最近は産む事も難しくなってきている。もっと安心して出産、育児ができる世の中になってほしいと願います。
- ✧産婦人科、小児科を安心してかかれるようにしてほしい。
- ✧小児科（小児病院）の確保。休日・夜間も対応してくれる。
- ✧病院は信頼できる先生を増やしてほしい。夕方以降に行くと負担額が増し、働く親にとってはつらいです。

✧中心部ばかり大きい病院が多い。高階地区にも病院が出来てほしい。
✧少子化をくい止めるためには、産婦人科の充実が必要。産科に健康保険が適用される様にならないと…。産むのに６０万近くかかるのに、国からは３５万円。産みたくても、産めないのが現実。

⑨その他サービスの充実

✧どの小学校にも「放課後子ども教室」があると嬉しいです。
✧ほんの少しの時間でも働いていなくても預けられる所があると助かります。病院や、美容院、歯医者などに行くのにも子連れでは少々出かけにくくなっています。
✧仕事をしているので、子供が体調不良の際にも一時預かりをしてもらえる施設の充実。
✧子供を預ける場所の提供も必要だが、親子がふれ合える場所の提供も必要と感じます。
✧発達障害の早期発見と支援体制をきちんと作ってほしい。
✧子供自身で往復ができる、子供講座やサークルなどがあると、子供にも親にも助かると思います。子供にも人生を楽しませ、いろいろな事を学ばせたいと親は願っています。
✧放課後のサークル活動など、学校ごとにやってほしい。（夏休み、冬休み、春休みなど、仕事をしている人が増えていると思うので）病児はどうして３年生までなのか。小学６年生までにしてほしい（せめて５年生)。

⑩保護者（大人）への教育

✧学校と親たちがもっと協力的に子供を守っていくべき。どちらも他方まかせの様子が伺われる。大人たちの意識改革が必要だと思う。大人から子供へ、いずれは世代交代をするのだから、もっと子供たちに目を向けていかなければならないと思う。
✧子供を大切にしない大人がとても多く感じる。親のあり方など、上手につたえ、子供はかけがえのない宝ということを理解できる場があったらと思います。
✧常識のない大人の教育が必要です。
✧親になれない（大人になれない）親が多いと感じています。子どもを産み、育てるという事の前に、良い大人になるという事が大事だと感じているので、我が家の子ども達にはそういう育て方をしているつもりです。親がしっかりしないと！
✧複雑な家庭事情の子供や、子供のような親が増えた。子供が親の犠牲となり、悩みを抱えている。それを救ってあげる事に力を入れてほしい。学校に関心のない保護者の子供が問題を抱えている事が多い。どんなに学校や行政が頑張っても、そういう家庭には届いてない。ここを何とかしなければ、どんどんダメになっていくでしょう。

⑪その他

✧子どもを社会全体の財産として、それぞれの状況にあった柔軟な支援が必要。画一的なサービスが行政には多くて時代のニーズに大変遅れています！！
✧少子化の時代で、子供に対してすごくシビアな所が多く感じます。
✧未就学の子供については、いろいろ考えていますが、就学した子供たちのことも、もっと考えてほしい。
✧子育てする“親がゆとりを持てる”ような社会づくりのために、長期的目標と短期的目標をはっきりさせ、反省する部分をしっかり反省し、公表してほしい。
✧川越市が子ども達のために良い町になってくれるのを親子共ども期待しております。
✧児童手当等の給付の手続きは、広報での知らせだけではなく、各家庭への通知もあるといいと思います。
✧大変な時代を生きぬくため、子供達のため税金の使いみちをよく考えて大切に使って下さい。

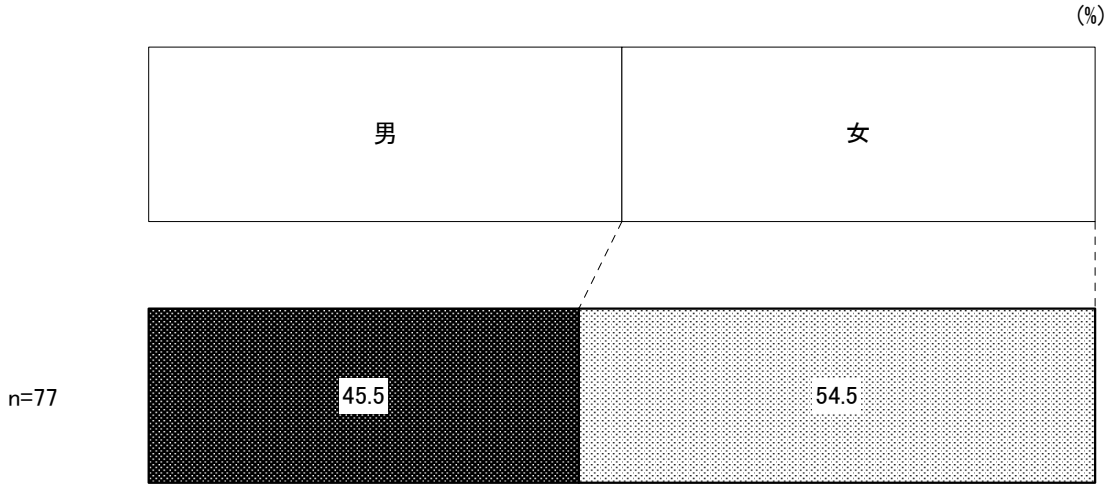
中学生　調査結果

1．回答者のプロフィール

1-1．性別

性別は「男」45.5%、「女」54.5%となっている。

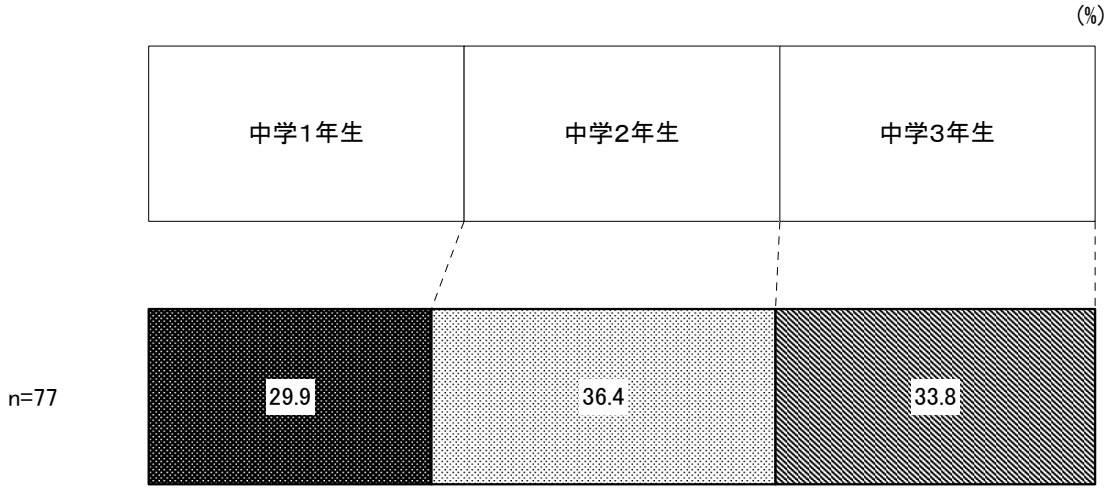
問1　あなたの性別は。



1-2．学年

学年は、「中学１年生」29.9%、「中学２年生」36.4%、「中学３年生」33.8%となっている。

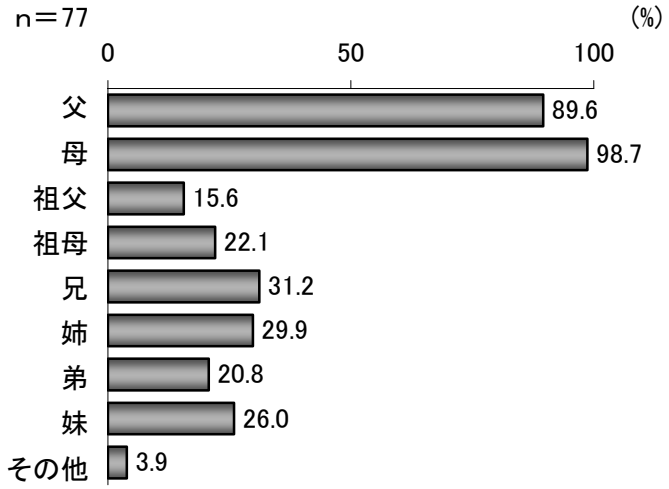
問2　あなたは、何年生ですか。



1-3. 一緒に住んでいる人

一緒に住んでいる人は「母」98.7%、「父」89.6%と多い。

問３　あなたは、誰と一緒に住んでいますか。（あてはまる番号すべてに○）

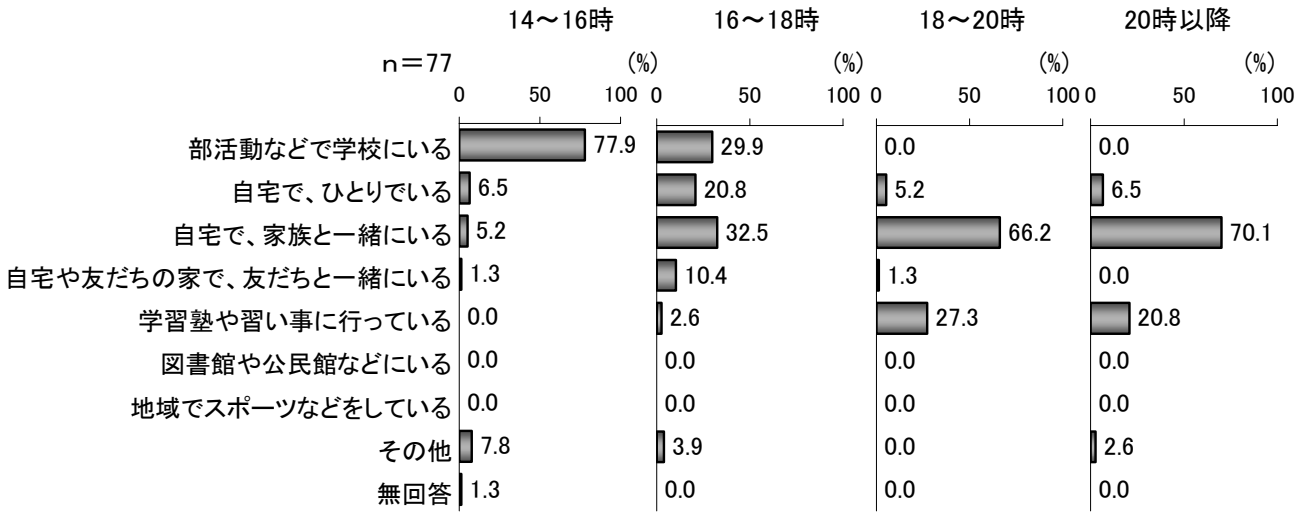


2．放課後や休日の過ごし方について

2-1．平日の放課後の過ごし方

平日の放課後の過ごし方は、14～16 時は「部活動などで学校にいる」が 77.9％と多数を占めている。16～18 時は「部活動などで学校にいる」「自宅で、ひとりでいる」「自宅で、家族と一緒にいる」が２～３割と多い。18～20 時や 20 時以降は「自宅で、家族と一緒にいる」が６～７割、「学習塾や習い事に行っている」が２割台と多い。

問４　平日の放課後、あなたはどのように過ごしていますか。次の表（A表）に、時間帯ごとに一番多い過ごし方を、B表の中から１つずつ選んで番号を記入してください。

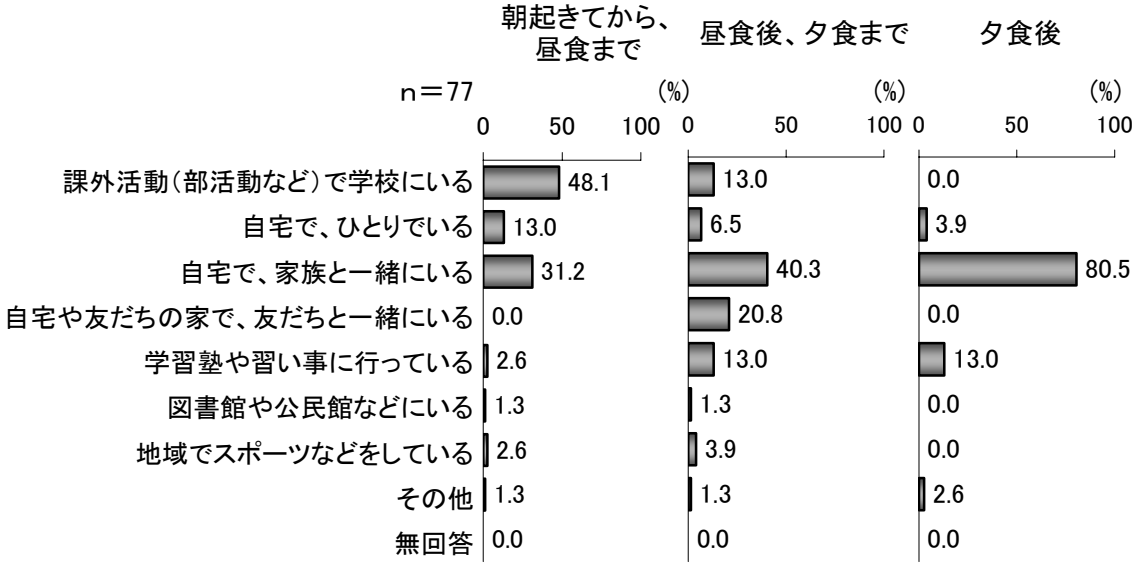


2-2. 休日の過ごし方

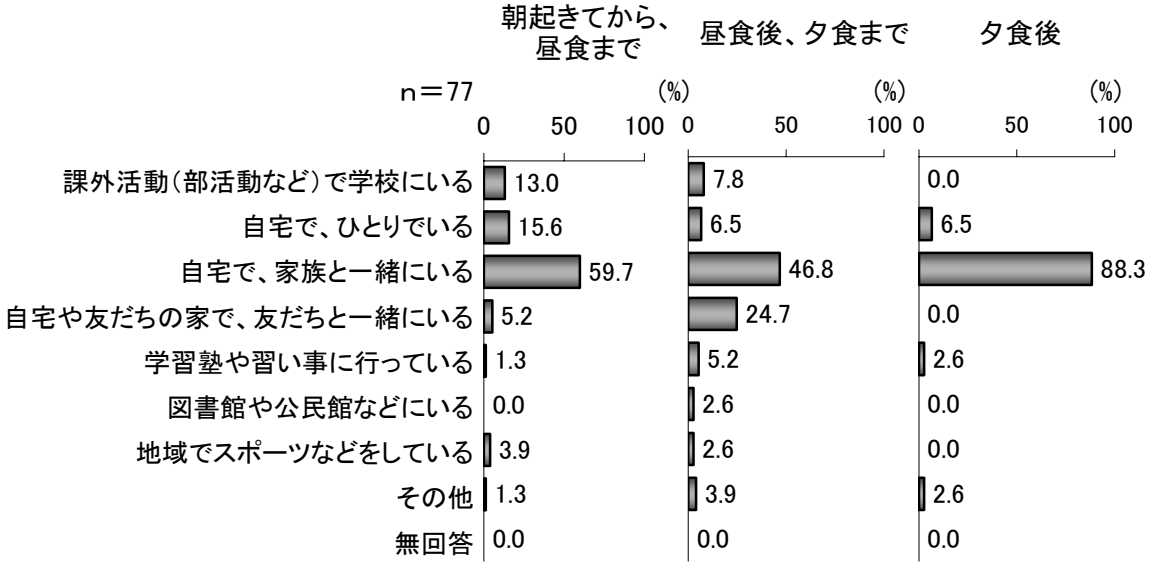
土曜日の朝起きてから、昼食までは「課外活動（部活動など）で学校にいる」が半数近くを占めているが、昼食後、夕食までや夕食後は「自宅で、家族と一緒にいる」が多い。
日曜日は「自宅で、家族と一緒にいる」が多くなっているが、昼食後、夕食までは「自宅や友だちの家で、友だちと一緒にいる」との回答も４人に１人弱の割合とやや多い。

問５　学校が休みの土曜日や休日（日・祝日）、あなた自身は、どのように過ごしていますか。
次の表（A表）に、時間帯ごとに一番多い過ごし方を、B表の中から１つずつ選んで番号を記入してください。

■土曜日



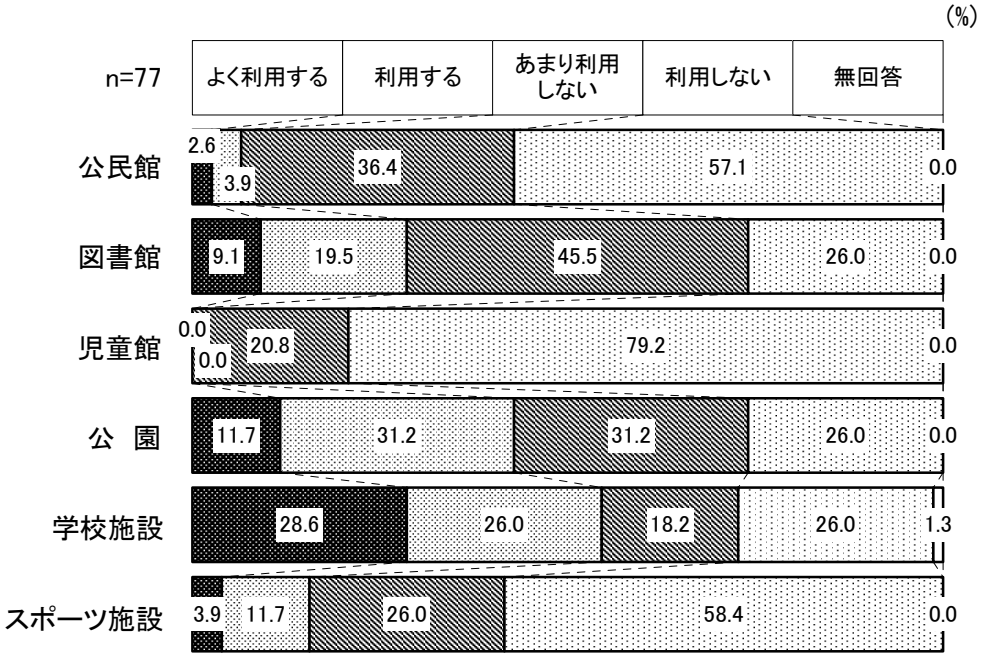
■日曜日



2-3. 公共施設の利用について

公共施設の利用について、「よく利用する」との回答が多いのは学校施設であり、３割弱となっている。一方、「利用しない」との回答が多いのは児童館が８割弱、スポーツ施設や公民館が６割弱となっている。

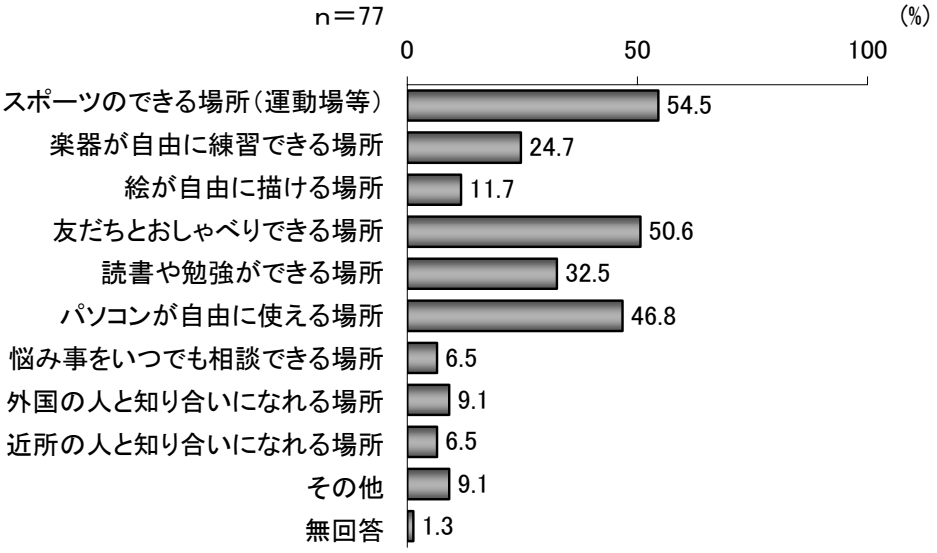
問６　あなたは、公共施設を利用することがありますか。



2-4. 近くにあったらいいなと思う場所

近くにあったらいいなと思う場所は、「スポーツのできる場所(運動場等)」(54.5%)、「友だちとおしゃべりできる場所」(50.6%)、「パソコンが自由に使える場所」(46.8%) が５割前後で上位にあげられている。

問７　あなたが、近くにあったらいいなと思う場所はどれですか。(○は３つまで)



≪性別、学年別：近くにあったらいいなと思う場所≫

性別でみると、男子は「スポーツのできる場所（運動場等)」が７割強と多く、女子は「友だちとおしゃべりできる場所」「楽器が自由に練習できる場所」が多くなっている。

学年別では、「友だちとおしゃべりできる場所」は３年生で７割弱と多い。

(%)

		n	スポーツのできる場所(運動場等)	楽器が自由に練習できる場所	絵が自由に描ける場所	友だちとおしゃべりできる場所	読書や勉強ができる場所	パソコンが自由に使える場所
全体		77	54.5	24.7	11.7	50.6	32.5	46.8
性別	男子	35	☆ 71.4	● 11.4	▲ 5.7	★ 34.3	31.4	48.6
	女子	42	● 40.5	○ 35.7	△ 16.7	○ 64.3	33.3	45.2
学年	1 年生	23	△ 60.9	26.1	8.7	▲ 43.5	▲ 26.1	43.5
	2 年生	28	△ 64.3	28.6	10.7	● 39.3	28.6	50.0
	3 年生	26	★ 38.5	▲ 19.2	15.4	☆ 69.2	△ 42.3	46.2

		n	悩み事をいつでも相談できる場所	外国の人と知り合いになれる場所	近所の人と知り合いになれる場所	その他	無回答
全体		77	6.5	9.1	6.5	9.1	1.3
性別	男子	35	11.4	5.7	5.7	5.7	2.9
	女子	42	2.4	11.9	7.1	11.9	0.0
学年	1 年生	23	4.3	4.3	▲ 0.0	8.7	0.0
	2 年生	28	3.6	7.1	3.6	10.7	3.6
	3 年生	26	△ 11.5	△ 15.4	△ 15.4	7.7	0.0

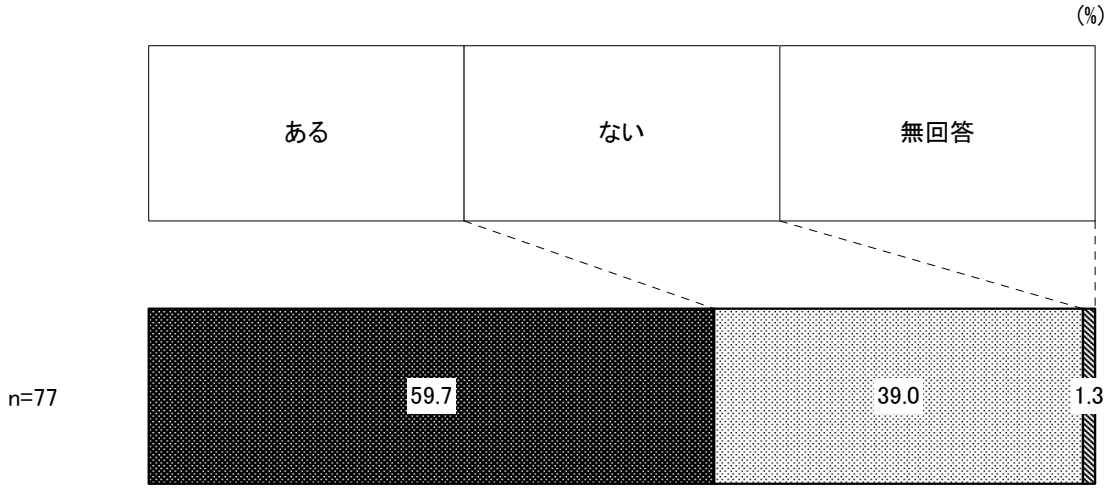
3．地域活動について

3-1．ボランティア活動について

（1）活動の有無

ボランティア活動をしたことが「ある」との回答は 59.7%となっている。

問8　ボランティア活動をしたことはありますか。



≪性別：活動の有無≫

性別でみると、ボランティア活動をしたことが「ある」のは女子で７割強と多いが、男子は「ない」が 54.3%と半数を超えている。

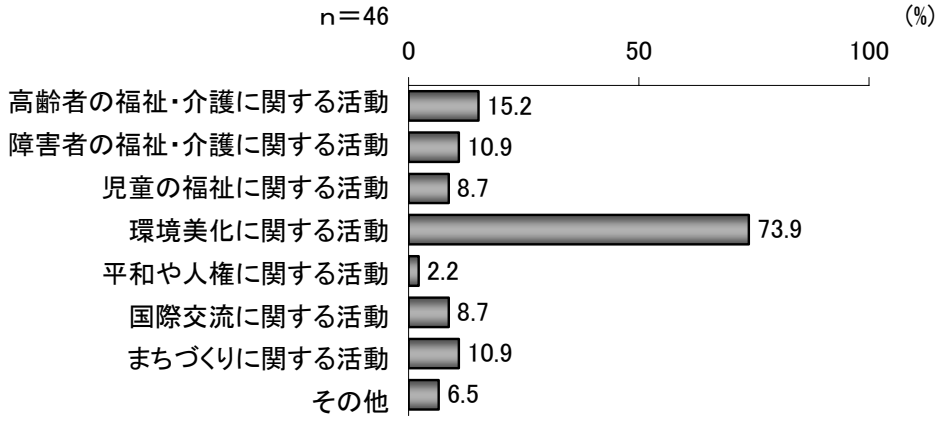
(%)

		n	ある	ない	無回答
全体		77	59.7	39.0	1.3
性別	男子	35	● 45.7	☆ 54.3	0.0
	女子	42	○ 71.4	● 26.2	2.4

（2）したことのある活動

ボランティア活動をしたことがあると回答した人の活動は、「環境美化に関する活動」が73.9%と多い。

問9　問8で「1．ある」と答えた方にお聞きします。それは、どのような活動でしたか。

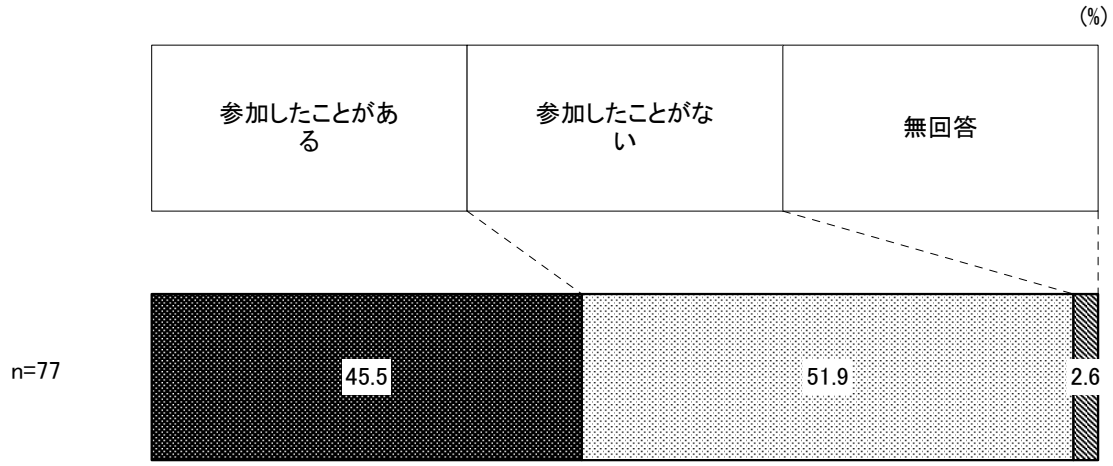


3-2. 地域の団体が行う行事への参加について

（1）参加の有無

中学生になってから、地域の団体（自治会等）が行う行事に「参加したことがある」との回答は45.5%であり、「参加したことがない」（51.9%）がやや多くなっている。

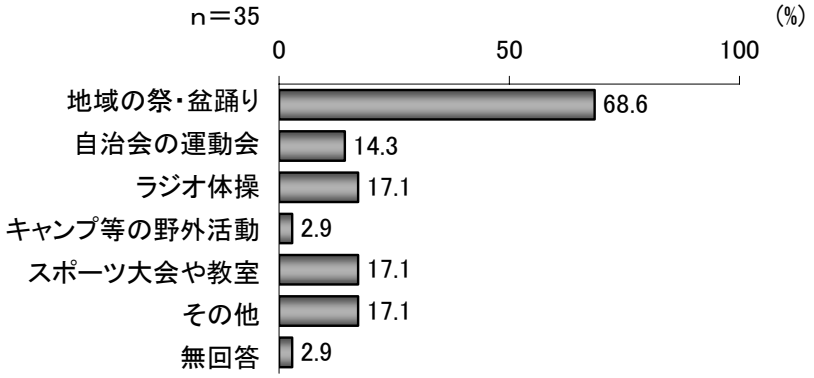
問10　中学生になってから、地域の団体（自治会等）が行う行事に参加したことがありますか。



（2）参加したことのある行事

参加したことのある行事は、「地域の祭・盆踊り」（68.6%）が多い。

問11　問10で「1．参加したことがある」と答えた方にお聞きします。それは、どのような行事でしたか。（○はいくつでも）

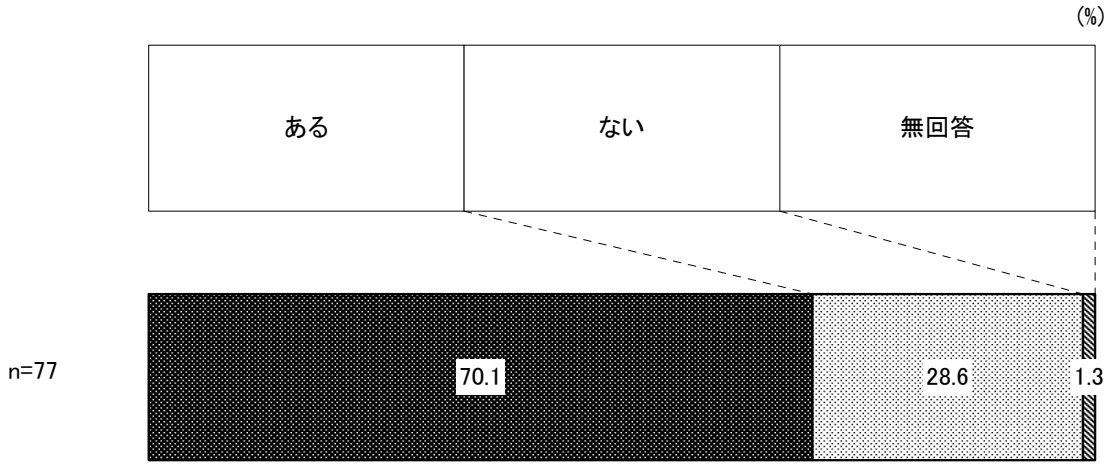


4．乳幼児とのふれあい体験について

4-1．乳幼児と遊んだこと

中学生になってから、赤ちゃんや幼児（兄弟姉妹や親戚を含む）と遊んだことが「ある」との回答は 70.1%となっている。

問 12　あなたは、中学生になってから、赤ちゃんや幼児（兄弟姉妹や親戚を含む）と遊んだことがありますか。



≪性別：乳幼児と遊んだこと≫

性別でみると、赤ちゃんや幼児（兄弟姉妹や親戚を含む）と遊んだことが「ある」のは女子で 88.1%と多数を占めているが、男子は「ない」が 51.4%と半数を超えている。

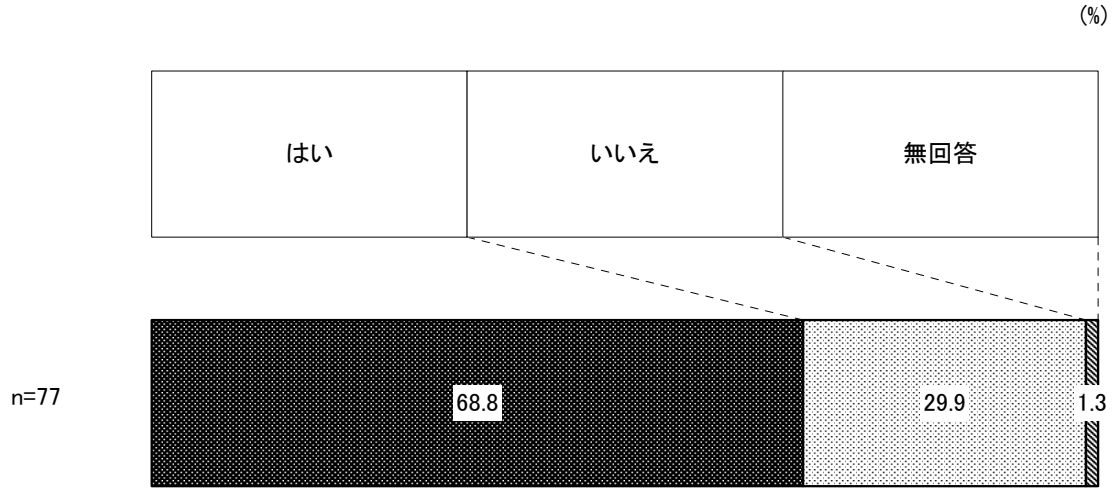
(%)

		n	ある	ない	無回答
全体		77	70.1	28.6	1.3
性別	男子	35	★ 48.6	☆ 51.4	0.0
	女子	42	☆ 88.1	★ 9.5	2.4

4-2. 乳幼児とふれあう機会

中学生には､赤ちゃんや幼児と触れ合う機会があった方が良いと思うかという質問に対し、「はい」との回答が 68.8％と７割近くを占めている。

問 13　中学生には、赤ちゃんや幼児と触れ合う機会があった方が良いと思いますか？



≪性別:乳幼児とふれあう機会≫

性別でみると、「はい」との回答は女子で 76.2％とやや多く４人に１人強の割合となっているが、男子は６割にとどまり、「いいえ」が４割となっている。

(%)

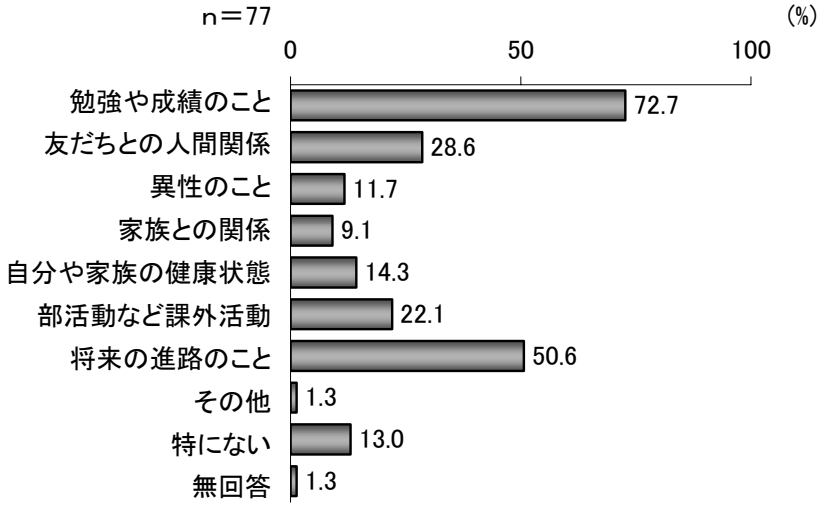
		n	はい	いいえ	無回答
全体		77	68.8	29.9	1.3
性別	男子	35	▲ 60.0	○ 40.0	0.0
	女子	42	△ 76.2	▲ 21.4	2.4

5．悩みや不安、友だち関係、将来のことについて

5-1．現在の心配ごとや悩み

現在の心配ごとや悩みは、「勉強や成績のこと」（72.7%）と「将来の進路のこと」（50.6%）が多い。

問 14　あなたが現在、心配していることや悩んでいることは何ですか。（あてはまる番号すべてに○）



≪性別、学年別：現在の心配ごとや悩み≫

性別でみると、男子よりも女子で心配ごとや悩みが多くなっており、「友だちとの人間関係」は女子で４割強と多い。

学年別では、３年生で「将来の進路のこと」が 65.4%と多くなっているが、２年生では「特にない」との回答が４人に１人の割合となっている。

(%)

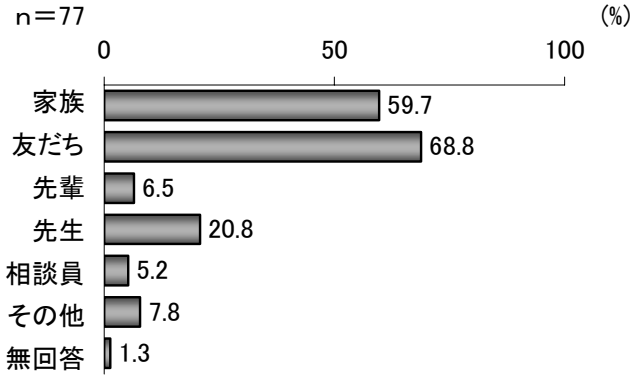
		n	勉強や成績のこと	友だちとの人間関係	異性のこと	家族との関係	自分や家族の健康状態
全体		77	72.7	28.6	11.7	9.1	14.3
性別	男子	35	▲ 62.9	★ 11.4	▲ 2.9	5.7	17.1
	女子	42	△ 81.0	○ 42.9	△ 19.0	11.9	11.9
学年	1 年生	23	73.9	△ 34.8	13.0	▲ 0.0	△ 21.7
	2 年生	28	67.9	25.0	14.3	10.7	● 3.6
	3 年生	26	76.9	26.9	7.7	△ 15.4	19.2

		n	部活動など課外活動	将来の進路のこと	その他	特にない	無回答
全体		77	22.1	50.6	1.3	13.0	1.3
性別	男子	35	▲ 14.3	48.6	0.0	△ 20.0	0.0
	女子	42	△ 28.6	52.4	2.4	▲ 7.1	2.4
学年	1 年生	23	△ 30.4	47.8	4.3	▲ 4.3	0.0
	2 年生	28	△ 32.1	● 39.3	0.0	○ 25.0	0.0
	3 年生	26	★ 3.8	○ 65.4	0.0	▲ 7.7	3.8

5-2. 心配ごとや悩みの相談相手

心配ごとや悩みの相談相手は、「友だち」（68.8%）が７割弱、「家族」（59.7%）が６割弱、「先生」（20.8%）が２割となっている。

問 15　もし、あなたに悩みごとや心配ごとがあるとき、誰に相談しますか。（あてはまる番号すべてに○）



≪性別、学年別：心配ごとや悩みの相談相手≫

性別でみると、「友だち」は女子で 81.0%と多くなっている。

学年別では、「家族」は１年生、「友だち」は３年生、「先生」と「相談員」は２年生でやや多くなっている。

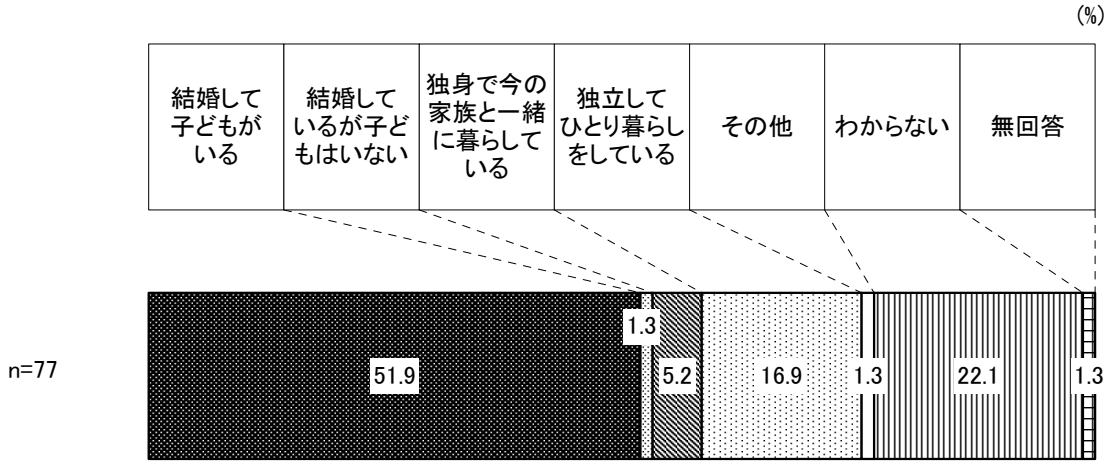
(%)

		n	家族	友だち	先輩	先生	相談員	その他	無回答
全体		77	59.7	68.8	6.5	20.8	5.2	7.8	1.3
性別	男子	35	57.1	● 54.3	2.9	25.7	5.7	11.4	0.0
	女子	42	61.9	○ 81.0	9.5	16.7	4.8	4.8	2.4
学年	1 年生	23	△ 65.2	● 56.5	4.3	▲ 13.0	4.3	13.0	0.0
	2 年生	28	60.7	71.4	10.7	△ 28.6	△ 10.7	7.1	0.0
	3 年生	26	▲ 53.8	△ 76.9	3.8	19.2	▲ 0.0	3.8	3.8

5-3. 20年後の自分

20 年後の自分を思い浮かべたとき最も近いと思うものは、「結婚して子どもがいる」（51.9%）が半数と多い。ついで、「独立してひとり暮らしをしている」（16.9%）が６人に１人強となっているが、「わからない」（22.1%）との回答も２割強と多い。

問 16　20 年後のあなたを思い浮かべたとき、次のどれに最も近いと思いますか。（○は１つ）



≪性別:20 年後の自分≫

性別でみると、男子は「独立してひとり暮らしをしている」が４人に１人強の割合とやや多く、女子は「結婚して子どもがいる」が６割弱と多くなっている。

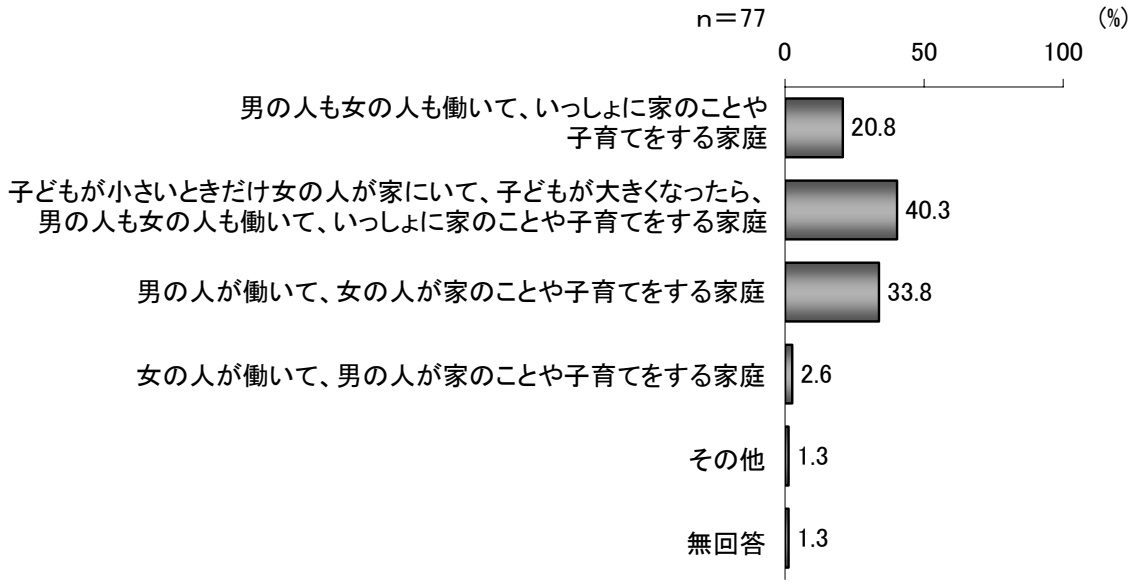
(%)

		n	結婚して子どもがいる	結婚しているが子どもはいない	独身で今の家族と一緒に暮らしている	独立してひとり暮らしをしている	その他	わからない	無回答
全体		77	51.9	1.3	5.2	16.9	1.3	22.1	1.3
性別	男子	35	▲ 45.7	0.0	5.7	△ 25.7	0.0	22.9	0.0
	女子	42	△ 57.1	2.4	4.8	▲ 9.5	2.4	21.4	2.4

5-4. 将来作りたい家庭

将来作りたい家庭としては、「子どもが小さいときだけ女の人が家にいて、子どもが大きくなったら、男の人も女の人も働いて、いっしょに家のことや子育てをする家庭」（40.3%）が４割、「男の人が働いて、女の人が家のことや子育てをする家庭」（33.8%）が３割強、「男の人も女の人も働いて、いっしょに家のことや子育てをする家庭」（20.8%）が２割となっている。

問 17　将来、結婚して子どもがいるとしたら、あなたはどんな家庭を作りたいと思いますか。（○は１つ）

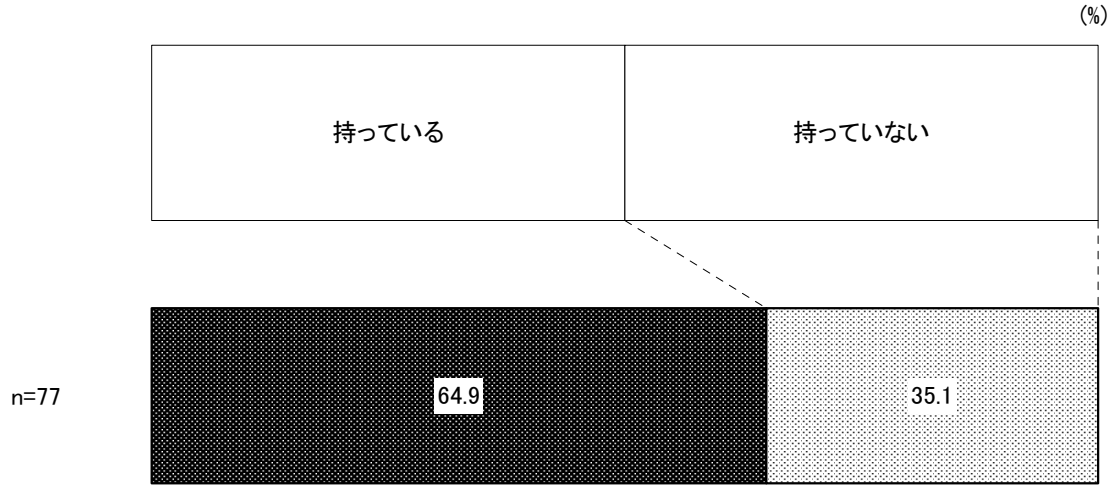


6．携帯電話やＰＨＳについて

6-1．携帯電話やＰＨＳの所持

携帯電話やＰＨＳを「持っている」のは64.9%となっている。

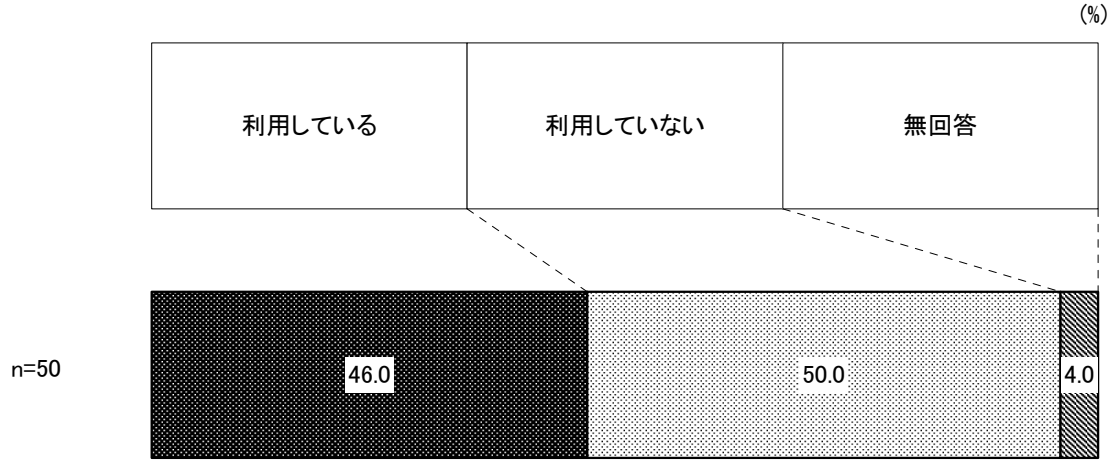
問18　あなたは、携帯電話やＰＨＳを持っていますか？



6-2．フィルタリング機能の利用

携帯電話やＰＨＳを持っている人のうち、フィルタリング機能を「利用している」のは46.0%となっている。

問19　問18で「1．持っている」と答えた方にお聞きします。現在、フィルタリング機能（※下記注）を利用していますか？



7．自由意見

7-1．川越市や大人に対する意見・要望

川越市や大人に対する意見や要望（23 件）を分類し、共通するものを抜粋して掲載した。

①交通・街づくり

✧アニメグッズが売っている店を増やしてほしい。
✧ブランコなどがある公園を、人気のあるところに沢山つくってほしい。川越市だけの特別な日をつくってほしい。
✧帰り道に、電灯を付けてほしいです。(カーブミラーも…)
✧蔵づくりの建物とかあっていいと思う。
✧明るいまちにしてほしい。
✧夕方、暗くてこわいので、街灯を増やして欲しいです。道に迷うので、看板を増やして欲しいです。

②学校生活

✧学校の一部の授業中にうるさくなってなかなか授業に集中しにくいです。
✧学校の設備ができていない。クーラーをつけてほしい。部活用品のためのお金。地震とかにたえるようになっていない。
✧給食にたまには麦。
✧学校を住みやすくして！！！
✧先生達が理不尽です（学校の)。
✧中学校での大会などを、テレビで放送して欲しいです。
✧不良達をもうちょっと厳しくするべきだ。
✧部活などでがんばっている姿などを見て、いろいろ応えんしてくださっている地域のおばさん、おじさん、ありがとうございます。
✧高校も義務教育にしてほしい。勉強や習い事ばかりで、休む事もできない。

③その他

✧線路やホームに飛び込み防止対策して欲しい。(最近人身事故が多いから）飲酒運転は絶対にやめて欲しい。
✧夏休み、不審者に会いました。パトロール強化するといって、ぜんぜんパトロール強化されてないんじゃないですか？きちんとしてください。
✧最近変な人が多いし、安心して外も歩けなくなった。
✧自然をふやしてほしい。スポーツのプロとあう機会がほしい。
✧子供達にルールを守れって言う前に、自分達の方が守っていないことがあるので、言う前にもっと見本になるようにしてほしい。
✧なぜ、この調査は、学校で行わなかったのですか？

ヒアリング　調査結果

川越市には、幼児と母親を中心に、主として公民館を拠点に自主的な育児サークル等が数多く存在しており、その中の５グループにヒアリング調査を実施した。それぞれの育児サークル等が活動をしている公民館にて、主催者及び参加している親たちから意見を聴いた。

調査対象	川越市内の育児サークル等に参加している市民
調査方法	育児サークル等の活動場所でのヒアリング調査
対象者数	５団体 約６０人（５６人）
調査期間	平成２１年２月２３日（月）～平成２１年２月２７日（金）

１．育児サークル活動の概要

1. 参加している人のプロフィール

（1）子どもの年齢は１～４歳が多い

０歳児も受け入れているサークル等もあるが、実際の参加児童の年齢は１～４歳が大半を占めている。

（2）幼児がいて、現在は就労していない母親が主体

育児休業中の母親も含め、現在は就労していなくて、幼児を家でみている母親が主体となっており、稀に祖母や父親が参加することもある。

（3）参加した理由は、親同士の交流、子どもの遊び仲間づくり

育児サークル等に参加した理由は、母親同士・子ども同士の友達づくりのためという回答が多かった。兄弟姉妹がいる場合、下の子の友達のつながりが少ないため、下の子の友達のつながりをつくりたくて参加したという回答もあった。

その他、情報交換やストレス発散のために参加したという回答もあった。

（4）「参加して良かった」点は、親子ともに友達ができたこと

育児サークル等に参加して良かった点は、親子ともに友達ができたことが多かった。その他、気分転換ができること、幼稚園等の情報交換ができること、子どもが団体行動に慣れてくれる、季節の行事を楽しめる、ストレス発散ができるという回答もあった。

（5）育児サークル等を知った「きっかけ」は友人からの紹介が多い

育児サークル等を知った「きっかけ」は、友人からの紹介（「くちコミ」）が多いが、公園等での情報交換で知ったという回答もあった。

また、育児サークル等を知る機会が少ないという意見もあった。

（6）転入者の割合は約半数

居住年数については、参加者の約半数が転入者であり（居住年数は５年程度の人が多い）、元々の居住者も約半数を占めていた。

2. 活動の内容は、親子遊び、親同士の交流

（1）活動の内容は、親子遊び、親同士の交流（話し合い）

育児サークル等の活動内容は、公民館の部屋を借りて、そこで子ども同士と親子が遊びながら（歌、リズム体操、手遊び、工作、絵本読み、親子体操）、母親同士が情報交換・交流（話し合い）をしている。時には、公園遊びやクリスマス会・イチゴ狩り等のイベントも行っている。なお、活動内容は当番制により参加者が考えているという回答が多かった（そのため、内容の変化に乏しいとの意見もあった）。

（2）会員数、会費、参加者数

大部分は会員制をとっており、会員は１０人～４０人弱まで様々である。会費を集めているサークル等では月額２５０円、５００円となっている。

（3）グループができた「きっかけ」、自主運営による活動の継続

設立当初の「きっかけ」は、参加者の世代交代もあり、不明のグループがあったが、設立当初には育児サークル等がなかったため、自主的に立ち上げたという回答もあった。活動を継続しているグループは、市の広報や公民館の情報、くちコミ等で新しい会員が参加する。

（4）育児サークル等運営の問題点は参加者数の確保が困難なこと

育児サークル等の運営の問題点は、参加者数が年々減少しているとの回答が多かった。育児サークル等の活動に関する情報提供がなかなかできない、育児や妊婦も多く活動に参加すること自体が難しい人もいるとの意見もあった。また、同じ時間に開催される子育てサロン等と競合してしまい、参加者が減ってしまったという意見もあった。

（5）育児サークル等は今後も継続させていきたい

参加者の減少の問題もあるが、次の世代にも引き継いでもらい、育児サークル等を継続させていきたいという意見が多かった。内容や規模については更に活動内容を充実させたいといった意見がある一方、参加人数によっては規模を縮小するかも知れないといった意見もあった。

3．活動の場所、活動の頻度など

（1）活動の場所は、公民館や公園

主に公民館の部屋を借りて活動しており、部屋を選ばなければ希望日で借りられることが多いものの、固定した部屋が借りられないため、サークル等の開催告知に苦慮することがある。公民館が借りられない場合は、公園や児童館で活動をする。

また、公民館の予約に際し、オンライン予約が可能となり、公民館を予約する際の負担が少なくなった（オンライン予約導入前は、子どもをつれて公民館に行かなければならなかった）という回答もあった。

（2）活動の頻度は週１回程度

活動の頻度は週１回程度が多く、隔週にて活動をしているグループもあった。時間帯については、兄弟姉妹がいる場合、上の子の幼稚園等の送り迎えの間の時間帯であればサークル活動に参加しやすいことからも、午前中に開催するサークル等が多かった。

（3）つどいの広場、子育て支援センター

場所に偏りがあるのではないか、近いところにあれば行ってみたいといった回答があった。

また、子育て支援センターについては、子育て支援室を利用する際、予約が必要な点が不便であったり、予約が取りにくいという意見もあった。サークル支援（子育て支援センターの職員が、育児サークルに出向き、一緒に遊んだり、子育てについて話し合いをする等の支援）を利用したサークルもある一方で、利用したことがないサークルもあった。

つどいの広場については、主催者に好感がもて、利用者も多いとのことであった。

２．地域の子育て環境について

1．公園等の遊び場など

（1）公園等の遊び場が少ない

運動公園は良い遊び場になるとの意見がある一方、公園等の遊び場が少ない、水辺で遊べる公園が少ないといった意見もあった。

また、近くの公園の遊具が新しくなったのは良かったとの意見がある一方、遊具が公園に少ないため充実させて欲しい、小さい子が遊ぶ遊具が公園にない、砂場が猫の糞等で不衛生といった意見もあった。

（2）公園等の遊び場が少ない

室内の遊び場が少ない。例えば、雨の日や暑い日に室内で遊べる施設が

必要であるとの意見があった。室内の遊び場の広さも児童が走り回れる程度の施設を望む意見もあった。また、公園に日陰がないという意見もあった。

（3）地域に「児童館」が少ない

川越市の児童館は現在３館で、「子どもの城」（川越市児童センター）、「クラッセ」（川越市川越東口児童館）、「高階市民センター」（高階児童館）がある。高階児童館は平成２０年４月に完成したが、各地域に作って欲しいという要望が多く出された。また、児童館内に小さい子どもが遊べる部屋をもっと作ってもらいたい、児童館の内容をもっと充実させてもらいたいという意見もあった。

クラッセについては、施設は良いものの、駐車料金がかかるため、あまり利用をしたことがないという意見もあった。

2．公共施設のバリアフリー化

（1）ベビーカー利用のしやすさ

ベビーカーをたたまずに乗車できるため、バスが利用しやすくなったという意見がある一方、ベビーカーで利用し易いように駅にエレベーターを設置してほしいという意見もあった。

（2）授乳室等

商用施設や公共施設のオシメ交換用のベッドや授乳できる場所が少ないという意見があった。

3．市への要望など

1．施設の整備

地域に児童館がないので、周辺市の児童館に行っているが、各地域に児童館を整備して欲しいとの意見が多かった。また、公共施設に授乳室をもっと設置してほしい、保育園を増設してもらいたいとの意見もあった。

2．保健医療の充実

こども医療費の対象年齢をもっと上げてもらいたい、インフルエンザやHib髄膜炎等の予防接種の補助や情報提供を充実させてもらいたいといった意見があった。

3．その他

川越市には公立幼稚園がないので幼稚園への補助を充実してほしい、小学校の学区について出来るだけ近くの学校に行きたいといった意見があった。

また、育児サークル等の活動場所である公民館の利用について、育児サークル等は社会的役割を担っていることもあり、優先的に使用させてもらいたいとの意見もあった。

資料：アンケート調査票

次世代育成支援に関するアンケート調査ご協力のお願い

就学前児童の保護者の方へ

皆様には、日頃から市政の運営にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本市では「次世代育成支援対策行動計画（前期計画）」が平成２１年度をもって終了するため、新たに「後期計画」（計画期間：平成２２～２６年度）を策定します。計画策定にあたり、住民意見を反映した計画とするために、就学前のお子さんがいらっしゃる方の中から無作為に選ばせていただいた世帯に本調査へのご協力をお願いするものです。

ご回答いただいた調査内容は、市や国、県の次世代育成支援施策の検討にのみ利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、個々の内容がほかに漏れたり、ほかの目的に利用されたりすることは一切ございません。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申しあげます。

平成２０年１２月

川越市長　舟　橋　功　一

《　ご記入に際してのお願い　》

１．特にことわりのある場合以外は、**封筒のあて名のお子さん**についてご記入ください。
２．アンケートには、お子さんの保護者の方がご記入ください。
３．回答に選択肢がある場合は、あてはまる番号を○で囲んでください。（○は１つ）などの指示がある場合には、その指示にしたがってください。
４．回答が「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、（　　）内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
５．質問によっては数字を記入していただく場合もあります。なお、時間については、**24 時間制**でご記入ください。
６．お子さんやご両親の年齢は、すべて**平成 20 年 4 月 1 日現在**でご記入ください。
７．質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きにご注意ください。
８．ご記入がすみましたら、同封の返信用封筒に入れて**平成２０年１２月２５日（木）**までにご投函ください。**切手を貼る必要はございません。**
９．**このアンケート用紙にも、封筒にも名前を書く必要はございません。**
10．記入上の不明な点、調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

問い合わせ先：川越市役所福祉部子育て支援課
電話　049-224-8811（代表）内線 2581

1.封筒のあて名のお子さんとご家族の状況についてお伺いします。

問1　封筒のあて名のお子さんの年齢（平成20年4月1日現在の年齢）をお伺いします。（１つに○）

1．１歳未満	3．２歳	5．４歳
2．１歳	4．３歳	6．５歳

問2　封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いますか。また、２人以上いる場合、末子の年齢（平成20年4月1日現在の年齢）をご記入ください。

［　　］人　　末子の年齢［　　］歳

問3　あて名のお子さんとの同居・近居（概ね30分以内程度に行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。（あてはまる番号すべてに○）

1．父母同居	4．祖父同居	7．祖母近居
2．父同居（ひとり親家庭）	5．祖母同居	8．その他
3．母同居（ひとり親家庭）	6．祖父近居	（　　）

問4　日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。（あてはまる番号すべてに○）

1．日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる　（→　問4-1へ）
2．緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる　（→　問4-1へ）
3．日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる　（→　問4-2へ）
4．緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる　（→　問4-2へ）
5．いずれもない　（→　問5へ）

問4-1　祖父母に預かってもらっている状況について、お伺いします。
（あてはまる番号すべてに○）

1．祖父母が孫を預かることについては、特に問題はない
2．祖父母の身体的負担が大きく心配である
3．祖父母の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4．自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5．その他（　　）

問4-2　友人や知人に預かってもらっている状況について、お伺いします。
（あてはまる番号すべてに○）

1．友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない
2．友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3．友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4．自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5．その他（　　）

問５　あて名のお子さんの身の回りの世話などを主にしている方はどなたですか。（１つに○）
続柄はあて名のお子さんから見た関係です。

１．主に父親	３．主に祖父	５．その他
２．主に母親	４．主に祖母	（　　）

問６　お住まいの地区は、どこですか。（１つに○）

１．本庁	４．南古谷	７．大東	10．名細
２．芳野	５．高階	８．霞ヶ関	11．山田
３．古谷	６．福原	９．霞ヶ関北	

2.封筒のあて名のお子さんの親御さんの就労状況についてお伺いします。

問７　現在の就労状況を（自営業、家族従事者含む）お伺いします。（１つに○）

（１）父親　【母子家庭の場合は記載不要】

１．就労している（フルタイム；育休・介護休業中は含まない）
２．就労している（フルタイムだが育休・介護休業中）
３．就労している（パートタイム、アルバイト等）
　→就労時間についてお伺いします。
　【　１週あたり〔　　〕日　・　１日あたり〔　　〕時間　】
４．以前は就労していたが、現在は就労していない
５．これまでに就労したことがない

（２）母親　【父子家庭の場合は記載不要】

１．就労している（フルタイム；育休・介護休業中は含まない）
２．就労している（フルタイムだが育休・介護休業中）
３．就労している（パートタイム、アルバイト等）
　→就労時間についてお伺いします。
　【　１週あたり〔　　〕日　・　１日あたり〔　　〕時間　】
４．以前は就労していたが、現在は就労していない（→　問８へ）
５．これまでに就労したことがない（→　問８へ）

問８　母親の就労希望はありますか。（１つに○）

１．有（すぐにでも若しくは１年以内に希望がある）（→　問8-1、2へ）
２．有（１年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい）（→　問8-1～3へ）
３．無　（→　問９へ）

→問8-1　就労希望の形態はどのようなものですか。（１つに○）（パート、アルバイトを希望の方は一週当たり日数及び一日当たり時間も記入してください。）

１．フルタイムによる就労
２．パートタイム、アルバイト等による就労（週当たり〔　　〕日・一日当たり〔　　〕時間）

問8-2へ

問8-2　就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。
（もっとも近いもの１つに○）

1．保育サービス（＊）が利用できれば就労したい
2．働きながら子育てできる適当な仕事がない
3．自分の知識、能力にあう仕事がない
4．家族の考え方(親族の理解が得られない)等就労する環境が整っていない
5．その他（　　）

（＊）この調査において**「保育サービス」**とは、**【認可保育園、家庭保育室など自治体の認証・認定保育施設、事業所内保育施設、家庭的な保育（いわゆる保育ママ）、認定こども園、その他の認可外保育施設、幼稚園（通常の就園時間）、幼稚園（通常の就園時間を延長して預かるサービス）、ベビーシッター、ファミリーサポートセンターで、定期的に受けているサービス】**としています。
以下の設問も同様の定義です。サービスの説明については、問10-1を参照してください。

問8-3　**問8で「2．有（1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい）」を選ばれた方にお伺いします。**
あて名のお子さんも含めて一番小さい子が何歳になったときに就労を希望されますか。

［　　］歳になったとき

母親のみなさんすべてにお伺いします。

問9　封筒のあて名のお子さんの出産前後（前後それぞれ１年以内）に離職をしましたか。
（１つに○）

1．離職した　（→　問9-1へ）
2．継続的に働いていた（転職も含む）　（→　問１０へ）
3．出産１年前にすでに働いていなかった　（→　問１０へ）

問9-1　仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続しましたか。
（もっとも近いもの１つに○）

1．保育サービスが確実に利用できる見込みがあれば、継続して就労していた
2．職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた
3．保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた
4．家族の考え方(親族の理解が得られない)等就労する環境が整っていれば、継続して就労していた
5．その他（　　）

3.保育サービスの利用についてお伺いします。

問10　封筒のあて名のお子さんの現在の保育サービス（問8-2の定義参照）の利用の有無についてお伺いします。日頃、定期的にお子さんを預けるサービスを利用していますか。

1．利用している　（→　問10-1～3へ）

2．利用していない　（→　問10-4へ）

問10-1　封筒のあて名のお子さんは、現在、どのような保育サービスを利用していますか。不定期に利用されるものも含めてお答えください。
（あてはまる番号すべてに○）

1．認可保育園（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）
2．家庭保育室など自治体の認証・認定保育施設（認可保育園ではないが、自治体が認証・指定した施設）
3．事業所内保育施設（企業が従業員用に運営する施設）
4．家庭的な保育（保育ママ：保育者の家庭等で子どもを預かるサービス）
5．認定こども園**【共通利用時間のみの保育の利用】**（保育施設と幼稚園が一体化した施設）
6．認定こども園**【共通利用時間（4時間程度）以上の保育の利用】**（保育施設と幼稚園が一体化した施設）
7．その他の認可外保育施設
8．幼稚園（通常の就園時間）
9．幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かるサービス）
10．ベビーシッター
11．ファミリーサポートセンター（地域住民による子どもの預かりサービス）

問10-2　利用時間についてお伺いします。枠内に具体的な数字でお答えください。時間は、必ず9:00～18:00（例）のように24時間制でご記入ください。

1週間あたり　　日　　1日あたり　　時間（　　時～　　時）

問10-3　利用されている理由についてお伺いします。（主な理由1つに○）

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1．現在就労している
2．就労予定がある／求職中である
3．家族・親族などを介護しなければならない
4．病気や障害を持っている
5．学生である
6．1～5までの事情はないが、子どもの教育のため
7．その他（　　）

問10-4　**問10で「2．利用していない」を選ばれた方にお伺いします。**
保育サービスを利用していない理由は何ですか。（主な理由１つに○）

1．（子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）必要がない
2．子どもの祖父母や親戚の人がみている
3．近所の人や父母の友人・知人がみている
4．預けたいが、保育サービスに空きがない
5．預けたいが、経済的な理由でサービスを利用できない
6．預けたいが延長・夜間等の場所や時間帯の条件が整わない
7．預けたいが、サービスの質や場所など、納得できるサービスがない
8．子どもがまだ小さいため（＿＿歳くらいになったら預けようと考えている）
9．その他（　　）

サービスの利用希望について、すべての方にお伺いします。

問11　封筒のあて名のお子さんに関して、今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、（利用日数・回数や利用時間が）足りていないと思う保育サービスはどれですか。**現在就労していないが、今後就労希望のある方は、就労した場合を想定してお答えください。**
（あてはまる番号すべてに○）

【日中の定期的保育】
1．認可保育園（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）
2．家庭保育室など自治体の認証・認定保育施設（認可保育園ではないが、自治体が認証・指定した施設）
3．事業所内保育施設（企業が従業員用に運営する施設）
4．家庭的な保育（保育ママ：保育者の家庭等で子どもを預かるサービス）
5．認定こども園**【共通利用時間のみの保育の利用】**（保育施設と幼稚園が一体化した施設）
6．認定こども園**【共通利用時間（４時間程度）以上の保育の利用】**（保育施設と幼稚園が一体化した施設）
7．その他の認可外保育施設
8．幼稚園（通常の就園時間）
9．幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かるサービス）
10．延長保育
11．ベビーシッター
12．ファミリーサポートセンター（地域住民による子どもの預かりサービス）
【その他保育】
13．一時預かり(私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを預かるサービス)
14．病児・病後児保育（子どもの病気時の一時的な保育）
【その他】
15．特にない

問 11-1へ

問11-1及び問11-2は、問11で「1．」～「11．」の選択肢を選んだ方にお伺いします。選択されたサービスそれぞれについてお答えください。

問11-1　今後の利用希望についてお伺いします。１週間あたり何日、１日あたり何時間（何時から何時まで）保育サービス(延長保育なども含めます)を希望しますか。枠内に具体的な数字でお答えください。時間は、必ず　9:00～18:00（例）のように24時間制でご記入ください。

選択したサービス番号 [　　]

１週間あたり	[　　]	日	１日あたり	[　　]	時間（	[　　]	時～	[　　] 時）

選択したサービス番号 [　　]

１週間あたり	[　　]	日	１日あたり	[　　]	時間（	[　　]	時～	[　　] 時）

問11-2　サービスを利用したいと考えている理由はどのようなことですか。
（もっともあてはまる番号１つに○）

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1．現在就労している
2．現在就労しているが、もっと日数や時間を増やしたい
3．就労予定がある／求職中である
4．そのうち就労したいと考えている
5．就労していないが、子どもの教育などのために子どもを預けたい
6．家族・親族などを介護しなければならない
7．病気や障害を持っている
8．学生である／就学したい
9．その他（　　）

封筒のあて名のお子さんの土曜日・休日の保育について、すべての方に希望をお伺いします。

問12　封筒のあて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、保育サービスなど（一時的な利用は除きます）の利用希望がありますか。（それぞれ１つに○）
※保育サービスなどとは、保育園、幼稚園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

【土曜日】

1．ほぼ毎週利用したい　　2．月に１～２回利用したい　　3．利用希望はない

【日曜日・祝日】

1．ほぼ毎週利用したい　　2．月に１～２回利用したい　　3．利用希望はない

4.あて名のお子さんの病児・病後児保育についてお伺いします。

問13　保育サービスを利用している保護者の方にお伺いします。この１年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の保育サービス（問8-2の定義参照）が利用できなかったことはありますか。

1．あった　（→　問13-1、2へ）

2．なかった　（→　問14へ）

問13-1　この１年間の対処方法についてお伺いします。（あてはまる番号すべてに○）

1．父親が休んだ
2．母親が休んだ
3．（同居者を含む）親族・知人に預けた
（→　問13-2へ）

4．就労していない保護者がみた
5．病児・病後児の保育サービスを利用した（保育園で実施しているサービスを含む）
6．ベビーシッターを頼んだ
7．ファミリーサポートセンターにお願いした
8．仕方なく子どもだけで留守番をさせた
9．その他（　　）

問13-2　その際、できれば施設等に預けたいと思われた日数はどれくらいありますか。枠内に日数を記入してください。

できれば施設等に預けたい　　日

5.あて名のお子さんの一時預かりのことについてお伺いします。

問14　この１年間で、私用（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。（半日程度についても１日としてカウントしてください。）

1．ある　→　年間　　日

（理由別）

① 私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的　　日
② 冠婚葬祭、子どもの親の病気　　日
③ 就労　　日

2．ない

問15　今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いますか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

月に　　日

6.あて名のお子さんの宿泊を伴う、一時預かりのことについてお伺いします。

問16　この１年間に、保護者の用事などにより、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。

1．あった（預け先が見つからなかった場合を含む）　→（問16-１へ）
2．なかった　（→問17へ）

問16-1　この１年間の対処方法（親族・知人に預けた場合は泊数と困難度をお答えください。）についてお伺いします。（あてはまる番号すべてに○）

		その場合の困難度
1．（同居者を含む）親族・知人に預けた	泊	→ 1．非常に困難 2．どちらかといえば困難 3．特に困難ではない
2．保育サービス（※右下注）を利用した	泊	
3．仕方なく子どもも同行させた	泊	
4．仕方なく子どもだけで留守番をさせた	泊	
5．その他（　　）	泊	

※ショートステイ事業を実施している施設、認可外保育施設、ベビーシッターなど

7.来年度就学予定の児童を持つ保護者の方にお伺いします。

問17　あて名のお子さんについて、小学校入学以降の放課後の過ごし方について、学童保育室を利用したいと思いますか。

【学童保育室…保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子ども（おおむね10歳未満）の生活の場を提供するものです。】

1．利用したい　→　週　　日くらい　　2．利用予定はない

8.ベビーシッターの利用についてお伺いします。

ベビーシッターを利用していらっしゃる方にお伺いします。

問18　どのような目的で利用していますか。（あてはまる番号すべてに○）

1．主たる保育サービスとして利用している
2．保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している（朝・夕等）
3．子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している
4．祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している
5．親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している
6．その他の目的で利用している

問18-1　どれくらいの頻度で利用していますか。枠内に数字をご記入ください。

月に [　　] 日くらい　　1回あたり [　　] 時間程度

9.ファミリーサポートセンターの利用についてお伺いします。

問19　ファミリーサポートセンターを利用していますか。

1．利用している（→　問19-1～3へ）　　2．利用していない（→　問19-4へ）

問19-1　どのような目的で利用していますか。（あてはまる番号すべてに○）

1．主たる保育サービスとして利用している
2．保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している（朝・夕等）
3．子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している
4．祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している
5．親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している
6．保育施設等の送り迎えに利用している
7．その他の目的で利用している

問19-2　どれくらいの頻度で利用していらっしゃいますか。枠内に数字をご記入ください。

月に [　　] 日くらい　　1回あたり [　　] 時間程度

問19-3　利用時間を増やしたいと思いますか。希望がある場合は枠内に数字をご記入ください。

月に [　　] 時間くらい

問19-4　**問19で「2．利用していない」を選ばれた方にお伺いします。**
今は利用していないが、できれば利用したい方は、枠内に数字をご記入ください。

月に　　時間くらい

10.地域子育て支援拠点事業についてお伺いします。

問20　封筒のあて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、つどいの広場、子育て支援センター等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。

1．地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）
　　1か月あたり　〔　　〕回
2．その他同様の事業（具体名　　）
　　1か月あたり　〔　　〕回
3．利用していない

問21、問21-1は、問20で「利用していない」を選んだ方にお伺いします。

問21　今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

1．地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）
　　1か月あたり　〔　　〕回
2．その他同様の事業（具体名　　）
　　1か月あたり　〔　　〕回
3．特にない

問21-1　現在利用していない理由はどのようなことですか。
（もっともあてはまる番号1つに○）

1．利用したいサービスが地域にない
2．地域のサービスの質に不安がある
3．地域のサービスの利便性（立地・開催時間・日数等）が悪く利用しづらい
4．利用料がかかる
5．自分がサービスの対象者になるのかどうかわからない
6．時間がない
7．サービスの利用方法（手続き等）がわからない
8．その他（　　）
9．特に理由はない

11.育児休業制度の利用についてお伺いします。

問22　封筒のあて名のお子さんについて、母親又は父親が育児休業制度を利用しましたか。
（１つに○）

1．母親が利用した
2．父親が利用した　（→問22-1、2へ）
3．母親と父親の両方が利用した
4．利用しなかった　（→問23へ）

問22-1　育児休業から復帰したとき、お子さんの月齢は何か月でしたか。枠内に、具体的に数字でご記入ください。（お子さんが１歳以上の場合も月に換算してお答えください。問22で「3．」とお答えになった方は、最後の育児休業利用者が復帰された時についてお答えください。）

子どもは　　か月だった

問22-2　育児休業明けに、希望する保育サービスをすぐ利用できましたか。（１つに○）

1．育児休業期間を調整せずにできた
2．育児休業期間を調整したのでできた　（→問22-3へ）
3．できなかった　（→問22-4へ）
4．希望しなかった

問22-3　育児休業明けに希望する保育サービスが確実に利用できたとしたら、育児休業は実際に取得した期間と変わりましたか。（１つに○）
また、「2．」及び「3．」を選ばれた方は、枠内に数字でご記入ください。

1．変わらない　　2．長くした　　か月　　3．短くした　　か月

問22-4　どのように対応されましたか。（１つに○）

1．希望とは違う認可保育園を利用した
2．事業所内の保育サービスを利用した
3．上記以外の保育サービスを利用した
4．家族等にみてもらうことで対応した
5．仕事を辞めた

12.子育て支援サービス等の認知度、利用度及び満足度についてお伺いします。

問23　下記のサービスを知っていますか。「知っている」、「知らない」のどちらかに○をつけてください。また、「知っている」と答えた方は、その利用について、「利用したことがある」、「利用したことはない」のどちらかに○をつけてください。

	認知度		利用経験	
	知っている	知らない	利用したことがある	利用したことはない
①地域子育て支援センター、つどいの広場	1	2	1	2
②ファミリーサポートセンター	1	2	1	2
③ﾊﾟﾊﾟ･ﾏﾏ応援ショップ優待カード	1	2	1	2
④小児救急電話相談事業(#8000)※下記注	1	2	1	2
⑤病児・病後児保育	1	2	1	2

※　子どもの急病（発熱、下痢、嘔吐など）時の家庭での対処方法や受診の必要性について、看護師に電話相談できる事業。

問23-1は、問23で「利用したことがある」を選んだ方にお伺いします。

問23-1　利用してどの程度満足していますか。「満足」「やや満足」「どちらでもない」「やや不満」「不満」のいずれかに○をつけてください。

	満足度				
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
①地域子育て支援センター、つどいの広場	1	2	3	4	5
②ファミリーサポートセンター	1	2	3	4	5
③ﾊﾟﾊﾟ･ﾏﾏ応援ショップ優待カード	1	2	3	4	5
④小児救急電話相談事業(#8000)※	1	2	3	4	5
⑤病児・病後児保育	1	2	3	4	5

問２４　次世代育成支援対策推進法では、事業主は、従業員の子育て支援のための行動計画を策定・実施し、その結果が一定の要件を満たす場合に、厚生労働大臣の認定を受けることができます。認定マーク「くるみん」をご存知ですか？

1．知っている	2．知らない

問２５　妊産婦にやさしい環境づくりの推進の一環として、マタニティマークの普及の取り組みが行われています。マタニティマークをご存知ですか？

１．知っている　　２．知らない

13.家事・育児についてお伺いします。

問２６　ご自分の家事・育児に関する現在の満足度はどうですか。

（１）父親　【母子家庭の場合は記載不要】

	自分の家事・育児に対する満足度
①家事	１．満足　２．やや満足　３．どちらでもない　４．やや不満　５．不満
②育児	１．満足　２．やや満足　３．どちらでもない　４．やや不満　５．不満

（２）母親　【父子家庭の場合は記載不要】

	自分の家事・育児に対する満足度
①家事	１．満足　２．やや満足　３．どちらでもない　４．やや不満　５．不満
②育児	１．満足　２．やや満足　３．どちらでもない　４．やや不満　５．不満

問２７　配偶者の家事・育児に対する満足度はどうですか。

（１）母親からみた父親の評価　【父子家庭の場合は記載不要】

	配偶者（父親）に対する満足度
①家事	１．満足　２．やや満足　３．どちらでもない　４．やや不満　５．不満
②育児	１．満足　２．やや満足　３．どちらでもない　４．やや不満　５．不満

（２）父親からみた母親の評価　【母子家庭の場合は記載不要】

	配偶者（母親）に対する満足度
①家事	１．満足　２．やや満足　３．どちらでもない　４．やや不満　５．不満
②育児	１．満足　２．やや満足　３．どちらでもない　４．やや不満　５．不満

問２８　一般的に、父親が子育てに十分に関わっていないと言われていますが、父親が子育てに関わりづらいのは、どうしてだと思いますか。（○は２つまで）

１．残業や通勤時間が長く、時間が取れないこと
２．子どもや家庭のことで休みをとることに職場の理解を得にくいこと
３．父親として具体的に何をすべきかよくわからないこと
４．子育ては母親の役目という意識が男性にあること
５．男性が子育てにかかわることを特別視する風潮が世間にあること
６．その他（　　）

14.地域社会への関わりについてお伺いします。

問29　下記の行事や組織に参加していますか。また、「参加していない」と答えた方は、今後の参加意向をお答えください。

（1）父親　【母子家庭の場合は記載不要】

	参加状況		今後の参加意向（参加していない方のみ）	
	参加している	参加していない	今後参加したい	参加しない
①保護者会・PTA	1	2	1	2
②地域のボランティア活動	1	2	1	2
③自治会の活動	1	2	1	2
④地域で活動するサークル	1	2	1	2

（2）母親　【父子家庭の場合は記載不要】

	参加状況		今後の参加意向（参加していない方のみ）	
	参加している	参加していない	今後参加したい	参加しない
①保護者会・PTA	1	2	1	2
②地域のボランティア活動	1	2	1	2
③自治会の活動	1	2	1	2
④地域で活動するサークル	1	2	1	2

15.地域医療についてお伺いします。

問30　お子さんにかかりつけ医はいますか。

1．いる　　2．いない

問30-1は、問30で「2．いない」を選んだ方にお伺いします。

問30-1　現在いない理由はどのようなことですか。（主な理由1つに○）

1．地域の医療機関（病院・医院・診療所）を知らない
2．利用したい医療機関（病院・医院・診療所）が地域にない
3．地域の医療サービスに不安がある
4．大病院の医療サービスを受けたい
5．かかりつけ医の必要性を感じない
6．その他（　　）

16.子どもの数についてお伺いします。

問３１　希望するお子さんの数は何人ですか。枠内に具体的な数字でお答えください。

希望　　人

17.育児の状況などについてお伺いします。

問３２　妊娠中や出産後(約１年)に、誰もサポートしてくれないという孤独感を感じた時期はありますか。
（あてはまる番号すべてに○）

１．妊娠前期（５か月まで）	４．出産後（１～４か月）
２．妊娠後期（6か月～出産まで）	５．出産後（５か月～1年）
３．出産後（１か月まで）	６．まったく感じなかった

問３３　出産後（約1年）のサポートとして、どのようなサービスが重要だと思いますか。（○は２つまで）

１．母親自身の相談	５．子育て経験者から話を聞く機会の提供
２．赤ちゃんの育児相談	６．子育て中の人との交流
３．助産師等による新生児訪問	７．離乳食などの食事の相談
４．家事などのお手伝い	８．その他（　　）

問34　日ごろの子育てについて、次のように感じることはありますか。
（それぞれの項目ごとに○は１つ）

	そう思う	少しそう思う	あまり思わない	思わない
A　子育ては楽しい	1	2	3	4
B　子どもの成長が楽しみだ	1	2	3	4
C　自分の気持ちにゆとりがある	1	2	3	4
D　子育てに自信が持てない	1	2	3	4
E　子育てが嫌になったり、かっとすることがある	1	2	3	4
F　子どもがかわいくないと思うことがある	1	2	3	4

問35　日常の子育てを楽しく、安心して行うために必要なサービスはどのようなものだと思いますか。
（あてはまる番号すべてに○）

１．親の不安や悩みの相談	６．子どもを遊ばせる場所の提供
２．子育てに関する情報提供	７．託児付のイベントの場や機会の提供
３．子育てサークルの紹介	８．父親の育児参加に関する意識啓発
４．子育てについての講座	９．子どもの病気についての相談
５．子どもの成長・発達の相談	10．その他（　　）

問36　子育てをしている中で、日ごろ悩んでいることや気になることはどのようなことですか。
（あてはまる番号すべてに○）

1．子どもの世話で自分の時間が取れない	8．仕事との両立ができない
2．子どもが自分の言うことをきかない	9．配偶者や親族との間で考え方が違う
3．子どものしつけがわからない	10．相談できる人が身近にいない
4．子どもが好きになれない	11．親同士の人間関係がうまくいかない
5．近くに子どもの遊び相手がいない	12．相談場所がわからない
6．配偶者が子育てに協力しない	13．食事や栄養に関することがわからない
7．経済的負担感が大きい	14．その他（　　）

問37　子育てで困ったときや悩んだとき、どのようにしていますか。（あてはまる番号すべてに○）

1．配偶者に相談する	6．総合保健センターに相談する
2．親に相談する	7．電話相談を利用する
3．友人や子育てグループの人に相談する	8．保育園や幼稚園に相談する
4．かかりつけの医師に相談する	9．インターネットや本で調べる
5．子育て支援センター、つどいの広場（子育て支援施設）に相談する	10．その他 （　　）

問38　川越市で子育てをしている中で、日ごろ感じていることはどんなことですか。あてはまる番号に○をつけてください。（あてはまる番号すべてに○）

1．公園など子どもを遊ばせる場所が近くにない

2．児童館や公民館など、雨の日でも子どもを遊ばせる場所が近くにない

3．公園や児童館はあるが、広さや遊具などの設備が十分でない

4．放置自転車等が多く、通行に支障がある

5．道路が狭く、交通量も多いので、子どもが交通事故にあわないか心配している

6．暗い道路などが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配している

7．公共施設や大型店舗などで、子ども連れに対しての配慮が十分されていない

8．子育て家庭や子どもの健全育成に対して、地域社会が積極的でない

9．その他（　　）

10．特にない

問３９　子育てに関する情報を主にどこから入手していますか？（あてはまる番号すべてに○）

1．家族・親族	9．市のホームページ
2．友人・知人・近所の人	10．テレビ・ラジオ
3．職場の人	11．新聞・雑誌・書籍
4．保育士、幼稚園の先生	12．インターネット上の子育て情報サイト（パソコンを利用）
5．医師・保健師・看護師・栄養士など	13．インターネット上の子育て情報サイト（携帯電話を利用）
6．市や県等の相談機関	14．情報の入手先がない
7．市の広報紙	15．情報の入手手段がわからない
8．市の情報誌	16．その他（　　）

問40　安心して子どもを産み、健やかに育てていくための行政の施策や、社会の制度のあり方などについて、特に望むことやご意見がありましたら、自由に記入してください。

ご記入ありがとうございました。

アンケート調査票は、返信用封筒に入れ（切手は不要です）、

１２月２５日（木）までにポストに投函してください。

次世代育成支援に関するアンケート調査ご協力のお願い

小学校児童の保護者の方へ

皆様には、日頃から市政の運営にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本市では「次世代育成支援対策行動計画（前期計画）」が平成２１年度をもって終了するため、新たに「後期計画」（計画期間：平成２２～２６年度）を策定します。計画策定にあたり、住民意見を反映した計画とするために、小学生のお子さんがいらっしゃる方の中から無作為に選ばせていただいた世帯に本調査へのご協力をお願いするものです。

ご回答いただいた調査内容は、市や国、県の次世代育成支援施策の検討にのみ利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、個々の内容がほかに漏れたり、ほかの目的に利用されたりすることは一切ございません。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申しあげます。

平成２０年１２月

川越市長　舟　橋　功　一

《　ご記入に際してのお願い　》

１．特にことわりのある場合以外は、**封筒のあて名のお子さん**についてご記入ください。
２．アンケートには、お子さんの保護者の方がご記入ください。
３．回答に選択肢がある場合は、あてはまる番号を○で囲んでください。（○は１つ）などの指示がある場合には、その指示にしたがってください。
４．回答が「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、（　　）内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
５．質問によっては数字を記入していただく場合もあります。なお、時間については、**24 時間制**でご記入ください。
６．お子さんやご両親の年齢は、すべて**平成 20 年 4 月 1 日現在**でご記入ください。
７．質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きにご注意ください。
８．ご記入がすみましたら、同封の返信用封筒に入れて**平成２０年１２月２５日（木）**までにご投函ください。**切手を貼る必要はございません。**
９．**このアンケート用紙にも、封筒にも名前を書く必要はございません。**
10．記入上の不明な点、調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

問い合わせ先：川越市役所福祉部子育て支援課
電話　049-224-8811（代表）内線 2581

1. 封筒のあて名のお子さんとご家族の状況についてお伺いします。

問1　封筒のあて名のお子さんの学年をお伺いします。（1つに○）

1．小学校1年生	4．小学校4年生
2．小学校2年生	5．小学校5年生
3．小学校3年生	6．小学校6年生

問2　封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いますか。また、2人以上いる場合、末子の年齢（平成20年4月1日現在の年齢）をご記入ください。

［　　］人　　末子の年齢［　　］歳

問3　あて名のお子さんとの同居・近居（概ね30分以内程度に行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。（あてはまる番号すべてに○）

1．父母同居	4．祖父同居	7．祖母近居
2．父同居（ひとり親家庭）	5．祖母同居	8．その他
3．母同居（ひとり親家庭）	6．祖父近居	（　　）

問4　日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。（あてはまる番号すべてに○）

1．日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる　（→　問4-1へ）
2．緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる　（→　問4-1へ）
3．日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる　（→　問4-2へ）
4．緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる　（→　問4-2へ）
5．いずれもない　（→　問5へ）

問4-1　祖父母に預かってもらっている状況について、お伺いします。
（あてはまる番号すべてに○）

1．祖父母が孫を預かることについては、特に問題はない
2．祖父母の身体的負担が大きく心配である
3．祖父母の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4．自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5．その他（　　）

問4-2　友人や知人に預かってもらっている状況について、お伺いします。
（あてはまる番号すべてに○）

1．友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない
2．友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3．友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4．自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5．その他（　　）

問５　あて名のお子さんの身の回りの世話などを主にしている方はどなたですか。（１つに○）
続柄はあて名のお子さんから見た関係です。

１．主に父親	３．主に祖父	５．その他
２．主に母親	４．主に祖母	（　　）

問６　お住まいの地区は、どこですか。（１つに○）

１．本庁	４．南古谷	７．大東	10．名細
２．芳野	５．高階	８．霞ヶ関	11．山田
３．古谷	６．福原	９．霞ヶ関北	

2.封筒のあて名のお子さんの親御さんの就労状況についてお伺いします。

問７　現在の就労状況を（自営業、家族従事者含む）お伺いします。（１つに○）

（１）父親　【母子家庭の場合は記載不要】

１．就労している（フルタイム；育休・介護休業中は含まない）
２．就労している（フルタイムだが育休・介護休業中）
３．就労している（パートタイム、アルバイト等）
　→就労時間についてお伺いします。
　【　１週あたり〔　　〕日　・　１日あたり〔　　〕時間　】
４．以前は就労していたが、現在は就労していない
５．これまでに就労したことがない

（２）母親　【父子家庭の場合は記載不要】

１．就労している（フルタイム；育休・介護休業中は含まない）
２．就労している（フルタイムだが育休・介護休業中）
３．就労している（パートタイム、アルバイト等）
　→就労時間についてお伺いします。
　【　１週あたり〔　　〕日　・　１日あたり〔　　〕時間　】
４．以前は就労していたが、現在は就労していない（→　問８へ）
５．これまでに就労したことがない（→　問８へ）

問８　母親の就労希望はありますか。（１つに○）

１．有（すぐにでも若しくは１年以内に希望がある）（→　問８-１、２へ）
２．有（１年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい）（→　問８-１～３へ）
３．無　（→　問９へ）

問８-１　就労希望の形態はどのようなものですか。（１つに○）（パート、アルバイトを希望の方は一週当たり日数及び一日当たり時間も記入してください。）

１．フルタイムによる就労
２．パートタイム、アルバイト等による就労（週当たり〔　　〕日・一日当たり〔　　〕時間）

問８-２へ

問8-2　就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。
（もっとも近いもの１つに○）

１．学童保育室などのサービスが利用できれば就労したい
２．働きながら子育てできる適当な仕事がない
３．自分の知識、能力にあう仕事がない
４．家族の考え方(親族の理解が得られない)等就労する環境が整っていない
５．その他（　　）

問8-3　**問8で「2．有（1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい）」を選ばれた方にお伺いします。**
あて名のお子さんも含めて一番小さい子が何歳になったときに就労を希望されますか。

［　　］歳になったとき

3.学童保育室の利用についてお伺いします。

問9　宛名のお子さんについて、現在、学童保育室を利用していますか。（１つに○）
【学童保育室…保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下で、子ども（おおむね10歳未満）の生活の場を提供するものです。問9-6の「放課後子ども教室」と連携して実施されている場合があります。】

１．利用している　（→　問9-1、2へ）
２．利用していない　（→　問9-3、4へ）

問9-1　あて名のお子さんについて、学童保育室の利用日数はどれくらいですか。

週［　　］日くらい　→　うち土曜日の利用の有無　１．ある　２．ない

問9-2　利用されている理由についてお伺いします。（主な理由１つに○）

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が
１．現在就労している
２．就労予定がある／求職中である
３．家族・親族などを介護しなければならない
４．病気や障害を持っている
５．学生である
６．その他（　　）

問9-3及び問9-4は、問9で「2．利用していない」を選ばれた方にお伺いします。

問9-3　利用していない理由は何ですか。（主な理由１つに○）

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1．現在就労していないから
2．就労しているが、学童保育室を知らなかったから
3．就労しているが、近くに学童保育室がないから
4．就労しているが、学童保育室に空きがないから
5．就労しているが、学童保育室の開所時間が短いから
6．就労しているが、利用料がかかるから
7．就労しているが、子どもは放課後の習い事をしているから
8．就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから
9．就労しているが、他の施設に預けているから
10．その他（　　）

問9-4　あて名のお子さんについて、今後、学童保育室を利用したいとお考えですか。
（１つに○）

1．利用したい　→　週　　日くらい　→　うち土曜日の利用の有無　1．ある　2．ない
2．今後も利用しない

問9-5　今後学童保育室を利用したい理由は何ですか。（主な理由１つに○）

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1．現在就労している
2．就労予定がある／求職中である
3．そのうち就労したいと考えている
4．家族・親族などを介護しなければならない
5．病気や障害を持っている
6．学生である／就学したい
7．就労していないが、子どもの教育などのために預けたい
8．その他（　　）

すべての方にお伺いします。

問9-6　地域によっては、学童保育室と連携して行うサービスとして『放課後子ども教室』がありますが、その利用意向はありますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。

【放課後子ども教室…すべての子どもを対象として、安心・安全な子どもの居場所を提供し、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の取組をするものです。】

1．意向がある　→　週　　日くらい
2．意向がない
3．対象のサービスがない

問10　あて名のお子さんについてお伺いします。小学４年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。（１つに○）

1．学童保育室を利用したい　→　小学　　年生まで
2．放課後子ども教室を利用したい
3．クラブ活動など習い事をさせたい
4．利用を希望するサービスは特にない
5．その他

4.あて名のお子さんの病児・病後児の対応についてお伺いします。

問11　この１年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。

1．あった　（→　問11-1、2へ）
2．なかった　（→　問12へ）

問11-1　この１年間の対処方法についてお伺いします。（あてはまる番号すべてに○）

1．父親が休んだ
2．母親が休んだ
3．（同居者を含む）親族・知人に預けた
（→　問11-2へ）
4．就労していない保護者がみた
5．病児・病後児の保育サービスを利用した（保育所で実施しているサービスを含む）
6．ベビーシッターを頼んだ
7．ファミリーサポートセンターにお願いした
8．仕方なく子どもだけで留守番をさせた
9．その他（　　）

問11-2へ

問11-2　その際、できれば施設等に預けたいと思われた日数はどれくらいありますか。枠内に日数を記入してください。

できれば施設等に預けたい　　日

5.あて名のお子さんの一時預かりのことについてお伺いします。

問12　この１年間で、私用（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。（半日程度についても１日としてカウントしてください。）

1．ある　→　年間　　日

（理由別）

① 私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的　　日

② 冠婚葬祭、子どもの親の病気　　日

③ 就労　　日

2．ない

問13　今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いますか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

月に　　日

6.あて名のお子さんの宿泊を伴う一時預かりのことについてお伺いします。

問14　この１年間に、保護者の用事などにより、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。

1．あった（預け先が見つからなかった場合を含む）　→（問14-１へ）

2．なかった　（→問15へ）

問14-1　この１年間の対処方法（親族・知人に預けた場合は泊数と困難度をお答えください。）についてお伺いします。（あてはまる番号すべてに○）

			その場合の困難度
1．（同居者を含む）親族・知人に預けた		泊 →	1．非常に困難
			2．どちらかといえば困難
2．保育サービス（※右下注）を利用した		泊	3．特に困難ではない
3．仕方なく子どもも同行させた		泊	
4．仕方なく子どもだけで留守番をさせた		泊	
5．その他（　　）		泊	

※ショートステイ事業を実施している施設、認可外保育施設、ベビーシッターなど

7.ベビーシッターの利用についてお伺いします。

ベビーシッターを利用している方にお伺いします。

問15　どのような目的で利用していらっしゃいますか。（あてはまる番号すべてに○）

1．子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している
2．祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している
3．親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している
4．その他の目的で利用している

問15-1　どれくらいの頻度で利用していますか。枠内に数字をご記入ください。

月に [　　] 日くらい　　1回あたり [　　] 時間程度

8.ファミリーサポートセンターの利用についてお伺いします。

問16　ファミリーサポートセンターを利用していますか。

1．利用している（→　問16-1～3へ）　　2．利用していない（→　問16-4へ）

問16-1　どのような目的で利用していますか。（あてはまる番号すべてに○）

1．主たる保育サービスとして利用している
2．保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している（朝・夕等）
3．子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している
4．祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している
5．親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している
6．保育施設等の送り迎えに利用している
7．その他の目的で利用している

問16-2　どれくらいの頻度で利用していますか。枠内に数字をご記入ください。

月に [　　] 日くらい　　1回あたり [　　] 時間程度

問16-3　利用時間を増やしたいと思いますか。希望がある場合は枠内に数字をご記入ください。

月に [　　] 時間くらい

問16-4　**問16で「2．利用していない」を選ばれた方にお伺いします。**
今は利用していないが、できれば利用したい方は、枠内に数字をご記入ください。

月に [　　] 時間くらい

9.子育て支援サービス等の認知度、利用度及び満足度についてお伺いします。

問17　下記のサービスを知っていますか。「知っている」、「知らない」のどちらかに○をつけてください。また、「知っている」と答えた方は、その利用について、「利用したことがある」、「利用したことはない」のどちらかに○をつけてください。

	認知度		利用経験	
	知っている	知らない	利用したことがある	利用したことはない
①地域子育て支援センター、つどいの広場	1	2	1	2
②ファミリーサポートセンター	1	2	1	2
③放課後こども教室	1	2	1	2
④ﾊﾟﾊﾟ･ﾏﾏ応援ショップ優待カード	1	2	1	2
⑤小児救急電話相談事業(#8000)※下記注	1	2	1	2
⑥病児・病後児保育	1	2	1	2

※子どもの急病（発熱、下痢、嘔吐など）時の家庭での対処方法や受診の必要性について、看護師に電話相談できる事業。

問１７-１は、問１７で「利用したことがある」を選んだ方にお伺いします。

問17-1　利用してどの程度満足していますか。「満足」「やや満足」「どちらでもない」「やや不満」「不満」のいずれかに○をつけてください。

	満足度				
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
①地域子育て支援センター、つどいの広場	1	2	3	4	5
②ファミリーサポートセンター	1	2	3	4	5
③放課後こども教室	1	2	3	4	5
④ﾊﾟﾊﾟ･ﾏﾏ応援ショップ優待カード	1	2	3	4	5
⑤小児救急電話相談事業(#8000)※	1	2	3	4	5
⑥病児・病後児保育	1	2	3	4	5

問18　次世代育成支援対策推進法では、事業主は、従業員の子育て支援のための行動計画を策定・実施し、その結果が一定の要件を満たす場合に、厚生労働大臣の認定を受けることができます。認定マーク「くるみん」をご存知ですか？

1．知っている	2．知らない

問19　妊産婦にやさしい環境づくりの推進の一環として、マタニティマークの普及の取り組みが行われています。マタニティマークをご存知ですか？

1．知っている　　2．知らない

10.家事・育児についてお伺いします。

問20　ご自分の家事・育児に関する現在の満足度はどうですか。

（1）父親　【母子家庭の場合は記載不要】

	自分の家事・育児に対する満足度
①家事	1．満足　2．やや満足　3．どちらでもない　4．やや不満　5．不満
②育児	1．満足　2．やや満足　3．どちらでもない　4．やや不満　5．不満

（2）母親　【父子家庭の場合は記載不要】

	自分の家事・育児に対する満足度
①家事	1．満足　2．やや満足　3．どちらでもない　4．やや不満　5．不満
②育児	1．満足　2．やや満足　3．どちらでもない　4．やや不満　5．不満

問21　配偶者の家事・育児に対する満足度はどうですか。

（1）母親からみた父親の評価　【父子家庭の場合は記載不要】

	配偶者（父親）に対する満足度
①家事	1．満足　2．やや満足　3．どちらでもない　4．やや不満　5．不満
②育児	1．満足　2．やや満足　3．どちらでもない　4．やや不満　5．不満

（2）父親からみた母親の評価　【母子家庭の場合は記載不要】

	配偶者（母親）に対する満足度
①家事	1．満足　2．やや満足　3．どちらでもない　4．やや不満　5．不満
②育児	1．満足　2．やや満足　3．どちらでもない　4．やや不満　5．不満

問22　一般的に、父親が子育てに十分に関わっていないと言われていますが、父親が子育てにかかわりづらいのは、どうしてだと思いますか。**（○は２つまで）**

1．残業や通勤時間が長く、時間が取れないこと
2．子どもや家庭のことで休みをとることに、職場の理解を得にくいこと
3．父親として、具体的に何をすべきかよくわからないこと
4．子育ては母親の役目という意識が男性にあること
5．男性が子育てにかかわることを特別視する風潮が世間にあること
6．その他（　　）

11.地域社会への関わりについてお伺いします。

問23　下記の行事や組織に参加していますか。また、「参加していない」と答えた方は、今後の参加意向をお答えください。

（1）父親　【母子家庭の場合は記載不要】

	参加状況		今後の参加意向（参加していない方のみ）	
	参加している	参加していない	今後参加したい	参加しない
①保護者会・PTA	1	2	1	2
②地域のボランティア活動	1	2	1	2
③自治会の活動	1	2	1	2
④地域で活動するサークル	1	2	1	2

（2）母親　【父子家庭の場合は記載不要】

	参加状況		今後の参加意向（参加していない方のみ）	
	参加している	参加していない	今後参加したい	参加しない
①保護者会・PTA	1	2	1	2
②地域のボランティア活動	1	2	1	2
③自治会の活動	1	2	1	2
④地域で活動するサークル	1	2	1	2

12.地域医療についてお伺いします。

問24　お子さんにかかりつけ医はいますか。

1．いる　　2．いない

問24-1は、問24で「2．いない」を選んだ方にお伺いします。

問24-1　現在いない理由はどのようなことですか。（主な理由１つに○）

1．地域の医療機関（病院・医院・診療所）を知らない
2．利用したい医療機関（病院・医院・診療所）が地域にない
3．地域の医療サービスに不安がある
4．大病院の医療サービスを受けたい
5．かかりつけ医の必要性を感じない
6．その他（　　）

13.子どもの数についてお伺いします。

問25　希望するお子さんの数は何人ですか。枠内に具体的な数字でお答えください。

希望　　人

14.あて名のお子さんの、家庭での生活についてお伺いします。

問26　あて名のお子さんの遊びについて、おたずねします。テレビゲーム等で遊ぶ時間は1日に平均するとどれくらいですか。空欄に数字を入れてください。（30分は0.5と記入）

A　テレビやビデオなどを見ている時間は	1日平均　約		時間
B　テレビゲームなどをやっている時間は	1日平均　約		時間
C　スポーツなど外で体を動かして遊んでいる時間は	1日平均　約		時間

問27　ふだん、あて名のお子さんと話したり遊んだりする時間はどれくらいありますか。平日と休日に分けてお答えください。**（それぞれの項目ごとに○は1つ）**

	平日		休日	
母親	1．ほとんどない	4．1時間～2時間	1．ほとんどない	4．1時間～2時間
	2．30分未満	5．2時間～3時間	2．30分未満	5．2時間～3時間
	3．30分～1時間	6．3時間以上	3．30分～1時間	6．3時間以上
父親	1．ほとんどない	4．1時間～2時間	1．ほとんどない	4．1時間～2時間
	2．30分未満	5．2時間～3時間	2．30分未満	5．2時間～3時間
	3．30分～1時間	6．3時間以上	3．30分～1時間	6．3時間以上

問28　あて名のお子さんは、家事の手伝いをしますか。**（それぞれの項目ごとに○は1つ）**

A　食事の準備や料理の手伝い	1．よくする　2．時々する　3．あまりしない　4．しない
B　皿洗いなど食事の後片付け	1．よくする　2．時々する　3．あまりしない　4．しない
C　部屋やトイレなどの掃除	1．よくする　2．時々する　3．あまりしない　4．しない
D　洗濯や洗濯物の整理	1．よくする　2．時々する　3．あまりしない　4．しない
E　その他（　　）	1．よくする　2．時々する　3．あまりしない　4．しない

問29　あて名のお子さんの日ごろの子育てについて、次のように感じることはありますか。**（それぞれの項目ごとに○は1つ）**

	そう思う	少しそう思う	あまり思わない	思わない
A　子育ては楽しい	1	2	3	4
B　子どもの成長が楽しみだ	1	2	3	4
C　自分の気持ちにゆとりがある	1	2	3	4
D　子育てに自信がない	1	2	3	4
E　子育てが嫌になったりかっとすることがある	1	2	3	4
F　子どもがかわいくないと思うことがある	1	2	3	4

15.お子さんの学校での生活についてお伺いします。

問30　あて名のお子さんには、一緒に遊んだり勉強したりする友人がいますか。

1．いる→		人くらい	2．いない

問31　あて名のお子さんは、ふだん学校に行くことをどう思っていますか。（1つに○）

1．楽しいと思っている	3．つまらないと思っている
2．特に何とも思っていない	4．わからない

問32　あて名のお子さんが学校へ行きたくないと言って、親を困らせたことがありますか。
（1つに○）

1．ない	2．時々ある	3．よくある

問33　あて名のお子さんは、友達や先生の話をしますか。（1つに○）

1．よくする	2．時々する	3．あまりしない	4．しない

16.子どもの放課後や休日の過ごし方について、お伺いします。

問34　平日の放課後、あて名のお子さんはどのように過ごしていますか。時間帯ごとに一番多い過ごしかたを、下の表（B表）から選んで、次の表（A表）に番号を**1つずつ**記入してください。

【A表】平日

放課後の時間帯	14～16時	16～18時	18～20時	20時以降
番号記入欄				

【B表】選択肢

1．自宅等で保護者や祖父母等と一緒にいる
2．自宅等で、兄弟姉妹や友人など子どもたちだけで過ごしている
3．学習塾や習い事に行っている
4．学童保育室に行っている
5．図書館や公民館等の公的施設にいる
6．児童館にいる
7．地域のスポーツクラブや子ども会活動などに参加している
8．公園など、屋外で遊んでいる
9．自分の家の中で、ひとりで過ごしている
10．その他（　　）

問35　学校が休みの土曜日や休日（日・祝日）、あて名のお子さんは、どのように過ごしていますか。時間帯ごとに一番多い過ごしかたを、下の表（B表）から選んで、次の表（A表）に番号を**1つずつ**記入してください。

【A表】土曜日、休日の過ごし方

	土曜日			休日（日・祝日）		
時間帯	朝起きてから、昼食まで	昼食後、夕食まで	夕食後	朝起きてから、昼食まで	昼食後、夕食まで	夕食後
番　号 記入欄						

【B表】　選択肢

1．自宅等で保護者や祖父母等と一緒にいる
2．自宅等で、兄弟姉妹や友人など子どもたちだけで過ごしている
3．学習塾や習い事に行っている
4．学童保育室に行っている
5．図書館や公民館等の公的施設にいる
6．児童館にいる
7．地域のスポーツクラブや子ども会活動などに参加している
8．公園など、屋外で遊んでいる
9．自分の家の中で、ひとりで過ごしている
10．その他（　　）

17.地域活動についてお伺いします。

問36　あて名のお子さんは、次の地域活動に参加していますか。**（それぞれの項目ごとに○は1つ）**

A　子ども会	1．参加している　2．参加していない
B　ボーイスカウトやガールスカウト	1．参加している　2．参加していない
C　スポーツクラブ（少年野球、少年サッカーなど）	1．参加している　2．参加していない
D　その他（　　）	1．参加している　2．参加していない

問37　あて名のお子さんは、公共施設（公民館、児童館、図書館など）を利用しますか。
（それぞれの項目ごとに○は1つ）

A　公民館	1．よく利用する	2．時々利用する	3．利用していない
B　図書館	1．よく利用する	2．時々利用する	3．利用していない
C　児童館	1．よく利用する	2．時々利用する	3．利用していない
D　公　園	1．よく利用する	2．時々利用する	3．利用していない
E　学校施設	1．よく利用する	2．時々利用する	3．利用していない
F　スポーツ施設	1．よく利用する	2．時々利用する	3．利用していない

18.子育ての悩み、子育て支援のサービスなどについてお伺いします。

問38　子育てをしている中で、日ごろ悩んでいることや気になることはどのようなことですか。（あてはまる番号すべてに○）

1．子どもの世話で自分の時間が取れない	8．仕事との両立ができない
2．子どもが自分の言うことをきかない	9．配偶者や親族との間で考え方が違う
3．子どものしつけがわからない	10．相談できる人が身近にいない
4．子どもが好きになれない	11．親同士の人間関係がうまくいかない
5．近くに子どもの遊び相手がいない	12．相談場所がわからない
6．配偶者が子育てに協力しない	13．食事や栄養に関することがわからない
7．経済的負担感が大きい	14．その他（　　）

問39　子育てで困ったときや悩んだとき、どのようにしていますか。（あてはまる番号すべてに○）

1．配偶者や親に相談する	5．電話相談を利用する
2．友人や子育てグループの人に相談する	6．学校に相談する
3．かかりつけの医師に相談する	7．インターネットや本で調べる
4．総合保健センターに相談する	8．その他（　　）

問40　子どもの健やかな成長のために、どのようなサービスが必要だと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

1．親の不安や悩みの相談	6．子どもを遊ばせる場所の提供
2．子育てに関する情報提供	7．親のリフレッシュの場や機会の提供
3．子育ての自主サークル	8．父親の育児参加に関する意識啓発
4．子育てについての講座	9．子どもの病気についての相談
5．子どもの成長や発達の相談	10．その他（　　）

19. 子育て支援のあり方についてお伺いします。

問41　川越市で子育てしていく中で、日ごろ感じていることはどんなことですか。あてはまる番号に○をつけてください。（あてはまる番号すべてに○）

1．公園など子どもを遊ばせる場所が近くにない
2．児童館や公民館など雨の日でも子どもを遊ばせる場所が近くにない
3．公園や児童館はあるが、広さや遊具などの設備が十分でない
4．放置自転車等が多く、通行に支障がある
5．道路が狭く、交通量も多いので、子どもが交通事故にあわないか心配している
6．暗い道路などが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配している
7．公共施設や大型店舗などで、子ども連れに対しての配慮が十分されていない
8．子育て家庭や子どもの健全育成に対して、地域社会が積極的でない
9．その他（　　）

問42　子どもが交通事故や犯罪にあわないよう子どもの安全確保のために、どんなことが必要だと思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。（あてはまる番号すべてに○）

1．通学路など道路の整備	6．子どもへの防犯教育の強化
2．信号機やガードレール等の設置	7．集団での登下校の実施
3．道路の交通量や速度の規制	8．子ども110番の家の設置
4．街路灯や防犯灯の設置	9．その他
5．防犯ベルの携帯	（　　）

問43　子育てに関する情報を主にどこから入手していますか。（あてはまる番号すべてに○）

1．家族・親族	9．市のホームページ
2．友人・知人・近所の人	10．テレビ・ラジオ
3．職場の人	11．新聞・雑誌・書籍
4．保育士、幼稚園の先生	12．インターネット上の子育て情報サイト（パソコンを利用）
5．医師・保健師・看護師・栄養士など	13．インターネット上の子育て情報サイト（携帯電話を利用）
6．市や県等の相談機関	14．情報の入手先がない
7．市の広報紙	15．情報の入手手段がわからない
8．市の情報誌	16．その他（　　）

問44　安心して子どもを産み、健やかに育てていくための行政の施策や、社会の制度のあり方などについて、特に望むことやご意見がありましたら、自由に記入してください。

ご記入ありがとうございました。

アンケート調査票は、返信用封筒に入れ（切手は不要です）、

１２月２５日（木）までにポストに投函してください。

中学生の日常生活と考え方に関するアンケート

アンケート調査ご協力のお願い

川越市では、次の時代を担(にな)う皆さんや子育てをする人たちのための計画をつくっています。

このアンケートは、中学校に通う皆さんの生活の様子や考え方を聞いて、今後の計画づくりに役立てるために行うものです。

みなさんの声を計画に活(い)かしていきたいと思いますので、あなたがふだん思っていることを答えてください。

回答していただいた内容は計画づくりに利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、個々の内容がほかに漏れたり、ほかの目的に利用されたりすることは一切ありません。

平成２０年１２月

川越市長　舟　橋　功　一

《　記入についてのお願い　》

１．アンケートは、あなた自身が記入してください。
２．あてはまるものに○をつける質問と、数字などを書く質問とがあります。
　「○は１つ」などと書いてある場合には、その指示にしたがってください。
３．「その他」を選んだ場合は、（　　）に具体的にその内容を記入してください。
４．記入が済んだら、同封(どうふう)の封筒に入れて平成２０年１２月２５日（木）までにポストに入れてください。**切手はいりません。**
５．**このアンケート用紙にも、封筒にも、名前を書く必要はありません。**

問い合わせ先：川越市役所福祉部子育て支援課
電話　049-224-8811（代表）内線 2581

Ⅰ　あなた自身のことについて、お聞きします。

問１　あなたの性別は。

１．男	２．女

問２　あなたは、何年生ですか。

１．中学１年生	２．中学２年生	３．中学３年生

問３　あなたは、誰と一緒に住んでいますか。（**あてはまる番号すべてに○**）

１．父	４．祖母	７．弟
２．母	５．兄	８．妹
３．祖父	６．姉	９．その他（　　）

Ⅱ　放課後や休日の過ごし方について、お聞きします。

問４　平日の放課後、あなたはどのように過ごしていますか。次の表（Ａ表）に、時間帯ごとに一番多い過ごし方を、Ｂ表の中から１つずつ選んで番号を記入してください。

【Ａ表】平日

時間帯	１４～１６時	１６～１８時	１８～２０時	２０時以降
番　号 記入欄				

【Ｂ表】選択肢（せんたくし）

１．部活動などで学校にいる	５．学習塾や習い事に行っている
２．自宅で、ひとりでいる	６．図書館や公民館などにいる
３．自宅で、家族と一緒にいる	７．地域でスポーツなどをしている
４．自宅や友だちの家で、友だちと一緒にいる	８．その他（　　）

問５　学校が休みの土曜日や休日（日・祝日）、あなた自身は、どのように過ごしていますか。

次の表（Ａ表）に、時間帯ごとに一番多い過ごし方を、Ｂ表の中から１つずつ選んで番号を記入してください。

【Ａ表】土曜日、休日の過ごし方

	土曜日			休日（日・祝日）		
時間帯	朝起きてから、昼食まで	昼食後、夕食まで	夕食後	朝起きてから、昼食まで	昼食後、夕食まで	夕食後
番　号 記入欄						

【Ｂ表】選択肢（せんたくし）

１．課外活動（部活動など）で学校にいる	５．学習塾や習い事に行っている
２．自宅で、ひとりでいる	６．図書館や公民館などにいる
３．自宅で、家族と一緒にいる	７．地域でスポーツなどをしている
４．自宅や友だちの家で、友だちと一緒にいる	８．その他（　　）

問６　あなたは、公共施設を利用することがありますか。

Ａ　公民館	１．よく利用する　２．利用する　３．あまり利用しない　４．利用しない
Ｂ　図書館	１．よく利用する　２．利用する　３．あまり利用しない　４．利用しない
Ｃ　児童館	１．よく利用する　２．利用する　３．あまり利用しない　４．利用しない
Ｄ　公　園	１．よく利用する　２．利用する　３．あまり利用しない　４．利用しない
Ｅ　学校施設	１．よく利用する　２．利用する　３．あまり利用しない　４．利用しない
Ｆ　スポーツ施設	１．よく利用する　２．利用する　３．あまり利用しない　４．利用しない

問７　あなたが、近くにあったらいいなと思う場所はどれですか。（○は３つまで）

１．スポーツのできる場所（運動場等）	６．パソコンが自由に使える場所
２．楽器が自由に練習できる場所	７．悩み事をいつでも相談できる場所
３．絵が自由に描ける場所	８．外国の人と知り合いになれる場所
４．友だちとおしゃべりできる場所	９．近所の人と知り合いになれる場所
５．読書や勉強ができる場所	10．その他（　　）

Ⅲ　地域活動について、お聞きします。

問８　ボランティア活動をしたことはありますか。

１．ある	２．ない　→　問 10 へ

問９　問８で「１．ある」と答えた方にお聞きします。それは、どのような活動でしたか。

１．高齢者の福祉・介護に関する活動	５．平和や人権に関する活動
２．障害者の福祉・介護に関する活動	６．国際交流に関する活動
３．児童の福祉に関する活動	７．まちづくりに関する活動
４．環境美化に関する活動	８．その他（　　）

問 10　中学生になってから、地域の団体（自治会等）が行う行事に参加したことがありますか。

１．参加したことがある	２．参加したことがない　→　問 12 へ

問 11　問 10 で「１．参加したことがある」と答えた方にお聞きします。それは、どのような行事でしたか。（〇はいくつでも）

１．地域の祭・盆踊り	４．キャンプ等の野外活動
２．自治会の運動会	５．スポーツ大会や教室
３．ラジオ体操	６．その他（　　）

Ⅳ　乳幼児とのふれあい体験について、お聞きします。

問 12　あなたは、中学生になってから、赤ちゃんや幼児（兄弟姉妹や親戚を含む）と遊んだことがありますか。

１．ある	２．ない

問 13　中学生には、赤ちゃんや幼児と触れ合う機会があった方が良いと思いますか？

１．はい	２．いいえ

Ⅴ　悩みや不安、友だち関係、将来のことについて、お聞きします。

問 14　あなたが現在、心配していることや悩んでいることは何ですか。

（あてはまる番号すべてに○）

１．勉強や成績のこと	４．家族との関係	７．将来の進路のこと
２．友だちとの人間関係	５．自分や家族の健康状態	８．その他（　　）
３．異性のこと	６．部活動など課外活動	９．特にない

問 15　もし、あなたに悩みごとや心配ごとがあるとき、誰に相談しますか。

（あてはまる番号すべてに○）

１．家族	３．先輩	５．相談員
２．友だち	４．先生	６．その他（　　）

問 16　20 年後のあなたを思い浮かべたとき、次のどれに最も近いと思いますか。**（○は１つ）**

１．結婚して子どもがいる	４．独立してひとり暮らしをしている
２．結婚しているが子どもはいない	５．その他（　　）
３．独身で今の家族と一緒に暮らしている	６．わからない

問 17　将来、結婚して子どもがいるとしたら、あなたはどんな家庭を作りたいと思いますか。

（○は１つ）

１．男の人も女の人も働いて、いっしょに家のことや子育てをする家庭
２．子どもが小さいときだけ女の人が家にいて、子どもが大きくなったら、男の人も女の人も働いて、いっしょに家のことや子育てをする家庭
３．男の人が働いて、女の人が家のことや子育てをする家庭
４．女の人が働いて、男の人が家のことや子育てをする家庭
５．その他（　　）

Ⅵ　携帯電話やＰＨＳに関してお聞きします。

問 18　あなたは、携帯電話やＰＨＳを持っていますか？

１．持っている	２．持っていない　→　問 20 へ

問 19　問 18 で「１．持っている」と答えた方にお聞きします。現在、フィルタリング機能（※下記注）を利用していますか？

※フィルタリング機能…不適正な情報にアクセスしないよう、一定の閲覧制限を設ける機能。

１．利用している	２．利用していない

問 20　最後に、川越市や大人に対して意見や要望があれば、下の欄に自由に書いてください。

ありがとうございました。

返信用封筒に入れ（切手は不要です）、

１２月２５日（木）までにポストに入れてください。

次世代育成支援に関する
調査結果報告書

発行：平成２１年３月

川越市役所

川越市元町１丁目３番地１号

電話 049-224-8811（代表）

編集：福祉部子育て支援課